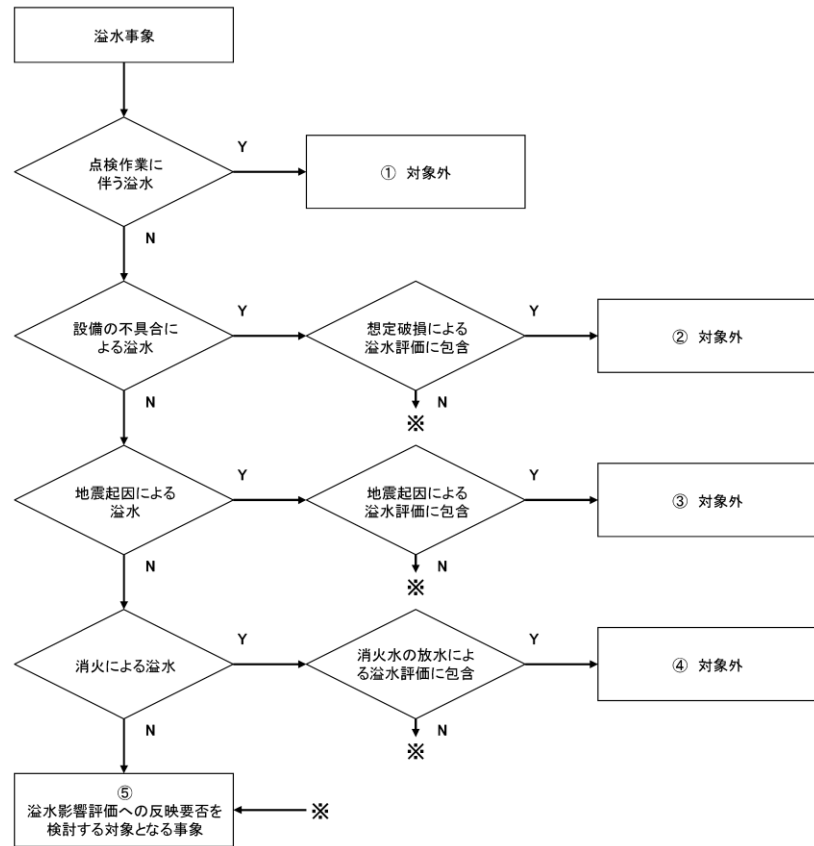
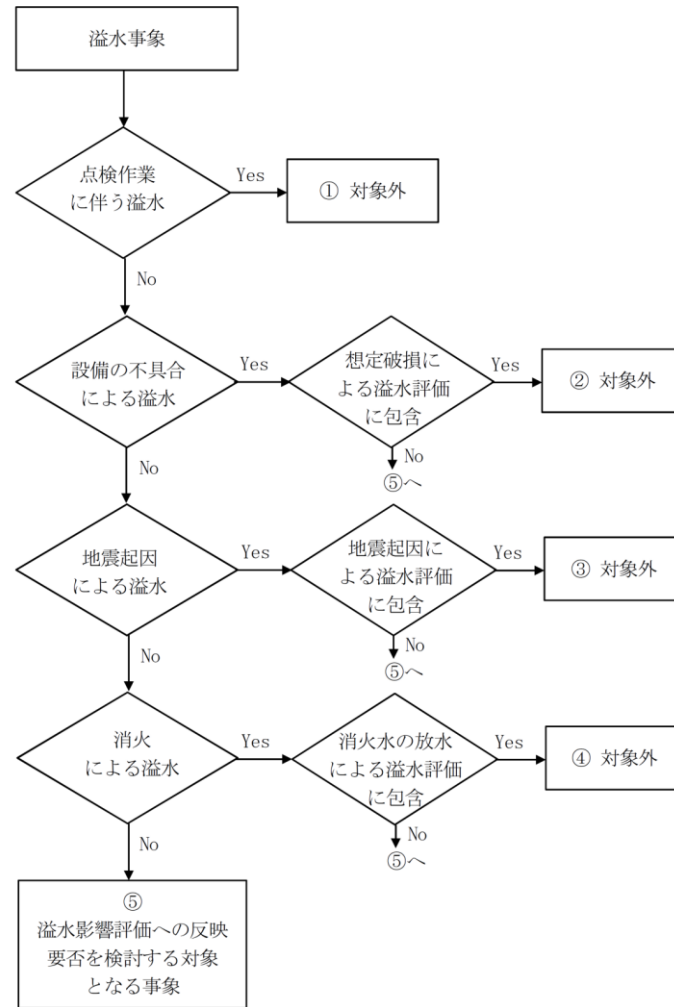


柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p style="text-align: right;">補足説明資料 8</p> <p style="text-align: center;">過去の不具合事例への対応について</p> <p>溢水に係わる過去の不具合事例の抽出を行い、<u>柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉における内部溢水影響評価への反映要否について</u>、検討を実施した。</p> <p>8.1 過去の不具合事例の抽出  <u>内部溢水影響評価に反映が必要となる溢水事象の抽出にあたり、以下を考慮した。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① プラントの配置設計がほぼ同様となる、同じ炉型における不具合事象</li> <li>② 公開情報（原子力施設情報公開ライブラリー「ニューシア」及び各社のホームページ情報）を対象</li> <li>③ キーワード検索（漏れ、溢水、水溜り、スロッシング等）により幅広に抽出</li> <li>④ <u>調査対象期間は平成26年10月6日発生分までとするが、本期間外については他電力会社から個別に提供された情報等については対象に追加する</u></li> </ul> <p>8.2 内部溢水影響評価への反映が必要となる事象の選定  内部溢水影響評価への反映が必要となる事象について、<u>補足第8.2-1図及び補足第8.2-1表に基づき抽出した。抽出した事象に対する、内部溢水影響評価における対応状況を補足第8.2-2表に、過去の不具合事例として抽出した全事象を補足第8.2-3表に示す。</u></p> <p>8.3 過去の不具合事例への対応について  過去の不具合事例を抽出し、内部溢水影響評価への反映要否について検討を実施した結果、いずれの事象についても、既に評価に盛り込まれている、若しくは、必要となる対策を講ずることとなっていることから、<u>評価内容及び評価結果への影響がないことを確認した。</u>  今後も引き続き、自社はもちろんのこと、他社不具合情報を入</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料-23</p> <p style="text-align: center;">過去の不具合事例への対応について</p> <p>1. はじめに  溢水事象に係る過去の不具合事象の抽出を行い、内部溢水影響評価への反映要否について、検討を実施した。</p> <p>2. 過去の不具合事例の抽出  <u>内部溢水影響評価に反映が必要となる溢水事象の抽出にあたり、以下を考慮した。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラントの配置設計がほぼ同様となる、同じ炉型における不具合事象</li> <li>・ 公開情報（原子力施設情報公開ライブラリー「ニューシア」及び各社のホームページ情報）を対象</li> <li>・ キーワード検索（漏れ、溢水、水溜り、スロッシング等）により幅広に抽出</li> </ul> <p>3. 内部溢水影響評価への反映が必要となる事象の選定  内部溢水影響評価への反映要否について、<u>第1図及び第1表に基づき抽出した。抽出した事象に対する、内部溢水影響評価における対応状況を第2表に示す。</u></p> <p>4. 過去の不具合事例への対応について  過去の不具合事例を抽出し、内部溢水影響評価への反映要否について検討を実施した結果、<u>東海第二発電所においては、いずれの事象についても、既に評価に盛り込まれている、若しくは、今後必要となる対策を講ずることから、評価内容及び評価結果への影響がないことを確認した。</u>  今後も引き続き、自社はもちろんのこと、他社不具合情報を入</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料 8</p> <p style="text-align: center;">過去の不具合事例への対応について</p> <p>1. はじめに  溢水事象に係る過去の不具合事象の抽出を行い、内部溢水影響評価への反映要否について、検討を実施した。</p> <p>2. 過去の不具合事例の抽出  <u>過去の不具合事例から溢水事象を以下により抽出した。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラントの配置設計がほぼ同様となる、同じ炉型における不具合事象</li> <li>・ 公開情報（原子力施設情報公開ライブラリー「ニューシア」及び各社のホームページ情報）を対象</li> <li>・ キーワード検索（漏れ、溢水、水溜り、スロッシング等）により幅広に抽出</li> </ul> <p>3. 内部溢水影響評価への反映が必要となる事象の選定  <u>抽出した溢水事象から内部溢水影響評価への反映が必要となる事象を図3-1及び表3-1に基づき選定した。選定した事象に対する内部溢水影響評価における対応状況を表3-2に、過去の不具合事例として抽出した全事象を表3-3に示す。</u></p> <p>4. 過去の不具合事例への対応について  <u>溢水を伴う過去の不具合事例を抽出し、内部溢水影響評価への反映要否について検討を実施した結果、いずれの事象についても、既に評価に盛り込まれている、若しくは、必要となる対策を講ずることから、評価内容及び評価結果への影響がないことを確認した。</u>  今後も引き続き、自社はもちろんのこと、他社不具合情報を入</p>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>入手した場合は、内部溢水影響評価への反映要否を検討した上で、速やかに評価に反映させていくこととする。</p>	<p>入手した場合は、内部溢水影響評価への反映要否を検討した上で、速やかに評価に反映させていくこととする。</p>	<p>入手した場合は、内部溢水影響評価への反映要否を検討した上で、速やかに評価に反映させていくこととする。</p>	



補足第 8.2-1 図 内部溢水影響評価への反映要否判断フロー



第 1 図 内部溢水影響評価への反映要否判断フロー

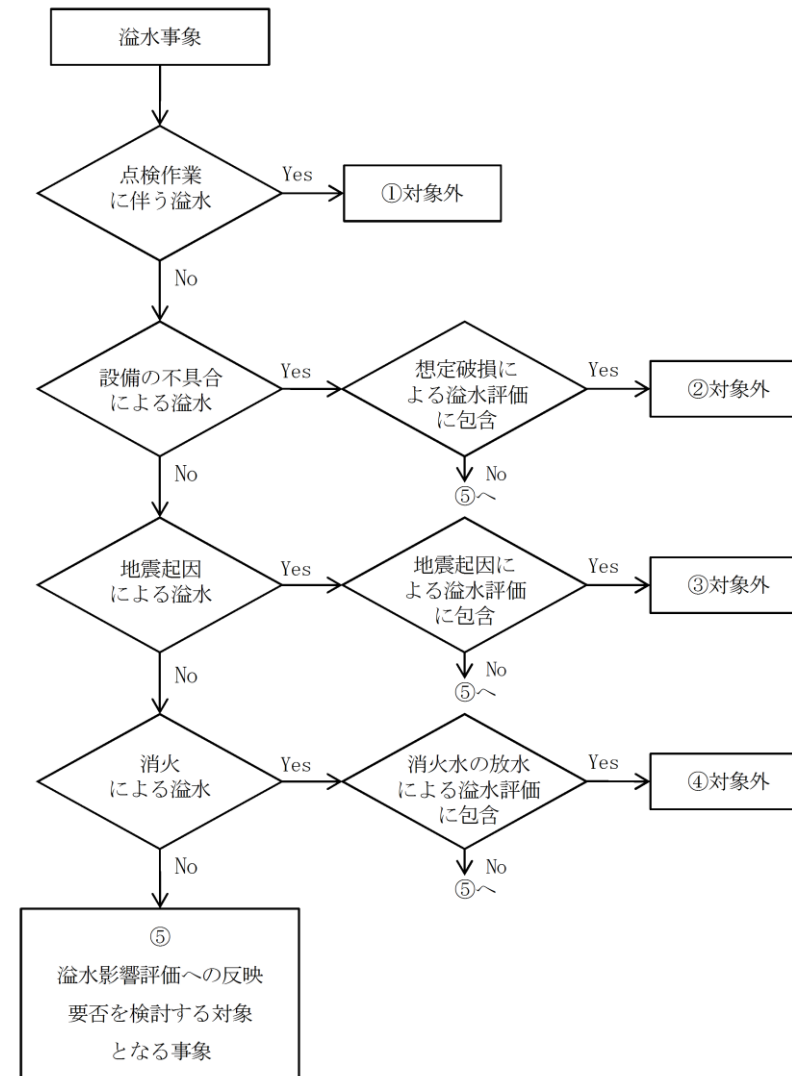


図 3-1 内部溢水影響評価への反映要否判断フロー

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																														
<p>補足第 8.2-1 表 溢水影響評価への反映を不要とする理由</p> <table border="1" data-bbox="160 304 914 1165"> <thead> <tr> <th>各ステップの項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 点検作業に伴う溢水</td> <td>点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>② 設備の不具合による溢水</td> <td>腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。また、建屋内排水系の排水ラインの閉塞による溢水事象については、内部溢水影響評価上、元々ラインの閉塞を想定し、二つ以上の目皿がある場合にのみ排水に期待していること、定期的な通水確認を実施する運用としていることから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。</td> </tr> <tr> <td>③ 地震起因による溢水</td> <td>使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>④ 消火による溢水</td> <td>消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※キーワード検索により抽出されたものの溢水とは異なる事象であった場合は、対象外とした上で補足第 8.2-2 表の分類欄において「-」と記載した</p>	各ステップの項目	理由	① 点検作業に伴う溢水	点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。	② 設備の不具合による溢水	腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。また、建屋内排水系の排水ラインの閉塞による溢水事象については、内部溢水影響評価上、元々ラインの閉塞を想定し、二つ以上の目皿がある場合にのみ排水に期待していること、定期的な通水確認を実施する運用としていることから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。	③ 地震起因による溢水	使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。	④ 消火による溢水	消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。	<p>第 1 表 溢水影響評価への反映を不要とする理由</p> <table border="1" data-bbox="949 304 1703 1255"> <thead> <tr> <th>各ステップの項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①点検作業に伴う溢水</td> <td>点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>②設備の不具合による溢水</td> <td>腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。また、ファンネルからの溢水事象についても、建屋内排水系に期待した評価とはしていないことから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。</td> </tr> <tr> <td>③地震起因による溢水</td> <td>使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>④消火による溢水</td> <td>消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> </tbody> </table>	各ステップの項目	理由	①点検作業に伴う溢水	点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。	②設備の不具合による溢水	腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。また、ファンネルからの溢水事象についても、建屋内排水系に期待した評価とはしていないことから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。	③地震起因による溢水	使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。	④消火による溢水	消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。	<p>表 3-1 溢水影響評価への反映を不要とする理由</p> <table border="1" data-bbox="1739 294 2493 913"> <thead> <tr> <th>各ステップの項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①点検作業に伴う溢水</td> <td>点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>②設備の不具合による溢水</td> <td>腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。</td> </tr> <tr> <td>③地震起因による溢水</td> <td>燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> <tr> <td>④消火による溢水</td> <td>消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。</td> </tr> </tbody> </table>	各ステップの項目	理由	①点検作業に伴う溢水	点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。	②設備の不具合による溢水	腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。	③地震起因による溢水	燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。	④消火による溢水	消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。	
各ステップの項目	理由																																
① 点検作業に伴う溢水	点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。																																
② 設備の不具合による溢水	腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。また、建屋内排水系の排水ラインの閉塞による溢水事象については、内部溢水影響評価上、元々ラインの閉塞を想定し、二つ以上の目皿がある場合にのみ排水に期待していること、定期的な通水確認を実施する運用としていることから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。																																
③ 地震起因による溢水	使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。																																
④ 消火による溢水	消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。																																
各ステップの項目	理由																																
①点検作業に伴う溢水	点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。																																
②設備の不具合による溢水	腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。また、ファンネルからの溢水事象についても、建屋内排水系に期待した評価とはしていないことから、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。																																
③地震起因による溢水	使用済燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。																																
④消火による溢水	消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。																																
各ステップの項目	理由																																
①点検作業に伴う溢水	点検に伴い開放・分解点検を実施している箇所からの内部流体の漏えいについては、作業手順、作業管理、人的過誤等の要因によるものであり、溢水影響評価への影響はないとした。また、運転手順に起因する溢水事象についても、本項目に整理した上で、同様に溢水影響評価への影響はないとした。																																
②設備の不具合による溢水	腐食や浸食等による溢水事象については、設備対策により再発防止を図ることが基本であること、また、想定破損による溢水評価に包含されるものと考えられるため、溢水影響評価への影響はないとした。なお、保守不完全が原因の溢水事象についても本項目で整理した。																																
③地震起因による溢水	燃料プールのスロッシングによる溢水及び耐震性が確保されていない設備の破損による溢水については、地震起因による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。																																
④消火による溢水	消火水の放水による溢水評価に包含されることから、溢水影響評価への影響はないとした。																																

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																														
<p align="center"><b>補足第8.2-2表 過去の不具合事例に対する内部溢水影響評価での対応状況について</b></p> <table border="1"> <tr> <td>件名①</td> <td>復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>1984.10.17 福島第一2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加ったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>柏崎刈羽6号及び7号炉には復水貯蔵タンクは無く(復水貯蔵槽は廃棄物処理建屋内に設置)、同様の事象は起こりえないが、放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象ととらえると、これに対しては本文第11章のような対策を講じており、考慮済である。</td> </tr> </table>	件名①	復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について	事象発生日等	1984.10.17 福島第一2号	事象の概要	2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加ったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。	再発防止対策	(1)復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する。	内部溢水評価への影響	柏崎刈羽6号及び7号炉には復水貯蔵タンクは無く(復水貯蔵槽は廃棄物処理建屋内に設置)、同様の事象は起こりえないが、放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象ととらえると、これに対しては本文第11章のような対策を講じており、考慮済である。	<p align="center"><b>第2表 過去の不具合事象に対する内部溢水影響評価での対応状況について</b></p> <table border="1"> <tr> <td>件名①</td> <td>復水貯蔵タンク遮蔽壁内バルブの不具合について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>1984.10.17 福島第一2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側の遮蔽壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクの遮蔽壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏えいが考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加わったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水が遮蔽壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)復水貯蔵タンク遮蔽壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンク遮蔽壁内に漏えい検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンク遮蔽壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏えい防止対策 復水貯蔵タンク遮蔽壁内の漏えい水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、遮蔽壁内に床漏えい検出器を設置する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4)上記に関する電源系の強化(非常用電源への接続)</td> </tr> </table>	件名①	復水貯蔵タンク遮蔽壁内バルブの不具合について	事象発生日等	1984.10.17 福島第一2号	事象の概要	2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側の遮蔽壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクの遮蔽壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏えいが考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加わったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水が遮蔽壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。	再発防止対策	(1)復水貯蔵タンク遮蔽壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンク遮蔽壁内に漏えい検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンク遮蔽壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏えい防止対策 復水貯蔵タンク遮蔽壁内の漏えい水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、遮蔽壁内に床漏えい検出器を設置する。	内部溢水評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4)上記に関する電源系の強化(非常用電源への接続)	<p align="center"><b>表3-2 過去の不具合事象に対する内部溢水影響評価への影響について</b></p> <table border="1"> <tr> <td>件名①</td> <td>復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>1984.10.17 福島第一2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加ったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建物境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器室出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプ出口弁の「全閉」インターロックの追加 (4)循環水ポンプトリップインターロックの追加 (5)上記に関する電源系の強化(非常用電源への接続)</td> </tr> </table>	件名①	復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について	事象発生日等	1984.10.17 福島第一2号	事象の概要	2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加ったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。	再発防止対策	(1)復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する	内部溢水評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建物境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器室出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプ出口弁の「全閉」インターロックの追加 (4)循環水ポンプトリップインターロックの追加 (5)上記に関する電源系の強化(非常用電源への接続)	
件名①	復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について																																
事象発生日等	1984.10.17 福島第一2号																																
事象の概要	2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加ったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。																																
再発防止対策	(1)復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する。																																
内部溢水評価への影響	柏崎刈羽6号及び7号炉には復水貯蔵タンクは無く(復水貯蔵槽は廃棄物処理建屋内に設置)、同様の事象は起こりえないが、放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象ととらえると、これに対しては本文第11章のような対策を講じており、考慮済である。																																
件名①	復水貯蔵タンク遮蔽壁内バルブの不具合について																																
事象発生日等	1984.10.17 福島第一2号																																
事象の概要	2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側の遮蔽壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクの遮蔽壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏えいが考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加わったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水が遮蔽壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。																																
再発防止対策	(1)復水貯蔵タンク遮蔽壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンク遮蔽壁内に漏えい検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンク遮蔽壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏えい防止対策 復水貯蔵タンク遮蔽壁内の漏えい水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、遮蔽壁内に床漏えい検出器を設置する。																																
内部溢水評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4)上記に関する電源系の強化(非常用電源への接続)																																
件名①	復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合について																																
事象発生日等	1984.10.17 福島第一2号																																
事象の概要	2号機は第7回定期検査中であり、定検終了後起動時の高圧注水系手動起動試験を実施したところ、復水貯蔵タンク外側のしゃへい壁内の高圧注水系戻り弁(V-18-46)付近からの水漏れ音を確認したため、高圧注水系ポンプを停止するとともに、同弁を全閉したところ、水漏れ音は停止した。しかし、同タンクのしゃへい壁下部に雨水口があいていたことから、管理区域外への漏洩が考えられたためサーベイを実施した。高圧注水系テストライン戻り弁のボンネットフランジ部のパッキンがずれた原因は、経年劣化したパッキンに高圧注水系ポンプ起動時の水圧が加ったことによるものと考えられる。また水漏れによる漏水カバーの一部が変形し、外れたため水が流出し、この水がしゃへい壁の雨水口を経て管理区域外へ漏出したものと推定される。																																
再発防止対策	(1)復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブ不具合に伴う対策 a. ポンプ吐出圧による圧力変動がかかる可能性のある弁について、パッキン取替を実施した。 b. パッキン取替対象弁の漏水防止カバーを鋼板製のものに取替えた。 c. 復水貯蔵タンクしゃへい壁内に漏洩検出器を設置した。 d. 復水貯蔵タンクしゃへい壁の雨水口はモルタル、シール剤を充填した。 e. 復水貯蔵タンク廻りの汚染土壌を削土し、ドラム詰処理した。 (2)恒久的漏洩防止対策 復水貯蔵タンクしゃへい壁内の漏洩水をタービン建屋まで導けるようトレンチを設置する。またトレンチ内、しゃへい壁内に床漏洩検出器を設置する																																
内部溢水評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建物境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器室出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプ出口弁の「全閉」インターロックの追加 (4)循環水ポンプトリップインターロックの追加 (5)上記に関する電源系の強化(非常用電源への接続)																																

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																														
<table border="1"> <tr><td>件名②</td><td>タービン建屋地下1階雨水について</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2003.08.15 浜岡3号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。 この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>(1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td></tr> </table>	件名②	タービン建屋地下1階雨水について	事象発生日等	2003.08.15 浜岡3号	事象の概要	3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。 この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。	再発防止対策	(1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)	<table border="1"> <tr><td>件名②</td><td>タービン建屋地下1階雨水について</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2003.8.15 浜岡3号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>(1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td></tr> </table>	件名②	タービン建屋地下1階雨水について	事象発生日等	2003.8.15 浜岡3号	事象の概要	3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。	再発防止対策	(1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<table border="1"> <tr><td>件名②</td><td>タービン建屋地下1階雨水について</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2003.8.15 浜岡3号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。 この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>(1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており内部溢水影響評価において考慮済みである。</td></tr> </table>	件名②	タービン建屋地下1階雨水について	事象発生日等	2003.8.15 浜岡3号	事象の概要	3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。 この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。	再発防止対策	(1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名②	タービン建屋地下1階雨水について																																
事象発生日等	2003.08.15 浜岡3号																																
事象の概要	3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。 この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。																																
再発防止対策	(1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)																																
件名②	タービン建屋地下1階雨水について																																
事象発生日等	2003.8.15 浜岡3号																																
事象の概要	3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。																																
再発防止対策	(1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
件名②	タービン建屋地下1階雨水について																																
事象発生日等	2003.8.15 浜岡3号																																
事象の概要	3号機タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水たまり(約23m×5m×5mm:約600リットル)を発見。 この水は、タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだもの。建屋内に入り込んだ水は収集し処理。また、ダクト内の溜まり水については、排水を実施。																																
再発防止対策	(1)ダクト内に滞留した雨水は、発電所の消防車及びエンジン付排水ポンプにより排水を行い、その後既設排水ポンプの新品取替を行った。作動確認結果:良好 (2)建屋内は手作業にて通路の水たまりの抜取り処置等を実施した。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
<table border="1"> <tr><td>件名③</td><td>サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2004.10.09 浜岡3号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>当該感知器を取り替えることとした。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、サービス建屋については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において隙間部の止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td></tr> </table>	件名③	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)	事象発生日等	2004.10.09 浜岡3号	事象の概要	サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。	再発防止対策	当該感知器を取り替えることとした。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、サービス建屋については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において隙間部の止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)	<table border="1"> <tr><td>件名③</td><td>サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2004.10.9 浜岡3号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>当該感知器を取り替えることとした。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、屋外タンクからの溢水影響評価において、既に考慮済みである。</td></tr> </table>	件名③	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)	事象発生日等	2004.10.9 浜岡3号	事象の概要	サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。	再発防止対策	当該感知器を取り替えることとした。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、屋外タンクからの溢水影響評価において、既に考慮済みである。	<table border="1"> <tr><td>件名③</td><td>サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2004.10.9 浜岡3号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>当該感知器を取り替えることとした。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、屋外タンクからの溢水影響評価において、既に考慮済みである。</td></tr> </table>	件名③	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)	事象発生日等	2004.10.9 浜岡3号	事象の概要	サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。	再発防止対策	当該感知器を取り替えることとした。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、屋外タンクからの溢水影響評価において、既に考慮済みである。	
件名③	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)																																
事象発生日等	2004.10.09 浜岡3号																																
事象の概要	サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。																																
再発防止対策	当該感知器を取り替えることとした。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、サービス建屋については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において隙間部の止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)																																
件名③	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)																																
事象発生日等	2004.10.9 浜岡3号																																
事象の概要	サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。																																
再発防止対策	当該感知器を取り替えることとした。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、屋外タンクからの溢水影響評価において、既に考慮済みである。																																
件名③	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)																																
事象発生日等	2004.10.9 浜岡3号																																
事象の概要	サービス建屋地下1階(放射線管理区域内)において、火災報知器が作動した。直ちに現場の確認を行い、火災ではないことを確認した。火災報知器が作動した原因は、台風22号通過に伴い、サービス建屋出入口(1階)より侵入した雨水が、地下1階の天井に取り付けられている当該感知器に入ったため、作動したものと考えられる。																																
再発防止対策	当該感知器を取り替えることとした。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、屋外タンクからの溢水影響評価において、既に考慮済みである。																																
	<table border="1"> <tr><td>件名④</td><td>【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW サンプ(B)・LPCP(A)～(C)室雨水流入</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2007.7.26 柏崎刈羽1号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td></tr> </table>	件名④	【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW サンプ(B)・LPCP(A)～(C)室雨水流入	事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽1号	事象の概要	タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。	再発防止対策	Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<table border="1"> <tr><td>件名④</td><td>【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW サンプ(B)・LPCP(A)～(C)室雨水流入</td></tr> <tr><td>事象発生日等</td><td>2007.7.26 柏崎刈羽1号</td></tr> <tr><td>事象の概要</td><td>タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。</td></tr> <tr><td>再発防止対策</td><td>Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。</td></tr> <tr><td>内部溢水評価への影響</td><td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td></tr> </table>	件名④	【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW サンプ(B)・LPCP(A)～(C)室雨水流入	事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽1号	事象の概要	タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。	再発防止対策	Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。											
件名④	【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW サンプ(B)・LPCP(A)～(C)室雨水流入																																
事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽1号																																
事象の概要	タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。																																
再発防止対策	Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
件名④	【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW サンプ(B)・LPCP(A)～(C)室雨水流入																																
事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽1号																																
事象の概要	タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。																																
再発防止対策	Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																		
<table border="1"> <tr> <td>件名④</td> <td>【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW 3号機(B)・LPCP(A)～(C) 室雨水流入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.07.26 柏崎刈羽1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、溢水防護区画への逆流の可能性のあるドレン配管には、ファンネル部を逆止機構ファンネルとしており、内部溢水影響評価において考慮済である。</td> </tr> </table>	件名④	【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW 3号機(B)・LPCP(A)～(C) 室雨水流入	事象発生日等	2007.07.26 柏崎刈羽1号	事象の概要	タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。	再発防止対策	Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、溢水防護区画への逆流の可能性のあるドレン配管には、ファンネル部を逆止機構ファンネルとしており、内部溢水影響評価において考慮済である。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑤</td> <td>【中越沖地震】T/BT/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>件名⑥</td> <td>【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修行い止水処理し現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。なお、建屋外壁についても評価を実施しており、地震時のひび割れを考慮した場合でも、建屋内への溢水は生じない。</td> </tr> </table>	件名⑤	【中越沖地震】T/BT/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入	事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽3号	事象の概要	タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。	再発防止対策	電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	件名⑥	【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい	事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽	事象の概要	補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。	再発防止対策	建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修行い止水処理し現状復旧する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。なお、建屋外壁についても評価を実施しており、地震時のひび割れを考慮した場合でも、建屋内への溢水は生じない。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑤</td> <td>【中越沖地震】T/B T/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>件名⑥</td> <td>【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.7.26 柏崎刈羽</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによるコンクリート損傷し建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修行い止水処理し現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。なお、溢水防護区画の境界となる建物外壁については、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない。</td> </tr> </table>	件名⑤	【中越沖地震】T/B T/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入	事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽3号	事象の概要	タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。	再発防止対策	電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	件名⑥	【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい	事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽	事象の概要	補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによるコンクリート損傷し建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。	再発防止対策	建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修行い止水処理し現状復旧する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。なお、溢水防護区画の境界となる建物外壁については、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない。	
件名④	【中越沖地震】T/B B2F T/BHCW 3号機(B)・LPCP(A)～(C) 室雨水流入																																																				
事象発生日等	2007.07.26 柏崎刈羽1号																																																				
事象の概要	タービン建屋B2Fの低圧復水ポンプ室付近に水たまりを確認した。Tトレンチで発生した漏水がタービン建屋に流入したものと推定される。1号タービン建屋～海水熱交換器建屋・補助ボイラ建屋・ランドリー建屋・ランドリー建屋ダクト(Tトレンチ)で発生した漏水が当該トレンチ近傍のファンネルへ大量に流入し、目詰まりを起こしたことにより、このファンネルより設置高の低い高電導度廃液サンプから溢水したものと推定される。																																																				
再発防止対策	Tトレンチのファンネル清掃、Tトレンチの止水処理を実施し、現状復旧する。																																																				
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、溢水防護区画への逆流の可能性のあるドレン配管には、ファンネル部を逆止機構ファンネルとしており、内部溢水影響評価において考慮済である。																																																				
件名⑤	【中越沖地震】T/BT/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入																																																				
事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽3号																																																				
事象の概要	タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。																																																				
再発防止対策	電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。																																																				
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																																				
件名⑥	【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい																																																				
事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽																																																				
事象の概要	補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。																																																				
再発防止対策	建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修行い止水処理し現状復旧する。																																																				
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。なお、建屋外壁についても評価を実施しており、地震時のひび割れを考慮した場合でも、建屋内への溢水は生じない。																																																				
件名⑤	【中越沖地震】T/B T/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入																																																				
事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽3号																																																				
事象の概要	タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。																																																				
再発防止対策	電線管貫通部の止水と漏出化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。																																																				
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																																				
件名⑥	【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい																																																				
事象発生日等	2007.7.26 柏崎刈羽																																																				
事象の概要	補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによるコンクリート損傷し建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入しているものと推定される。																																																				
再発防止対策	建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修行い止水処理し現状復旧する。																																																				
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。なお、溢水防護区画の境界となる建物外壁については、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない。																																																				
<table border="1"> <tr> <td>件名⑤</td> <td>【中越沖地震】T/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.07.26 柏崎刈羽3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>電線管貫通部の止水と地上化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td> </tr> </table>	件名⑤	【中越沖地震】T/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入	事象発生日等	2007.07.26 柏崎刈羽3号	事象の概要	タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。	再発防止対策	電線管貫通部の止水と地上化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)	<table border="1"> <tr> <td>件名⑦</td> <td>海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2008.10.27 柏崎刈羽1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑦	海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について	事象発生日等	2008.10.27 柏崎刈羽1号	事象の概要	定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。	再発防止対策	ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑦</td> <td>海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2008.10.27 柏崎刈羽1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑦	海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について	事象発生日等	2008.10.27 柏崎刈羽1号	事象の概要	定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。	再発防止対策	ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																					
件名⑤	【中越沖地震】T/BB1F(管)南側壁上部5m(ヤードHTr奥ノンセグ室)より雨水流入																																																				
事象発生日等	2007.07.26 柏崎刈羽3号																																																				
事象の概要	タービン建屋地下1階南側通路で、壁面部から水が流入していることを確認した。タービン建屋に隣接したビットに水がたまり電線管貫通部を通過してタービン建屋内に流入したと推定される。																																																				
再発防止対策	電線管貫通部の止水と地上化、所内用変圧器奥ノンセグ室の復旧を実施し、現状復旧する。																																																				
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)																																																				
件名⑦	海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について																																																				
事象発生日等	2008.10.27 柏崎刈羽1号																																																				
事象の概要	定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。																																																				
再発防止対策	ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。																																																				
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																																				
件名⑦	海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について																																																				
事象発生日等	2008.10.27 柏崎刈羽1号																																																				
事象の概要	定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。																																																				
再発防止対策	ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。																																																				
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																																				

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																														
<table border="1"> <tr> <td>件名⑥</td> <td>【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2007.07.26 柏崎刈羽</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修を行い止水処理し現状復旧する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。〔10. 建屋外からの溢水影響評価〕参照 なお、溢水防護区画の境界となる建屋外壁についても評価を実施しており、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない。</td> </tr> </table>	件名⑥	【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい	事象発生日等	2007.07.26 柏崎刈羽	事象の概要	補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入したものと推定される。	再発防止対策	建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修を行い止水処理し現状復旧する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。〔10. 建屋外からの溢水影響評価〕参照 なお、溢水防護区画の境界となる建屋外壁についても評価を実施しており、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑧</td> <td>タービン建屋内への海水の浸入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2009.10.8 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑧	タービン建屋内への海水の浸入	事象発生日等	2009.10.8 浜岡3号	事象の概要	タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。	再発防止対策	海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑨</td> <td>タービン建屋内への海水の浸入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2009.10.8 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑨	タービン建屋内への海水の浸入	事象発生日等	2009.10.8 浜岡3号	事象の概要	タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。	再発防止対策	海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑥	【中越沖地震】Ax/B B1F 北西側壁面亀裂部より雨水漏えい																																
事象発生日等	2007.07.26 柏崎刈羽																																
事象の概要	補助建屋地下1階の壁亀裂部から水の流入を確認した。中越沖地震の影響により、連絡通路が建屋と衝突したことによりコンクリートが損傷し、建屋の壁面に亀裂が生じ、雨水が流入したものと推定される。																																
再発防止対策	建屋外にディープウェル及び建屋内に堰を設置し、壁面はコンクリート補修を行い止水処理し現状復旧する。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。〔10. 建屋外からの溢水影響評価〕参照 なお、溢水防護区画の境界となる建屋外壁についても評価を実施しており、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない。																																
件名⑧	タービン建屋内への海水の浸入																																
事象発生日等	2009.10.8 浜岡3号																																
事象の概要	タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。																																
再発防止対策	海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
件名⑨	タービン建屋内への海水の浸入																																
事象発生日等	2009.10.8 浜岡3号																																
事象の概要	タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。																																
再発防止対策	海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
<table border="1"> <tr> <td>件名⑦</td> <td>海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2008.10.27 柏崎刈羽1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。〔10. 建屋外からの溢水影響評価〕参照</td> </tr> </table>	件名⑦	海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について	事象発生日等	2008.10.27 柏崎刈羽1号	事象の概要	定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。	再発防止対策	ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。〔10. 建屋外からの溢水影響評価〕参照	<table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 女川2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>・当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。(6箇所)なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 ・海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 ・津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑩	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水	事象発生日等	2011.3.11 女川2号	事象の概要	2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。	再発防止対策	・当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。(6箇所)なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 ・海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 ・津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。	内部溢水評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 女川2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。(6箇所)なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 (2)海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 (3)津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水影響評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑩	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水	事象発生日等	2011.3.11 女川2号	事象の概要	2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。	再発防止対策	(1)当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。(6箇所)なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 (2)海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 (3)津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。	内部溢水評価への影響	(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水影響評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑦	海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について																																
事象発生日等	2008.10.27 柏崎刈羽1号																																
事象の概要	定期検査中の1号機において、ケーブル張替え作業を行っていた協力企業作業員が海水熱交換器建屋地下2階熱交換器室(非管理区域)の天井から水が漏れていることを確認した。調査の結果、海水熱交換器建屋外壁に接しているケーブルトレンチ内に溜まった雨水が、建屋壁面の電線貫通部から建屋内に流入し、ケーブルトレイを通じて地下2階熱交換器室に至ったことがわかった。海水熱交換器建屋は放射性物質が存在しないエリアであり、流入した水は雨水のため放射能を含んでいない。																																
再発防止対策	ケーブルトレンチ内に雨水が溜まった原因は、新潟県中越沖地震の影響により陥没したケーブルトレンチの養生が不十分であったためと推定している。海水熱交換器建屋(非管理区域)に流入した雨水は、常設している排水口から排水するとともに、床面の拭き取りを実施した。また、トレンチ内に溜まった雨水は仮設ポンプにより排水した。今後、屋外の陥没部等に雨水が流入しないよう養生の方法を改善する。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。〔10. 建屋外からの溢水影響評価〕参照																																
件名⑩	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水																																
事象発生日等	2011.3.11 女川2号																																
事象の概要	2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。																																
再発防止対策	・当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。(6箇所)なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 ・海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 ・津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。																																
内部溢水評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
件名⑩	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水																																
事象発生日等	2011.3.11 女川2号																																
事象の概要	2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。																																
再発防止対策	(1)当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った。(6箇所)なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 (2)海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 (3)津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。																																
内部溢水評価への影響	(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水影響評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																														
<table border="1"> <tr> <td>件名⑧</td> <td>タービン建屋内への海水の浸入</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2009.10.08 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td> </tr> </table>	件名⑧	タービン建屋内への海水の浸入	事象発生日等	2009.10.08 浜岡3号	事象の概要	タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。	再発防止対策	海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)	<table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 福島第二1,2,3,4号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達目視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑩	【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について	事象発生日等	2011.3.11 福島第二1,2,3,4号	事象の概要	当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達目視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。	再発防止対策	想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。	内部溢水評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 福島第二1, 2, 3, 4号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達目視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑩	【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について	事象発生日等	2011.3.11 福島第二1, 2, 3, 4号	事象の概要	当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達目視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。	再発防止対策	想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。	内部溢水評価への影響	(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑧	タービン建屋内への海水の浸入																																
事象発生日等	2009.10.08 浜岡3号																																
事象の概要	タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリア(放射線管理区域)で、タービン建屋の配管貫通部から水が浸入していることを発見した。現場を確認したところ、タービン建屋地下1階の空調機器冷却海水ポンプエリアの床面に水溜まり(約5m×約50m)があり、この水を分析したところ、放射性物質は含まれておらず、また、海水であることを確認した。配管貫通部外側には、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクトがあり、ダクト内に大量の海水が浸入したため、貫通部を通じてタービン建屋内に浸入したものであった。																																
再発防止対策	海水の浸入があった配管貫通部の点検・補修を行い、配管貫通部に防水効果が期待できる隙間材を追加充填するとともに、貫通部周囲にシール材を塗布し、当該配管貫通部のシール性を向上した。また、放水路とタービン建屋を連絡する配管ダクト内に放水路から海水が浸入しないための恒久的な対策として、当該配管ダクトと放水路の連絡部に閉止板を設置することとした。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)																																
件名⑩	【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について																																
事象発生日等	2011.3.11 福島第二1,2,3,4号																																
事象の概要	当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達目視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。																																
再発防止対策	想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。																																
内部溢水評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
件名⑩	【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について																																
事象発生日等	2011.3.11 福島第二1, 2, 3, 4号																																
事象の概要	当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、同日14時48分、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。しかし、当該地震後の津波(同日15時22分、第一波到達目視確認)により、1号機、2号機及び4号機において、原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし使用不能となった。これにより原子炉の除熱ができなくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象(原子炉除熱機能喪失)と判断した。																																
再発防止対策	想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。																																
内部溢水評価への影響	(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
	<table border="1"> <tr> <td>件名⑪</td> <td>【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口。 (2)ケーブルピット。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑪	【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について	事象発生日等	2011.3.11 東海第二	事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口。 (2)ケーブルピット。	再発防止対策	浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。	内部溢水評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑪</td> <td>【東日本大震災関連】「非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について」</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.18(法令報告事象であると判断した日時) 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口。 (2)ケーブルピット。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑪	【東日本大震災関連】「非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について」	事象発生日等	2011.3.18(法令報告事象であると判断した日時) 東海第二	事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口。 (2)ケーブルピット。	再発防止対策	浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。	内部溢水評価への影響	(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。											
件名⑪	【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について																																
事象発生日等	2011.3.11 東海第二																																
事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口。 (2)ケーブルピット。																																
再発防止対策	浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。																																
内部溢水評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
件名⑪	【東日本大震災関連】「非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプの自動停止について」																																
事象発生日等	2011.3.18(法令報告事象であると判断した日時) 東海第二																																
事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機2C用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレーナエリア間の排水溝用の開口。 (2)ケーブルピット。																																
再発防止対策	浸水経路となった、2箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。																																
内部溢水評価への影響	(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																														
<table border="1"> <tr> <td>件名⑨</td> <td>【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレ補機冷却水系熱交換器室及び海水ポンプ室への浸水</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.03.11 女川2号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面に設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った(6箇所)。なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 (2)海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 (3)津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、海と接続する取水路及び排水路等から、重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明)</td> </tr> </table>	件名⑨	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレ補機冷却水系熱交換器室及び海水ポンプ室への浸水	事象発生日等	2011.03.11 女川2号	事象の概要	2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面に設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。	再発防止対策	(1)当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った(6箇所)。なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 (2)海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 (3)津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、海と接続する取水路及び排水路等から、重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明)	<table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.11 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプルポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れにより、サービス建屋実験室サンプル(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプル水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプルポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプルに流入し続け、当該サンプル内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプルの制御電源喪失で、サンプル水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプルとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>当該ファンネルについては実験室サンプルとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンプルの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンプルポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。 水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4)上記に関する電源の強化(非常用電源への接続) なお、管理区域から非管理区域へ繋がるファンネルは設置されていない。</td> </tr> </table>	件名⑩	【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について	事象発生日等	2011.3.11 東海第二	事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプルポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れにより、サービス建屋実験室サンプル(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプル水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプルポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプルに流入し続け、当該サンプル内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプルの制御電源喪失で、サンプル水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプルとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。	再発防止対策	当該ファンネルについては実験室サンプルとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンプルの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンプルポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。 水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。	内部溢水評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4)上記に関する電源の強化(非常用電源への接続) なお、管理区域から非管理区域へ繋がるファンネルは設置されていない。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑪</td> <td>【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.3.28(法令報告事象であると判断した日時) 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプルポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れにより、サービス建屋実験室サンプル(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプル水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプルポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプルに流入し続け、当該サンプル内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプルの制御電源喪失で、サンプル水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプルとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>当該ファンネルについては実験室サンプルとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンプルの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンプルポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。 水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建物境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器水室出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプ出口弁の「全閉」インターロックの追加 (4)循環水ポンプトリップインターロックの追加 (5)上記に関する電源の強化(非常用電源への接続) なお、管理区域と非管理区域のドレン配管が接続されている箇所では、ドレンファンネル、床目皿の位置を考慮し、高低差により流出のおそれがある箇所には、逆止弁や閉止栓の設置等溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑪	【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について	事象発生日等	2011.3.28(法令報告事象であると判断した日時) 東海第二	事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプルポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れにより、サービス建屋実験室サンプル(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプル水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプルポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプルに流入し続け、当該サンプル内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプルの制御電源喪失で、サンプル水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプルとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。	再発防止対策	当該ファンネルについては実験室サンプルとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンプルの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンプルポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。 水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。	内部溢水評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建物境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器水室出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプ出口弁の「全閉」インターロックの追加 (4)循環水ポンプトリップインターロックの追加 (5)上記に関する電源の強化(非常用電源への接続) なお、管理区域と非管理区域のドレン配管が接続されている箇所では、ドレンファンネル、床目皿の位置を考慮し、高低差により流出のおそれがある箇所には、逆止弁や閉止栓の設置等溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑨	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレ補機冷却水系熱交換器室及び海水ポンプ室への浸水																																
事象発生日等	2011.03.11 女川2号																																
事象の概要	2011.3.11の地震において発生した津波により、原子炉建屋地下3階のRCW熱交換器(A)(B)室およびHPCW熱交換器室に流入し、各室が浸水に至った。浸水の原因は、屋外海水ポンプ室RSWポンプ(B)エリア床面に設置されていた循環水ポンプ自動停止用水位計収納箱上蓋が開き、津波による海水が流入し、ケーブルトレイおよび配管貫通部等の隙間、水密扉、排水系配管から漏れ出し、トレンチを経由して建屋内へ浸水したものと推定される。																																
再発防止対策	(1)当該水位計を取外し、開口部に閉止板を設置し密閉化するとともに、架構による補強を実施し止水処理を行った(6箇所)。なお、当該水位計については、海水による浸水防止を考慮したエリアへ移設した。 (2)海水ポンプ室からトレンチへの配管およびケーブルトレイ貫通部について止水処理を行った。 (3)津波による浸水防止対策である建屋扉の水密性向上や防潮堤、防潮壁の設置を実施する。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、海と接続する取水路及び排水路等から、重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明)																																
件名⑩	【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について																																
事象発生日等	2011.3.11 東海第二																																
事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプルポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れにより、サービス建屋実験室サンプル(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプル水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプルポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプルに流入し続け、当該サンプル内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプルの制御電源喪失で、サンプル水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプルとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。																																
再発防止対策	当該ファンネルについては実験室サンプルとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンプルの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンプルポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。 水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。																																
内部溢水評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建屋境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプのトリップインターロックの追加 (4)上記に関する電源の強化(非常用電源への接続) なお、管理区域から非管理区域へ繋がるファンネルは設置されていない。																																
件名⑪	【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について																																
事象発生日等	2011.3.28(法令報告事象であると判断した日時) 東海第二																																
事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプルポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れにより、サービス建屋実験室サンプル(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプル水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプルポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプルに流入し続け、当該サンプル内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプルの制御電源喪失で、サンプル水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプルとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。																																
再発防止対策	当該ファンネルについては実験室サンプルとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンプルの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンプルポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。 水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。																																
内部溢水評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、以下の対策を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。 1. 建物境界からの伝播に対して、溢水防護措置(水密扉の設置、配管等の貫通部への止水対策等)を実施する。 2. 循環水系配管破損部からの系外放出対策として、 (1)復水器室への漏えい検知器の設置 (2)復水器水室出入口弁の「全閉」インターロックの追加 (3)循環水ポンプ出口弁の「全閉」インターロックの追加 (4)循環水ポンプトリップインターロックの追加 (5)上記に関する電源の強化(非常用電源への接続) なお、管理区域と非管理区域のドレン配管が接続されている箇所では、ドレンファンネル、床目皿の位置を考慮し、高低差により流出のおそれがある箇所には、逆止弁や閉止栓の設置等溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																														
<table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.03.11 福島第二 1,2,3,4号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール（以下、「SFP」という。）の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。 しかし、当該地震後の津波により、1,2,4号機において原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし、使用不能となった。これにより原子炉の除熱が出来なくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象（原子炉除熱機能喪失）と判断した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。（詳細は耐津波設計において説明）</td> </tr> </table>	件名⑩	【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について	事象発生日等	2011.03.11 福島第二 1,2,3,4号	事象の概要	当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール（以下、「SFP」という。）の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。 しかし、当該地震後の津波により、1,2,4号機において原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし、使用不能となった。これにより原子炉の除熱が出来なくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象（原子炉除熱機能喪失）と判断した。	再発防止対策	想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。（詳細は耐津波設計において説明）	<table border="1"> <tr> <td>件名⑬</td> <td>1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.5.27 福島第二1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。 調査した結果、以下のことを確認した。 ・発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していたこと。 ・分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があったこと。 ・作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 ・津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着しました。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>・津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 ・津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 ・津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 ・上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑬	1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について	事象発生日等	2011.5.27 福島第二1号	事象の概要	停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。 調査した結果、以下のことを確認した。 ・発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していたこと。 ・分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があったこと。 ・作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 ・津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着しました。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。	再発防止対策	・津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 ・津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 ・津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 ・上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。	内部溢水評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑬</td> <td>1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.5.27 福島第二1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。 調査した結果、以下のことを確認した。 ・発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定は、5月19日に実施し、健全であることを確認していたこと。 ・分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があったこと。 ・作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 ・津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着した。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 (2)津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 (3)津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 (4)上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑬	1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について	事象発生日等	2011.5.27 福島第二1号	事象の概要	停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。 調査した結果、以下のことを確認した。 ・発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定は、5月19日に実施し、健全であることを確認していたこと。 ・分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があったこと。 ・作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 ・津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着した。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。	再発防止対策	(1)津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 (2)津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 (3)津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 (4)上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。	内部溢水評価への影響	(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑩	【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について																																
事象発生日等	2011.03.11 福島第二 1,2,3,4号																																
事象の概要	当発電所1号機から4号機の全号機は定格熱出力一定運転中のところ、三陸沖を震源とする当該地震により、全号機とも「地震加速度大トリップ」で原子炉が自動停止した。原子炉自動停止直後に全制御棒全挿入及び原子炉の未臨界を確認し、原子炉の冷温停止及び使用済燃料プール（以下、「SFP」という。）の冷却に必要な設備は、健全で安定した状態であることを確認した。 しかし、当該地震後の津波により、1,2,4号機において原子炉の冷温停止及びSFPの冷却に必要な設備が被水するなどし、使用不能となった。これにより原子炉の除熱が出来なくなったことから、同日18時33分に原災法第10条該当事象（原子炉除熱機能喪失）と判断した。																																
再発防止対策	想定を大きく超える津波による浸水により原子炉除熱機能、圧力抑制機能が喪失したことを踏まえ、浸水防止策として、当該地震の際、津波が集中的に遡上した当発電所南側海岸アクセス道路を土嚢及び盛土にて築堤を配備、原子炉建屋内への浸水防止として土嚢及び防潮堤の配備、海水熱交換器建屋内への浸水防止として、扉・ハッチまわりに土嚢を配備、ポンプ廻りに土嚢を配備し、浸水による電源や除熱機能の喪失を防止した。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。（詳細は耐津波設計において説明）																																
件名⑬	1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について																																
事象発生日等	2011.5.27 福島第二1号																																
事象の概要	停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。 調査した結果、以下のことを確認した。 ・発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していたこと。 ・分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があったこと。 ・作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 ・津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着しました。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。																																
再発防止対策	・津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 ・津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 ・津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 ・上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。																																
内部溢水評価への影響	・基準津波に対してはドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 ・溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
件名⑬	1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について																																
事象発生日等	2011.5.27 福島第二1号																																
事象の概要	停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。 調査した結果、以下のことを確認した。 ・発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の絶縁抵抗測定は、5月19日に実施し、健全であることを確認していたこと。 ・分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があったこと。 ・作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかったこと。 ・焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していたこと。 ・津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかったこと。 当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着した。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。																																
再発防止対策	(1)津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。 (2)津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。 (3)津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。 (4)上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。																																
内部溢水評価への影響	(1)基準津波に対しては、ドライサイトとなるよう対策(ハッチの水密化等)を講ずることから、内部溢水評価への影響はない。 (2)溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																														
<table border="1"> <tr> <td>件名⑩</td> <td>【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプの自動停止について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.03.18 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災（震度 6 弱）発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレナーエリア間の排水溝用の開口 (2)ケーブルピット</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>浸水経路となった 2 箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。（詳細は耐津波設計において説明）</td> </tr> </table>	件名⑩	【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプの自動停止について	事象発生日等	2011.03.18 東海第二	事象の概要	東日本大震災（震度 6 弱）発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレナーエリア間の排水溝用の開口 (2)ケーブルピット	再発防止対策	浸水経路となった 2 箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。（詳細は耐津波設計において説明）	<table border="1"> <tr> <td>件名⑭</td> <td>女川原子力発電所 1号機台風 15 号によるタービン建屋への雨水の流入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.9.21 女川 1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>1号機タービン建屋地下 1 階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下 2 階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風 15 号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社 QMS 文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑭	女川原子力発電所 1号機台風 15 号によるタービン建屋への雨水の流入について	事象発生日等	2011.9.21 女川 1号	事象の概要	1号機タービン建屋地下 1 階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下 2 階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風 15 号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。	再発防止対策	(1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社 QMS 文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑭</td> <td>女川原子力発電所 1号機 台風 15 号によるタービン建屋への雨水の流入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.9.21 女川 1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>1号機タービン建屋地下 1 階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下 2 階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風 15 号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社 QMS 文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑭	女川原子力発電所 1号機 台風 15 号によるタービン建屋への雨水の流入について	事象発生日等	2011.9.21 女川 1号	事象の概要	1号機タービン建屋地下 1 階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下 2 階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風 15 号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。	再発防止対策	(1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社 QMS 文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑩	【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプの自動停止について																																
事象発生日等	2011.03.18 東海第二																																
事象の概要	東日本大震災（震度 6 弱）発生に伴い発生した津波により、ポンプエリアが浸水し、非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプが水没、自動停止した。津波対策として、仕切り壁を設置済であったが、以下の浸水経路の止水施工が未であった。 (1)北側ポンプ槽と補機冷却海水系ストレナーエリア間の排水溝用の開口 (2)ケーブルピット																																
再発防止対策	浸水経路となった 2 箇所について、コンクリート打設による閉塞措置を実施した。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。（詳細は耐津波設計において説明）																																
件名⑭	女川原子力発電所 1号機台風 15 号によるタービン建屋への雨水の流入について																																
事象発生日等	2011.9.21 女川 1号																																
事象の概要	1号機タービン建屋地下 1 階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下 2 階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風 15 号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。																																
再発防止対策	(1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社 QMS 文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
件名⑭	女川原子力発電所 1号機 台風 15 号によるタービン建屋への雨水の流入について																																
事象発生日等	2011.9.21 女川 1号																																
事象の概要	1号機タービン建屋地下 1 階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下 2 階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。調査の結果、台風 15 号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。																																
再発防止対策	(1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社 QMS 文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建物間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																														
<table border="1"> <tr> <td>件名⑫</td> <td>【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.03.28 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れとにより、サービス建屋実験室サンプ(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプ水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプに流入し続け、当該サンプ内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプの制御電源喪失で、サンプ水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>当該ファンネルについては実験室サンプとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンプの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンプポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、これに対しては本文第11章のような対策を講じており、考慮済である。</td> </tr> </table>	件名⑫	【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について	事象発生日等	2011.03.28 東海第二	事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れとにより、サービス建屋実験室サンプ(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプ水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプに流入し続け、当該サンプ内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプの制御電源喪失で、サンプ水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。	再発防止対策	当該ファンネルについては実験室サンプとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンプの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンプポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。	内部溢水評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、これに対しては本文第11章のような対策を講じており、考慮済である。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑮</td> <td>柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2013.6.19 柏崎刈羽6,7号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されそいるため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②ではコントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 ・締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑮	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について	事象発生日等	2013.6.19 柏崎刈羽6,7号	事象の概要	定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されそいるため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②ではコントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。	再発防止対策	・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 ・締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑯</td> <td>柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2013.6.19 柏崎刈羽6,7号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。 屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②では、コントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>a. 止水板の取り付け状態の確認 止水板取り付け状態を以下のように確認する。 ・直線部は、止水板本体の変形・ゆがみによる躯体との密着不良がないことを確認する。 ・入隅部は、締着板を取り外し、ボルト及び止水板の孔の位置が適切であることを確認する。 ・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 b. 締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑯	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について	事象発生日等	2013.6.19 柏崎刈羽6,7号	事象の概要	定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。 屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②では、コントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。	再発防止対策	a. 止水板の取り付け状態の確認 止水板取り付け状態を以下のように確認する。 ・直線部は、止水板本体の変形・ゆがみによる躯体との密着不良がないことを確認する。 ・入隅部は、締着板を取り外し、ボルト及び止水板の孔の位置が適切であることを確認する。 ・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 b. 締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑫	【東日本大震災関連】125V蓄電池2B室における溢水について																																
事象発生日等	2011.03.28 東海第二																																
事象の概要	東日本大震災(震度6弱)発生に伴う、外部電源喪失によるサービス建屋実験室サンプポンプの停止と、床ファンネルを閉止していた蓋の外れとにより、サービス建屋実験室サンプ(管理区域)から原子炉建屋バッテリー室(非管理区域)へのサンプ水の流入が発生した。常用系電源の停電により開となった実験室サンプポンプシール水電磁弁から供給された消火水(停電により自動起動した、ディーゼルエンジン駆動消火ポンプにより供給)が当該サンプに流入し続け、当該サンプ内水位が上がった。それに加え、停電による当該サンプの制御電源喪失で、サンプ水位高信号が発信されなかったこと、ファンネルを閉塞していたゴム栓が外れたことで、当該サンプとの僅かな水頭差により、非管理区域側の当該ファンネルへの逆流による溢水が発生した。																																
再発防止対策	当該ファンネルについては実験室サンプとの恒久的な隔離措置として、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 また、当該ファンネルと当該サンプの接続配管につながる複合建屋1階と中1階の他のファンネル8箇所(この内1箇所は当該ファンネル同様に逆流の可能性があった)を含め、鋼板とモルタルを用いた閉止措置を実施した。 なお、サンプポンプシール水電磁弁が停電により開となること、および制御電源の喪失で水位高信号が発信されなくなる点について、改善を検討する。水平展開として、管理区域からのドレンファンネル、ペント・ドレン配管などで、非管理区域において開口を有し、溢水を生じる可能性があるものの抽出と逆流の可能性の有無の確認を実施し、対象となったファンネル14箇所(既に閉止措置済みの1箇所を含む)について閉止措置を実施した。																																
内部溢水評価への影響	放射性物質を内包する液体の管理区域外への漏えい事象であり、これに対しては本文第11章のような対策を講じており、考慮済である。																																
件名⑮	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について																																
事象発生日等	2013.6.19 柏崎刈羽6,7号																																
事象の概要	定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されそいるため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②ではコントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。																																
再発防止対策	・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 ・締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
件名⑯	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について																																
事象発生日等	2013.6.19 柏崎刈羽6,7号																																
事象の概要	定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋中地下2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。 屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②では、コントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。																																
再発防止対策	a. 止水板の取り付け状態の確認 止水板取り付け状態を以下のように確認する。 ・直線部は、止水板本体の変形・ゆがみによる躯体との密着不良がないことを確認する。 ・入隅部は、締着板を取り外し、ボルト及び止水板の孔の位置が適切であることを確認する。 ・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。 ・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。 b. 締め付けトルク値の確認 応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																		
<table border="1"> <tr> <td>件名⑬</td> <td>1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.05.27 福島第二1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。</p> <p>調査した結果、以下のことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であった。</li> <li>焼損した配線用しゃ断器は絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していた。</li> <li>分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があった。</li> <li>作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかった。</li> <li>焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していた。</li> <li>津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかった。</li> </ul> <p>当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着した。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。</li> <li>津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。</li> <li>津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。</li> <li>上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td> <p>溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明)</p> </td> </tr> </table>	件名⑬	1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について	事象発生日等	2011.05.27 福島第二1号	事象の概要	<p>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。</p> <p>調査した結果、以下のことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であった。</li> <li>焼損した配線用しゃ断器は絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していた。</li> <li>分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があった。</li> <li>作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかった。</li> <li>焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していた。</li> <li>津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかった。</li> </ul> <p>当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着した。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</p>	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。</li> <li>津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。</li> <li>津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。</li> <li>上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。</li> </ul>	内部溢水評価への影響	<p>溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明)</p>	<table border="1"> <tr> <td>件名⑯</td> <td>C/B2F 非常用 D/G 発電機燃料デイトンク(B)室軽油漏れ</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014.9.19 女川1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1リットル)および地下3階機非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5リットル))。</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。</li> <li>類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。</li> <li>躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。</li> <li>類似の躯体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td> <p>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、堰内に滞留している流体が滲み出した事象である。</p> <p>内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上階等に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終貯留区画となる躯体については、地震時のひび割れを考慮しても、溢水経路とはならないことを評価している。</p> </td> </tr> <tr> <td>件名⑰</td> <td>タービン建屋への雨水の浸入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014.10.6 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m<sup>3</sup>であることを確認した。</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <p>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。</p> <p>また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。</p> <p>当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</p> </td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td> <p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p> </td> </tr> </table>	件名⑯	C/B2F 非常用 D/G 発電機燃料デイトンク(B)室軽油漏れ	事象発生日等	2014.9.19 女川1号	事象の概要	<p>燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1リットル)および地下3階機非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5リットル))。</p>	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。</li> <li>類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。</li> <li>躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。</li> <li>類似の躯体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。</li> </ul>	内部溢水評価への影響	<p>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、堰内に滞留している流体が滲み出した事象である。</p> <p>内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上階等に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終貯留区画となる躯体については、地震時のひび割れを考慮しても、溢水経路とはならないことを評価している。</p>	件名⑰	タービン建屋への雨水の浸入について	事象発生日等	2014.10.6 浜岡3号	事象の概要	<p>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m<sup>3</sup>であることを確認した。</p>	再発防止対策	<p>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。</p> <p>また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。</p> <p>当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</p>	内部溢水評価への影響	<p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p>	<table border="1"> <tr> <td>件名⑱</td> <td>C/B 2F 非常用 D/G 発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れ</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014.9.19 女川1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1リットル)および地下3階機非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5リットル))。</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。</li> <li>類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。</li> <li>躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。</li> <li>類似の躯体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td> <p>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、堰内に滞留している流体が滲み出した事象である。</p> <p>内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上階に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水影響評価への影響はない)から、微細なひび割れが溢水経路となることはない。</p> </td> </tr> <tr> <td>件名⑲</td> <td>タービン建屋への雨水の浸入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2014.10.6 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td> <p>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m<sup>3</sup>であることを確認した。</p> </td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td> <p>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。</p> <p>また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。</p> <p>当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</p> </td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td> <p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p> </td> </tr> </table>	件名⑱	C/B 2F 非常用 D/G 発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れ	事象発生日等	2014.9.19 女川1号	事象の概要	<p>燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1リットル)および地下3階機非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5リットル))。</p>	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。</li> <li>類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。</li> <li>躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。</li> <li>類似の躯体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。</li> </ul>	内部溢水評価への影響	<p>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、堰内に滞留している流体が滲み出した事象である。</p> <p>内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上階に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水影響評価への影響はない)から、微細なひび割れが溢水経路となることはない。</p>	件名⑲	タービン建屋への雨水の浸入について	事象発生日等	2014.10.6 浜岡3号	事象の概要	<p>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m<sup>3</sup>であることを確認した。</p>	再発防止対策	<p>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。</p> <p>また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。</p> <p>当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</p>	内部溢水評価への影響	<p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p>	
件名⑬	1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室照明用分電盤からの発火について																																																				
事象発生日等	2011.05.27 福島第二1号																																																				
事象の概要	<p>停止中の1号機原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレイ系電源室にある照明用分電盤より発火したことから、協力企業作業員が消火し、当社当直員が消火を確認した。消防署に通報し、その後の消防署の現場確認により鎮火が確認され、建物火災によるぼやと判断された。本事象によるけが人の発生はなく、外部への放射能の影響はなかった。</p> <p>調査した結果、以下のことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発火による損傷の著しい箇所は、照明用分電盤内最下部の配線用しゃ断器(予備)であった。</li> <li>焼損した配線用しゃ断器は絶縁抵抗測定を実施し、健全であることを確認していた。</li> <li>分電盤が設置してある高圧炉心スプレイ系電源室内は、津波による海水の流れ込み(床上5cm程度の浸水)があった。</li> <li>作業当日、同室内は浸水していなかったが、津波により空調機が停止していたため室内湿度が高く、分電盤の設置環境としては良い状態ではなかった。</li> <li>焼損した配線用しゃ断器の近傍にある配線用しゃ断器を分解点検した結果、しゃ断器内部の接触金具に塩分が付着していた。</li> <li>津波後の当該分電盤点検時、盤内部の配線用しゃ断器等の機器を確認していなかった。</li> </ul> <p>当該分電盤の盤内部の確認を行っていなかったため、海水の浸水の影響で当該配線用しゃ断器内への塩分の付着を確認できず、その後、室内で発生した結露水が吸着した。このことから、しゃ断器の絶縁抵抗が低下し、この状態で電源を投入したため漏電・発火に至ったものと推定した。</p>																																																				
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波により浸水した電気品については、原則交換または修理を実施する。</li> <li>津波により浸水したエリアにある電気品を使用する場合は、塩分による汚損がないことを確認する。</li> <li>津波の後に初めて通電する電気品については、設置環境を確認した上で、通電直前に絶縁抵抗を測定し健全性を確認する。</li> <li>上記3項目について、当社監理員および協力企業作業員に周知する。</li> </ul>																																																				
内部溢水評価への影響	<p>溢水経路の設定に係わる事象であるが、耐津波設計において、重要な安全機能を有する設備等を設置する敷地に基準津波による遡上波を地上部から到達、流入させない対策を講じており、また、海と接続する取水路及び排水路等から、同敷地及び重要な安全機能を有する設備等を内包する建屋に海水を流入させない対策を講じているため、内部溢水評価への影響はない。(詳細は耐津波設計において説明)</p>																																																				
件名⑯	C/B2F 非常用 D/G 発電機燃料デイトンク(B)室軽油漏れ																																																				
事象発生日等	2014.9.19 女川1号																																																				
事象の概要	<p>燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1リットル)および地下3階機非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5リットル))。</p>																																																				
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。</li> <li>類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。</li> <li>躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。</li> <li>類似の躯体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。</li> </ul>																																																				
内部溢水評価への影響	<p>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、堰内に滞留している流体が滲み出した事象である。</p> <p>内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上階等に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終貯留区画となる躯体については、地震時のひび割れを考慮しても、溢水経路とはならないことを評価している。</p>																																																				
件名⑰	タービン建屋への雨水の浸入について																																																				
事象発生日等	2014.10.6 浜岡3号																																																				
事象の概要	<p>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m<sup>3</sup>であることを確認した。</p>																																																				
再発防止対策	<p>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。</p> <p>また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。</p> <p>当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</p>																																																				
内部溢水評価への影響	<p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下トレンチ部含む)の境界に対しては、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p>																																																				
件名⑱	C/B 2F 非常用 D/G 発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れ																																																				
事象発生日等	2014.9.19 女川1号																																																				
事象の概要	<p>燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した(1号機制御建屋1階階段室(約0.1リットル)および地下3階機非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油ユニット付近(約0.5リットル))。</p>																																																				
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育実施した。</li> <li>類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。</li> <li>躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。</li> <li>類似の躯体ひび割れ箇所について、今後、補修を実施することとした。</li> </ul>																																																				
内部溢水評価への影響	<p>溢水経路(最終貯留区画)の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は、壁厚が比較的薄い(20cm)場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから、堰内に滞留している流体が滲み出した事象である。</p> <p>内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること(上階に長時間滞留されることはなく、仮に微細なひび割れから滲み出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水影響評価への影響はない)から、微細なひび割れが溢水経路となることはない。</p>																																																				
件名⑲	タービン建屋への雨水の浸入について																																																				
事象発生日等	2014.10.6 浜岡3号																																																				
事象の概要	<p>タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m<sup>3</sup>であることを確認した。</p>																																																				
再発防止対策	<p>屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。</p> <p>また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。</p> <p>当該箇所の対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</p>																																																				
内部溢水評価への影響	<p>溢水経路の設定に係る事象であるが、各建屋間(地下ダクト部含む)の境界に対して、溢水防護措置を講ずることとしており、内部溢水影響評価において考慮済みである。</p>																																																				

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																														
<table border="1"> <tr> <td>件名⑭</td> <td>女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2011.09.21 女川1号</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。 調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>(1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td> </tr> </table>	件名⑭	女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について	事象発生日等	2011.09.21 女川1号	事象の概要	1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。 調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。	再発防止対策	(1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)	<table border="1"> <tr> <td>件名⑮</td> <td>廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う立入制限区域の設定について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2016.6.2 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>廃棄物処理棟地下1階の廃液中和ポンプエリア床面に、天井配管貫通部付近から水の滴下を確認した。さらに、滴下水の階上にある廃棄物処理棟中地下1階のタンクベント処理装置室内にてスラリー状の廃液の漏えいを確認した。 なんらかの原因により界面活性剤(発泡成分)が床ドレン系より濃縮廃液貯蔵タンク内に混入。タンクの攪拌空気流量が一時的に低減していたことから、廃液が均一に攪拌されなくなり、界面活性剤を多く含む廃液がタンク上層部に分離した。 その後、攪拌空気量の復旧によりタンク上層部で泡沫状になり、廃液中の固形分を巻き込んだ泡として成長し、攪拌空気の流れとともにタンクベント冷却器側へ流出した。冷却器内の結露水と共に排出されたスラリー状の廃液はドレンファンネルを閉塞させ、タンクベント処理装置室内へ流出した。たまり水となったその一部が、配管貫通部を通じて階下へ滴下した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>泡立ち原因物質である界面活性剤について、排水を禁止するため管理区域内に持ち込む際の管理方法を定める。加えて、廃液をタンクに受け入れる前に、界面活性剤が混入していないことを確認する手順を定める。タンクレベル計に、発泡を検知できる電極式のレベルスイッチを追設し、発泡による液位上昇を監視する。 配管の詰まりが確認されたタンクベント処理装置室内のドレンファンネルについて、内部の清掃又は配管の取替えを実施。 地下1階への漏えい経路となった配管貫通部のラバーブーツは破れ等が認められたため交換。また、管理区域内の配管貫通部は、今後計画的に健全性を確認し点検計画に反映する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>系統への界面活性剤混入による、評価上想定していない箇所での廃液漏えいと設備の不備による漏えい拡大であることから、溢水経路の設定に係る事象であるが、発生区画及び漏えい量については、想定破損による溢水評価に包含されるため、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑮	廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う立入制限区域の設定について	事象発生日等	2016.6.2 東海第二	事象の概要	廃棄物処理棟地下1階の廃液中和ポンプエリア床面に、天井配管貫通部付近から水の滴下を確認した。さらに、滴下水の階上にある廃棄物処理棟中地下1階のタンクベント処理装置室内にてスラリー状の廃液の漏えいを確認した。 なんらかの原因により界面活性剤(発泡成分)が床ドレン系より濃縮廃液貯蔵タンク内に混入。タンクの攪拌空気流量が一時的に低減していたことから、廃液が均一に攪拌されなくなり、界面活性剤を多く含む廃液がタンク上層部に分離した。 その後、攪拌空気量の復旧によりタンク上層部で泡沫状になり、廃液中の固形分を巻き込んだ泡として成長し、攪拌空気の流れとともにタンクベント冷却器側へ流出した。冷却器内の結露水と共に排出されたスラリー状の廃液はドレンファンネルを閉塞させ、タンクベント処理装置室内へ流出した。たまり水となったその一部が、配管貫通部を通じて階下へ滴下した。	再発防止対策	泡立ち原因物質である界面活性剤について、排水を禁止するため管理区域内に持ち込む際の管理方法を定める。加えて、廃液をタンクに受け入れる前に、界面活性剤が混入していないことを確認する手順を定める。タンクレベル計に、発泡を検知できる電極式のレベルスイッチを追設し、発泡による液位上昇を監視する。 配管の詰まりが確認されたタンクベント処理装置室内のドレンファンネルについて、内部の清掃又は配管の取替えを実施。 地下1階への漏えい経路となった配管貫通部のラバーブーツは破れ等が認められたため交換。また、管理区域内の配管貫通部は、今後計画的に健全性を確認し点検計画に反映する。	内部溢水評価への影響	系統への界面活性剤混入による、評価上想定していない箇所での廃液漏えいと設備の不備による漏えい拡大であることから、溢水経路の設定に係る事象であるが、発生区画及び漏えい量については、想定破損による溢水評価に包含されるため、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<table border="1"> <tr> <td>件名⑯</td> <td>廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う立入制限区域の設定について</td> </tr> <tr> <td>事象発生日等</td> <td>2016.6.2 東海第二</td> </tr> <tr> <td>事象の概要</td> <td>廃棄物処理棟地下1階の廃液中和ポンプエリア床面に、天井配管貫通部付近から水の滴下を確認した。さらに、滴下水の階上にある廃棄物処理棟中地下1階のタンクベント処理装置室内にてスラリー状の廃液の漏えいを確認した。 なんらかの原因により界面活性剤(発泡成分)が床ドレン系より濃縮廃液貯蔵タンク内に混入。タンクの攪拌空気流量が一時的に低減していたことから、廃液が均一に攪拌されなくなり、界面活性剤を多く含む廃液がタンク上層部に分離した。 その後、攪拌空気量の復旧によりタンク上層部で泡沫状になり、廃液中の固形分を巻き込んだ泡として成長し、攪拌空気の流れとともにタンクベント冷却器側へ流出した。冷却器内の結露水と共に排出されたスラリー状の廃液はドレンファンネルを閉塞させ、タンクベント処理装置室内へ流出した。たまり水となったその一部が、配管貫通部を通じて階下へ滴下した。</td> </tr> <tr> <td>再発防止対策</td> <td>泡立ち原因物質である界面活性剤について、排水を禁止するため管理区域内に持ち込む際の管理方法を定める。加えて、廃液をタンクに受け入れる前に、界面活性剤が混入していないことを確認する手順を定める。タンクレベル計に、発泡を検知できる電極式のレベルスイッチを追設し、発泡による液位上昇を監視する。 配管の詰まりが確認されたタンクベント処理装置室内のドレンファンネルについて、内部の清掃又は配管の取替えを実施。 地下1階への漏えい経路となった配管貫通部のラバーブーツは破れ等が認められたため交換。また、管理区域内の配管貫通部は、今後計画的に健全性を確認し点検計画に反映する。</td> </tr> <tr> <td>内部溢水評価への影響</td> <td>系統への界面活性剤混入による、評価上想定していない箇所での廃液漏えいと設備の不備による漏えい拡大であることから、溢水経路の設定に係る事象であるが、発生区画及び漏えい量については、想定破損による溢水評価に包含されるため、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑯	廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う立入制限区域の設定について	事象発生日等	2016.6.2 東海第二	事象の概要	廃棄物処理棟地下1階の廃液中和ポンプエリア床面に、天井配管貫通部付近から水の滴下を確認した。さらに、滴下水の階上にある廃棄物処理棟中地下1階のタンクベント処理装置室内にてスラリー状の廃液の漏えいを確認した。 なんらかの原因により界面活性剤(発泡成分)が床ドレン系より濃縮廃液貯蔵タンク内に混入。タンクの攪拌空気流量が一時的に低減していたことから、廃液が均一に攪拌されなくなり、界面活性剤を多く含む廃液がタンク上層部に分離した。 その後、攪拌空気量の復旧によりタンク上層部で泡沫状になり、廃液中の固形分を巻き込んだ泡として成長し、攪拌空気の流れとともにタンクベント冷却器側へ流出した。冷却器内の結露水と共に排出されたスラリー状の廃液はドレンファンネルを閉塞させ、タンクベント処理装置室内へ流出した。たまり水となったその一部が、配管貫通部を通じて階下へ滴下した。	再発防止対策	泡立ち原因物質である界面活性剤について、排水を禁止するため管理区域内に持ち込む際の管理方法を定める。加えて、廃液をタンクに受け入れる前に、界面活性剤が混入していないことを確認する手順を定める。タンクレベル計に、発泡を検知できる電極式のレベルスイッチを追設し、発泡による液位上昇を監視する。 配管の詰まりが確認されたタンクベント処理装置室内のドレンファンネルについて、内部の清掃又は配管の取替えを実施。 地下1階への漏えい経路となった配管貫通部のラバーブーツは破れ等が認められたため交換。また、管理区域内の配管貫通部は、今後計画的に健全性を確認し点検計画に反映する。	内部溢水評価への影響	系統への界面活性剤混入による、評価上想定していない箇所での廃液漏えいと設備の不備による漏えい拡大であることから、溢水経路の設定に係る事象であるが、発生区画及び漏えい量については、想定破損による溢水評価に包含されるため、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑭	女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン建屋への雨水の流入について																																
事象発生日等	2011.09.21 女川1号																																
事象の概要	1号機タービン建屋地下1階に雨水が流入していることを確認し、その後タービン建屋地下2階および配管スペースにも雨水が流入していることを確認した。 調査の結果、台風15号による雨水がタービン建屋に接続されているトレンチの開口部、建屋貫通部等を通じてタービン建屋に流入していることを確認した。また、一部のトレンチにおいて、作業により開口部の蓋を取り外している状況だった。																																
再発防止対策	(1)ハッチ開口から浸水した場合であっても、建屋および非常用電源盤などの安全上重要な機器への浸水がし難いよう、遮水壁を設置するなどの対策を実施した。 (2)トレンチのハッチ、マンホールなどの開口部、配管、電線管、ケーブルトレイ貫通部について、シール性向上対策を実施した。 (3)類似事象を防止するため、トレンチ等のハッチカバー開放の際に大雨等が懸念される場合は、事前に浸水防止対策を講じる旨、当社QMS文書へ反映すると共に、請負者へ周知した。																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係わる事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)																																
件名⑮	廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う立入制限区域の設定について																																
事象発生日等	2016.6.2 東海第二																																
事象の概要	廃棄物処理棟地下1階の廃液中和ポンプエリア床面に、天井配管貫通部付近から水の滴下を確認した。さらに、滴下水の階上にある廃棄物処理棟中地下1階のタンクベント処理装置室内にてスラリー状の廃液の漏えいを確認した。 なんらかの原因により界面活性剤(発泡成分)が床ドレン系より濃縮廃液貯蔵タンク内に混入。タンクの攪拌空気流量が一時的に低減していたことから、廃液が均一に攪拌されなくなり、界面活性剤を多く含む廃液がタンク上層部に分離した。 その後、攪拌空気量の復旧によりタンク上層部で泡沫状になり、廃液中の固形分を巻き込んだ泡として成長し、攪拌空気の流れとともにタンクベント冷却器側へ流出した。冷却器内の結露水と共に排出されたスラリー状の廃液はドレンファンネルを閉塞させ、タンクベント処理装置室内へ流出した。たまり水となったその一部が、配管貫通部を通じて階下へ滴下した。																																
再発防止対策	泡立ち原因物質である界面活性剤について、排水を禁止するため管理区域内に持ち込む際の管理方法を定める。加えて、廃液をタンクに受け入れる前に、界面活性剤が混入していないことを確認する手順を定める。タンクレベル計に、発泡を検知できる電極式のレベルスイッチを追設し、発泡による液位上昇を監視する。 配管の詰まりが確認されたタンクベント処理装置室内のドレンファンネルについて、内部の清掃又は配管の取替えを実施。 地下1階への漏えい経路となった配管貫通部のラバーブーツは破れ等が認められたため交換。また、管理区域内の配管貫通部は、今後計画的に健全性を確認し点検計画に反映する。																																
内部溢水評価への影響	系統への界面活性剤混入による、評価上想定していない箇所での廃液漏えいと設備の不備による漏えい拡大であることから、溢水経路の設定に係る事象であるが、発生区画及び漏えい量については、想定破損による溢水評価に包含されるため、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
件名⑯	廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う立入制限区域の設定について																																
事象発生日等	2016.6.2 東海第二																																
事象の概要	廃棄物処理棟地下1階の廃液中和ポンプエリア床面に、天井配管貫通部付近から水の滴下を確認した。さらに、滴下水の階上にある廃棄物処理棟中地下1階のタンクベント処理装置室内にてスラリー状の廃液の漏えいを確認した。 なんらかの原因により界面活性剤(発泡成分)が床ドレン系より濃縮廃液貯蔵タンク内に混入。タンクの攪拌空気流量が一時的に低減していたことから、廃液が均一に攪拌されなくなり、界面活性剤を多く含む廃液がタンク上層部に分離した。 その後、攪拌空気量の復旧によりタンク上層部で泡沫状になり、廃液中の固形分を巻き込んだ泡として成長し、攪拌空気の流れとともにタンクベント冷却器側へ流出した。冷却器内の結露水と共に排出されたスラリー状の廃液はドレンファンネルを閉塞させ、タンクベント処理装置室内へ流出した。たまり水となったその一部が、配管貫通部を通じて階下へ滴下した。																																
再発防止対策	泡立ち原因物質である界面活性剤について、排水を禁止するため管理区域内に持ち込む際の管理方法を定める。加えて、廃液をタンクに受け入れる前に、界面活性剤が混入していないことを確認する手順を定める。タンクレベル計に、発泡を検知できる電極式のレベルスイッチを追設し、発泡による液位上昇を監視する。 配管の詰まりが確認されたタンクベント処理装置室内のドレンファンネルについて、内部の清掃又は配管の取替えを実施。 地下1階への漏えい経路となった配管貫通部のラバーブーツは破れ等が認められたため交換。また、管理区域内の配管貫通部は、今後計画的に健全性を確認し点検計画に反映する。																																
内部溢水評価への影響	系統への界面活性剤混入による、評価上想定していない箇所での廃液漏えいと設備の不備による漏えい拡大であることから、溢水経路の設定に係る事象であるが、発生区画及び漏えい量については、想定破損による溢水評価に包含されるため、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																														
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="163 352 302 415">件名⑮</td> <td data-bbox="302 352 911 415">柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 415 302 457">事象発生日等</td> <td data-bbox="302 415 911 457">2013.06.19 柏崎刈羽6,7号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 457 302 1245">事象の概要</td> <td data-bbox="302 457 911 1245"> <p>定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋地下中2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)</p> <p>上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。</p> <p>平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②では、コントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 1245 302 1717">再発防止対策</td> <td data-bbox="302 1245 911 1717"> <p>a. 止水板の取り付け状態の確認</p> <p>止水板取り付け状態を以下のように確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直線部は、止水板本体の変形・ゆがみによる躯体との密着不良がないことを確認する。</li> <li>・入隅部は、締着板を取り外し、ボルト及び止水板の孔の位置が適切であることを確認する。</li> <li>・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。</li> <li>・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。</li> </ul> <p>b. 締め付けトルク値の確認</p> <p>応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。</p> <p>締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。</p> <p>また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="163 1717 302 1858">内部溢水評価への影響</td> <td data-bbox="302 1717 911 1858">溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)</td> </tr> </table>	件名⑮	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について	事象発生日等	2013.06.19 柏崎刈羽6,7号	事象の概要	<p>定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋地下中2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)</p> <p>上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。</p> <p>平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②では、コントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。</p>	再発防止対策	<p>a. 止水板の取り付け状態の確認</p> <p>止水板取り付け状態を以下のように確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直線部は、止水板本体の変形・ゆがみによる躯体との密着不良がないことを確認する。</li> <li>・入隅部は、締着板を取り外し、ボルト及び止水板の孔の位置が適切であることを確認する。</li> <li>・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。</li> <li>・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。</li> </ul> <p>b. 締め付けトルク値の確認</p> <p>応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。</p> <p>締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。</p> <p>また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。</p>	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="952 352 1092 415">件名⑲</td> <td data-bbox="1092 352 1679 415">原子炉建屋内への雨水流入について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="952 415 1092 457">事象発生日等</td> <td data-bbox="1092 415 1679 457">2016.9.28 志賀2号機</td> </tr> <tr> <td data-bbox="952 457 1092 898">事象の概要</td> <td data-bbox="1092 457 1679 898"> <p>原子炉建屋内(非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕)に約6.6m<sup>3</sup>の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。</p> <p>構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビット上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビット内へ流入。ビットからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内(非管理区域)に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階(管理区域含む)へも流入した。</p> <p>原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品(C)室で約6.5m<sup>3</sup>、下層階(管理区域内及び非管理区域内合計)で約86リットルであった。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="952 898 1092 1024">再発防止対策</td> <td data-bbox="1092 898 1679 1024"> <p>①道路が冠水しないよう仮設の雨水排水ポンプを追加した。</p> <p>②ビットと上蓋の隙間を土のうで閉止した。</p> <p>大雨警報発令時、定期的にビット内への水の流入状況を確認するよう監視を強化した。</p> <p>③当該貫通部の水密化を実施する。(類似箇所の水密化も順次実施)</p> <p>原子炉建屋への浸水防止は、津波対策として標高15.3m以下にある貫通部の水密化を優先して実施。今回のトレンチは敷地が高い標高21mの地下にあったため検討中であった。</p> <p>④当該エリア床のひび割れを補修した。他のエリアも順次補修する。</p> <p>⑤警報発生時には、速やかにトレンチ内の状況を確認することの徹底を周知。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="952 1024 1092 1234">内部溢水評価への影響</td> <td data-bbox="1092 1024 1679 1234">溢水経路の設定に係る事象であるが、同様な雨水による建屋内部への水の浸入については、建屋外壁境界の貫通部(地表面上、地表面以下)に対し、溢水防護措置を講ずることとしており、雨水が区画内へ浸水することはない。敷地内の高いエリアからの経路についても同様であることから、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑲	原子炉建屋内への雨水流入について	事象発生日等	2016.9.28 志賀2号機	事象の概要	<p>原子炉建屋内(非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕)に約6.6m<sup>3</sup>の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。</p> <p>構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビット上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビット内へ流入。ビットからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内(非管理区域)に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階(管理区域含む)へも流入した。</p> <p>原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品(C)室で約6.5m<sup>3</sup>、下層階(管理区域内及び非管理区域内合計)で約86リットルであった。</p>	再発防止対策	<p>①道路が冠水しないよう仮設の雨水排水ポンプを追加した。</p> <p>②ビットと上蓋の隙間を土のうで閉止した。</p> <p>大雨警報発令時、定期的にビット内への水の流入状況を確認するよう監視を強化した。</p> <p>③当該貫通部の水密化を実施する。(類似箇所の水密化も順次実施)</p> <p>原子炉建屋への浸水防止は、津波対策として標高15.3m以下にある貫通部の水密化を優先して実施。今回のトレンチは敷地が高い標高21mの地下にあったため検討中であった。</p> <p>④当該エリア床のひび割れを補修した。他のエリアも順次補修する。</p> <p>⑤警報発生時には、速やかにトレンチ内の状況を確認することの徹底を周知。</p>	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、同様な雨水による建屋内部への水の浸入については、建屋外壁境界の貫通部(地表面上、地表面以下)に対し、溢水防護措置を講ずることとしており、雨水が区画内へ浸水することはない。敷地内の高いエリアからの経路についても同様であることから、内部溢水影響評価において考慮済みである。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1771 352 1911 415">件名⑳</td> <td data-bbox="1911 352 2481 415">原子炉建屋内への雨水流入について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 415 1911 457">事象発生日等</td> <td data-bbox="1911 415 2481 457">2016.9.28 志賀2号機</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 457 1911 762">事象の概要</td> <td data-bbox="1911 457 2481 762"> <p>原子炉建屋内(非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕)に約6.6m<sup>3</sup>の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。</p> <p>構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビット上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビット内へ流入。ビットからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内(非管理区域)に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階(管理区域含む)へも流入した。</p> <p>原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品(C)室で約6.5m<sup>3</sup>、下層階(管理区域内及び非管理区域内合計)で約86リットルであった。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 762 1911 1077">再発防止対策</td> <td data-bbox="1911 762 2481 1077"> <p>①道路が冠水しないよう仮設の雨水排水ポンプを追加した。</p> <p>②ビットと上蓋の隙間を土のうで閉止した。</p> <p>大雨警報発令時、定期的にビット内への水の流入状況を確認するよう監視を強化した。</p> <p>③当該貫通部の水密化を実施する。(類似箇所の水密化も順次実施)</p> <p>原子炉建屋への浸水防止は、津波対策として標高15.3m以下にある貫通部の水密化を優先して実施。今回のトレンチは敷地が高い標高21mの地下にあったため検討中であった。</p> <p>④当該エリア床のひび割れを補修した。他のエリアも順次補修する。</p> <p>⑤警報発生時には、速やかにトレンチ内の状況を確認することの徹底を周知。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1077 1911 1234">内部溢水評価への影響</td> <td data-bbox="1911 1077 2481 1234">溢水経路の設定に係る事象であるが、同様な雨水による建物内部への水の浸入については、建物外壁境界の貫通部(地表面上、地表面以下)又はダクトに対し、溢水防護措置を講ずることとしており、雨水が浸水することはない。敷地内の高いエリアからの経路についても同様であることから、内部溢水影響評価において考慮済みである。</td> </tr> </table>	件名⑳	原子炉建屋内への雨水流入について	事象発生日等	2016.9.28 志賀2号機	事象の概要	<p>原子炉建屋内(非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕)に約6.6m<sup>3</sup>の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。</p> <p>構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビット上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビット内へ流入。ビットからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内(非管理区域)に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階(管理区域含む)へも流入した。</p> <p>原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品(C)室で約6.5m<sup>3</sup>、下層階(管理区域内及び非管理区域内合計)で約86リットルであった。</p>	再発防止対策	<p>①道路が冠水しないよう仮設の雨水排水ポンプを追加した。</p> <p>②ビットと上蓋の隙間を土のうで閉止した。</p> <p>大雨警報発令時、定期的にビット内への水の流入状況を確認するよう監視を強化した。</p> <p>③当該貫通部の水密化を実施する。(類似箇所の水密化も順次実施)</p> <p>原子炉建屋への浸水防止は、津波対策として標高15.3m以下にある貫通部の水密化を優先して実施。今回のトレンチは敷地が高い標高21mの地下にあったため検討中であった。</p> <p>④当該エリア床のひび割れを補修した。他のエリアも順次補修する。</p> <p>⑤警報発生時には、速やかにトレンチ内の状況を確認することの徹底を周知。</p>	内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、同様な雨水による建物内部への水の浸入については、建物外壁境界の貫通部(地表面上、地表面以下)又はダクトに対し、溢水防護措置を講ずることとしており、雨水が浸水することはない。敷地内の高いエリアからの経路についても同様であることから、内部溢水影響評価において考慮済みである。	
件名⑮	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について																																
事象発生日等	2013.06.19 柏崎刈羽6,7号																																
事象の概要	<p>定期検査中の6号機において、協力企業作業員からタービン建屋地下2階配管トレンチ室(管理区域)に水溜まりを発見したとの連絡を受けた。当社運転員が現場を確認したところ、当該箇所の水溜まりを確認するとともに上階のタービン建屋地下中2階配管トレンチ室(管理区域)において約800リットルの水溜まりを発見した。(以下、「事象①」と記す。)</p> <p>上記事象①の水平展開として当社運転員が現場確認を実施したところ、定期検査中の7号機タービン建屋地下2階(管理区域)において、約350リットルの水溜まりを確認した。(以下、「事象②」と記す。)発見した水溜まりは測定の結果、放射性物質を含んでおらず、雨水と推定した。</p> <p>平成25年6月19日に実施した屋外調査の結果、6号機原子炉建屋とコントロール建屋の間にあるトランスヤード周辺に水溜まりが生じていることを確認した。事象発生当時は屋外排水設備工事に伴い排水路を切断していたため仮設ポンプによる排水を行っていたが、夜間は仮設ポンプを停止する運用としていたことから、前日の降雨が排水されずトランスヤード周辺に水溜まりが生じたものと思われる。当該トランスヤードは人造岩盤(以下、「MMR」と記す。)で埋め戻されているため、地表面に溜まった雨水は土中に浸透しにくいことから、建屋とMMRの間の隙間に流入し、エキスパンションジョイント止水板(以下、「止水板」と記す。)内側へ流入したものと考えられる。事象①では、壁立ち上りの入隅部においてコンクリート躯体と止水板の密着不良箇所が確認され、この密着不良箇所から雨水が流入していることを確認した。また、事象②では、コントロール建屋と廃棄物処理建屋の間に設置している止水板を介して事象①の止水板と繋がっていることから、トランスヤード周辺に溜まった雨水が事象①の止水板とコントロール建屋と廃棄物処理建屋の止水板を経由して事象②の止水板に雨水が流入したものと考えられる。</p>																																
再発防止対策	<p>a. 止水板の取り付け状態の確認</p> <p>止水板取り付け状態を以下のように確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直線部は、止水板本体の変形・ゆがみによる躯体との密着不良がないことを確認する。</li> <li>・入隅部は、締着板を取り外し、ボルト及び止水板の孔の位置が適切であることを確認する。</li> <li>・更に隙間ゲージ(0.05mm)を用いて止水板と躯体が密着していることを確認する。</li> <li>・なお、上記作業にあたっては、当社監理員が立ち会いにより確認する。</li> </ul> <p>b. 締め付けトルク値の確認</p> <p>応力緩和試験により得られた知見と津波影響を考慮し、締め付けトルク値を確認し、新たに200N・mで増し締めを行う。</p> <p>締め付けトルク値の確認については、全てのボルトに対し計測記録を作成し、抜き取りにより当社監理員が確認する。</p> <p>また、締め付け忘れ防止のため、締め付けは返し締めを行うこととし、再締め付け後ナットにマーキングを実施する。</p>																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については溢水経路として設定し、溢水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部溢水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの溢水影響評価」参照)																																
件名⑲	原子炉建屋内への雨水流入について																																
事象発生日等	2016.9.28 志賀2号機																																
事象の概要	<p>原子炉建屋内(非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕)に約6.6m<sup>3</sup>の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。</p> <p>構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビット上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビット内へ流入。ビットからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内(非管理区域)に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階(管理区域含む)へも流入した。</p> <p>原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品(C)室で約6.5m<sup>3</sup>、下層階(管理区域内及び非管理区域内合計)で約86リットルであった。</p>																																
再発防止対策	<p>①道路が冠水しないよう仮設の雨水排水ポンプを追加した。</p> <p>②ビットと上蓋の隙間を土のうで閉止した。</p> <p>大雨警報発令時、定期的にビット内への水の流入状況を確認するよう監視を強化した。</p> <p>③当該貫通部の水密化を実施する。(類似箇所の水密化も順次実施)</p> <p>原子炉建屋への浸水防止は、津波対策として標高15.3m以下にある貫通部の水密化を優先して実施。今回のトレンチは敷地が高い標高21mの地下にあったため検討中であった。</p> <p>④当該エリア床のひび割れを補修した。他のエリアも順次補修する。</p> <p>⑤警報発生時には、速やかにトレンチ内の状況を確認することの徹底を周知。</p>																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、同様な雨水による建屋内部への水の浸入については、建屋外壁境界の貫通部(地表面上、地表面以下)に対し、溢水防護措置を講ずることとしており、雨水が区画内へ浸水することはない。敷地内の高いエリアからの経路についても同様であることから、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																
件名⑳	原子炉建屋内への雨水流入について																																
事象発生日等	2016.9.28 志賀2号機																																
事象の概要	<p>原子炉建屋内(非常用電気品室をはじめとした複数エリア〔管理区域含む〕)に約6.6m<sup>3</sup>の雨水が流入した。常用・非常用照明分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響はなかった。</p> <p>構内の排水路の付け替え工事に伴い、仮設の排水ポンプを設置していたが、当日未明からの大雨により排水能力を上回る降雨があり、構内道路の一部エリアが冠水した。冠水エリアのビット上蓋の仮設ケーブルを引き込むための隙間から大量の雨水がビット内へ流入。ビットからハンドホールを経由したトレンチへの雨水流入が継続したため、トレンチ内の水位が上昇し、ケーブルトレイの原子炉建屋貫通部から原子炉建屋内(非管理区域)に流入した。建屋内に流入した雨水の一部は、床の微小なひび割れを通じ、下の階(管理区域含む)へも流入した。</p> <p>原子炉建屋内に流入した水の量は、非常用電気品(C)室で約6.5m<sup>3</sup>、下層階(管理区域内及び非管理区域内合計)で約86リットルであった。</p>																																
再発防止対策	<p>①道路が冠水しないよう仮設の雨水排水ポンプを追加した。</p> <p>②ビットと上蓋の隙間を土のうで閉止した。</p> <p>大雨警報発令時、定期的にビット内への水の流入状況を確認するよう監視を強化した。</p> <p>③当該貫通部の水密化を実施する。(類似箇所の水密化も順次実施)</p> <p>原子炉建屋への浸水防止は、津波対策として標高15.3m以下にある貫通部の水密化を優先して実施。今回のトレンチは敷地が高い標高21mの地下にあったため検討中であった。</p> <p>④当該エリア床のひび割れを補修した。他のエリアも順次補修する。</p> <p>⑤警報発生時には、速やかにトレンチ内の状況を確認することの徹底を周知。</p>																																
内部溢水評価への影響	溢水経路の設定に係る事象であるが、同様な雨水による建物内部への水の浸入については、建物外壁境界の貫通部(地表面上、地表面以下)又はダクトに対し、溢水防護措置を講ずることとしており、雨水が浸水することはない。敷地内の高いエリアからの経路についても同様であることから、内部溢水影響評価において考慮済みである。																																



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="157 619 296 646">件名⑥</td> <td data-bbox="296 619 914 646">C/B 2F 非常用 D/G 発電機 燃料デイトンク (B) 室軽油漏れ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="157 646 296 674">事象発生日等</td> <td data-bbox="296 646 914 674">2014. 09. 19 女川 1 号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="157 674 296 793">事象の概要</td> <td data-bbox="296 674 914 793">燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した (1号機制御建屋1階階段室 (約0.1リットル) および地下3階機非常用ディーゼル発電設備 (B) 潤滑油ユニット付近 (約0.5リットル))。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="157 793 296 968">再発防止対策</td> <td data-bbox="296 793 914 968"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育を実施した。</li> <li>・類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。</li> <li>・躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。</li> <li>・類似の躯体ひび割れ個所について、今後、補修を実施することとした。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="157 968 296 1255">内部溢水評価への影響</td> <td data-bbox="296 968 914 1255"> <p>溢水経路 (最終滞留区画) の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は壁厚が比較的薄い (20cm) 場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから堰内に滞留している流体がしみ出した事象である。内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること (上階等に長時間滞留することはなく、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終滞留区画となる躯体については、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、溢水経路とはならないことを評価している。</p> </td> </tr> </table>	件名⑥	C/B 2F 非常用 D/G 発電機 燃料デイトンク (B) 室軽油漏れ	事象発生日等	2014. 09. 19 女川 1 号	事象の概要	燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した (1号機制御建屋1階階段室 (約0.1リットル) および地下3階機非常用ディーゼル発電設備 (B) 潤滑油ユニット付近 (約0.5リットル))。	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育を実施した。</li> <li>・類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。</li> <li>・躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。</li> <li>・類似の躯体ひび割れ個所について、今後、補修を実施することとした。</li> </ul>	内部溢水評価への影響	<p>溢水経路 (最終滞留区画) の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は壁厚が比較的薄い (20cm) 場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから堰内に滞留している流体がしみ出した事象である。内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること (上階等に長時間滞留することはなく、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終滞留区画となる躯体については、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、溢水経路とはならないことを評価している。</p>			
件名⑥	C/B 2F 非常用 D/G 発電機 燃料デイトンク (B) 室軽油漏れ												
事象発生日等	2014. 09. 19 女川 1 号												
事象の概要	燃料移送ポンプ試運転実施中のところ、本来自動停止すべきデイトンク液位にて停止せず、オーバーフローした油が躯体のひびより、他区画に伝播した (1号機制御建屋1階階段室 (約0.1リットル) および地下3階機非常用ディーゼル発電設備 (B) 潤滑油ユニット付近 (約0.5リットル))。												
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・油面計が固着しないよう、分解点検要領を見直し、関係者へ周知、教育を実施した。</li> <li>・類似計器についても同様の動作不良がないか、確認試験を実施する。</li> <li>・躯体のひび割れを補修した後、水張りによる漏えい確認により、漏えいがないことを確認した。</li> <li>・類似の躯体ひび割れ個所について、今後、補修を実施することとした。</li> </ul>												
内部溢水評価への影響	<p>溢水経路 (最終滞留区画) の設定に関する事象である。</p> <p>本事象は壁厚が比較的薄い (20cm) 場所において、壁内を貫通した微細なひび割れから堰内に滞留している流体がしみ出した事象である。内部溢水評価では、上階で発生した溢水については、最地下階に導き滞留することとしていること (上階等に長時間滞留することはなく、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、内部溢水評価への影響はない)、また、最終滞留区画となる躯体については、地震時に微細なひび割れが発生することは否定できないものの、仮に微細なひび割れからしみ出る場合を考慮しても、その量は僅かであり、溢水経路とはならないことを評価している。</p>												

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="157 804 296 835">件名⑩</td> <td data-bbox="296 804 917 835">タービン建屋への雨水の浸入について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="157 835 296 867">事象発生日等</td> <td data-bbox="296 835 917 867">2014. 10. 06 浜岡3号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="157 867 296 982">事象の概要</td> <td data-bbox="296 867 917 982">タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m<sup>3</sup>であることを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="157 982 296 1182">再発防止対策</td> <td data-bbox="296 982 917 1182">屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。 また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。当該箇所対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="157 1182 296 1297">内部漏水評価への影響</td> <td data-bbox="296 1182 917 1297">漏水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については漏水経路として設定し、漏水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部漏水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの漏水影響評価」参照)</td> </tr> </table>	件名⑩	タービン建屋への雨水の浸入について	事象発生日等	2014. 10. 06 浜岡3号	事象の概要	タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m <sup>3</sup> であることを確認した。	再発防止対策	屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。 また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。当該箇所対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。	内部漏水評価への影響	漏水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については漏水経路として設定し、漏水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部漏水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの漏水影響評価」参照)			
件名⑩	タービン建屋への雨水の浸入について												
事象発生日等	2014. 10. 06 浜岡3号												
事象の概要	タービン建屋地下1階の通路(放射線管理区域内)において、水溜まりを発見した。タービン建屋の外側にある屋外地下ダクト(配管を通すための空間)内に雨水が溜まり、配管貫通部より建屋内に入り込んだものと推定した。また、浸入した雨水の量は、合計で約8m <sup>3</sup> であることを確認した。												
再発防止対策	屋外地下ダクト内に雨水が溜まらないようにするため、排水ポンプをビニール片等の影響を受けにくいフロート式センサで起動するポンプに取り替える。加えて、排水ポンプが停止した場合にも、雨水が排水ラインから屋外地下ダクト内に逆流しないよう、逆止弁を取り付ける。 また、ブーツラバーがずれた配管貫通部について、ずれの修正を行う。当該箇所対策のほか、同様の屋外地下ダクトについても、配管等貫通部の施工状態及び排水ポンプの排水状況に問題のないことを確認する。												
内部漏水評価への影響	漏水経路の設定に係る事象であるが、建屋外周地下部(屋外地下トレンチ、建屋間接合部を含む)については漏水経路として設定し、漏水防護区画との境界において止水措置等の対策を行っており、内部漏水影響評価において考慮済である。(「10. 建屋外からの漏水影響評価」参照)												

補足第8.2-3 表 過去の不具合事例

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
505	1977-東京-T007	福島第一1号	原子炉再循環ポンプの異常について	1978/1/26	②
599	1979-東京-T002	福島第一2号	定期検査作業終了後の調整運転中のトラブルについて	1979/7/13	① ②
569	1979-原電-T001	東海第二	発電支障事故について	1979/7/22	②
591	1979-中部-M004	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプメカニカルシールの取替	1980/2/28	②
592	1979-中部-M005	浜岡2号	循環水ポンプ軸受潤滑水弁取替	1980/2/29	②
593	1979-中部-M006	浜岡1号	ドライウェル床ドレンサンクン水位の微上昇	1980/3/6	②
597	1979-中部-M010	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプメカニカルシールの取替	1980/3/21	②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

・記載方針の相違  
【東海第二】  
島根2号炉は抽出した全事象を記載

表3-3 過去の不具合事例

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
505	1977-東京-T007	福島第一1号	原子炉再循環ポンプの異常について	1978/1/26	②
599	1979-東京-T002	福島第一2号	定期検査作業終了後の調整運転中のトラブルについて	1979/7/13	① ②
569	1979-原電-T001	東海第二	発電支障事故について	1979/7/22	②
591	1979-中部-M004	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプメカニカルシールの取替	1980/2/28	②
592	1979-中部-M005	浜岡2号	循環水ポンプ軸受潤滑水弁取替	1980/2/29	②
593	1979-中部-M006	浜岡1号	ドライウェル床ドレンサンクン水位の微上昇	1980/3/6	②
597	1979-中部-M010	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプメカニカルシールの取替	1980/3/21	②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)				東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)				島根原子力発電所 2号炉				備考		
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	
644	1980-中部-M002	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプメカニカルシールの取替	1980/4/21	②			644	1980-中部-M002	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプメカニカルシールの取替	1980/4/21	②	
647	1980-中部-M005	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの取替	1980/5/26	②			647	1980-中部-M005	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの取替	1980/5/26	②	
663	1980-東京-M005	福島第一-4号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシール漏洩	1980/8/23	①			663	1980-東京-M005	福島第一-4号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシール漏洩	1980/8/23	①	
654	1980-中部-T012	浜岡1号	高圧給水加熱器空気抜き管の損傷について	1980/9/29	②			654	1980-中部-T012	浜岡1号	高圧給水加熱器空気抜き管の損傷について	1980/9/29	②	
655	1980-中部-M013	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの取替	1980/11/13	②			655	1980-中部-M013	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの取替	1980/11/13	②	
658	1980-中部-M016	浜岡2号	主蒸気隔離弁前第1ドレン弁グラウンド部の点検補修について	1981/2/1	②			658	1980-中部-M016	浜岡2号	主蒸気隔離弁前第1ドレン弁グラウンド部の点検補修について	1981/2/1	②	
791	1981-東京-T002	福島第一-1号	隔離時復水器系配管の損傷について	1981/4/10	②			791	1981-東京-T002	福島第一-1号	隔離時復水器系配管の損傷について	1981/4/10	②	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)				東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)				島根原子力発電所 2号炉				備考					
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
718	1981-原電-M009	東海第二	抽気系ドレントラップの漏洩	1981/6/16	②	718	1981-原電-M009	東海第二	抽気系ドレントラップの漏洩	1981/6/16	②	718	1981-原電-M009	東海第二	抽気系ドレントラップの漏洩	1981/6/16	②
773	1981-中国-T001	島根 1号	原子炉冷却材浄化系 A 再生熱交換器からの漏洩につ いて	1981/6/16	②	773	1981-中国-T001	島根 1号	原子炉冷却材浄化系 A 再生熱交換器からの漏洩に ついて	1981/6/16	②	773	1981-中国-T001	島根 1号	原子炉冷却材浄化系 A 再生熱交換器からの漏洩に ついて	1981/6/16	②
798	1981-東京-T008	福島第一 6号	高圧ポンプメカニカルシール水配管の損傷につい て	1981/7/6	②	798	1981-東京-T008	福島第一 6号	高圧ポンプメカニカルシール水配管の損傷につい て	1981/7/6	②	798	1981-東京-T008	福島第一 6号	高圧ポンプメカニカルシール水配管の損傷につい て	1981/7/6	②
780	1981-中部-M005	浜岡 1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)メカニカルシールの 取替	1981/7/8	②	780	1981-中部-M005	浜岡 1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)メカニカルシールの 取替	1981/7/8	②	780	1981-中部-M005	浜岡 1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)メカニカルシールの 取替	1981/7/8	②
800	1981-東京-T011	福島第一 4号	480 ボルトモーターコントロールセンタの停止につい て	1981/7/10	②	800	1981-東京-T011	福島第一 4号	480 ボルトモーターコントロールセンタの停止につい て	1981/7/10	②	800	1981-東京-T011	福島第一 4号	480 ボルトモーターコントロールセンタの停止につい て	1981/7/10	②
802	1981-東京-M013	福島第一 6号	廃液濃縮器(A)加圧蒸気フランジ部の孔食につい て	1981/7/22	②	802	1981-東京-M013	福島第一 6号	廃液濃縮器(A)加圧蒸気フランジ部の孔食につい て	1981/7/22	②	802	1981-東京-M013	福島第一 6号	廃液濃縮器(A)加圧蒸気フランジ部の孔食につい て	1981/7/22	②
726	1981-原電-T017	東海第二	給水系試験用計装配管溶接部の損傷につい て	1981/8/10	②	726	1981-原電-T017	東海第二	給水系試験用計装配管溶接部の損傷につい て	1981/8/10	②	726	1981-原電-T017	東海第二	給水系試験用計装配管溶接部の損傷につい て	1981/8/10	②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)				東海第二発電所 (2018.9.18版)				島根原子力発電所 2号炉				備考					
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
809	1981-東京-T020	福島第一-6号	廃棄物処理設備の配管損傷について	1981/8/24	②	809	1981-東京-T020	福島第一-6号	廃棄物処理設備の配管損傷について	1981/8/24	②	809	1981-東京-T020	福島第一-6号	廃棄物処理設備の配管損傷について	1981/8/24	②
808	1981-東京-M019	福島第一-2号	補助ボイラ軽油移送配管の漏洩	1981/8/24	②	808	1981-東京-M019	福島第一-2号	補助ボイラ軽油移送配管の漏洩	1981/8/24	②	808	1981-東京-M019	福島第一-2号	補助ボイラ軽油移送配管の漏洩	1981/8/24	②
733	1981-原電-M025	東海第二	原子炉給水ポンプ入口安全弁取出配管の漏えいについて	1981/9/12	②	733	1981-原電-M025	東海第二	原子炉給水ポンプ入口安全弁取出配管の漏えいについて	1981/9/12	②	733	1981-原電-M025	東海第二	原子炉給水ポンプ入口安全弁取出配管の漏えいについて	1981/9/12	②
814	1981-東京-M025	福島第一-2号	残留熱除去海水系配管の漏洩について	1981/9/14	②	814	1981-東京-M025	福島第一-2号	残留熱除去海水系配管の漏洩について	1981/9/14	②	814	1981-東京-M025	福島第一-2号	残留熱除去海水系配管の漏洩について	1981/9/14	②
815	1981-東京-M026	福島第一-5号	電動機駆動原子炉給水ポンプ吐出圧力取出し配管損傷について	1981/9/17	②	815	1981-東京-M026	福島第一-5号	電動機駆動原子炉給水ポンプ吐出圧力取出し配管損傷について	1981/9/17	②	815	1981-東京-M026	福島第一-5号	電動機駆動原子炉給水ポンプ吐出圧力取出し配管損傷について	1981/9/17	②
818	1981-東京-T029	福島第一-5号	給水試料採取系配管継手部よりの漏洩に伴う停止について	1981/9/28	②	818	1981-東京-T029	福島第一-5号	給水試料採取系配管継手部よりの漏洩に伴う停止について	1981/9/28	②	818	1981-東京-T029	福島第一-5号	給水試料採取系配管継手部よりの漏洩に伴う停止について	1981/9/28	②
830	1981-東京-M041	福島第一-5号	原子炉補機冷却設備の海水冷却系配管の損傷について	1981/11/24	②	830	1981-東京-M041	福島第一-5号	原子炉補機冷却設備の海水冷却系配管の損傷について	1981/11/24	②	830	1981-東京-M041	福島第一-5号	原子炉補機冷却設備の海水冷却系配管の損傷について	1981/11/24	②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)					東海第二発電所 (2018.9.18版)					島根原子力発電所 2号炉					備考		
ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
745	1981-原電-T036	東海第二	原子炉建屋内主蒸気トネル室床面の汚染について	1981/12/1	①	745	1981-原電-T036	東海第二	原子炉建屋内主蒸気トネル室床面の汚染について	1981/12/1	①	745	1981-原電-T036	東海第二	原子炉建屋内主蒸気トネル室床面の汚染について	1981/12/1	①
783	1981-中部-M008	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの 取替	1981/12/3	②	783	1981-中部-M008	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの 取替	1981/12/3	②	783	1981-中部-M008	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの 取替	1981/12/3	②
784	1981-中部-T009	浜岡1号	復水器水室(A-2)細管リークについて	1981/12/24	②	784	1981-中部-T009	浜岡1号	復水器水室(A-2)細管リークについて	1981/12/24	②	784	1981-中部-T009	浜岡1号	復水器水室(A-2)細管リークについて	1981/12/24	②
760	1981-原電-M051	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)号機封水配管漏 えいについて	1982/1/8	②	760	1981-原電-M051	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)号機封水配管漏 えいについて	1982/1/8	②	760	1981-原電-M051	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)号機封水配管漏 えいについて	1982/1/8	②
786	1981-中部-M011	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの 取替	1982/1/11	②	786	1981-中部-M011	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの 取替	1982/1/11	②	786	1981-中部-M011	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカルシールの 取替	1982/1/11	②
836	1981-東京-M047	福島第一1号	非常用ユニットデトダイゼル発電機点検修理	1982/1/13	②	836	1981-東京-M047	福島第一1号	非常用ユニットデトダイゼル発電機点検修理	1982/1/13	②	836	1981-東京-M047	福島第一1号	非常用ユニットデトダイゼル発電機点検修理	1982/1/13	②
764	1981-原電-M055	東海第二	原子炉隔離時冷却系ドレンポット排水弁 (E51-F026)のボンネットパッキン交換による待機 除外について	1982/2/9	②	764	1981-原電-M055	東海第二	原子炉隔離時冷却系ドレンポット排水弁 (E51-F026)のボンネットパッキン交換による待機 除外について	1982/2/9	②	764	1981-原電-M055	東海第二	原子炉隔離時冷却系ドレンポット排水弁(E51-F 026)のボンネットパッキン交換による待機除外に ついて	1982/2/9	②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)							東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)							島根原子力発電所 2号炉							備考				
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類																				
788	1981-中部-M013	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)メカニカルシールの取替え	1982/2/19	②																				
840	1981-東京-M051	福島第一1号	非常用ユニットデトダイゼル発電機点検修理	1982/2/23	②																				
842	1981-東京-T053	福島第一6号	高圧復水ポンプA号機メカニカルシール水配管損傷について	1982/3/22	②																				
891	1982-原電-M008	東海第二	原子炉隔離時冷却系ドレンポンプドレンポンプ排水ラインドレ ントラップポンプネットフランチ部よりの漏えいにつ いて	1982/5/8	②																				
961	1982-東京-M011	福島第一1号	CCSWポンプ(格納容器冷却系海水ポンプ)	1982/6/3	②																				
962	1982-東京-M012	福島第一3号	廃液濃縮器の孔食による損傷について	1982/6/17	②																				
899	1982-原電-M016	東海第二	原子炉建屋内の水漏れについて	1982/6/30	① ②																				



ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
966	1982-東京-M016	福島第一 1号	非常用ユニット D/G 冷却器及び計装品点検	1982/7/2	②
981	1982-東京-M031	福島第一 2号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)軸受冷却水の漏えいについて	1982/9/28	②
983	1982-東京-T033	福島第一 6号	原子炉再循環系圧力検出用予備座小口径配管の漏えいについて	1982/10/25	②
946	1982-中部-T006	浜岡 1号	復水器(A-1)室細管の点検・補修について	1982/11/3	②
948	1982-中部-M008	浜岡 2号	復水器(A)室細管の点検・補修について	1982/12/24	②
949	1982-中部-T009	浜岡 1号	復水器(A-1)室細管の点検・補修について	1983/1/5	②
1078	1983-中部-T001	浜岡 1号	復水器(A-1・2)室細管の点検・補修について	1983/4/10	②

東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)					
-------------------------	--	--	--	--	--

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
966	1982-東京-M016	福島第一 1号	非常用ユニット D/G 冷却器及び計装品点検	1982/7/2	②
981	1982-東京-M031	福島第一 2号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)軸受冷却水の漏えいについて	1982/9/28	②
983	1982-東京-T033	福島第一 6号	原子炉再循環系圧力検出用予備座小口径配管の漏えいについて	1982/10/25	②
946	1982-中部-T006	浜岡 1号	復水器(A-1)室細管の点検・補修について	1982/11/3	②
948	1982-中部-M008	浜岡 2号	復水器(A)室細管の点検・補修について	1982/12/24	②
949	1982-中部-T009	浜岡 1号	復水器(A-1)室細管の点検・補修について	1983/1/5	②
1078	1983-中部-T001	浜岡 1号	復水器(A-1・2)室細管の点検・補修について	1983/4/10	②

備考					
----	--	--	--	--	--

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)					東海第二発電所 (2018.9.18版)					島根原子力発電所 2号炉					備考		
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
1092	1983-東京-T008	福島第一1号	タービン蒸気加減弁制御装置油漏洩による原子炉自動停止について	1983/8/13	②	1092	1983-東京-T008	福島第一1号	タービン蒸気加減弁制御装置油漏洩による原子炉自動停止について	1983/8/13	②	1092	1983-東京-T008	福島第一1号	タービン蒸気加減弁制御装置油漏洩による原子炉自動停止について	1983/8/13	②
1053	1983-原電-M014	東海第二	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)の不具合について	1983/9/5	②	1053	1983-原電-M014	東海第二	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)の不具合について	1983/9/5	②	1053	1983-原電-M014	東海第二	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)の不具合について	1983/9/5	②
1099	1983-東京-M015	福島第一6号	タービン駆動原子炉給水ポンプシール水戻り配管の漏えいについて	1983/9/27	②	1099	1983-東京-M015	福島第一6号	タービン駆動原子炉給水ポンプシール水戻り配管の漏えいについて	1983/9/27	②	1099	1983-東京-M015	福島第一6号	タービン駆動原子炉給水ポンプシール水戻り配管の漏えいについて	1983/9/27	②
1100	1983-東京-T016	福島第一6号	タービン駆動原子炉給水ポンプシール水戻り配管の漏洩について	1983/10/3	②	1100	1983-東京-T016	福島第一6号	タービン駆動原子炉給水ポンプシール水戻り配管の漏洩について	1983/10/3	②	1100	1983-東京-T016	福島第一6号	タービン駆動原子炉給水ポンプシール水戻り配管の漏洩について	1983/10/3	②
1058	1983-原電-T020	東海第二	原子炉隔離時冷却系ポンプ室内の漏水について	1983/10/23	①	1058	1983-原電-T020	東海第二	原子炉隔離時冷却系ポンプ室内の漏水について	1983/10/23	①	1058	1983-原電-T020	東海第二	原子炉隔離時冷却系ポンプ室内の漏水について	1983/10/23	①
1103	1983-東京-M019	福島第一6号	非常用ディーゼル発電機潤滑油ブライミングポンプ修理	1983/11/18	②	1103	1983-東京-M019	福島第一6号	非常用ディーゼル発電機潤滑油ブライミングポンプ修理	1983/11/18	②	1103	1983-東京-M019	福島第一6号	非常用ディーゼル発電機潤滑油ブライミングポンプ修理	1983/11/18	②
1063	1983-原電-T025	東海第二	タービン抽気管ドレン系の蒸気漏洩について	1983/12/26	①	1063	1983-原電-T025	東海第二	タービン抽気管ドレン系の蒸気漏洩について	1983/12/26	①	1063	1983-原電-T025	東海第二	タービン抽気管ドレン系の蒸気漏洩について	1983/12/26	①

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)

東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

ニューニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
1112	1983-東京-M028	福島第一-4号	タービン建屋2階空調機制御盤室消火水漏洩につ いて	1984/2/5	②
1197	1984-東京-M003	福島第一-1号	格納容器スプレ-海水ポンプ(B)メカニカルシール 取替	1984/4/25	②
1202	1984-東京-M008	福島第一-3号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカル漏洩につ いて	1984/8/5	②
1207	1984-東京-T013	福島第一-2号	復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合につ いて	1984/10/17	⑤
1223	1984-東北-M003	女川1号	タービン建屋配管トレンチ内溢水について	1984/11/27	①
1214	1984-東京-M021	福島第一-2号	原子炉給水流量検出配管継手部のにじみについて	1984/12/17	②
1215	1984-東京-M022	福島第二-1号	タービン建屋低電導度サンプ(B)ピット内オーバー フローについて	1984/12/18	① ②

ニューニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
1112	1983-東京-M028	福島第一-4号	タービン建屋2階空調機制御盤室消火水漏洩につ いて	1984/2/5	②
1197	1984-東京-M003	福島第一-1号	格納容器スプレ-海水ポンプ(B)メカニカルシール 取替	1984/4/25	②
1202	1984-東京-M008	福島第一-3号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)メカニカル漏洩につ いて	1984/8/5	②
1207	1984-東京-T013	福島第一-2号	復水貯蔵タンクしゃへい壁内バルブの不具合につ いて	1984/10/17	⑤
1223	1984-東北-M003	女川1号	タービン建屋配管トレンチ内溢水について	1984/11/27	①
1214	1984-東京-M021	福島第一-2号	原子炉給水流量検出配管継手部のにじみについて	1984/12/17	②
1215	1984-東京-M022	福島第二-1号	タービン建屋低電導度サンプ(B)ピット内オーバー フローについて	1984/12/18	① ②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
1216	1984-東京-M023	福島第二3号	3/4号機廃棄物処理設備の漏洩について	1984/12/20	②
1218	1984-東京-T025	福島第一2号	循環水系逆洗弁(A1)損傷による出力制限について	1985/1/21	②
1220	1984-東京-T027	福島第二2号	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器水室トラスリ ング溶接部の損傷について	1985/2/7	②
1280	1985-東京-M002	福島第一2号	残留熱除去系弁点検	1985/5/1	②
1281	1985-東京-T003	柏崎刈羽1号	循環水配管からの海水漏洩について	1985/5/31	②
1283	1985-東京-M005	福島第一2号	残留熱除去系点検	1985/6/20	②
1289	1985-東京-T011	福島第一1号	起動用母線電源盤の焼損について	1985/8/31	④

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
1216	1984-東京-M023	福島第二3号	3 / 4号機廃棄物処理設備の漏洩について	1984/12/20	②
1218	1984-東京-T025	福島第一2号	循環水系逆洗弁(A1)損傷による出力制限につい て	1985/1/21	②
1220	1984-東京-T027	福島第二2号	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器水室トラスリ ング溶接部の損傷について	1985/2/7	②
1280	1985-東京-M002	福島第一2号	残留熱除去系弁点検	1985/5/1	②
1281	1985-東京-T003	柏崎刈羽1号	循環水配管からの海水漏洩について	1985/5/31	②
1283	1985-東京-M005	福島第一2号	残留熱除去系点検	1985/6/20	②
1289	1985-東京-T011	福島第一1号	起動用母線電源盤の焼損について	1985/8/31	④

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
1216	1984-東京-M023	福島第二3号	3 / 4号機廃棄物処理設備の漏洩について	1984/12/20	②
1218	1984-東京-T025	福島第一2号	循環水系逆洗弁(A1)損傷による出力制限につい て	1985/1/21	②
1220	1984-東京-T027	福島第二2号	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器水室トラスリ ング溶接部の損傷について	1985/2/7	②
1280	1985-東京-M002	福島第一2号	残留熱除去系弁点検	1985/5/1	②
1281	1985-東京-T003	柏崎刈羽1号	循環水配管からの海水漏洩について	1985/5/31	②
1283	1985-東京-M005	福島第一2号	残留熱除去系点検	1985/6/20	②
1289	1985-東京-T011	福島第一1号	起動用母線電源盤の焼損について	1985/8/31	④

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
1295	1985-東京-T017	福島第一-5号	原子炉格納容器内ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止について	1985/9/20	②
1299	1985-東京-T022	福島第一-4号	原子炉格納容器機器ドレン量増加に伴う原子炉手動停止について	1985/11/29	②
1301	1985-東京-M024	福島第一-5号	空気抽出器駆動用蒸気ドレン配管ドレントラップボンネットフランジ部漏洩	1985/12/24	②
1271	1985-原電-M024	東海第二	非常用ディーゼル発電機海水系出口逆止弁の不具合について	1986/3/23	①
1370	1986-中部-T001	浜岡2号	復水器水室細管の点検・補修について	1986/6/20	②
1371	1986-中部-T002	浜岡2号	復水器水室細管の点検・補修について	1986/7/25	②
1384	1986-東京-T009	福島第一-2号	原子炉格納容器床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止について	1986/11/3	②

東海第二発電所 (2018.9.18版)

東海第二発電所 (2018.9.18版) の内容は、この表の範囲外です。

島根原子力発電所 2号炉

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
1295	1985-東京-T017	福島第一-5号	原子炉格納容器内ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止について	1985/9/20	②
1299	1985-東京-T022	福島第一-4号	原子炉格納容器機器ドレン量増加に伴う原子炉手動停止について	1985/11/29	②
1301	1985-東京-M024	福島第一-5号	空気抽出器駆動用蒸気ドレン配管ドレントラップボンネットフランジ部漏洩	1985/12/24	②
1271	1985-原電-M024	東海第二	非常用ディーゼル発電機海水系出口逆止弁の不具合について	1986/3/23	①
1370	1986-中部-T001	浜岡2号	復水器水室細管の点検・補修について	1986/6/20	②
1371	1986-中部-T002	浜岡2号	復水器水室細管の点検・補修について	1986/7/25	②
1384	1986-東京-T009	福島第一-2号	原子炉格納容器床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止について	1986/11/3	②

備考

備考欄は空欄です。

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)				東海第二発電所 (2018.9.18版)				島根原子力発電所 2号炉				備考					
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
1445	1987-中部-M001	浜岡1号	復水器水室細管の点検・補修について	1987/4/12	②	1445	1987-中部-M001	浜岡1号	復水器水室細管の点検・補修について	1987/4/12	②	1445	1987-中部-M001	浜岡1号	復水器水室細管の点検・補修について	1987/4/12	②
1458	1987-東京-M009	柏崎刈羽1号	HPCS デイゼル機関の保修について	1987/6/22	②	1458	1987-東京-M009	柏崎刈羽1号	HPCS デイゼル機関の保修について	1987/6/22	②	1458	1987-東京-M009	柏崎刈羽1号	HPCS デイゼル機関の保修について	1987/6/22	②
1462	1987-東京-M013	柏崎刈羽1号	原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプ(B)除染用フランジからの漏洩について	1987/7/12	②	1462	1987-東京-M013	柏崎刈羽1号	原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプ(B)除染用フランジからの漏洩について	1987/7/12	②	1462	1987-東京-M013	柏崎刈羽1号	原子炉冷却材浄化系(CUW)ポンプ(B)除染用フランジからの漏洩について	1987/7/12	②
1464	1987-東京-T015	柏崎刈羽1号	非常用デイゼル発電機A号機デイゼル機関からの冷却水の漏洩について	1987/8/17	②	1464	1987-東京-T015	柏崎刈羽1号	非常用デイゼル発電機A号機デイゼル機関からの冷却水の漏洩について	1987/8/17	②	1464	1987-東京-T015	柏崎刈羽1号	非常用デイゼル発電機A号機デイゼル機関からの冷却水の漏洩について	1987/8/17	②
1467	1987-東京-M018	福島第一5号	廃液濃縮器(A)の不具合について	1987/11/13	②	1467	1987-東京-M018	福島第一5号	廃液濃縮器(A)の不具合について	1987/11/13	②	1467	1987-東京-M018	福島第一5号	廃液濃縮器(A)の不具合について	1987/11/13	②
1479	1987-東京-T030	福島第二1号	原子炉再循環ポンプ(B)電動機上部軸受温度上昇に伴う原子炉手動停止について	1988/3/18	②	1479	1987-東京-T030	福島第二1号	原子炉再循環ポンプ(B)電動機上部軸受温度上昇に伴う原子炉手動停止について	1988/3/18	②	1479	1987-東京-T030	福島第二1号	原子炉再循環ポンプ(B)電動機上部軸受温度上昇に伴う原子炉手動停止について	1988/3/18	②
1480	1987-東京-M031	福島第一6号	排ガス予熱器の不具合について	1988/3/24	②	1480	1987-東京-M031	福島第一6号	排ガス予熱器の不具合について	1988/3/24	②	1480	1987-東京-M031	福島第一6号	排ガス予熱器の不具合について	1988/3/24	②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)					東海第二発電所 (2018.9.18版)					島根原子力発電所 2号炉					備考		
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
1537	1988-中部-T003	浜岡2号	高圧注入系蒸気ドレン配管点検・保修に伴う原子炉 手動停止について	1988/5/22	②	1537	1988-中部-T003	浜岡2号	高圧注入系蒸気ドレン配管点検・保修に伴う原子炉 手動停止について	1988/5/22	②	1537	1988-中部-T003	浜岡2号	高圧注入系蒸気ドレン配管点検・保修に伴う原子炉 手動停止について	1988/5/22	②
1552	1988-東京-T006	福島第一3号	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁ベント配管エルボ溶 接部からの漏洩による原子炉手動停止	1988/7/27	②	1552	1988-東京-T006	福島第一3号	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁ベント配管エルボ 溶接部からの漏洩による原子炉手動停止	1988/7/27	②	1552	1988-東京-T006	福島第一3号	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁ベント配管エルボ 溶接部からの漏洩による原子炉手動停止	1988/7/27	②
1563	1988-東京-M017	福島第一4号	廃棄物処理系弁類点検時の水漏れについて	1989/1/24	① ②	1563	1988-東京-M017	福島第一4号	廃棄物処理系弁類点検時の水漏れについて	1989/1/24	① ②	1563	1988-東京-M017	福島第一4号	廃棄物処理系弁類点検時の水漏れについて	1989/1/24	① ②
1564	1988-東京-T018	福島第一3号	タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)シール水ストレ ーナフランジ部からの漏えいについて	1989/2/13	②	1564	1988-東京-T018	福島第一3号	タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)シール水スト レーナフランジ部からの漏えいについて	1989/2/13	②	1564	1988-東京-T018	福島第一3号	タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)シール水スト レーナフランジ部からの漏えいについて	1989/2/13	②
1609	1989-東京-T002	福島第二2号	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(B)入口配管溶接 部からの漏えいに伴う原子炉手動停止について	1989/6/3	②	1609	1989-東京-T002	福島第二2号	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(B)入口配管溶接 部からの漏えいに伴う原子炉手動停止について	1989/6/3	②	1609	1989-東京-T002	福島第二2号	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(B)入口配管溶 接部からの漏えいに伴う原子炉手動停止について	1989/6/3	②
1604	1989-中部-M004	浜岡1号	原子炉冷却材浄化ポンプ(B)メカニカルシールの取 替	1989/11/20	②	1604	1989-中部-M004	浜岡1号	原子炉冷却材浄化ポンプ(B)メカニカルシールの取 替	1989/11/20	②	1604	1989-中部-M004	浜岡1号	原子炉冷却材浄化ポンプ(B)メカニカルシールの 取替	1989/11/20	②
1605	1989-中部-M005	浜岡1号	原子炉冷却材浄化ポンプ(A)メカニカルシールの取 替	1989/12/25	②	1605	1989-中部-M005	浜岡1号	原子炉冷却材浄化ポンプ(A)メカニカルシールの取 替	1989/12/25	②	1605	1989-中部-M005	浜岡1号	原子炉冷却材浄化ポンプ(A)メカニカルシールの 取替	1989/12/25	②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7 号炉 (2017. 12. 20 版)      東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)      島根原子力発電所 2 号炉      備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
1622	1989-東京-T015	福島第二1号	タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止につ いて	1989/12/27	① ②
1607	1989-中部-M007	浜岡2号	復水器水室細管の点検・補修について	1990/2/23	②
1710	1991-東京-M001	福島第一1号	タービン建屋内海水漏えいについて	1991/6/24	②
1714	1991-東京-T005	福島第一1号	補機冷却水系海水配管からの海水漏えいに伴う原 子炉手動停止について	1991/10/30	②
1719	1991-東京-M011	福島第一3号	タービン制御用EHC油冷却器(A)の漏えいについて	1992/1/17	②
1732	1992-原電-M002	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプA号機駆動用タービ ン軸振動値の増加について	1992/4/22	②
18	1992-中国-T003	島根1号	原子炉格納容器内機器ドレン量の増加に伴う原子 炉手動停止について	1993/2/4	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
1622	1989-東京-T015	福島第二1号	タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止につ いて	1989/12/27	① ②
1607	1989-中部-M007	浜岡2号	復水器水室細管の点検・補修について	1990/2/23	②
1710	1991-東京-M001	福島第一1号	タービン建屋内海水漏えいについて	1991/6/24	②
1714	1991-東京-T005	福島第一1号	補機冷却水系海水配管からの海水漏えいに伴う原 子炉手動停止について	1991/10/30	②
1719	1991-東京-M011	福島第一3号	タービン制御用EHC油冷却器(A)の漏えいにつ いて	1992/1/17	②
1732	1992-原電-M002	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプA号機駆動用ター ビン軸振動値の増加について	1992/4/22	②
18	1992-中国-T003	島根1号	原子炉格納容器内機器ドレン量の増加に伴う原子 炉手動停止について	1993/2/4	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
1622	1989-東京-T015	福島第二1号	タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止につ いて	1989/12/27	① ②
1607	1989-中部-M007	浜岡2号	復水器水室細管の点検・補修について	1990/2/23	②
1710	1991-東京-M001	福島第一1号	タービン建屋内海水漏えいについて	1991/6/24	②
1714	1991-東京-T005	福島第一1号	補機冷却水系海水配管からの海水漏えいに伴う原 子炉手動停止について	1991/10/30	②
1719	1991-東京-M011	福島第一3号	タービン制御用EHC油冷却器(A)の漏えいにつ いて	1992/1/17	②
1732	1992-原電-M002	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプA号機駆動用ター ビン軸振動値の増加について	1992/4/22	②
18	1992-中国-T003	島根1号	原子炉格納容器内機器ドレン量の増加に伴う原子 炉手動停止について	1993/2/4	②

備考



ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
1747	1993-原電-M005	東海第二	補機海水系・屋外出口配管からの海水漏えいについて	1993/9/15	②
1788	1994-北陸-M002	志賀1号	液体廃棄物処理設備 高電導度廃液系圧力検出配管ソケット溶接部からの漏洩	1995/1/10	②
1773	1994-中部-M005	浜岡1号	原子炉給水ポンプ(A)メカニカルシールからの漏えいについて	1995/3/16	②
72	1994-東京-T014	福島第一-3号	循環水ポンプ(B)不具合に伴う出力低下について	1995/3/24	②
97	1995-東京-T003	柏崎刈羽5号	タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について	1995/7/13	②
1810	1995-中部-M004	浜岡1号	原子炉圧力容器フランジシール部からの漏えいについて	1995/10/25	①
101	1995-東京-T008	福島第一-6号	原子炉格納容器内床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止について	1995/11/25	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
1747	1993-原電-M005	東海第二	補機海水系・屋外出口配管からの海水漏えいについて	1993/9/15	②
1788	1994-北陸-M002	志賀1号	液体廃棄物処理設備 高電導度廃液系圧力検出配管ソケット溶接部からの漏洩	1995/1/10	②
1773	1994-中部-M005	浜岡1号	原子炉給水ポンプ(A)メカニカルシールからの漏えいについて	1995/3/16	②
72	1994-東京-T014	福島第一-3号	循環水ポンプ(B)不具合に伴う出力低下について	1995/3/24	②
97	1995-東京-T003	柏崎刈羽5号	タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について	1995/7/13	②
1810	1995-中部-M004	浜岡1号	原子炉圧力容器フランジシール部からの漏えいについて	1995/10/25	①
101	1995-東京-T008	福島第一-6号	原子炉格納容器内床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止について	1995/11/25	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
1747	1993-原電-M005	東海第二	補機海水系・屋外出口配管からの海水漏えいについて	1993/9/15	②
1788	1994-北陸-M002	志賀1号	液体廃棄物処理設備 高電導度廃液系圧力検出配管ソケット溶接部からの漏洩	1995/1/10	②
1773	1994-中部-M005	浜岡1号	原子炉給水ポンプ(A)メカニカルシールからの漏えいについて	1995/3/16	②
72	1994-東京-T014	福島第一-3号	循環水ポンプ(B)不具合に伴う出力低下について	1995/3/24	②
97	1995-東京-T003	柏崎刈羽5号	タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について	1995/7/13	②
1810	1995-中部-M004	浜岡1号	原子炉圧力容器フランジシール部からの漏えいについて	1995/10/25	①
101	1995-東京-T008	福島第一-6号	原子炉格納容器内床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止について	1995/11/25	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
1802	1995-原電-M010	東海第二	高圧復水ポンプ(B)のバランス配管からの微少漏えいについて	1996/2/4	②
1833	1996-中部-M002	浜岡1号	原子炉機器冷却水ポンプ(A-1)の点検について	1996/4/25	②
1834	1996-中部-M003	浜岡2号	原子炉機器冷却水ポンプ(B-2)の点検について	1996/4/28	②
1839	1996-東京-M003	福島第一4号	補助ボイラ室での火災について	1996/6/13	②
113	1996-原電-T004	東海第二	タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止につ いて	1996/8/10	①
1841	1996-東京-M008	福島第一4号	高圧復水ポンプ(A)メカニカルシールからの漏えい について	1996/9/4	②
145	1997-東京-T005	福島第一2号	調整運転中の電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)出口 逆止弁ポンプネットシート部からの漏えいに伴う出 力制限について	1997/6/8	① ②

東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)

島根原子力発電所 2号炉

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
1802	1995-原電-M010	東海第二	高圧復水ポンプ(B)のバランス配管からの微少漏 えいについて	1996/2/4	②
1833	1996-中部-M002	浜岡1号	原子炉機器冷却水ポンプ(A-1)の点検について	1996/4/25	②
1834	1996-中部-M003	浜岡2号	原子炉機器冷却水ポンプ(B-2)の点検について	1996/4/28	②
1839	1996-東京-M003	福島第一4号	補助ボイラ室での火災について	1996/6/13	②
113	1996-原電-T004	東海第二	タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止につ いて	1996/8/10	①
1841	1996-東京-M008	福島第一4号	高圧復水ポンプ(A)メカニカルシールからの漏え いについて	1996/9/4	②
145	1997-東京-T005	福島第一2号	調整運転中の電動機駆動原子炉給水ポンプ(A)出 口逆止弁ポンプネットシート部からの漏えいに伴う 出	1997/6/8	① ②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)				東海第二発電所 (2018.9.18版)				島根原子力発電所 2号炉				備考					
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
1883	1997-東京-M007	柏崎刈羽7号	グラント蒸気系蒸化器計装ラックからの蒸気漏えいについて	1997/7/18	②	1883	1997-東京-M007	柏崎刈羽7号	グラント蒸気系蒸化器計装ラックからの蒸気漏えいについて	1997/7/18	②	1883	1997-東京-M007	柏崎刈羽7号	グラント蒸気系蒸化器計装ラックからの蒸気漏えいについて	1997/7/18	②
146	1997-東京-T009	柏崎刈羽1号	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)出口逆止弁からの漏えいに伴う出力制限について	1997/8/19	②	146	1997-東京-T009	柏崎刈羽1号	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)出口逆止弁からの漏えいに伴う出力制限について	1997/8/19	②	146	1997-東京-T009	柏崎刈羽1号	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)出口逆止弁からの漏えいに伴う出力制限について	1997/8/19	②
1886	1997-東京-M012	福島第一2号	残留熱除去系(RHR)熱交換器(A)海水側ドレンラインフランジパッキンの交換	1997/10/24	②	1886	1997-東京-M012	福島第一2号	残留熱除去系(RHR)熱交換器(A)海水側ドレンラインフランジパッキンの交換	1997/10/24	②	1886	1997-東京-M012	福島第一2号	残留熱除去系(RHR)熱交換器(A)海水側ドレンラインフランジパッキンの交換	1997/10/24	②
1894	1997-東京-M026	福島第二1号	原子炉建屋地下2階床面への漏えいについて	1998/3/27	①	1894	1997-東京-M026	福島第二1号	原子炉建屋地下2階床面への漏えいについて	1998/3/27	①	1894	1997-東京-M026	福島第二1号	原子炉建屋地下2階床面への漏えいについて	1998/3/27	①
1895	1997-東京-M027	福島第二4号	残留熱除去機器冷却系海水配管フランジパッキンの取替について	1998/3/29	②	1895	1997-東京-M027	福島第二4号	残留熱除去機器冷却系海水配管フランジパッキンの取替について	1998/3/29	②	1895	1997-東京-M027	福島第二4号	残留熱除去機器冷却系海水配管フランジパッキンの取替について	1998/3/29	②
8876	1998-中国-M001	島根2号	2号機A-デューゼル機関L-1シリンダからの漏水	1998/5/11	②	8876	1998-中国-M001	島根2号	2号機A-デューゼル機関L-1シリンダからの漏水	1998/5/11	②	8876	1998-中国-M001	島根2号	2号機A-デューゼル機関L-1シリンダからの漏水	1998/5/11	②
1930	1998-東京-M002	柏崎刈羽7号	タービン建屋循環水配管エリアにおける海水の溢水について	1998/6/1	①	1930	1998-東京-M002	柏崎刈羽7号	タービン建屋循環水配管エリアにおける海水の溢水について	1998/6/1	①	1930	1998-東京-M002	柏崎刈羽7号	タービン建屋循環水配管エリアにおける海水の溢水について	1998/6/1	①

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)						
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類	
1931	1998-東京-M003	福島第二2号	原子炉ウエル内における漏えいについて	1998/7/6	①	
168	1998-東京-T004	福島第二2号	調整運転中のタービン駆動原子炉給水ポンプ(A)蒸気加減弁フランジ部からの漏えいに伴う出力制限について	1998/7/21	① ②	
172	1998-東京-T011	柏崎刈羽1号	原子炉格納容器内LCWサンプからのオーバーフローについて	1998/10/8	①	
166	1998-中部-T003	浜岡2号	給水ポンプ駆動タービン(B)ケーシングドレン配管用管台部点検に伴う原子炉手動停止について	1998/11/3	②	
ブレス リリース	—	女川1号	女川原子力発電所1号機の原子炉格納容器内配管の漏洩について	1998/11/14	②	
1939	1998-東京-M017	福島第一4号	補機冷却海水系戻り弁からの海水微少漏えいについて	1999/1/5	②	
1940	1998-東京-M018	福島第一5号	給水加熱器(1C)ドレン配管からの漏えいについて	1999/1/13	②	

東海第二発電所 (2018.9.18版)						
----------------------	--	--	--	--	--	--

島根原子力発電所 2号炉						
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類	
1931	1998-東京-M003	福島第二2号	原子炉ウエル内における漏えいについて	1998/7/6	①	
168	1998-東京-T004	福島第二2号	調整運転中のタービン駆動原子炉給水ポンプ(A)蒸気加減弁フランジ部からの漏えいに伴う出力制限について	1998/7/21	① ②	
172	1998-東京-T011	柏崎刈羽1号	原子炉格納容器内LCWサンプからのオーバーフローについて	1998/10/8	①	
166	1998-中部-T003	浜岡2号	給水ポンプ駆動タービン(B)ケーシングドレン配管用管台部点検に伴う原子炉手動停止について	1998/11/3	②	
ブレスリ リース	—	女川1号	女川原子力発電所1号機の原子炉格納容器内配管の漏洩について	1998/11/14	②	
1939	1998-東京-M017	福島第一4号	補機冷却海水系戻り弁からの海水微少漏えいについて	1999/1/5	②	
1940	1998-東京-M018	福島第一5号	給水加熱器(1C)ドレン配管からの漏えいについて	1999/1/13	②	

備考						
----	--	--	--	--	--	--

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)

東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
1959	1999-原電-M001	東海第二	主復水器循環水系バイパス管からの溢水について	1999/4/20	①
1960	1999-原電-M003	東海第二	燃料プール冷却浄化系プリコトタンクからの溢水について	1999/5/21	①
1991	1999-東京-M015	福島第一1号	定期検査中のタービン建屋内での油漏えいについて	1999/10/18	①
227	2000-東京-T005	柏崎刈羽2号	タービン系蒸気凝縮水漏えいに伴う原子炉手動停止について	2000/6/29	②
230	2000-東京-T008	福島第一2号	タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について	2000/7/23	②
2076	2000-東北-M001	女川1号	復水器過脱塩塔出口配管からの漏えいについて	2000/9/2	②
2072	2000-東京-M015	柏崎刈羽5号	原子炉再循環ポンプMGセット(B)電動機側ギヤカクプリング部からのグリース漏れについて	2000/12/22	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
1959	1999-原電-M001	東海第二	主復水器循環水系バイパス管からの溢水について	1999/4/20	①
1960	1999-原電-M003	東海第二	燃料プール冷却浄化系プリコトタンクからの溢水について	1999/5/21	①
1991	1999-東京-M015	福島第一1号	定期検査中のタービン建屋内での油漏えいについて	1999/10/18	①
227	2000-東京-T005	柏崎刈羽2号	タービン系蒸気凝縮水漏えいに伴う原子炉手動停止について	2000/6/29	②
230	2000-東京-T008	福島第一2号	タービン制御油漏えいに伴う原子炉手動停止について	2000/7/23	②
2076	2000-東北-M001	女川1号	復水器過脱塩塔出口配管からの漏えいについて	2000/9/2	②
2072	2000-東京-M015	柏崎刈羽5号	原子炉再循環ポンプMGセット(B)電動機側ギヤカクプリング部からのグリース漏れについて	2000/12/22	②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)      東海第二発電所 (2018.9.18版)      島根原子力発電所 2号炉      備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
2074	2000-東京-M018	福島第一6号	主発電機冷却用水素ガス漏えいについて	2001/2/13	②
2026	2000-原電-M010	東海第二	廃棄物処理設備機器ドレン系廃液脱塩器の使用済樹脂漏えいについて	2001/3/23	① ②
2112	2001-東京-M004	柏崎刈羽6号	屋外消火系配管損傷による消火用水の漏えいについて	2001/5/17	①
243	2001-東京-T008	柏崎刈羽6号	原子炉格納容器内の原子炉補機冷却水の漏えいに伴う原子炉手動停止について	2001/6/18	②
2118	2001-東京-M013	柏崎刈羽1号	サブレーションポンプレベル水位計からの漏水について	2001/7/12	①
2132	2001-東北-M001	女川1号	原子炉冷却材浄化系の漏えいについて	2001/7/23	① ②
2121	2001-東京-M016	福島第二2号	蒸気加減弁急速閉用圧カススイッチ検出ライン継ぎ手部からの漏えい修理について	2001/8/12	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
2074	2000-東京-M018	福島第一6号	主発電機冷却用水素ガス漏えいについて	2001/2/13	②
2026	2000-原電-M010	東海第二	廃棄物処理設備機器ドレン系廃液脱塩器の使用済樹脂漏えいについて	2001/3/23	① ②
2112	2001-東京-M004	柏崎刈羽6号	屋外消火系配管損傷による消火用水の漏えいについて	2001/5/17	①
243	2001-東京-T008	柏崎刈羽6号	原子炉格納容器内の原子炉補機冷却水の漏えいに伴う原子炉手動停止について	2001/6/18	②
2118	2001-東京-M013	柏崎刈羽1号	サブレーションポンプレベル水位計からの漏水について	2001/7/12	①
2132	2001-東北-M001	女川1号	原子炉冷却材浄化系の漏えいについて	2001/7/23	① ②
2121	2001-東京-M016	福島第二2号	蒸気加減弁急速閉用圧カススイッチ検出ライン継ぎ手部からの漏えい修理について	2001/8/12	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
2074	2000-東京-M018	福島第一6号	主発電機冷却用水素ガス漏えいについて	2001/2/13	②
2026	2000-原電-M010	東海第二	廃棄物処理設備機器ドレン系廃液脱塩器の使用済樹脂漏えいについて	2001/3/23	① ②
2112	2001-東京-M004	柏崎刈羽6号	屋外消火系配管損傷による消火用水の漏えいについて	2001/5/17	①
243	2001-東京-T008	柏崎刈羽6号	原子炉格納容器内の原子炉補機冷却水の漏えいに伴う原子炉手動停止について	2001/6/18	②
2118	2001-東京-M013	柏崎刈羽1号	サブレーションポンプレベル水位計からの漏水について	2001/7/12	①
2132	2001-東北-M001	女川1号	原子炉冷却材浄化系の漏えいについて	2001/7/23	① ②
2121	2001-東京-M016	福島第二2号	蒸気加減弁急速閉用圧カススイッチ検出ライン継ぎ手部からの漏えい修理について	2001/8/12	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
2136	2001-北陸-M002	志賀1号	高圧復水ポンプ(B)メカニカルシールからの漏えいについて	2001/8/26	②
2093	2001-原電-M010	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)封水出口配管からの蒸気微量漏えいについて	2001/12/10	②
248	2001-東北-T005	女川2号	復水流量計配管付け根部からの水漏れについて	2002/3/7	②
2187	2002-東北-M001	女川2号	湿分離ドレンタンク水位調節弁ポンネット部からの漏えいについて	2002/4/2	②
2148	2002-原電-M002	東海第二	発電機界磁整流器盤内整流器冷却水ホースからの微量漏えいについて	2002/5/19	②
2150	2002-原電-M004	東海第二	高圧タービン入口配管ドレンラインオリフィーストレーナ下流部からの漏えいについて	2002/5/29	②
2263	2002-中部-M002	浜岡3号	給水ポンプ駆動タービン高圧蒸気加減弁ドレン元弁の点検について	2002/7/3	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
2136	2001-北陸-M002	志賀1号	高圧復水ポンプ(B)メカニカルシールからの漏えいについて	2001/8/26	②
2093	2001-原電-M010	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)封水出口配管からの蒸気微量漏えいについて	2001/12/10	②
248	2001-東北-T005	女川2号	復水流量計配管付け根部からの水漏れについて	2002/3/7	②
2187	2002-東北-M001	女川2号	湿分離ドレンタンク水位調節弁ポンネット部からの漏えいについて	2002/4/2	②
2148	2002-原電-M002	東海第二	発電機界磁整流器盤内整流器冷却水ホースからの微量漏えいについて	2002/5/19	②
2150	2002-原電-M004	東海第二	高圧タービン入口配管ドレンラインオリフィーストレーナ下流部からの漏えいについて	2002/5/29	②
2263	2002-中部-M002	浜岡3号	給水ポンプ駆動タービン高圧蒸気加減弁ドレン元弁の点検について	2002/7/3	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
2152	2002-原電-M006	東海第二	原子炉給水ポンプ駆動タービンA号機グラント下部からの凝縮水微少漏えいについて	2002/7/5	②
プレスリリース	—	浜岡4号	原子炉建屋1階における水漏れについて	2002/7/11	②
2181	2002-東京-M006	柏崎刈羽7号	低圧ドレンポンプ室での漏水について	2002/7/12	①
2180	2002-東京-M007	柏崎刈羽6号	燃料プール冷却浄化系ポンプ室での水の飛散について	2002/7/12	①
256	2002-東京-T009	福島第一3号	制御棒駆動水圧系配管の不具合	2002/8/22	②
2184	2002-東京-M014	福島第一3号	格納容器内への水漏れについて	2002/9/24	①
258	2002-東京-T019	福島第一4号	制御棒駆動水圧系挿入引抜配管の不具合	2002/10/11	②

東海第二発電所 (2018.9.18版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
2152	2002-原電-M006	東海第二	原子炉給水ポンプ駆動タービンA号機グラント下部からの凝縮水微少漏えいについて	2002/7/5	②
プレスリリース	—	浜岡4号	原子炉建屋1階における水漏れについて	2002/7/11	②
2181	2002-東京-M006	柏崎刈羽7号	低圧ドレンポンプ室での漏水について	2002/7/12	①
2180	2002-東京-M007	柏崎刈羽6号	燃料プール冷却浄化系ポンプ室での水の飛散について	2002/7/12	①
256	2002-東京-T009	福島第一3号	制御棒駆動水圧系配管の不具合	2002/8/22	②
2184	2002-東京-M014	福島第一3号	格納容器内への水漏れについて	2002/9/24	①
258	2002-東京-T019	福島第一4号	制御棒駆動水圧系挿入引抜配管の不具合	2002/10/11	②

備考



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20版)

東海第二発電所 (2018. 9. 18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
311	2002-東京-M024	柏崎刈羽4号	ほう酸水注入系ドレン受けタンクからの純水のオーバーフローについて	2002/11/7	①
プレスリリース	—	浜岡3号	サービス建屋地下1階(放射線管理区域外)で発見された水たまりについて	2002/11/8	②
2162	2002-原電-M016	東海第二	タービン主塞止弁 No.4 グランド蒸気リークホルダーからの漏えいについて	2002/12/6	①
2190	2002-東北-M007	女川1号	定期検査中の原子炉格納容器内における水の漏えいについて	2002/12/14	①
2269	2002-中部-M007	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系サンプリングラック周りの溢水について	2003/1/15	①
295	2002-東京-M034	柏崎刈羽2号	原子炉格納容器内における水漏れについて	2003/1/23	①
プレスリリース	—	浜岡3号	タービン建屋2階で発見された水漏れについて	2003/4/17	②

--	--	--	--	--	--

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
311	2002-東京-M024	柏崎刈羽4号	ほう酸水注入系ドレン受けタンクからの純水のオーバーフローについて	2002/11/7	①
プレスリリース	—	浜岡3号	サービス建屋地下1階(放射線管理区域外)で発見された水たまりについて	2002/11/8	②
2162	2002-原電-M016	東海第二	タービン主塞止弁 No.4 グランド蒸気リークホルダーからの漏えいについて	2002/12/6	①
2190	2002-東北-M007	女川1号	定期検査中の原子炉格納容器内における水の漏えいについて	2002/12/14	①
2269	2002-中部-M007	浜岡1号	原子炉冷却材浄化系サンプリングラック周りの溢水について	2003/1/15	①
295	2002-東京-M034	柏崎刈羽2号	原子炉格納容器内における水漏れについて	2003/1/23	①
プレスリリース	—	浜岡3号	タービン建屋2階で発見された水漏れについて	2003/4/17	②

--	--	--	--	--	--

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)								東海第二発電所 (2018.9.18版)								島根原子力発電所 2号炉								備考
ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			
プレスリリース	—	浜岡1号	復水ろ過脱塩装置2階における水漏れについて	2003/5/15	②			プレスリリース	—	浜岡1号	復水ろ過脱塩装置2階における水漏れについて	2003/5/15	②			プレスリリース	—	浜岡1号	復水ろ過脱塩装置2階における水漏れについて	2003/5/15	②			
プレスリリース	—	浜岡2号	タービン建屋1階における水漏れについて	2003/5/21	②			プレスリリース	—	浜岡2号	タービン建屋1階における水漏れについて	2003/5/21	②			プレスリリース	—	浜岡2号	タービン建屋1階における水漏れについて	2003/5/21	②			
プレスリリース	—	浜岡3号	補助建屋地下1階における水漏れについて	2003/5/29	②			プレスリリース	—	浜岡3号	補助建屋地下1階における水漏れについて	2003/5/29	②			プレスリリース	—	浜岡3号	補助建屋地下1階における水漏れについて	2003/5/29	②			
272	2003-北陸-M001	志賀1号	タービン建屋の漏水について	2003/5/31	①			272	2003-北陸-M001	志賀1号	タービン建屋の漏水について	2003/5/31	①			272	2003-北陸-M001	志賀1号	タービン建屋の漏水について	2003/5/31	①			
2256	2003-北陸-M002	志賀1号	残留熱除去系ポンプ室における弁のグランドパッキン部からの水の滴下について	2003/6/9	②			2256	2003-北陸-M002	志賀1号	残留熱除去系ポンプ室における弁のグランドパッキン部からの水の滴下について	2003/6/9	②			2256	2003-北陸-M002	志賀1号	残留熱除去系ポンプ室における弁のグランドパッキン部からの水の滴下について	2003/6/9	②			
2264	2003-北陸-M005	志賀1号	タービン建屋内の所内蒸気凝縮水の飛散について	2003/6/26	①			2264	2003-北陸-M005	志賀1号	タービン建屋内の所内蒸気凝縮水の飛散について	2003/6/26	①			2264	2003-北陸-M005	志賀1号	タービン建屋内の所内蒸気凝縮水の飛散について	2003/6/26	①			
2282	2003-北陸-M006	志賀1号	ドライクリーニング設備における溶剤残渣の飛散について	2003/6/27	①			2282	2003-北陸-M006	志賀1号	ドライクリーニング設備における溶剤残渣の飛散について	2003/6/27	①			2282	2003-北陸-M006	志賀1号	ドライクリーニング設備における溶剤残渣の飛散について	2003/6/27	①			

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
274	2003-東京-T014	福島第一2号	原子炉建屋内での水漏れについて	2003/7/24	①
2258	2003-北陸-M008	志賀1号	制御棒駆動機構補修室における水漏れについて	2003/7/30	①
2283	2003-北陸-M010	志賀1号	ドライクリーニング設備からの水漏れについて	2003/8/13	①
プレス リリース	—	浜岡3号	タービン建屋地下1階雨水について	2003/8/15	⑤
2265	2003-北陸-M011	志賀1号	原子炉格納容器内の原子炉格納容器冷却器排水口からの水漏れについて	2003/8/20	①
2284	2003-北陸-M012	志賀1号	タービン建屋内での主油タンク油冷却器からの油漏れについて	2003/8/29	①
プレス リリース	—	浜岡1号	原子炉建屋地下2階における水漏れについて	2003/9/17	②

東海第二発電所 (2018.9.18版)

ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
274	2003-東京-T014	福島第一2号	原子炉建屋内での水漏れについて	2003/7/24	①
2258	2003-北陸-M008	志賀1号	制御棒駆動機構補修室における水漏れについて	2003/7/30	①
2283	2003-北陸-M010	志賀1号	ドライクリーニング設備からの水漏れについて	2003/8/13	①
プレスリ リース	—	浜岡3号	タービン建屋地下1階雨水について	2003/8/15	⑤
2265	2003-北陸-M011	志賀1号	原子炉格納容器内の原子炉格納容器冷却器排水口からの水漏れについて	2003/8/20	①
2284	2003-北陸-M012	志賀1号	タービン建屋内での主油タンク油冷却器からの油漏れについて	2003/8/29	①
プレスリ リース	—	浜岡1号	原子炉建屋地下2階における水漏れについて	2003/9/17	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類																
383	2003-東京-M017	福島第二1号	RCIC タービン反カップリング側パッキン箱上部からの水の滴下について	2003/9/17	②																
370	2003-東京-S013	福島第二2号	原子炉建屋低電導度廃液系サンプピットへの流入について	2003/9/24	①																
2267	2003-北陸-M016	志賀1号	原子炉格納容器内における漏水について	2003/9/25	①																
3073	2003-東京-M019	福島第一1号	非常用ディーゼル発電機(D/G1A)の異常について	2003/9/25	②																
2270	2003-北陸-M017	志賀1号	残留熱除去系(C)ポンプメカニカルシール部からの水漏れについて	2003/9/27	①																
334	2003-東京-M020	柏崎刈羽1号	ほう酸水注入系ドレン配管からの漏えいについて	2003/9/30	②																
372	2003-東京-S017	福島第二2号	タービン建屋2階工具棚からの微量な油だれの発生について	2003/10/6	①																
383	2003-東京-M017	福島第二1号	RCIC タービン反カップリング側パッキン箱上部からの水の滴下について	2003/9/17	②																
370	2003-東京-S013	福島第二2号	原子炉建屋低電導度廃液系サンプピットへの流入について	2003/9/24	①																
2267	2003-北陸-M016	志賀1号	原子炉格納容器内における漏水について	2003/9/25	①																
3073	2003-東京-M019	福島第一1号	非常用ディーゼル発電機(D/G1A)の異常について	2003/9/25	②																
2270	2003-北陸-M017	志賀1号	残留熱除去系(C)ポンプメカニカルシール部からの水漏れについて	2003/9/27	①																
334	2003-東京-M020	柏崎刈羽1号	ほう酸水注入系ドレン配管からの漏えいについて	2003/9/30	②																
372	2003-東京-S017	福島第二2号	タービン建屋2階工具棚からの微量な油だれの発生について	2003/10/6	①																

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		
380	2003-東京-M025	福島第二2号	残留熱除去系安全弁フランジ部からの水の滴下について	2003/10/7	②		380	2003-東京-M025	福島第二2号	残留熱除去系安全弁フランジ部からの水の滴下について	2003/10/7	②		380	2003-東京-M025	福島第二2号	残留熱除去系安全弁フランジ部からの水の滴下について	2003/10/7	②		
367	2003-東京-S018	福島第二	補助ボイラ起動時の蒸気ドレン弁からの蒸気漏えいについて	2003/10/8	②		367	2003-東京-S018	福島第二	補助ボイラ起動時の蒸気ドレン弁からの蒸気漏えいについて	2003/10/8	②		367	2003-東京-S018	福島第二	補助ボイラ起動時の蒸気ドレン弁からの蒸気漏えいについて	2003/10/8	②		
369	2003-東京-S022	福島第二1号	原子炉冷却材浄化系計装ラックよりの水の滴下について	2003/10/14	②		369	2003-東京-S022	福島第二1号	原子炉冷却材浄化系計装ラックよりの水の滴下について	2003/10/14	②		369	2003-東京-S022	福島第二1号	原子炉冷却材浄化系計装ラックよりの水の滴下について	2003/10/14	②		
338	2003-東京-S023	柏崎刈羽1号	RHR(A)系排水ライン排水口からの水漏れ	2003/10/18	①		338	2003-東京-S023	柏崎刈羽1号	RHR(A)系排水ライン排水口からの水漏れ	2003/10/18	①		338	2003-東京-S023	柏崎刈羽1号	RHR(A)系排水ライン排水口からの水漏れ	2003/10/18	①		
プレス リリース	—	浜岡2号	原子炉建屋廃棄物処理装置エリア中2階における水漏れについて	2003/10/26	②		プレス リリース	—	浜岡2号	原子炉建屋廃棄物処理装置エリア中2階における水漏れについて	2003/10/26	②		プレス リリース	—	浜岡2号	原子炉建屋廃棄物処理装置エリア中2階における水漏れについて	2003/10/26	②		
373	2003-東京-S025	福島第二1号	1,2号機サービス建屋地下2階冷凍機用潤滑油の捕集容器からの微量な油だれの発生について	2003/10/27	②		373	2003-東京-S025	福島第二1号	1,2号機サービス建屋地下2階冷凍機用潤滑油の捕集容器からの微量な油だれの発生について	2003/10/27	②		373	2003-東京-S025	福島第二1号	1,2号機サービス建屋地下2階冷凍機用潤滑油の捕集容器からの微量な油だれの発生について	2003/10/27	②		
2271	2003-北陸-M018	志賀1号	原子炉冷却材再循環系配管ドレン弁からの水漏れについて	2003/11/12	①		2271	2003-北陸-M018	志賀1号	原子炉冷却材再循環系配管ドレン弁からの水漏れについて	2003/11/12	①		2271	2003-北陸-M018	志賀1号	原子炉冷却材再循環系配管ドレン弁からの水漏れについて	2003/11/12	①		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		
323	2003-東京-S028	福島第二2号	原子炉建屋高電導度廃液系サブピットへの流入について	2003/11/14	①		323	2003-東京-S028	福島第二2号	原子炉建屋高電導度廃液系サブピットへの流入について	2003/11/14	①		323	2003-東京-S028	福島第二2号	原子炉建屋高電導度廃液系サブピットへの流入について	2003/11/14	①		
プレスリリース	—	浜岡3号	タービン建屋2階における水漏れについて	2003/11/26	②		プレスリリース	—	浜岡4号	タービン建屋2階における水漏れについて	2003/11/26	②		プレスリリース	—	浜岡4号	タービン建屋2階における水漏れについて	2003/11/26	②		
350	2003-東京-S034	福島第一4号	原子炉格納容器内における非放射性的の水漏れについて	2003/11/26	②		350	2003-東京-S034	福島第一4号	原子炉格納容器内における非放射性的の水漏れについて	2003/11/26	②		350	2003-東京-S034	福島第一4号	原子炉格納容器内における非放射性的の水漏れについて	2003/11/26	②		
2213	2003-東京-S040	柏崎刈羽5号	RHRリークテスト弁からの漏えい	2003/12/2	①		2213	2003-東京-S040	柏崎刈羽5号	RHRリークテスト弁からの漏えい	2003/12/2	①		2213	2003-東京-S040	柏崎刈羽5号	RHRリークテスト弁からの漏えい	2003/12/2	①		
342	2003-東京-M038	福島第一6号	原子炉建屋内における水漏れについて	2003/12/5	①		342	2003-東京-M038	福島第一6号	原子炉建屋内における水漏れについて	2003/12/5	①		342	2003-東京-M038	福島第一6号	原子炉建屋内における水漏れについて	2003/12/5	①		
10229	2003-東京-M037	福島第一5号	高圧注水系タービン蒸気管排水ラインからの微少な蒸気漏えいについて	2003/12/5	②		10229	2003-東京-M037	福島第一5号	高圧注水系タービン蒸気管排水ラインからの微少な蒸気漏えいについて	2003/12/5	②		10229	2003-東京-M037	福島第一5号	高圧注水系タービン蒸気管排水ラインからの微少な蒸気漏えいについて	2003/12/5	②		
364	2003-東京-S045	福島第一4号	定期検査中の4号機タービン建屋における非放射性的の水漏れについて	2003/12/12	②		364	2003-東京-S045	福島第一4号	定期検査中の4号機タービン建屋における非放射性的の水漏れについて	2003/12/12	②		364	2003-東京-S045	福島第一4号	定期検査中の4号機タービン建屋における非放射性的の水漏れについて	2003/12/12	②		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			
360	2003-東京-S046	福島第二4号	定期検査中の4号機海水熱交換器建屋屋外における海水漏れについて	2003/12/16	②		360	2003-東京-S046	福島第二4号	定期検査中の4号機海水熱交換器建屋屋外における海水漏れについて	2003/12/16	②	360	2003-東京-S046	福島第二4号	定期検査中の4号機海水熱交換器建屋屋外における海水漏れについて	2003/12/16	②			
3030	2003-東京-S047	福島第一6号	原子炉建屋における水漏れについて	2003/12/17	①		3030	2003-東京-S047	福島第一6号	原子炉建屋における水漏れについて	2003/12/17	①	3030	2003-東京-S047	福島第一6号	原子炉建屋における水漏れについて	2003/12/17	①			
3029	2003-東京-S053	福島第一6号	原子炉建屋における水漏れについて	2003/12/24	①		3029	2003-東京-S053	福島第一6号	原子炉建屋における水漏れについて	2003/12/24	①	3029	2003-東京-S053	福島第一6号	原子炉建屋における水漏れについて	2003/12/24	①			
3027	2003-東京-S054	福島第一5号	タービン建屋内給水加熱室における水漏れについて	2003/12/27	②		3027	2003-東京-S054	福島第一5号	タービン建屋内給水加熱室における水漏れについて	2003/12/27	②	3027	2003-東京-S054	福島第一5号	タービン建屋内給水加熱室における水漏れについて	2003/12/27	②			
2228	2003-東京-M041	福島第二3号	残留熱除去機器冷却系冷却水ポンプ(B)吸込側の配管フランジ部からの水の滴下について	2004/1/19	②		2228	2003-東京-M041	福島第二3号	残留熱除去機器冷却系冷却水ポンプ(B)吸込側の配管フランジ部からの水の滴下について	2004/1/19	②	2228	2003-東京-M041	福島第二3号	残留熱除去機器冷却系冷却水ポンプ(B)吸込側の配管フランジ部からの水の滴下について	2004/1/19	②			
2383	2003-東京-S065	福島第一6号	原子炉建屋内における水漏れについて	2004/1/25	①		2383	2003-東京-S065	福島第一6号	原子炉建屋内における水漏れについて	2004/1/25	①	2383	2003-東京-S065	福島第一6号	原子炉建屋内における水漏れについて	2004/1/25	①			
プレス リリース	—	浜岡2号	原子炉建屋地下2階における水漏れについて	2004/2/5	②		プレス リリース	—	浜岡2号	原子炉建屋地下2階における水漏れについて	2004/2/5	②	プレス リリース	—	浜岡2号	原子炉建屋地下2階における水漏れについて	2004/2/5	②			

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
2232	2003-東京-M047	福島第二3号	高圧炉心スプレイス注入ライン配管フランジ部か らの水の滴下について	2004/2/7	②
2294	2003-東京-S090	福島第二2号	タービン建屋低電導度廃液サンプピット等への漏 えいについて	2004/3/3	②
プレスリ リース	—	浜岡2号	原子炉建屋格納容器内における水漏れについて	2004/3/11	②
2321	2003-中国-T007	島根2号	原子炉格納容器内ドライウエル冷却機凝縮水量お よび床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止	2004/3/17	②
2447	2004-東京-S003	柏崎刈羽5号	大湊側ランドリ-建屋成型品用洗濯機(B)からの水 漏れ	2004/4/13	②
プレス リリース	—	浜岡1号	原子炉建屋地下2階における水漏れについて	2004/4/27	②
2405	2004-東京-S013	福島第二	廃棄処理建屋における補助ボイラ給水タンクオー パフロ-ラインから水漏れについて	2004/5/20	①

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
2232	2003-東京-M047	福島第二3号	高圧炉心スプレイス注入ライン配管フランジ部か らの水の滴下について	2004/2/7	②
2294	2003-東京-S090	福島第二2号	タービン建屋低電導度廃液サンプピット等への漏 えいについて	2004/3/3	②
プレスリ リース	—	浜岡2号	原子炉建屋格納容器内における水漏れについて	2004/3/11	②
2321	2003-中国-T007	島根2号	原子炉格納容器内ドライウエル冷却機凝縮水量お よび床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止	2004/3/17	②
2447	2004-東京-S003	柏崎刈羽5号	大湊側ランドリ-建屋成型品用洗濯機(B)からの水 漏れ	2004/4/13	②
プレスリ リース	—	浜岡1号	原子炉地下2階における水漏れについて	2004/4/27	②
2405	2004-東京-S013	福島第二	廃棄処理建屋における補助ボイラ給水タンクオー パフロ-ラインから水漏れについて	2004/5/20	①

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
2232	2003-東京-M047	福島第二3号	高圧炉心スプレイス注入ライン配管フランジ部か らの水の滴下について	2004/2/7	②
2294	2003-東京-S090	福島第二2号	タービン建屋低電導度廃液サンプピット等への漏 えいについて	2004/3/3	②
プレスリ リース	—	浜岡2号	原子炉建屋格納容器内における水漏れについて	2004/3/11	②
2321	2003-中国-T007	島根2号	原子炉格納容器内ドライウエル冷却機凝縮水量お よび床ドレン量の増加に伴う原子炉手動停止	2004/3/17	②
2447	2004-東京-S003	柏崎刈羽5号	大湊側ランドリ-建屋成型品用洗濯機(B)からの水 漏れ	2004/4/13	②
プレスリ リース	—	浜岡1号	原子炉地下2階における水漏れについて	2004/4/27	②
2405	2004-東京-S013	福島第二	廃棄処理建屋における補助ボイラ給水タンクオー パフロ-ラインから水漏れについて	2004/5/20	①

備考



ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
2415	2004-東京-S019	福島第一5号	廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2004/6/2	①
2425	2004-東京-S021	福島第一2号	原子炉格納容器除湿冷却系統における水漏れについて	2004/6/9	②
2733	2004-北陸-M002	志賀1号	廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2004/6/10	①
2774	2004-東京-S022	福島第二2号	復水器連続洗浄装置系弁フランジ部よりの海水漏れについて	2004/6/16	①
2463	2004-中部-S004	浜岡3号	タービン建屋3階における油の漏えいについて	2004/6/22	②
2476	2004-東京-S026	福島第一6号	福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋内での水漏れについて	2004/7/16	②
2499	2004-東京-S028	福島第二	サイトバンカ建屋における水の滴下について	2004/7/28	②

ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
2415	2004-東京-S019	福島第一5号	廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2004/6/2	①
2425	2004-東京-S021	福島第一2号	原子炉格納容器除湿冷却系統における水漏れについて	2004/6/9	②
2733	2004-北陸-M002	志賀1号	廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2004/6/10	①
2774	2004-東京-S022	福島第二2号	復水器連続洗浄装置系弁フランジ部よりの海水漏れについて	2004/6/16	①
2463	2004-中部-S004	浜岡3号	タービン建屋3階における油の漏えいについて	2004/6/22	②
2476	2004-東京-S026	福島第一6号	福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋内での水漏れについて	2004/7/16	②
2499	2004-東京-S028	福島第二	サイトバンカ建屋における水の滴下について	2004/7/28	②

ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
2415	2004-東京-S019	福島第一5号	廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2004/6/2	①
2425	2004-東京-S021	福島第一2号	原子炉格納容器除湿冷却系統における水漏れについて	2004/6/9	②
2733	2004-北陸-M002	志賀1号	廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2004/6/10	①
2774	2004-東京-S022	福島第二2号	復水器連続洗浄装置系弁フランジ部よりの海水漏れについて	2004/6/16	①
2463	2004-中部-S004	浜岡3号	タービン建屋3階における油の漏えいについて	2004/6/22	②
2476	2004-東京-S026	福島第一6号	福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋内での水漏れについて	2004/7/16	②
2499	2004-東京-S028	福島第二	サイトバンカ建屋における水の滴下について	2004/7/28	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)							東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			
2498	2004-東京-M023	福島第一6号	制御棒駆動水圧系配管取り付け部からの水の漏れについて	2004/8/5	②								2498	2004-東京-M023	福島第一6号	制御棒駆動水圧系配管取り付け部からの水の漏れについて	2004/8/5	②			
2502	2004-中部-S012	浜岡4号	タービン駆動給水ポンプまわりの弁の監視について	2004/8/6	②								2502	2004-中部-S012	浜岡4号	タービン駆動給水ポンプまわりの弁の監視について	2004/8/6	②			
2495	2004-東京-M024	福島第二2号	原子炉起動時における原子炉水位高事象の発生について	2004/8/7	①								2495	2004-東京-M024	福島第二2号	原子炉起動時における原子炉水位高事象の発生について	2004/8/7	①			
2493	2004-東京-S029	柏崎刈羽6号	高圧制御油圧ユニット室内での油漏れについて	2004/8/9	①								2493	2004-東京-S029	柏崎刈羽6号	高圧制御油圧ユニット室内での油漏れについて	2004/8/9	①			
2531	2004-中部-S014	浜岡5号	タービン建屋地下1階 配管室における水漏れについて	2004/8/27	②								2531	2004-中部-S014	浜岡5号	タービン建屋地下1階 配管室における水漏れについて	2004/8/27	②			
プレス リリース	—	女川3号	タービン建屋地下1階復水器室における配管からの結露水滴下	2004/8/27	—								プレス リリース	—	女川3号	タービン建屋地下1階復水器室における配管からの結露水滴下	2004/8/27	—			
2517	2004-東北-M005	女川3号	高圧第2給水加熱器(B)胴側逃がし弁フランジ部からの微量な漏えいについて	2004/8/29	① ②								2517	2004-東北-M005	女川3号	高圧第2給水加熱器(B)胴側逃がし弁フランジ部からの微量な漏えいについて	2004/8/29	① ②			

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)								東海第二発電所 (2018.9.18版)								島根原子力発電所 2号炉								備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	備考						
2567	2004-東京-S039	福島第二	1, 2号機廃棄物処理建屋における水溜まり等の発見について	2004/8/29	②							2567	2004-東京-S039	福島第二	1, 2号機廃棄物処理建屋における水溜まり等の発見について	2004/8/29	②							
2535	2004-東京-S040	柏崎刈羽4号	柏崎刈羽原子力発電所4号機 軽油タンク防油堤内作業時における軽油の漏えいについて	2004/8/30	①							2535	2004-東京-S040	柏崎刈羽4号	柏崎刈羽原子力発電所4号機 軽油タンク防油堤内作業時における軽油の漏えいについて	2004/8/30	①							
2525	2004-東京-S044	福島第二2号	原子炉冷却材浄化系保持ポンプ(A)出入口差圧計につながらる配管継ぎ手部からの漏えいについて	2004/9/4	②							2525	2004-東京-S044	福島第二2号	原子炉冷却材浄化系保持ポンプ(A)出入口差圧計につながらる配管継ぎ手部からの漏えいについて	2004/9/4	②							
2579	2004-東京-S045	福島第一3号	定期検査中の3号機原子炉建屋における水漏れについて	2004/9/5	①							2579	2004-東京-S045	福島第一3号	定期検査中の3号機原子炉建屋における水漏れについて	2004/9/5	①							
2576	2004-東京-S049	福島第一1号	定期検査中の1号機タービン建屋内の油漏れについて	2004/9/14	①							2576	2004-東京-S049	福島第一1号	定期検査中の1号機タービン建屋内の油漏れについて	2004/9/14	①							
2549	2004-東京-S055	福島第一3号	福島第一原子力発電所3号機原子炉格納容器内における水漏れについて	2004/9/26	①							2549	2004-東京-S055	福島第一3号	福島第一原子力発電所3号機原子炉格納容器内における水漏れについて	2004/9/26	①							
2566	2004-東京-S059	福島第二1号	タービン建屋内の油漏れについて	2004/10/3	②							2566	2004-東京-S059	福島第二1号	タービン建屋内の油漏れについて	2004/10/3	②							

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		
2588	2004-中部-S022	浜岡3号	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)について	2004/10/9	⑤		2588	2004-中部-S022	浜岡3号	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)について	2004/10/9	⑤		2588	2004-中部-S022	浜岡3号	サービス建屋地下1階における火災報知器の作動(誤報)について	2004/10/9	⑤		
2615	2004-東京-S063	福島第一4号	制御棒駆動水圧系ポンプ潤滑油フィルタからの油漏れ	2004/10/18	②		2615	2004-東京-S063	福島第一4号	制御棒駆動水圧系ポンプ潤滑油フィルタからの油漏れ	2004/10/18	②		2615	2004-東京-S063	福島第一4号	制御棒駆動水圧系ポンプ潤滑油フィルタからの油漏れ	2004/10/18	②		
2808	2004-北陸-M013	志賀1号	補機冷却水系タンクからの水のオーバーフローについて	2004/10/20	①		2808	2004-北陸-M013	志賀1号	補機冷却水系タンクからの水のオーバーフローについて	2004/10/20	①		2808	2004-北陸-M013	志賀1号	補機冷却水系タンクからの水のオーバーフローについて	2004/10/20	①		
2627	2004-東京-S064	福島第一5号	電動駆動給水ポンプにおける油漏れについて	2004/10/20	②		2627	2004-東京-S064	福島第一5号	電動駆動給水ポンプにおける油漏れについて	2004/10/20	②		2627	2004-東京-S064	福島第一5号	電動駆動給水ポンプにおける油漏れについて	2004/10/20	②		
2640	2004-東北-S019	女川1号	原子炉建屋内における洗浄用の補給水の漏えいについて	2004/10/21	①		2640	2004-東北-S019	女川1号	原子炉建屋内における洗浄用の補給水の漏えいについて	2004/10/21	①		2640	2004-東北-S019	女川1号	原子炉建屋内における洗浄用の補給水の漏えいについて	2004/10/21	①		
2600	2004-中部-S024	浜岡3号	タービン駆動給水ポンプまわりの弁の監視について	2004/10/27	②		2600	2004-中部-S024	浜岡3号	タービン駆動給水ポンプまわりの弁の監視について	2004/10/27	②		2600	2004-中部-S024	浜岡3号	タービン駆動給水ポンプまわりの弁の監視について	2004/10/27	②		
2981	2004-東京-S069	柏崎刈羽7号	タービン駆動原子炉ポンプ室内での油にじみについて	2004/11/4	②		2981	2004-東京-S069	柏崎刈羽7号	タービン駆動原子炉ポンプ室内での油にじみについて	2004/11/4	②		2981	2004-東京-S069	柏崎刈羽7号	タービン駆動原子炉ポンプ室内での油にじみについて	2004/11/4	②		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		
2623	2004-東京-M044	福島第二2号	原子炉冷却材浄化系保持ポンプ(B)出入口差圧計管継ぎ手部分からの漏えいについて	2004/11/8	②		2623	2004-東京-M044	福島第二2号	原子炉冷却材浄化系保持ポンプ(B)出入口差圧計管継ぎ手部分からの漏えいについて	2004/11/8	②		2623	2004-東京-M044	福島第二2号	原子炉冷却材浄化系保持ポンプ(B)出入口差圧計管継ぎ手部分からの漏えいについて	2004/11/8	②		
2628	2004-中部-S027	浜岡3号	タービン機器冷却水熱交換器の点検作業について	2004/11/16	②		2628	2004-中部-S027	浜岡3号	タービン機器冷却水熱交換器の点検作業について	2004/11/16	②		2628	2004-中部-S027	浜岡3号	タービン機器冷却水熱交換器の点検作業について	2004/11/16	②		
2650	2004-中部-S028	浜岡5号	タービン建屋地下1階 配管室における水漏れについて	2004/11/17	②		2650	2004-中部-S028	浜岡5号	タービン建屋地下1階 配管室における水漏れについて	2004/11/17	②		2650	2004-中部-S028	浜岡5号	タービン建屋地下1階 配管室における水漏れについて	2004/11/17	②		
2779	2004-東京-S077	福島第一6号	原子炉建屋内における水漏れ	2004/11/18	①		2779	2004-東京-S077	福島第一6号	原子炉建屋内における水漏れ	2004/11/18	①		2779	2004-東京-S077	福島第一6号	原子炉建屋内における水漏れ	2004/11/18	①		
2884	2004-東京-M047	福島第一6号	原子炉格納容器低電導度廃液サンプ流量増加について	2004/11/26	②		2884	2004-東京-M047	福島第一6号	原子炉格納容器低電導度廃液サンプ流量増加について	2004/11/26	②		2884	2004-東京-M047	福島第一6号	原子炉格納容器低電導度廃液サンプ流量増加について	2004/11/26	②		
2646	2004-東京-S080	福島第一2号	高圧復水ポンプ付属配管からの漏えいについて	2004/11/30	②		2646	2004-東京-S080	福島第一2号	高圧復水ポンプ付属配管からの漏えいについて	2004/11/30	②		2646	2004-東京-S080	福島第一2号	高圧復水ポンプ付属配管からの漏えいについて	2004/11/30	②		
2712	2004-東京-S082	福島第一1号	定期検査中の1号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2004/12/4	①		2712	2004-東京-S082	福島第一1号	定期検査中の1号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2004/12/4	①		2712	2004-東京-S082	福島第一1号	定期検査中の1号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2004/12/4	①		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

ニューシア 通番	報告番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
東北 提供情報	—	女川1号	復水系統スラッジ混合ポンプ(B)室での復水補給水の漏えい	2004/12/6	①
2705	2004-東京-M051	福島第一4号	福島第一原子力発電所4号機の原子炉手動停止について	2004/12/8	②
2665	2004-東京-M050	福島第一2号	過分離器ドレンタンク配管付近の水漏れに伴う原子炉手動停止	2004/12/8	②
2663	2004-東京-S086	福島第一5号	タービン建屋近傍洞道内配管からの水漏れ(飲料水)について	2004/12/12	②
2715	2004-東京-S087	福島第一5号	原子炉格納容器内における水漏れについて	2004/12/14	①
2714	2004-東京-S088	福島第一3号	非常用ディーゼル発電機(B)室内での油漏れについて	2004/12/19	①
2679	2004-東京-S089	福島第一5号	タービン建屋内における水漏れ	2004/12/22	①

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

ニューシア 通番	報告番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
東北 提供情報	—	女川1号	復水系統スラッジ混合ポンプ(B)室での復水補給水の漏えい	2004/12/6	①
2705	2004-東京-M051	福島第一4号	福島第一原子力発電所4号機の原子炉手動停止について	2004/12/8	②
2665	2004-東京-M050	福島第一2号	過分離器ドレンタンク配管付近の水漏れに伴う原子炉手動停止	2004/12/8	②
2663	2004-東京-S086	福島第一5号	タービン建屋近傍洞道内配管からの水漏れ(飲料水)について	2004/12/12	②
2715	2004-東京-S087	福島第一5号	原子炉格納容器内における水漏れについて	2004/12/14	①
2714	2004-東京-S088	福島第一3号	非常用ディーゼル発電機(B)室内での油漏れについて	2004/12/19	①
2679	2004-東京-S089	福島第一5号	タービン建屋内における水漏れ	2004/12/22	①

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)								東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)								島根原子力発電所 2号炉								備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	備考						
2716	2004-中部-S035	浜岡3号	補助建屋中地下1階における水漏れについて	2005/1/5	②	2716	2004-中部-S035	浜岡3号	補助建屋中地下1階における水漏れについて	2005/1/5	②	2716	2004-中部-S035	浜岡3号	補助建屋中地下1階における水漏れについて	2005/1/5	②							
2695	2004-東京-S091	福島第二1号	タービン建屋における油漏れ	2005/1/7	①	2695	2004-東京-S091	福島第二1号	タービン建屋における油漏れ	2005/1/7	①	2695	2004-東京-S091	福島第二1号	タービン建屋における油漏れ	2005/1/7	①							
2696	2004-東京-S092	福島第一3号	タービン建屋における水漏れ	2005/1/11	②	2696	2004-東京-S092	福島第一3号	タービン建屋における水漏れ	2005/1/11	②	2696	2004-東京-S092	福島第一3号	タービン建屋における水漏れ	2005/1/11	②							
2757	2004-東京-S094	福島第二1号	原子炉建屋内での水漏れ	2005/1/18	①	2757	2004-東京-S094	福島第二1号	原子炉建屋内での水漏れ	2005/1/18	①	2757	2004-東京-S094	福島第二1号	原子炉建屋内での水漏れ	2005/1/18	①							
2776	2004-東京-T058	柏崎刈羽1号	タービン建屋内における蒸気の微少漏えいに伴う原子炉手動停止について	2005/2/4	②	2776	2004-東京-T058	柏崎刈羽1号	タービン建屋内における蒸気の微少漏えいに伴う原子炉手動停止について	2005/2/4	②	2776	2004-東京-T058	柏崎刈羽1号	タービン建屋内における蒸気の微少漏えいに伴う原子炉手動停止について	2005/2/4	②							
2758	2004-東京-S103	福島第二3号	主変圧器点検作業中の油漏れ	2005/2/7	①	2758	2004-東京-S103	福島第二3号	主変圧器点検作業中の油漏れ	2005/2/7	①	2758	2004-東京-S103	福島第二3号	主変圧器点検作業中の油漏れ	2005/2/7	①							
2768	2004-東京-S106	福島第二3号	原子炉建屋内における水漏れについて	2005/2/11	①	2768	2004-東京-S106	福島第二3号	原子炉建屋内における水漏れについて	2005/2/11	①	2768	2004-東京-S106	福島第二3号	原子炉建屋内における水漏れについて	2005/2/11	①							

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)								東海第二発電所 (2018.9.18版)								島根原子力発電所 2号炉								備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	備考						
2810	2004-東京-M061	福島第一3号	非常用ディーゼル発電機(B)室内での油漏れ	2005/3/1	②							2810	2004-東京-M061	福島第一3号	非常用ディーゼル発電機(B)室内での油漏れ	2005/3/1	②							
2826	2004-東京-S115	福島第二3,4号	3,4号機廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について	2005/3/2	①		2004-東京-S115	福島第二3,4号	3,4号機廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について	2005/3/2	①	2826	2004-東京-S115	福島第二3,4号	3,4号機廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について	2005/3/2	①							
2834	2004-東京-S120	福島第二3号	タービン建屋における海水の漏えい	2005/3/7	①		2004-東京-S120	福島第二3号	タービン建屋における海水の漏えい	2005/3/7	①	2834	2004-東京-S120	福島第二3号	タービン建屋における海水の漏えい	2005/3/7	①							
2831	2004-東京-S122	柏崎刈羽7号	タービン建屋内での水漏れについて	2005/3/8	①		2004-東京-S122	柏崎刈羽7号	タービン建屋内での水漏れについて	2005/3/8	①	2831	2004-東京-S122	柏崎刈羽7号	タービン建屋内での水漏れについて	2005/3/8	①							
2841	2004-東京-S124	福島第一3号	原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン軸受け部からの油漏れ	2005/3/12	①		2004-東京-S124	福島第一3号	原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン軸受け部からの油漏れ	2005/3/12	①	2841	2004-東京-S124	福島第一3号	原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン軸受け部からの油漏れ	2005/3/12	①							
2862	2004-東京-S129	柏崎刈羽3号	屋外軽油タンク防油堤内における軽油の漏えいについて	2005/3/16	②		2004-東京-S129	柏崎刈羽3号	屋外軽油タンク防油堤内における軽油の漏えいについて	2005/3/16	②	2862	2004-東京-S129	柏崎刈羽3号	屋外軽油タンク防油堤内における軽油の漏えいについて	2005/3/16	②							
2877	2004-東京-S135	柏崎刈羽3号	タービン建屋における油漏れについて	2005/3/28	①		2004-東京-S135	柏崎刈羽3号	タービン建屋における油漏れについて	2005/3/28	①	2877	2004-東京-S135	柏崎刈羽3号	タービン建屋における油漏れについて	2005/3/28	①							



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			
2883	2004-東北-S042	女川1号	原子炉建屋内における水漏れについて	2005/3/30	①		2883	2004-東北-S042	女川1号	原子炉建屋内における水漏れについて	2005/3/30	①	2883	2004-東北-S042	女川1号	原子炉建屋内における水漏れについて	2005/3/30	①			
2908	2004-東京-S137	福島第一5号	タービン建屋内における水漏れについて	2005/3/31	①		2908	2004-東京-S137	福島第一5号	タービン建屋内における水漏れについて	2005/3/31	①	2908	2004-東京-S137	福島第一5号	タービン建屋内における水漏れについて	2005/3/31	①			
2910	2004-東京-S138	福島第二3号	タービン建屋海水ストームサンプピットへの水の流入について	2005/3/31	②		2910	2004-東京-S138	福島第二3号	タービン建屋海水ストームサンプピットへの水の流入について	2005/3/31	②	2910	2004-東京-S138	福島第二3号	タービン建屋海水ストームサンプピットへの水の流入について	2005/3/31	②			
2915	2005-東北-S004	東通1号	制御棒駆動水ポンプ室排水受口からの溢水	2005/4/6	①		2915	2005-東北-S004	東通1号	制御棒駆動水ポンプ室排水受口からの溢水	2005/4/6	①	2915	2005-東北-S004	東通1号	制御棒駆動水ポンプ室排水受口からの溢水	2005/4/6	①			
2969	2005-北陸-S001	志賀2号	2号機 廃棄物処理建屋における漏えいについて	2005/4/16	①		2969	2005-北陸-S001	志賀2号	2号機 廃棄物処理建屋における漏えいについて	2005/4/16	①	2969	2005-北陸-S001	志賀2号	2号機 廃棄物処理建屋における漏えいについて	2005/4/16	①			
2921	2005-東京-S002	福島第一6号	6号機タービン建屋内における蒸気漏れ	2005/4/17	②		2921	2005-東京-S002	福島第一6号	6号機タービン建屋内における蒸気漏れ	2005/4/17	②	2921	2005-東京-S002	福島第一6号	6号機タービン建屋内における蒸気漏れ	2005/4/17	②			
2951	2005-東北-S008	東通1号	復水器水室からの海水の溢水	2005/5/4	①		2951	2005-東北-S008	東通1号	復水器水室からの海水の溢水	2005/5/4	①	2951	2005-東北-S008	東通1号	復水器水室からの海水の溢水	2005/5/4	①			

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考				
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類																				
2948	2005-東京-S008	福島第一2号	原子炉建屋における水漏れについて	2005/5/7	①																				
3012	2005-東北-S009	女川2号	タービン排気室マンホール養生部からの水の漏えいについて	2005/5/9	①																				
3023	2005-東京-S010	福島第一2号	タービン建屋内での油漏れについて	2005/5/13	②																				
2960	2005-東京-S011	福島第一5号	廃棄物処理建屋内における水漏れ	2005/5/14	②																				
2984	2005-東京-S013	柏崎刈羽1号	再循環MGセット油冷却器からの油漏れ	2005/5/31	②																				
2992	2005-東京-S014	福島第二1号	福島第二原子力発電所1号機原子炉建屋試験採取ラック室内での水漏れについて	2005/6/5	②																				
3052	2005-中部-S004	浜岡5号	タービン機器冷却水熱交換器内における冷却水(淡水)の海水側への流出について	2005/6/9	②																				
2948	2005-東京-S008	福島第一2号	原子炉建屋における水漏れについて	2005/5/7	①																				
3012	2005-東北-S009	女川2号	タービン排気室マンホール養生部からの水の漏えいについて	2005/5/9	①																				
3023	2005-東京-S010	福島第一2号	タービン建屋内での油漏れについて	2005/5/13	②																				
2960	2005-東京-S011	福島第一5号	廃棄物処理建屋内における水漏れ	2005/5/14	②																				
2984	2005-東京-S013	柏崎刈羽1号	再循環MGセット油冷却器からの油漏れ	2005/5/31	②																				
2992	2005-東京-S014	福島第二1号	福島第二原子力発電所1号機原子炉建屋試験採取ラック室内での水漏れについて	2005/6/5	②																				
3052	2005-中部-S004	浜岡5号	タービン機器冷却水熱交換器内における冷却水(淡水)の海水側への流出について	2005/6/9	②																				

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			
3018	2005-東京-S017	福島第一2号	タービン建屋内における水漏れ	2005/6/11	①		3018	2005-東京-S017	福島第一2号	タービン建屋内における水漏れ	2005/6/11	①	3018	2005-東京-S017	福島第一2号	タービン建屋内における水漏れ	2005/6/11	①			
3072	2005-東京-S020	柏崎刈羽1号	定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所1号機原子炉建屋内での溢水について	2005/6/24	①		3072	2005-東京-S020	柏崎刈羽1号	定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所1号機原子炉建屋内での溢水について	2005/6/24	①	3072	2005-東京-S020	柏崎刈羽1号	定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所1号機原子炉建屋内での溢水について	2005/6/24	①			
3067	2005-東京-S021	柏崎刈羽1号	タービン建屋潤滑油ラックからの油漏れについて	2005/6/27	①		3067	2005-東京-S021	柏崎刈羽1号	タービン建屋潤滑油ラックからの油漏れについて	2005/6/27	①	3067	2005-東京-S021	柏崎刈羽1号	タービン建屋潤滑油ラックからの油漏れについて	2005/6/27	①			
3077	2005-東京-M013	福島第一2号	高圧注水系における微少な蒸気漏れ	2005/6/30	①		3077	2005-東京-M013	福島第一2号	高圧注水系における微少な蒸気漏れ	2005/6/30	①	3077	2005-東京-M013	福島第一2号	高圧注水系における微少な蒸気漏れ	2005/6/30	①			
3106	2005-東京-S025	柏崎刈羽6号	FPCポンプ室内の溢水について	2005/7/7	①		3106	2005-東京-S025	柏崎刈羽6号	FPCポンプ室内の溢水について	2005/7/7	①	3106	2005-東京-S025	柏崎刈羽6号	FPCポンプ室内の溢水について	2005/7/7	①			
3128	2005-東京-S028	福島第一1号	原子炉再循環系配管の排水弁不具合	2005/7/15	②		3128	2005-東京-S028	福島第一1号	原子炉再循環系配管の排水弁不具合	2005/7/15	②	3128	2005-東京-S028	福島第一1号	原子炉再循環系配管の排水弁不具合	2005/7/15	②			
3136	2005-中部-S007	浜岡3号	給水系第2隔離弁(B)グラント部の監視強化について	2005/7/24	②		3136	2005-中部-S007	浜岡3号	給水系第2隔離弁(B)グラント部の監視強化について	2005/7/24	②	3136	2005-中部-S007	浜岡3号	給水系第2隔離弁(B)グラント部の監視強化について	2005/7/24	②			

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシニア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシニア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシニア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			
3185	2005-北陸-S004	志賀2号	電動駆動給水ポンプ吸込流量計の空気抜き操作間違について	2005/7/27	①		3185	2005-北陸-S004	志賀2号	電動駆動給水ポンプ吸込流量計の空気抜き操作間違について	2005/7/27	①	3185	2005-北陸-S004	志賀2号	電動駆動給水ポンプ吸込流量計の空気抜き操作間違について	2005/7/27	①			
3162	2005-東京-M022	福島第一1号	復水器洗浄装置制御御盤の火災について	2005/8/4	②		3162	2005-東京-M022	福島第一1号	復水器洗浄装置制御御盤の火災について	2005/8/4	②	3162	2005-東京-M022	福島第一1号	復水器洗浄装置制御御盤の火災について	2005/8/4	②			
3190	2005-東京-M021	福島第一1号	タービン建屋内での水漏れについて	2005/8/4	②		3190	2005-東京-M021	福島第一1号	タービン建屋内での水漏れについて	2005/8/4	②	3190	2005-東京-M021	福島第一1号	タービン建屋内での水漏れについて	2005/8/4	②			
3178	2005-東京-M025	福島第一3号	福島第一原子力発電所3号機非常用ディーゼル発電機(A)定例試験時の油漏れについて	2005/8/6	②		3178	2005-東京-M025	福島第一3号	福島第一原子力発電所3号機非常用ディーゼル発電機(A)定例試験時の油漏れについて	2005/8/6	②	3178	2005-東京-M025	福島第一3号	福島第一原子力発電所3号機非常用ディーゼル発電機(A)定例試験時の油漏れについて	2005/8/6	②			
3191	2005-東京-S039	福島第一1号	1号機タービン建屋内における非放射性の水漏れについて	2005/8/12	②		3191	2005-東京-S039	福島第一1号	1号機タービン建屋内における非放射性の水漏れについて	2005/8/12	②	3191	2005-東京-S039	福島第一1号	1号機タービン建屋内における非放射性の水漏れについて	2005/8/12	②			
3195	2005-東京-S042	福島第二4号	地震による原子炉建屋における空調ダクトからの水の滴下について	2005/8/16	③		3195	2005-東京-S042	福島第二4号	地震による原子炉建屋における空調ダクトからの水の滴下について	2005/8/16	③	3195	2005-東京-S042	福島第二4号	地震による原子炉建屋における空調ダクトからの水の滴下について	2005/8/16	③			
3196	2005-東京-S041	福島第一2,6号	地震による原子炉建屋における空調ダクトからの水の滴下について	2005/8/16	③		3196	2005-東京-S041	福島第一2,6号	地震による原子炉建屋における空調ダクトからの水の滴下について	2005/8/16	③	3196	2005-東京-S041	福島第一2,6号	地震による原子炉建屋における空調ダクトからの水の滴下について	2005/8/16	③			

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
3211	2005-東京-S043	福島第一	高温焼却炉設備用燃料供給ポンプの軸封部からの油漏れについて	2005/8/19	②
3239	2005-東京-M029	柏崎刈羽5号	使用済燃料プールの水位低下による運転上の制限の逸脱について	2005/9/1	②
7913	2005-東京-M030	柏崎刈羽3号	タービン建屋低電導度廃液系サンプ(A)の監視について	2005/9/15	②
7908	2005-中部-S014	浜岡4号	浜岡4号機 タービン軸振動計取付け部の監視措置について	2005/9/28	②
7909	2005-東京-S056	福島第二1号	1号機におけるタービン建屋低電導度廃液系サンプポンプの起動回数の増加について	2005/9/29	②
7916	2005-東京-M034	福島第一4号	残留熱除去系海水配管からの海水漏えいについて	2005/10/3	②
7937	2005-東京-M037	福島第一4号	給水加熱器ドレンポンプ(C)の点検状況について	2005/10/12	②

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
3211	2005-東京-S043	福島第一	高温焼却炉設備用燃料供給ポンプの軸封部からの油漏れについて	2005/8/19	②
3239	2005-東京-M029	柏崎刈羽5号	使用済燃料プールの水位低下による運転上の制限の逸脱について	2005/9/1	②
7913	2005-東京-M030	柏崎刈羽3号	タービン建屋低電導度廃液系サンプ(A)の監視について	2005/9/15	②
7908	2005-中部-S014	浜岡4号	浜岡4号機 タービン軸振動計取付け部の監視措置について	2005/9/28	②
7909	2005-東京-S056	福島第二1号	1号機におけるタービン建屋低電導度廃液系サンプポンプの起動回数の増加について	2005/9/29	②
7916	2005-東京-M034	福島第一4号	残留熱除去系海水配管からの海水漏えいについて	2005/10/3	②
7937	2005-東京-M037	福島第一4号	給水加熱器ドレンポンプ(C)の点検状況について	2005/10/12	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)								東海第二発電所 (2018.9.18版)								島根原子力発電所 2号炉								備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	備考						
7953	2005-東京-S062	福島第二2号	屋外地下道における放水配管からの海水の漏えいについて	2005/10/18	②	7953	2005-東京-S062	福島第二2号	屋外地下道における放水配管からの海水の漏えいについて	2005/10/18	②	7953	2005-東京-S062	福島第二2号	屋外地下道における放水配管からの海水の漏えいについて	2005/10/18	②							
7948	2005-東京-S066	福島第二3号	原子炉建屋における水溜まりの発見について	2005/10/25	①	7948	2005-東京-S066	福島第二3号	原子炉建屋における水溜まりの発見について	2005/10/25	①	7948	2005-東京-S066	福島第二3号	原子炉建屋における水溜まりの発見について	2005/10/25	①							
7959	2005-東京-S068	福島第一5号	福島第一原子力発電所5号機屋外重油移送ポンプ近傍からの重油の漏えいについて	2005/11/1	②	7959	2005-東京-S068	福島第一5号	福島第一原子力発電所5号機屋外重油移送ポンプ近傍からの重油の漏えいについて	2005/11/1	②	7959	2005-東京-S068	福島第一5号	福島第一原子力発電所5号機屋外重油移送ポンプ近傍からの重油の漏えいについて	2005/11/1	②							
7962	2005-東京-S070	福島第一5号	福島第一原子力発電所5号機屋外配管敷設溝における重油だまりの発見について	2005/11/2	②	7962	2005-東京-S070	福島第一5号	福島第一原子力発電所5号機屋外配管敷設溝における重油だまりの発見について	2005/11/2	②	7962	2005-東京-S070	福島第一5号	福島第一原子力発電所5号機屋外配管敷設溝における重油だまりの発見について	2005/11/2	②							
7964	2005-東京-S069	福島第一4号	タービン建屋内における水たまりの発見について	2005/11/2	②	7964	2005-東京-S069	福島第一4号	タービン建屋内における水たまりの発見について	2005/11/2	②	7964	2005-東京-S069	福島第一4号	タービン建屋内における水たまりの発見について	2005/11/2	②							
8215	2005-東北-S041	女川3号	スクラム弁ポンネット部の水のにじみについて	2005/11/21	①	8215	2005-東北-S041	女川3号	スクラム弁ポンネット部の水のにじみについて	2005/11/21	①	8215	2005-東北-S041	女川3号	スクラム弁ポンネット部の水のにじみについて	2005/11/21	①							
8005	2005-東京-S079	柏崎刈羽1号	タービン建屋内での溢水について	2005/12/5	②	8005	2005-東京-S079	柏崎刈羽1号	タービン建屋内での溢水について	2005/12/5	②	8005	2005-東京-S079	柏崎刈羽1号	タービン建屋内での溢水について	2005/12/5	②							

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)								東海第二発電所 (2018.9.18版)								島根原子力発電所 2号炉								備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			
8012	2005-東京-M044	福島第一4号	高圧復水ポンプ入口ヘッダーのサンプリング配管溶接部からのにじみ	2005/12/10	②			8012	2005-東京-M044	福島第一4号	高圧復水ポンプ入口ヘッダーのサンプリング配管溶接部からのにじみ	2005/12/10	②			8012	2005-東京-M044	福島第一4号	高圧復水ポンプ入口ヘッダーのサンプリング配管溶接部からのにじみ	2005/12/10	②			
8015	2005-東京-S081	福島第二2号	福島第二原子力発電所2号機屋外消火栓付近における水漏れについて	2005/12/13	②			8015	2005-東京-S081	福島第二2号	福島第二原子力発電所2号機屋外消火栓付近における水漏れについて	2005/12/13	②			8015	2005-東京-S081	福島第二2号	福島第二原子力発電所2号機屋外消火栓付近における水漏れについて	2005/12/13	②			
8035	2005-東京-S084	福島第二1,2号	福島第二原子力発電所1,2号機廃棄物処理設備建屋ボイラ棟内ピットへの水の流入について	2005/12/21	②			8035	2005-東京-S084	福島第二1,2号	福島第二原子力発電所1,2号機廃棄物処理設備建屋ボイラ棟内ピットへの水の流入について	2005/12/21	②			8035	2005-東京-S084	福島第二1,2号	福島第二原子力発電所1,2号機廃棄物処理設備建屋ボイラ棟内ピットへの水の流入について	2005/12/21	②			
8080	2005-東京-S090	福島第一6号	原子炉建屋内での水漏れについて	2006/1/12	①			8080	2005-東京-S090	福島第一6号	原子炉建屋内での水漏れについて	2006/1/12	①			8080	2005-東京-S090	福島第一6号	原子炉建屋内での水漏れについて	2006/1/12	①			
8079	2005-東京-S095	福島第一6号	原子炉建屋における水漏れについて	2006/1/18	②			8079	2005-東京-S095	福島第一6号	原子炉建屋における水漏れについて	2006/1/18	②			8079	2005-東京-S095	福島第一6号	原子炉建屋における水漏れについて	2006/1/18	②			
8088	2005-東京-M050	福島第一6号	給水加熱器ドレンポンプの点検状況について	2006/1/27	②			8088	2005-東京-M050	福島第一6号	給水加熱器ドレンポンプの点検状況について	2006/1/27	②			8088	2005-東京-M050	福島第一6号	給水加熱器ドレンポンプの点検状況について	2006/1/27	②			
8110	2005-東京-S100	福島第二1号	タービン建屋低電導度廃液サンプ(A)の監視について	2006/2/16	②			8110	2005-東京-S100	福島第二1号	タービン建屋低電導度廃液サンプ(A)の監視について	2006/2/16	②			8110	2005-東京-S100	福島第二1号	タービン建屋低電導度廃液サンプ(A)の監視について	2006/2/16	②			

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)								東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)								島根原子力発電所 2号炉								備考
ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	備考						
8161	2005-東北-S056	女川1号	原子炉補機冷却海水系および非常用補機冷却海水系(B)における海水の滴下について	2006/2/23	①	8161	2005-東北-S056	女川1号	原子炉補機冷却海水系(B)における海水の滴下について	2006/2/23	①	8161	2005-東北-S056	女川1号	原子炉補機冷却海水系(B)における海水の滴下について	2006/2/23	①							
8251	2005-東北-S059	女川1号	ほう酸水注入系配管接合部のにじみについて	2006/3/2	②	8251	2005-東北-S059	女川1号	ほう酸水注入系配管接合部のにじみについて	2006/3/2	②	8251	2005-東北-S059	女川1号	ほう酸水注入系配管接合部のにじみについて	2006/3/2	②							
8254	2005-東北-S064	女川1号	復水貯蔵タンク上部のフィルタ付き安全弁からの蒸気発生について	2006/3/7	②	8254	2005-東北-S064	女川1号	復水貯蔵タンク上部のフィルタ付き安全弁からの蒸気発生について	2006/3/7	②	8254	2005-東北-S064	女川1号	復水貯蔵タンク上部のフィルタ付き安全弁からの蒸気発生について	2006/3/7	②							
8141	2005-東京-S104	福島第二1,2号	福島第二原子力発電所1・2号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2006/3/7	①	8141	2005-東京-S104	福島第二1,2号	福島第二原子力発電所1・2号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2006/3/7	①	8141	2005-東京-S104	福島第二1,2号	福島第二原子力発電所1・2号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2006/3/7	①							
8143	2005-東京-S105	福島第一6号	福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋における水漏れについて	2006/3/9	①	8143	2005-東京-S105	福島第一6号	福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋における水漏れについて	2006/3/9	①	8143	2005-東京-S105	福島第一6号	福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋における水漏れについて	2006/3/9	①							
8169	2005-東京-S106	福島第二	廃棄物処理建屋ボイラー棟内の水漏れについて	2006/3/25	②	8169	2005-東京-S106	福島第二	廃棄物処理建屋ボイラー棟内の水漏れについて	2006/3/25	②	8169	2005-東京-S106	福島第二	廃棄物処理建屋ボイラー棟内の水漏れについて	2006/3/25	②							
8157	2005-東京-S107	福島第一6号	原子炉建屋における海水漏えいについて	2006/3/25	①	8157	2005-東京-S107	福島第一6号	原子炉建屋における海水漏えいについて	2006/3/25	①	8157	2005-東京-S107	福島第一6号	原子炉建屋における海水漏えいについて	2006/3/25	①							



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8178	2006-東京-S002	福島第一6号	福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋における非放射性の水の漏えいについて	2006/4/7	①
8210	2006-東京-S005	福島第一3号	原子炉建屋主蒸気隔離弁室における水漏れについて	2006/4/27	①
8213	2006-東京-S007	福島第一3号	原子炉建屋における水漏れ	2006/5/7	①
8224	2006-東京-M005	福島第二4号	相分離母線ダクト部からの油滴下に伴う原子炉手動停止について	2006/5/15	②
8242	2006-東京-M007	福島第一6号	MS系弁間ドレン弁グラウンド部からの漏えい	2006/5/22	②
8295	2006-北陸-S001	志賀1号	低圧復水ポンプA号機電動機上部軸受潤滑油への水混入について	2006/5/25	②
8308	2006-東京-S017	福島第一3号	福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋における水漏れについて	2006/6/20	②

東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)

島根原子力発電所 2号炉

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8178	2006-東京-S002	福島第一6号	福島第一原子力発電所6号機原子炉建屋における非放射性の水の漏えいについて	2006/4/7	①
8210	2006-東京-S005	福島第一3号	原子炉建屋主蒸気隔離弁室における水漏れについて	2006/4/27	①
8213	2006-東京-S007	福島第一3号	原子炉建屋における水漏れ	2006/5/7	①
8224	2006-東京-M005	福島第二4号	相分離母線ダクト部からの油滴下に伴う原子炉手動停止について	2006/5/15	②
8242	2006-東京-M007	福島第一6号	MS系弁間ドレン弁グラウンド部からの漏えい	2006/5/22	②
8295	2006-北陸-S001	志賀1号	低圧復水ポンプA号機電動機上部軸受潤滑油への水混入について	2006/5/25	②
8308	2006-東京-S017	福島第一3号	福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋における水漏れについて	2006/6/20	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8313	2006-東京-S019	福島第一1号	福島第一原子力発電所1号機タービン建屋内における重油漏れについて	2006/6/23	②
8346	2006-東京-S024	福島第二1号	原子炉建屋における水漏れについて	2006/7/16	②
8341	2006-東京-S023	福島第一6号	所内ボイラ室における火災警報の発生ならびに非放射性の水の漏えい	2006/7/16	①
8348	2006-東京-S025	福島第二1号	原子炉建屋における水漏れについて	2006/7/23	①
8376	2006-東北-T009	女川2号	原子炉建屋地下3階トールラス室における漏えいについて	2006/8/3	①
8379	2006-東京-S028	福島第一4号	福島第一原子力発電所4号機廃棄物処理建屋における水漏れについて	2006/8/8	①
8388	2006-東京-S029	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機タービン建屋内での水漏れについて	2006/8/15	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8313	2006-東京-S019	福島第一1号	福島第一原子力発電所1号機タービン建屋内における重油漏れについて	2006/6/23	②
8346	2006-東京-S024	福島第二1号	原子炉建屋における水漏れについて	2006/7/16	②
8341	2006-東京-S023	福島第一6号	所内ボイラ室における火災警報の発生ならびに非放射性の水の漏えい	2006/7/16	①
8348	2006-東京-S025	福島第二1号	原子炉建屋における水漏れについて	2006/7/23	①
8376	2006-東北-T009	女川2号	原子炉建屋地下3階トールラス室における漏えいについて	2006/8/3	①
8379	2006-東京-S028	福島第一4号	福島第一原子力発電所4号機廃棄物処理建屋における水漏れについて	2006/8/8	①
8388	2006-東京-S029	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機タービン建屋内での水漏れについて	2006/8/15	②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8404	2006-東京-S030	福島第一5号	原子炉格納容器内における水漏れについて	2006/8/17	①
8409	2006-東京-M023	福島第二1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管フランジ部からの漏えいについて	2006/8/21	②
8408	2006-東京-S034	福島第一5号	原子炉建屋地下階における水漏れについて	2006/8/24	②
8484	2006-東北-S034	女川2号	残留熱除去系(A)流量制限逆止弁端子ボックス内の油たまりについて	2006/9/2	②
8423	2006-東京-M027	福島第二3号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管フランジ部からの漏えいについて	2006/9/10	②
8430	2006-東京-S038	福島第一5号	福島第一原子力発電所5号機タービン建屋内における非放射性的の水漏れについて	2006/9/14	① ②
8450	2006-東京-M030	福島第一2号	給水加熱器ドレンポンプの点検状況について	2006/9/26	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8404	2006-東京-S030	福島第一5号	原子炉格納容器内における水漏れについて	2006/8/17	①
8409	2006-東京-M023	福島第二1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管フランジ部からの漏えいについて	2006/8/21	②
8408	2006-東京-S034	福島第一5号	原子炉建屋地下階における水漏れについて	2006/8/24	②
8484	2006-東北-S034	女川2号	残留熱除去系(A)流量制限逆止弁端子ボックス内の油たまりについて	2006/9/2	②
8423	2006-東京-M027	福島第二3号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管フランジ部からの漏えいについて	2006/9/10	②
8430	2006-東京-S038	福島第一5号	福島第一原子力発電所5号機タービン建屋内における非放射性的の水漏れについて	2006/9/14	① ②
8450	2006-東京-M030	福島第一2号	給水加熱器ドレンポンプの点検状況について	2006/9/26	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8404	2006-東京-S030	福島第一5号	原子炉格納容器内における水漏れについて	2006/8/17	①
8409	2006-東京-M023	福島第二1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管フランジ部からの漏えいについて	2006/8/21	②
8408	2006-東京-S034	福島第一5号	原子炉建屋地下階における水漏れについて	2006/8/24	②
8484	2006-東北-S034	女川2号	残留熱除去系(A)流量制限逆止弁端子ボックス内の油たまりについて	2006/9/2	②
8423	2006-東京-M027	福島第二3号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管フランジ部からの漏えいについて	2006/9/10	②
8430	2006-東京-S038	福島第一5号	福島第一原子力発電所5号機タービン建屋内における非放射性的の水漏れについて	2006/9/14	① ②
8450	2006-東京-M030	福島第一2号	給水加熱器ドレンポンプの点検状況について	2006/9/26	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8480	2006-中部-S016	浜岡3号	3号機 所内蒸気の漏えいによる自動火災報知設備の作動(非火災報)について	2006/10/12	②
8542	2006-中国-M001	島根2号	主蒸気圧力検出器の点検について	2006/10/13	②
8506	2006-東京-S050	福島第二1,2号	福島第二原子力発電所1・2号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2006/11/2	①
8575	2006-東京-S052	福島第一2号	原子炉建屋内における水漏れについて	2006/11/6	①
8547	2006-東京-S053	柏崎刈羽5号	原子炉建屋付属棟内(非管理区域)における水道水漏れについて	2006/11/16	②
8545	2006-東京-S055	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機サービス建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて	2006/11/18	②
8589	2006-中部-S017	浜岡1号	1号機 タービン建屋地下1階における海水の漏えいについて	2006/11/20	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8480	2006-中部-S016	浜岡3号	3号機 所内蒸気の漏えいによる自動火災報知設備の作動(非火災報)について	2006/10/12	②
8542	2006-中国-M001	島根2号	主蒸気圧力検出器の点検について	2006/10/13	②
8506	2006-東京-S050	福島第二1,2号	福島第二原子力発電所1・2号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2006/11/2	①
8575	2006-東京-S052	福島第一2号	原子炉建屋内における水漏れについて	2006/11/6	①
8547	2006-東京-S053	柏崎刈羽5号	原子炉建屋付属棟内(非管理区域)における水道水漏れについて	2006/11/16	②
8545	2006-東京-S055	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機サービス建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて	2006/11/18	②
8589	2006-中部-S017	浜岡1号	1号機 タービン建屋地下1階における海水の漏えいについて	2006/11/20	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8480	2006-中部-S016	浜岡3号	3号機 所内蒸気の漏えいによる自動火災報知設備の作動(非火災報)について	2006/10/12	②
8542	2006-中国-M001	島根2号	主蒸気圧力検出器の点検について	2006/10/13	②
8506	2006-東京-S050	福島第二1,2号	福島第二原子力発電所1・2号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて	2006/11/2	①
8575	2006-東京-S052	福島第一2号	原子炉建屋内における水漏れについて	2006/11/6	①
8547	2006-東京-S053	柏崎刈羽5号	原子炉建屋付属棟内(非管理区域)における水道水漏れについて	2006/11/16	②
8545	2006-東京-S055	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機サービス建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて	2006/11/18	②
8589	2006-中部-S017	浜岡1号	1号機 タービン建屋地下1階における海水の漏えいについて	2006/11/20	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20版) 東海第二発電所 (2018. 9. 18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8555	2006-東京-S057	柏崎刈羽5号	定期検査中の5号機タービン建屋のクレーンからの潤滑油漏れ	2006/11/25	②
8607	2006-東北-S054	女川1号	制御棒駆動水ポンプ(B)吐出逆止弁からの微小な漏えいについて	2006/12/5	②
8608	2006-東北-S055	女川2号	起動用真空ポンプ気水分離器ベントラインからの水漏れについて	2006/12/5	①
8805	2006-原電-M024	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)軸封部シール水出口配管からの微量漏えいについて	2007/2/21	①
8612	2006-東京-M040	福島第二1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管取り合いフランジ部からの漏えいについて	2007/1/16	②
8631	2006-東京-S072	福島第二3,4号	廃棄物処理用窒素製造装置の空気圧縮機室内(非管理区域)における非放射性的水の漏えいについて	2007/2/4	②
9027	2006-東北-S087	東通1号	復水補給水系復水移送ポンプ室等の排水受口からの溢水について	2007/2/7	①

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8555	2006-東京-S057	柏崎刈羽5号	定期検査中の5号機タービン建屋のクレーンからの潤滑油漏れ	2006/11/25	②
8607	2006-東北-S054	女川1号	制御棒駆動水ポンプ(B)吐出逆止弁からの微小な漏えいについて	2006/12/5	②
8608	2006-東北-S055	女川2号	起動用真空ポンプ気水分離器ベントラインからの水漏れについて	2006/12/5	①
8805	2006-原電-M024	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)軸封部シール水出口配管からの微量漏えいについて	2007/2/21	①
8612	2006-東京-M040	福島第二1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管取り合いフランジ部からの漏えいについて	2007/1/16	②
8631	2006-東京-S072	福島第二3,4号	廃棄物処理用窒素製造装置の空気圧縮機室内(非管理区域)における非放射性的水の漏えいについて	2007/2/4	②
9027	2006-東北-S087	東通1号	復水補給水系復水移送ポンプ室等の排水受口からの溢水について	2007/2/7	①

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8555	2006-東京-S057	柏崎刈羽5号	定期検査中の5号機タービン建屋のクレーンからの潤滑油漏れ	2006/11/25	②
8607	2006-東北-S054	女川1号	制御棒駆動水ポンプ(B)吐出逆止弁からの微小な漏えいについて	2006/12/5	②
8608	2006-東北-S055	女川2号	起動用真空ポンプ気水分離器ベントラインからの水漏れについて	2006/12/5	①
8805	2006-原電-M024	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)軸封部シール水出口配管からの微量漏えいについて	2007/2/21	①
8612	2006-東京-M040	福島第二1号	原子炉冷却材浄化系ポンプ(A)入口配管取り合いフランジ部からの漏えいについて	2007/1/16	②
8631	2006-東京-S072	福島第二3,4号	廃棄物処理用窒素製造装置の空気圧縮機室内(非管理区域)における非放射性的水の漏えいについて	2007/2/4	②
9027	2006-東北-S087	東通1号	復水補給水系復水移送ポンプ室等の排水受口からの溢水について	2007/2/7	①

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8661	2006-中部-M017	浜岡4号	4号機 湿分分離加熱器ドレンタンク水位計配管からの排水の監視強化について	2007/2/9	②
8655	2006-東京-S078	福島第一5号	廃棄物処理建屋における水漏れ	2007/2/16	①
8919	2006-東北-S093	女川1号	タービン建屋地下3階配管スペースにおける海水の溢水について	2007/2/20	②
8805	2006-原電-M024	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)軸封部シール水出口配管からの微少漏えいについて	2007/2/21	②
8673	2006-東京-M049	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機原子炉建屋内にある作業用仮設ハウスの局所排風機用フィルタからの発煙について	2007/2/21	④
8683	2006-東京-S080	柏崎刈羽2号	定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所2号機原子炉建屋付属棟(非管理区域)における潤滑油漏れについて	2007/2/23	-
8920	2006-東北-S099	女川1号	原子炉補機冷却海水系ベント弁からのにじみについて	2007/2/27	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8661	2006-中部-M017	浜岡4号	4号機 湿分分離加熱器ドレンタンク水位計配管からの排水の監視強化について	2007/2/9	②
8655	2006-東京-S078	福島第一5号	廃棄物処理建屋における水漏れ	2007/2/16	①
8919	2006-東北-S093	女川1号	タービン建屋地下3階配管スペースにおける海水の溢水について	2007/2/20	②
8805	2006-原電-M024	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)軸封部シール水出口配管からの微少漏えいについて	2007/2/21	②
8673	2006-東京-M049	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機原子炉建屋内にある作業用仮設ハウスの局所排風機用フィルタからの発煙について	2007/2/21	④
8683	2006-東京-S080	柏崎刈羽2号	定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所2号機原子炉建屋付属棟(非管理区域)における潤滑油漏れについて	2007/2/23	-
8920	2006-東北-S099	女川1号	原子炉補機冷却海水系ベント弁からのにじみについて	2007/2/27	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8661	2006-中部-M017	浜岡4号	4号機 湿分分離加熱器ドレンタンク水位計配管からの排水の監視強化について	2007/2/9	②
8655	2006-東京-S078	福島第一5号	廃棄物処理建屋における水漏れ	2007/2/16	①
8919	2006-東北-S093	女川1号	タービン建屋地下3階配管スペースにおける海水の溢水について	2007/2/20	②
8805	2006-原電-M024	東海第二	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A)軸封部シール水出口配管からの微少漏えいについて	2007/2/21	②
8673	2006-東京-M049	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機原子炉建屋内にある作業用仮設ハウスの局所排風機用フィルタからの発煙について	2007/2/21	④
8683	2006-東京-S080	柏崎刈羽2号	定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所2号機原子炉建屋付属棟(非管理区域)における潤滑油漏れについて	2007/2/23	-
8920	2006-東北-S099	女川1号	原子炉補機冷却海水系ベント弁からのにじみについて	2007/2/27	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9201	2006-東北-S104	女川3号	残留熱除去系ポンプ(A)仮設フランジからの水漏れについて	2007/3/3	②
8701	2006-東京-M050	福島第一1号	給水加熱器ドレンポンプの点検状況	2007/3/5	②
8754	2006-北陸-S006	志賀1号	使用済燃料貯蔵プールからの水飛散について	2007/3/25	③
8771	2006-北陸-S009	志賀2号	原子炉冷却材浄化系圧力調節弁等の調節不足について	2007/3/30	①
8774	2006-中部-M022	浜岡3号	3号機 シャワー廃液処理設備配管の小さな穴の確認について	2007/3/31	②
8932	2007-東北-S005	女川1号	ドライウェル機器ドレンサンポンプ(A)軸封部からの水の飛散について	2007/4/9	①
8782	2007-東京-S003	福島第一4号	タービン建屋内における油漏れについて	2007/4/9	①

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9201	2006-東北-S104	女川3号	残留熱除去系ポンプ(A)仮設フランジからの水漏れについて	2007/3/3	②
8701	2006-東京-M050	福島第一1号	給水加熱器ドレンポンプの点検状況	2007/3/5	②
8754	2006-北陸-S006	志賀1号	使用済燃料貯蔵プールからの水飛散について	2007/3/25	③
8771	2006-北陸-S009	志賀2号	原子炉冷却材浄化系圧力調節弁等の調節不足について	2007/3/30	①
8774	2006-中部-M022	浜岡3号	3号機 シャワー廃液処理設備配管の小さな穴の確認について	2007/3/31	②
8932	2007-東北-S005	女川1号	ドライウェル機器ドレンサンポンプ(A)軸封部からの水の飛散について	2007/4/9	①
8782	2007-東京-S003	福島第一4号	タービン建屋内における油漏れについて	2007/4/9	①

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9201	2006-東北-S104	女川3号	残留熱除去系ポンプ(A)仮設フランジからの水漏れについて	2007/3/3	②
8701	2006-東京-M050	福島第一1号	給水加熱器ドレンポンプの点検状況	2007/3/5	②
8754	2006-北陸-S006	志賀1号	使用済燃料貯蔵プールからの水飛散について	2007/3/25	③
8771	2006-北陸-S009	志賀2号	原子炉冷却材浄化系圧力調節弁等の調節不足について	2007/3/30	①
8774	2006-中部-M022	浜岡3号	3号機 シャワー廃液処理設備配管の小さな穴の確認について	2007/3/31	②
8932	2007-東北-S005	女川1号	ドライウェル機器ドレンサンポンプ(A)軸封部からの水の飛散について	2007/4/9	①
8782	2007-東京-S003	福島第一4号	タービン建屋内における油漏れについて	2007/4/9	①

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
8933	2007-東北-S006	女川	原子炉補機冷却海水系ドレン弁から下流側配管への海水の微少なしみ出しについて	2007/4/10	②
8934	2007-東北-S007	女川1号	原子炉補機冷却海水系入口計器元弁軸封部からの海水の滴下について	2007/4/11	②
8781	2007-東京-S004	福島第二3号	原子炉建屋内における水漏れについて	2007/4/11	①
8930	2007-東北-S010	女川1号	復水器過脱塩塔(E)プリコート入口弁の軸封部からの水の滴下について	2007/4/16	②
8929	2007-東北-S009	女川1号	機器ドレン系密封ファンネルからの水の漏えいについて	2007/4/16	②
8926	2007-東北-S011	女川1号	原子炉給水ポンプ吸込弁の軸封部からの水の滴下について	2007/4/17	②
8796	2007-東京-M005	柏崎刈羽6号	6号機タービン建屋内での水漏れについて	2007/4/25	②

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
8933	2007-東北-S006	女川	原子炉補機冷却海水系ドレン弁から下流側配管への海水の微少なしみ出しについて	2007/4/10	②
8934	2007-東北-S007	女川1号	原子炉補機冷却海水系入口計器元弁軸封部からの海水の滴下について	2007/4/11	②
8781	2007-東京-S004	福島第二3号	原子炉建屋内における水漏れについて	2007/4/11	①
8930	2007-東北-S010	女川1号	復水器過脱塩塔(E)プリコート入口弁の軸封部からの水の滴下について	2007/4/16	②
8929	2007-東北-S009	女川1号	機器ドレン系密封ファンネルからの水の漏えいについて	2007/4/16	②
8926	2007-東北-S011	女川1号	原子炉給水ポンプ吸込弁の軸封部からの水の滴下について	2007/4/17	②
8796	2007-東京-M005	柏崎刈羽6号	6号機タービン建屋内での水漏れについて	2007/4/25	②

備考



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8808	2007-東京-S013	福島第二3,4号	3・4号機サーベイス建屋内手洗い場における水漏れについて	2007/4/26	②
8807	2007-東京-S014	福島第二3号	タービン建屋海水ストームサンプピットへの水の流入について	2007/4/26	①
プレス リリース	—	女川3号	制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット下部の水たまりについて	2007/5/11	②
8822	2007-東京-S017	福島第一6号	屋外における非放射性的の水漏れについて	2007/5/15	①
8824	2007-東京-M007	福島第一1号	使用済燃料プール水位低下に伴う運転上の制限の逸脱	2007/5/17	①
8840	2007-中部-M003	浜岡4号	4号機 高圧炉心スプレイ機器冷却水系補給水タンクの水位低下について	2007/5/21	②
8866	2007-東京-S020	福島第一3号	廃棄物処理建屋における水漏れについて	2007/5/30	①

ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8808	2007-東京-S013	福島第二3,4号	3・4号機サーベイス建屋内手洗い場における水漏れについて	2007/4/26	②
8807	2007-東京-S014	福島第二3号	タービン建屋海水ストームサンプピットへの水の流入について	2007/4/26	①
プレス リリース	—	女川3号	制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット下部の水たまりについて	2007/5/11	②
8822	2007-東京-S017	福島第一6号	屋外における非放射性的の水漏れについて	2007/5/15	①
8824	2007-東京-M007	福島第一1号	使用済燃料プール水位低下に伴う運転上の制限の逸脱	2007/5/17	①
8840	2007-中部-M003	浜岡4号	4号機 高圧炉心スプレイ機器冷却水系補給水タンクの水位低下について	2007/5/21	②
8866	2007-東京-S020	福島第一3号	廃棄物処理建屋における水漏れについて	2007/5/30	①

ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8808	2007-東京-S013	福島第二3,4号	3・4号機サーベイス建屋内手洗い場における水漏れについて	2007/4/26	②
8807	2007-東京-S014	福島第二3号	タービン建屋海水ストームサンプピットへの水の流入について	2007/4/26	①
プレス リリース	—	女川3号	制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット下部の水たまりについて	2007/5/11	②
8822	2007-東京-S017	福島第一6号	屋外における非放射性的の水漏れについて	2007/5/15	①
8824	2007-東京-M007	福島第一1号	使用済燃料プール水位低下に伴う運転上の制限の逸脱	2007/5/17	①
8840	2007-中部-M003	浜岡4号	4号機 高圧炉心スプレイ機器冷却水系補給水タンクの水位低下について	2007/5/21	②
8866	2007-東京-S020	福島第一3号	廃棄物処理建屋における水漏れについて	2007/5/30	①

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8956	2007-東京-S024	柏崎刈羽6号	定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所6号機原子炉建屋内での水漏れについて	2007/6/13	①
8957	2007-東京-M014	福島第一3号	福島第一原子力発電所3号機の原子炉手動停止について	2007/6/14	②
8996	2007-東京-S027	柏崎刈羽6号	定期検査中における原子炉建屋内での水漏れ	2007/6/19	①
9168	2007-東北-S033	女川3号	原子炉格納容器内での水漏れについて	2007/6/26	①
9209	2007-東北-S037	女川3号	残留熱除去系ポンプ(A)仮設フランジからの水漏れについて	2007/7/3	①
9121	2007-東京-S030	福島第一	福島第一原子力発電所 集中環境施設内における非放射性の水漏れについて	2007/7/6	②
9123	2007-東京-S031	福島第一6号	福島第一原子力発電所6号機屋外における消火栓配管からの水漏れについて	2007/7/9	①

東海第二発電所 (2018.9.18版)

ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
8956	2007-東京-S024	柏崎刈羽6号	定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所6号機原子炉建屋内での水漏れについて	2007/6/13	①
8957	2007-東京-M014	福島第一3号	福島第一原子力発電所3号機の原子炉手動停止について	2007/6/14	②
8996	2007-東京-S027	柏崎刈羽6号	定期検査中における原子炉建屋内での水漏れ	2007/6/19	①
9168	2007-東北-S033	女川3号	原子炉格納容器内での水漏れについて	2007/6/26	①
9209	2007-東北-S037	女川3号	残留熱除去系ポンプ(A)仮設フランジからの水漏れについて	2007/7/3	①
9121	2007-東京-S030	福島第一	福島第一原子力発電所 集中環境施設内における非放射性の水漏れについて	2007/7/6	②
9123	2007-東京-S031	福島第一6号	福島第一原子力発電所6号機屋外における消火栓配管からの水漏れについて	2007/7/9	①

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9129	2007-東京-S032	柏崎刈羽5号	原子炉建屋付属棟(非管理区域)における換気空調機器結露水の溢水について	2007/7/11	②
10030	2007-東京-M027	柏崎刈羽2号	【新潟県中越沖地震】タービン建屋原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン主油タンク(B)タンク室床に油たまり	2007/7/16	③
10002	2007-東京-M025	柏崎刈羽1号	【新潟県中越沖地震】原子炉複合建屋地下5階における漏えい	2007/7/16	③
9134	2007-東京-T035	柏崎刈羽6号	【新潟県中越沖地震】6号機の放射性物質の漏えいについて	2007/7/16	③
9150	2007-東京-T031	柏崎刈羽1,2,3,4,5,6,7号	【新潟県中越沖地震】1~7号機原子炉建屋オペレーティングフロアにおける溢水	2007/7/16	③
10029	2007-東京-M026	柏崎刈羽1号	【新潟県中越沖地震】消火設備配管の損傷について	2007/7/16	③
9260	2007-東京-M022	柏崎刈羽1,2,3号	【新潟県中越沖地震】1~3号機使用済み燃料プールの水位低下による運転上の制限からの逸脱および復帰について	2007/7/16	③

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9129	2007-東京-S032	柏崎刈羽5号	原子炉建屋付属棟(非管理区域)における換気空調機器結露水の溢水について	2007/7/11	②
10030	2007-東京-M027	柏崎刈羽2号	【新潟県中越沖地震】タービン建屋原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン主油タンク(B)タンク室床に油たまり	2007/7/16	③
10002	2007-東京-M025	柏崎刈羽1号	【新潟県中越沖地震】原子炉複合建屋地下5階における漏えい	2007/7/16	③
9134	2007-東京-T035	柏崎刈羽6号	【新潟県中越沖地震】6号機の放射性物質の漏えいについて	2007/7/16	③
9150	2007-東京-T031	柏崎刈羽1,2,3,4,5,6,7号	【新潟県中越沖地震】1~7号機原子炉建屋オペレーティングフロアにおける溢水	2007/7/16	③
10002	2007-東京-M025	柏崎刈羽1号	【新潟県中越沖地震】原子炉複合建屋地下5階における漏えい	2007/7/16	③
10029	2007-東京-M026	柏崎刈羽1号	【新潟県中越沖地震】消火設備配管の損傷について	2007/7/16	③

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
10066	2007-東京-M033	柏崎刈羽 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号	新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所で発生した不適合事象 (Bグレード以上 80件) について	2007/7/16	② ③ ⑤
9149	2007-東京-S036	福島第一 4号	廃棄物処理建屋における水漏れについて	2007/7/25	① ②
9156	2007-東京-S037	福島第二 3号	福島第二原子力発電所 3号機原子炉建屋付属棟における油漏れについて	2007/7/27	②
9161	2007-東京-S039	福島第二 2号	定期検査中の福島第二原子力発電所 2号機原子炉建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について	2007/7/30	① ②
9172	2007-東京-S040	福島第二 2号	福島第二原子力発電所 2号機 屋外軽油タンクの防油堤内における油漏れについて	2007/8/2	②
9378	2007-東北-S054	女川 3号	原子炉再循環系の水張り時における冷却水の溢水について	2007/8/7	①
9195	2007-東京-S044	福島第二 2号	定期検査中の福島第二原子力発電所 2号機における原子炉建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について	2007/8/16	① ②

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9260	2007-東京-M022	柏崎刈羽 1, 2, 3号	【新潟県中越沖地震】 1～3号機使用済み燃料プールの水位低下による運転上の制限からの逸脱および復帰について	2007/7/16	③
10066	2007-東京-M033	柏崎刈羽 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号	新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所で発生した不適合事象 (Bグレード以上 80件) について	2007/7/16	② ③ ⑤
9149	2007-東京-S036	福島第一 4号	廃棄物処理建屋における水漏れについて	2007/7/25	① ②
9156	2007-東京-S037	福島第二 3号	福島第二原子力発電所 3号機原子炉建屋付属棟における油漏れについて	2007/7/27	②
9161	2007-東京-S039	福島第二 2号	定期検査中の福島第二原子力発電所 2号機原子炉建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について	2007/7/30	① ②
9172	2007-東京-S040	福島第二 2号	福島第二原子力発電所 2号機 屋外軽油タンクの防油堤内における油漏れについて	2007/8/2	②
9378	2007-東北-S054	女川 3号	原子炉再循環系の水張り時における冷却水の溢水について	2007/8/7	①

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9218	2007-東京-S047	福島第二1,2号	廃棄物処理建屋内の低電導度廃液系収集ポンプ(B)室における水漏れについて	2007/8/21	②
9291	2007-原電-M008	東海第二	高圧炉心スプレイスライダージェル発電機 冷却水系圧力スイッチ元弁付近からの水の漏えいについて	2007/9/4	②
9284	2007-東京-S060	柏崎刈羽1号	原子炉複合建屋(非管理区域)における潤滑油漏れ	2007/9/10	②
8919	2006-東北-S093	女川1号	タービン建屋地下3階配管スペースにおける海水の溢水について	2007/2/20	②
プレス リリース	—	東海第二	高圧復水ポンプ(A)ケーシングの空気抜き配管の取替えについて	2007/9/23	②
9338	2007-東京-M054	福島第一3号	給水加熱器ドレンポンプの点検状況について	2007/9/26	②
9339	2007-東京-S067	福島第二1号	定期検査中の福島第二原子力発電所1号機タービン建屋高電導度廃液サンプピットへの水の流入について	2007/9/27	①

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9195	2007-東京-S044	福島第二2号	定期検査中の福島第二原子力発電所2号機における原子炉建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について	2007/8/16	① ②
9218	2007-東京-S047	福島第二1,2号	廃棄物処理建屋内の低電導度廃液系収集ポンプ(B)室における水漏れについて	2007/8/21	②
9291	2007-原電-M008	東海第二	高圧炉心スプレイスライダージェル発電機 冷却水系圧力スイッチ元弁付近からの水の漏えいについて	2007/9/4	②
9284	2007-東京-S060	柏崎刈羽1号	原子炉複合建屋(非管理区域)における潤滑油漏れ	2007/9/10	②
8919	2006-東北-S093	女川1号	タービン建屋地下3階配管スペースにおける海水の溢水について	2007/2/20	②
プレス リリース	—	東海第二	高圧復水ポンプ(A)ケーシングの空気抜き配管の取替えについて	2007/9/23	②
9338	2007-東京-M054	福島第一3号	給水加熱器ドレンポンプの点検状況について	2007/9/26	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		
9349	2007-東京-S070	福島第一1号	定期検査中の福島第一原子力発電所1号機タービン建屋内における油の滴下について	2007/10/2	① ②		9339	2007-東京-S067	福島第二1号	定期検査中の福島第二原子力発電所1号機タービン建屋高電導度廃液サンプルへの水の流入について	2007/9/27	①		9339	2007-東京-S067	福島第二1号	定期検査中の福島第二原子力発電所1号機タービン建屋高電導度廃液サンプルへの水の流入について	2007/9/27	①		
9353	2007-東京-S072	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所原子炉複合建屋低電導度廃液サンプルへの水の流入について	2007/10/5	③		9349	2007-東京-S070	福島第一1号	定期検査中の福島第一原子力発電所1号機タービン建屋内における油の滴下について	2007/10/2	① ②		9349	2007-東京-S070	福島第一1号	定期検査中の福島第一原子力発電所1号機タービン建屋内における油の滴下について	2007/10/2	① ②		
9357	2007-東京-M056	柏崎刈羽7号	【新潟県中越沖地震】柏崎刈羽原子力発電所7号機原子炉ウエルライナイナードレン水の検知について	2007/10/8	②		9353	2007-東京-S072	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所原子炉複合建屋低電導度廃液サンプルへの水の流入について	2007/10/5	③		9353	2007-東京-S072	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所原子炉複合建屋低電導度廃液サンプルへの水の流入について	2007/10/5	③		
9452	2007-東北-S065	女川3号	女川原子力発電所第3号機制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット内の弁軸封部からの水の滴下について	2007/10/9	②		9357	2007-東京-M056	柏崎刈羽7号	【新潟県中越沖地震】柏崎刈羽原子力発電所7号機原子炉ウエルライナイナードレン水の検知について	2007/10/8	②		9357	2007-東京-M056	柏崎刈羽7号	【新潟県中越沖地震】柏崎刈羽原子力発電所7号機原子炉ウエルライナイナードレン水の検知について	2007/10/8	②		
9369	2007-東京-S075	福島第一1号	タービン建屋地下1階所内ボイラ室内における重油漏れについて	2007/10/10	①		9452	2007-東北-S065	女川3号	女川原子力発電所第3号機制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット内の弁軸封部からの水の滴下について	2007/10/9	②		9452	2007-東北-S065	女川3号	女川原子力発電所第3号機制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット内の弁軸封部からの水の滴下について	2007/10/9	②		
9374	2007-東京-S077	福島第一6号	定期検査中の福島第一原子力発電所6号機廃棄物処理建屋内における非放射性の水の漏えいについて	2007/10/11	①		9369	2007-東京-S075	福島第一1号	タービン建屋地下1階所内ボイラ室内における重油漏れについて	2007/10/10	①		9369	2007-東京-S075	福島第一1号	タービン建屋地下1階所内ボイラ室内における重油漏れについて	2007/10/10	①		
9448	2007-東北-S067	女川2号	女川原子力発電所第2号機制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット内の弁軸封部からの水の滴下について	2007/10/12	②		9374	2007-東京-S077	福島第一6号	定期検査中の福島第一原子力発電所6号機廃棄物処理建屋内における非放射性の水の漏えいについて	2007/10/11	①		9374	2007-東京-S077	福島第一6号	定期検査中の福島第一原子力発電所6号機廃棄物処理建屋内における非放射性の水の漏えいについて	2007/10/11	①		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9411	2007-東京-M060	福島第一6号	原子炉建屋内における水漏れ	2007/10/25	①
9442	2007-北陸-M004	志賀1号	固体廃棄物貯蔵庫におけるドラム缶からの析出物 確認について	2007/10/30	②
9431	2007-東京-S084	福島第二1,2号	1・2号機廃棄物処理建屋内の洗濯廃液収集タンク (A・B)室における水漏れについて	2007/11/1	②
9427	2007-東京-S086	福島第二1号	福島第二原子力発電所1号機原子炉建屋内における 水漏れについて	2007/11/3	①
9459	2007-東京-S092	福島第一3号	定期検査中の福島第一原子力発電所3号機原子炉格 納容器内における水漏れについて	2007/11/19	①
9470	2007-東京-S096	福島第一6号	定期検査中の原子炉建屋内における水漏れ	2007/11/22	①
9548	2007-東北-S089	女川2号	換気空調補機非常用冷却水系弁からのにじみにつ いて	2007/12/25	②

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9448	2007-東北-S067	女川2号	女川原子力発電所第2号機制御棒駆動水圧系水圧 制御ユニット内の弁軸封部からの水の滴下につ いて	2007/10/12	②
9411	2007-東京-M060	福島第一6号	原子炉建屋内における水漏れ	2007/10/25	①
9442	2007-北陸-M004	志賀1号	固体廃棄物貯蔵庫におけるドラム缶からの析出物 確認について	2007/10/30	②
9431	2007-東京-S084	福島第二1,2号	1・2号機廃棄物処理建屋内の洗濯廃液収集タンク (A・B)室における水漏れについて	2007/11/1	②
9427	2007-東京-S086	福島第二1号	福島第二原子力発電所1号機原子炉建屋内におけ る水漏れについて	2007/11/3	①
9459	2007-東京-S092	福島第一3号	定期検査中の福島第一原子力発電所3号機原子炉 格納容器内における水漏れについて	2007/11/19	①
9470	2007-東京-S096	福島第一6号	定期検査中の原子炉建屋内における水漏れ	2007/11/22	①

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9536	2007-中部-S013	浜岡2号	原子炉建屋1階における水の漏えいについて	2008/1/4	②
9550	2007-東京-M077	柏崎刈羽7号	タービン建屋発電機下部における油漏れについて	2008/1/16	①
9563	2007-東京-M079	柏崎刈羽2号	2号機・3号機間の地下連絡通路内(管理区域)における水漏れについて	2008/1/28	②
9628	2007-東北-S102	女川1号	原子炉建屋サンプリングラック室内における原子炉水の漏えいについて	2008/2/15	① ②
9669	2007-東京-S127	福島第二4号	定期検査中の4号機タービン建屋における油漏れの確認について	2008/3/31	①
9682	2008-東京-S003	柏崎刈羽6号	原子炉建屋(非管理区域)における非常用ディーゼル発電機からの油漏れについて	2008/4/4	②
東北 提供情報	—	東通1号	主タービン油冷却器(A)フランジからの漏えい	2008/4/19	①

東海第二発電所 (2018.9.18版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9548	2007-東北-S089	女川2号	換気空調補機非常用冷却水系弁からのにじみについて	2007/12/25	②
9536	2007-中部-S013	浜岡2号	原子炉建屋1階における水の漏えいについて	2008/1/4	②
9550	2007-東京-M077	柏崎刈羽7号	タービン建屋発電機下部における油漏れについて	2008/1/16	①
9563	2007-東京-M079	柏崎刈羽2号	2号機・3号機間の地下連絡通路内(管理区域)における水漏れについて	2008/1/28	②
9628	2007-東北-S102	女川1号	原子炉建屋サンプリングラック室内における原子炉水の漏えいについて	2008/2/15	① ②
9669	2007-東京-S127	福島第二4号	定期検査中の4号機タービン建屋における油漏れの確認について	2008/3/31	①
9682	2008-東京-S003	柏崎刈羽6号	原子炉建屋(非管理区域)における非常用ディーゼル発電機からの油漏れについて	2008/4/4	②

備考



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
10846	2008-東京-M002	柏崎刈羽1号	改造工事中の洗濯廃液系主配管での漏えいの原因と対策について	2008/4/24	②
9731	2008-北陸-M003	志賀1号	残留熱除去系からの水漏れについて	2008/4/25	①
9824	2008-東京-M004	福島第一4号	給水加熱器ドレンポンプにおける溜まり水の発見について	2008/5/7	②
9765	2008-東京-S007	福島第一2号	定期検査中のタービン建屋内における水漏れについて	2008/5/8	②
9774	2008-東京-S008	柏崎刈羽7号	軽油タンク(B)における油漏れについて	2008/5/19	①
9788	2008-東京-T007	福島第一5号	起動操作中の5号機高圧注水系と原子炉隔離時冷却系不具合による手動停止について	2008/5/25	①
9848	2008-東北-S018	東通1号	タービン建屋地下2階空調ダクトからの滴下について	2008/5/26	①

東海第二発電所 (2018.9.18版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
東北 提供情報	—	東通1号	主タービン油冷却器(A)フランジからの漏えい	2008/4/19	①
10846	2008-東京-M002	柏崎刈羽1号	改造工事中の洗濯廃液系主配管での漏えいの原因と対策について	2008/4/24	②
9731	2008-北陸-M003	志賀1号	残留熱除去系からの水漏れについて	2008/4/25	①
9824	2008-東京-M004	福島第一4号	給水加熱器ドレンポンプにおける溜まり水の発見について	2008/5/7	②
9765	2008-東京-S007	福島第一2号	定期検査中のタービン建屋内における水漏れについて	2008/5/8	②
9774	2008-東京-S008	柏崎刈羽7号	軽油タンク(B)における油漏れについて	2008/5/19	①
9788	2008-東京-T007	福島第一5号	起動操作中の5号機高圧注水系と原子炉隔離時冷却系不具合による手動停止について	2008/5/25	①

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9810	2008-北陸-S001	志賀1号	原子炉建屋地下2階における水の漏えいについて	2008/5/30	①
9809	2008-東京-S012	柏崎刈羽6号	タービン建屋(管理区域)における油漏れについて	2008/6/4	①
9827	2008-東京-M009	福島第二2,4号	岩手・宮城内陸地震の影響について	2008/6/14	③
9873	2008-北陸-M005	志賀2号	燃料プール冷却浄化系保持ポンプ(A)の故障について	2008/6/17	②
9874	2008-北陸-M006	志賀2号	発電機固定子冷却水ポンプ出口配管溶接部のわずかなひびびについて	2008/6/23	②
9884	2008-東京-S016	柏崎刈羽6号	タービン建屋内における水漏れ(結露水)について	2008/7/11	②
9905	2008-中部-M011	浜岡5号	タービン付建屋地下1階における水漏れについて	2008/7/23	②

ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9848	2008-東北-S018	東通1号	タービン建屋地下2階空調ダクトからの滴下について	2008/5/26	①
9810	2008-北陸-S001	志賀1号	原子炉建屋地下2階における水の漏えいについて	2008/5/30	①
9809	2008-東京-S012	柏崎刈羽6号	タービン建屋(管理区域)における油漏れについて	2008/6/4	①
9827	2008-東京-M009	福島第二2,4号	岩手・宮城内陸地震の影響について	2008/6/14	③
9873	2008-北陸-M005	志賀2号	燃料プール冷却浄化系保持ポンプ(A)の故障について	2008/6/17	②
9874	2008-北陸-M006	志賀2号	発電機固定子冷却水ポンプ出口配管溶接部のわずかなひびびについて	2008/6/23	②
9884	2008-東京-S016	柏崎刈羽6号	タービン建屋内における水漏れ(結露水)について	2008/7/11	②

ニューシア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
9848	2008-東北-S018	東通1号	タービン建屋地下2階空調ダクトからの滴下について	2008/5/26	①
9810	2008-北陸-S001	志賀1号	原子炉建屋地下2階における水の漏えいについて	2008/5/30	①
9809	2008-東京-S012	柏崎刈羽6号	タービン建屋(管理区域)における油漏れについて	2008/6/4	①
9827	2008-東京-M009	福島第二2,4号	岩手・宮城内陸地震の影響について	2008/6/14	③
9873	2008-北陸-M005	志賀2号	燃料プール冷却浄化系保持ポンプ(A)の故障について	2008/6/17	②
9874	2008-北陸-M006	志賀2号	発電機固定子冷却水ポンプ出口配管溶接部のわずかなひびびについて	2008/6/23	②
9884	2008-東京-S016	柏崎刈羽6号	タービン建屋内における水漏れ(結露水)について	2008/7/11	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
9895	2008-東北-S043	女川3号	女川原子力発電所3号機サービス建屋における水たまりについて	2008/7/24	-
9997	2008-東京-S024	柏崎刈羽3号	原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて	2008/8/29	①
10041	2008-東京-S032	柏崎刈羽1号	海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について	2008/10/27	⑤
10081	2008-原電-M032	東海第二	屋外硫酸貯蔵タンク堰内での漏えい事象について	2008/11/9	②
10101	2008-東京-S053	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機タービン建屋(管理区域)における堆積物の確認について	2008/12/3	①
10107	2008-東京-S041	柏崎刈羽2号	柏崎刈羽原子力発電所2号機原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて	2008/12/14	①
10160	2008-東北-S070	女川3号	タービンバイパス弁用サーボ弁からの油にじみに ついて	2009/1/15	②

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
9905	2008-中部-M011	浜岡5号	タービン付属建屋地下1階における水漏れについて	2008/7/23	②
9895	2008-東北-S043	女川3号	女川原子力発電所3号機サービス建屋における水たまりについて	2008/7/24	-
9997	2008-東京-S024	柏崎刈羽3号	原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて	2008/8/29	①
10041	2008-東京-S032	柏崎刈羽1号	海水熱交換器建屋(非管理区域)における水漏れ(雨水)について	2008/10/27	⑤
10081	2008-原電-M032	東海第二	屋外硫酸貯蔵タンク堰内での漏えい事象について	2008/11/9	②
10101	2008-東京-S053	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機タービン建屋(管理区域)における堆積物の確認について	2008/12/3	①
10107	2008-東京-S041	柏崎刈羽2号	柏崎刈羽原子力発電所2号機原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて	2008/12/14	①

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
10307	2009-東京-S003	福島第一 1, 2, 3, 4号	1~4号機側屋外重油移送配管における油漏れの発見	2009/4/10	②
10309	2009-東京-S004	柏崎刈羽3号	柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における油のじみについて	2009/4/15	① ②
10345	2009-東京-M005	福島第一2号	福島第一原子力発電所2号機 給水加熱器ドレンポンプにおける溜まり水の発見について	2009/5/6	②
10581	2009-東京-S009	福島第一2号	福島第一原子力発電所2号機 原子炉建屋内における水漏れについて	2009/5/24	①
10400	2009-東北-S019	女川2号	制御棒駆動水圧系水圧制御ユニットからの水の漏えいについて	2009/5/25	②
10362	2009-東京-M009	福島第一1号	福島第一原子力発電所1号機 原子炉格納容器スプレイ海水系からの海水漏れについて	2009/5/27	②
10363	2009-東京-S011	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉付属建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて	2009/5/28	①

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分 類
10160	2008-東北-S070	女川3号	タービンバイパス弁用サーボ弁からの油のじみについて	2009/1/15	②
10307	2009-東京-S003	福島第一 1, 2, 3, 4号	1~4号機側屋外重油移送配管における油漏れの発見	2009/4/10	②
10309	2009-東京-S004	柏崎刈羽3号	柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における油のじみについて	2009/4/15	① ②
10345	2009-東京-M005	福島第一2号	福島第一原子力発電所2号機 給水加熱器ドレンポンプにおける溜まり水の発見について	2009/5/6	②
10983	2010-東京-S004	柏崎刈羽4号	柏崎刈羽原子力発電所4号機 タービン建屋(管理区域)における潤滑油の漏れについて	2010/5/26	①
10581	2009-東京-S009	福島第一2号	福島第一原子力発電所2号機 原子炉建屋内における水漏れについて	2009/5/24	①
10400	2009-東北-S019	女川2号	制御棒駆動水圧系水圧制御ユニットからの水の漏えいについて	2009/5/25	②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			
10412	2009-東京-S012	福島第一2号	福島第一原子力発電所2号機 原子炉建屋地下における火災報知器の発報について	2009/5/29	①		10362	2009-東京-M009	福島第一1号	福島第一原子力発電所1号機 原子炉格納容器スプレイ海水系からの海水漏れについて	2009/5/27	②	10363	2009-東京-S011	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉付属建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて	2009/5/28	①			
10594	2009-東京-S013	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機 高圧ヒータードレンポンプ(C)のモーターとポンプの軸結合部からの潤滑油のじみについて	2009/6/2	②		10412	2009-東京-S012	福島第一2号	福島第一原子力発電所2号機 原子炉建屋地下における火災報知器の発報について	2009/5/29	①	10416	2009-東京-S019	柏崎刈羽	柏崎刈羽原子力発電所 荒浜側洗濯設備建屋付近(屋外)における油漏れについて	2009/6/22	②			
10567	2009-東京-S014	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機 プラント全体の機能試験におけるタービン駆動原子炉給水ポンプ(A)吐出弁からの漏えいについて	2009/6/6	②		10594	2009-東京-S013	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機 高圧ヒータードレンポンプ(C)のモーターとポンプの軸結合部からの潤滑油のじみについて	2009/6/2	②	10410	2009-東北-M003	女川1号	女川原子力発電所1号機の発電機と励磁機の接合部不具合による原子炉停止について	2009/6/11	① ②			
10410	2009-東北-M003	女川1号	女川原子力発電所1号機の発電機と励磁機の接合部不具合による原子炉停止について	2009/6/11	① ②		10430	2009-東京-M013	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機 海水熱交換器建屋(非管理区域)における海水の流入について	2009/6/30	① ②	10416	2009-東京-S019	柏崎刈羽	柏崎刈羽原子力発電所 荒浜側洗濯設備建屋付近(屋外)における油漏れについて	2009/6/22	②			
10416	2009-東京-S019	柏崎刈羽	柏崎刈羽原子力発電所 荒浜側洗濯設備建屋付近(屋外)における油漏れについて	2009/6/22	②		10524	2009-北陸-M004	志賀2号	タービン潤滑油の漏えいについて	2009/7/16	①									

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
10479	2009-東京-S023	福島第二4号	福島第二原子力発電所4号機 タービン建屋における油漏れについて	2009/8/3	①
10512	2009-東京-S024	柏崎刈羽4号	柏崎刈羽原子力発電所4号機 原子炉建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて	2009/8/10	①
10624	2009-中部-S012	浜岡3号	タービン機器冷却水系冷却水補給タンクの水位低下について	2009/8/17	②
10552	2009-東京-S026	福島第二1号	福島第二原子力発電所1号機タービン建屋における油漏れについて	2009/9/7	① ②
10573	2009-東京-M027	福島第一5号	福島第一原子力発電所5号機 給水加熱器ドレンポンプにおける溜まり水の発見について	2009/9/15	②
10574	2009-東京-S029	福島第一	福島第一原子力発電所 集中環境施設用の屋外重油配管における油漏れの発見について	2009/9/17	①
10600	2009-北陸-M008	志賀2号	原子炉格納容器内での溢水について	2009/9/26	①

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
10430	2009-東京-M013	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機 海水熱交換器建屋(非管理区域)における海水の流入について	2009/6/30	① ②
10524	2009-北陸-M004	志賀2号	タービン潤滑油の漏えいについて	2009/7/16	①
10479	2009-東京-S023	福島第二4号	福島第二原子力発電所4号機 タービン建屋における油漏れについて	2009/8/3	①
10512	2009-東京-S024	柏崎刈羽4号	柏崎刈羽原子力発電所4号機 原子炉建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて	2009/8/10	①
10624	2009-中部-S012	浜岡3号	タービン機器冷却水系冷却水補給タンクの水位低下について	2009/8/17	②
10552	2009-東京-S026	福島第二1号	福島第二原子力発電所1号機タービン建屋における油漏れについて	2009/9/7	① ②
10573	2009-東京-M027	福島第一5号	福島第一原子力発電所5号機 給水加熱器ドレンポンプにおける溜まり水の発見について	2009/9/15	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
10613	2009-東京-M029	福島第一4号	福島第一原子力発電所 定期検査中の4号機における原子炉建屋内の水漏れについて	2009/10/2	①
10629	2009-中部-M024	浜岡3号	タービン建屋内への海水の浸入について	2009/10/8	⑤
10643	2009-東京-S034	福島第一4号	福島第一原子力発電所 定期検査中の4号機における原子炉建屋内の水漏れについて	2009/10/16	①
10642	2009-東京-S035	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 海水熱交換器建屋(非管理区域) 残留熱除去海水系配管からの海水の漏えいについて	2009/10/17	②
10689	2009-北陸-T011	志賀2号	志賀原子力発電所2号機の手動停止について	2009/11/13	②
10711	2009-北陸-M012	志賀2号	非常用ディーゼル発電機A号機の確認試験中におけるインジケータ弁からの潤滑油漏れについて	2009/12/6	②
10713	2009-東京-M038	福島第一1号	福島第一原子力発電所1号機 主復水器の点検に伴う出力降下について	2009/12/7	②

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
10574	2009-東京-S029	福島第一	福島第一原子力発電所 集中環境施設用の屋外重油配管における油漏れの見について	2009/9/17	①
10600	2009-北陸-M008	志賀2号	原子炉格納容器内での溢水について	2009/9/26	①
10613	2009-東京-M029	福島第一4号	福島第一原子力発電所 定期検査中の4号機における原子炉建屋内の水漏れについて	2009/10/2	①
10629	2009-中部-M024	浜岡3号	タービン建屋内への海水の浸入について	2009/10/8	⑤
10643	2009-東京-S034	福島第一4号	福島第一原子力発電所 定期検査中の4号機における原子炉建屋内の水漏れについて	2009/10/16	①
10642	2009-東京-S035	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 海水熱交換器建屋(非管理区域) 残留熱除去海水系配管からの海水の漏えいについて	2009/10/17	②
10689	2009-北陸-T011	志賀2号	志賀原子力発電所2号機の手動停止について	2009/11/13	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)								東海第二発電所 (2018.9.18版)								島根原子力発電所 2号炉								備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	備考						
10851	2009-東京-M048	福島第一3号	福島第一原子力発電所3号機における廃棄物処理建屋内の水漏れについて	2010/2/21	① ②	10711	2009-北陸-M012	志賀2号	非常用ディーゼル発電機A号機の確認試験中におけるインジケータ弁からの潤滑油漏れについて	2009/12/6	②	10713	2009-東京-M038	福島第一1号	福島第一原子力発電所1号機 主復水器の点検に伴う出力降下について	2009/12/7	②							
10875	2009-東北-S065	女川1号	制御棒駆動水圧系圧力制御ユニット内の弁からの水漏れ等について	2010/2/23	①	10851	2009-東京-M048	福島第一3号	福島第一原子力発電所3号機における廃棄物処理建屋内の水漏れについて	2010/2/21	① ②	10875	2009-東北-S065	女川1号	制御棒駆動水圧系圧力制御ユニット内の弁からの水漏れ等について	2010/2/23	①							
10906	2009-中部-S022	浜岡3号	サービス建屋地下一階での漏水について	2010/3/1	②	10906	2009-中部-S022	浜岡3号	サービス建屋地下一階での漏水について	2010/3/1	②	10906	2009-中部-S022	浜岡3号	サービス建屋地下一階での漏水について	2010/3/1	②							
10870	2009-東京-S049	福島第二2号	福島第二原子力発電所 定期検査中の2号機タービン建屋における油漏れについて	2010/3/8	①	10870	2009-東京-S049	福島第二2号	福島第二原子力発電所 定期検査中の2号機タービン建屋における油漏れについて	2010/3/8	①	10870	2009-東京-S049	福島第二2号	福島第二原子力発電所 定期検査中の2号機タービン建屋における油漏れについて	2010/3/8	①							
10878	2009-東京-S050	柏崎刈羽	柏崎刈羽原子力発電所 重油タンク (屋外) 付近からの重油漏れについて	2010/3/10	②	10878	2009-東京-S050	柏崎刈羽	柏崎刈羽原子力発電所 重油タンク (屋外) 付近からの重油漏れについて	2010/3/10	②	10878	2009-東京-S050	柏崎刈羽	柏崎刈羽原子力発電所 重油タンク (屋外) 付近からの重油漏れについて	2010/3/10	②							
10936	2010-東京-S002	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所 7号機 タービン建屋 (管理区域) における水漏れについて	2010/4/26	①																			
10983	2010-東京-S004	柏崎刈羽4号	柏崎刈羽原子力発電所 4号機 タービン建屋 (管理区域) における潤滑油の漏れについて	2010/5/26	①																			



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
10982	2010-東京-S005	柏崎刈羽3号	柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて	2010/5/27	①
10981	2010-東京-S006	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉建屋(非管理区域)における油漏れについて	2010/5/28	①
11062	2010-中国-S005	島根2号	原子炉補機海水系ドレン配管からの漏えいについて	2010/6/28	②
11046	2010-東京-S017	福島第一1号	福島第一原子力発電所1号機における原子炉自動スクラム(B系)警報の発生について	2010/7/24	②
プレス リリース	—	東海第二	タービン建屋 所内ボイラ室における油漏えいについて	2010/7/28	①
11056	2010-東京-M009	福島第一1号	福島第一原子力発電所1号機 原子炉の計画停止について	2010/8/12	②
11059	2010-北陸-M005	志賀1号	原子炉格納容器内における水の漏えいについて	2010/8/13	②

東海第二発電所 (2018.9.18版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
10936	2010-東京-S002	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機 タービン建屋(管理区域)における水漏れについて	2010/4/26	①
10983	2010-東京-S004	柏崎刈羽4号	柏崎刈羽原子力発電所4号機 タービン建屋(管理区域)における潤滑油の漏れについて	2010/5/26	①
10982	2010-東京-S005	柏崎刈羽3号	柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における潤滑油漏れについて	2010/5/27	①
10981	2010-東京-S006	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉建屋(非管理区域)における油漏れについて	2010/5/28	①
11062	2010-中国-S005	島根2号	原子炉補機海水系ドレン配管からの漏えいについて	2010/6/28	②
11046	2010-東京-S017	福島第一1号	福島第一原子力発電所1号機における原子炉自動スクラム(B系)警報の発生について	2010/7/24	②
プレス リリース	—	東海第二	タービン建屋 所内ボイラ室における油漏えいについて	2010/7/28	①

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11068	2010-東京-S022	福島第一3号	福島第一原子力発電所 定期検査中の3号機における原子炉建屋内の水漏れについて	2010/8/24	①
東北 提供情報	—	女川3号	復水系水張り時のサンブからの漏えいについて	2010/9/14	①
11157	2010-東北-S020	女川3号	CRD系水圧制御ユニットアキュムレータ上部シリンドラヘッドからのにじみ	2010/9/27	②
11125	2010-中部-M010	浜岡2号	タービン建屋における放射性物質を含まない水の漏えいについて	2010/9/28	②
11130	2010-東京-S027	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉冷却材浄化系ポンプ室(管理区域)における水漏れについて	2010/10/20	②
11142	2010-中部-M014	浜岡2号	原子炉建屋内(放射線管理区域内)での計装配管からの水の漏えいについて	2010/10/29	②
11195	2010-中部-S018	浜岡4号	タービン建屋における放射性物質を含まない潤滑油の漏えいについて	2010/11/8	①

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11056	2010-東京-M009	福島第一1号	福島第一原子力発電所1号機 原子炉の計画停止について	2010/8/12	②
11059	2010-北陸-M005	志賀1号	原子炉格納容器内における水の漏えいについて	2010/8/13	②
11068	2010-東京-S022	福島第一3号	福島第一原子力発電所 定期検査中の3号機における原子炉建屋内の水漏れについて	2010/8/24	①
東北 提供情報	—	女川3号	提供情報 復水系水張り時のサンブからの漏えいについて	2010/9/14	①
11157	2010-東北-S020	女川3号	CRD系水圧制御ユニットアキュムレータ上部シリンドラヘッドからのにじみ	2010/9/27	②
11125	2010-中部-M010	浜岡2号	タービン建屋における放射性物質を含まない水の漏えいについて	2010/9/28	②
11130	2010-東京-S027	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉冷却材浄化系ポンプ室(管理区域)における水漏れについて	2010/10/20	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11056	2010-東京-M009	福島第一1号	福島第一原子力発電所1号機 原子炉の計画停止について	2010/8/12	②
11059	2010-北陸-M005	志賀1号	原子炉格納容器内における水の漏えいについて	2010/8/13	②
11068	2010-東京-S022	福島第一3号	福島第一原子力発電所 定期検査中の3号機における原子炉建屋内の水漏れについて	2010/8/24	①
東北 提供情報	—	女川3号	提供情報 復水系水張り時のサンブからの漏えいについて	2010/9/14	①
11157	2010-東北-S020	女川3号	CRD系水圧制御ユニットアキュムレータ上部シリンドラヘッドからのにじみ	2010/9/27	②
11125	2010-中部-M010	浜岡2号	タービン建屋における放射性物質を含まない水の漏えいについて	2010/9/28	②
11130	2010-東京-S027	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉冷却材浄化系ポンプ室(管理区域)における水漏れについて	2010/10/20	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11153	2010-東京-S034	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)室(管理区域)における水漏れについて	2010/11/9	①
11165	2010-東京-M020	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機 復水器室(管理区域)における水漏れについて	2010/11/16	①
11178	2010-北陸-M009	志賀1号	原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替に伴う原子炉手動停止について	2010/12/1	① ②
11179	2010-東京-S035	柏崎刈羽4号	柏崎刈羽原子力発電所4号機 タービン建屋(管理区域)における点検中機器の養生部からの油漏れについて	2010/12/1	①
11203	2010-北陸-M011	志賀1号	原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替作業中の作業員への被水について	2010/12/7	①
11205	2010-東京-S040	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 タービン建屋(非管理区域)における水漏れについて	2011/1/12	②
11214	2010-東京-S041	柏崎刈羽3号	柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における水漏れについて	2011/1/27	①

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11142	2010-中部-M014	浜岡2号	原子炉建屋内(放射線管理区域内)での計装配管からの水の漏えいについて	2010/10/29	②
11195	2010-中部-S018	浜岡4号	タービン建屋における放射性物質を含まない潤滑油の漏えいについて	2010/11/8	①
11153	2010-東京-S034	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)室(管理区域)における水漏れについて	2010/11/9	①
11165	2010-東京-M020	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機 復水器室(管理区域)における水漏れについて	2010/11/16	①
11178	2010-北陸-M009	志賀1号	原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替に伴う原子炉手動停止について	2010/12/1	① ②
11179	2010-東京-S035	柏崎刈羽4号	柏崎刈羽原子力発電所4号機 タービン建屋(管理区域)における点検中機器の養生部からの油漏れについて	2010/12/1	①
11203	2010-北陸-M011	志賀1号	原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替作業中の作業員への被水について	2010/12/7	①

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11142	2010-中部-M014	浜岡2号	原子炉建屋内(放射線管理区域内)での計装配管からの水の漏えいについて	2010/10/29	②
11195	2010-中部-S018	浜岡4号	タービン建屋における放射性物質を含まない潤滑油の漏えいについて	2010/11/8	①
11153	2010-東京-S034	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)室(管理区域)における水漏れについて	2010/11/9	①
11165	2010-東京-M020	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機 復水器室(管理区域)における水漏れについて	2010/11/16	①
11178	2010-北陸-M009	志賀1号	原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替に伴う原子炉手動停止について	2010/12/1	① ②
11179	2010-東京-S035	柏崎刈羽4号	柏崎刈羽原子力発電所4号機 タービン建屋(管理区域)における点検中機器の養生部からの油漏れについて	2010/12/1	①
11203	2010-北陸-M011	志賀1号	原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替作業中の作業員への被水について	2010/12/7	①

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)							東海第二発電所 (2018.9.18版)							島根原子力発電所 2号炉							備考
ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類		ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類			
11225	2010-東京-S043	福島第一4号	福島第一原子力発電所4号機 原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて	2011/2/10	①		11205	2010-東京-S040	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 タービン建屋(非管理区域)における水漏れについて	2011/1/12	②	11205	2010-東京-S040	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 タービン建屋(非管理区域)における水漏れについて	2011/1/12	②			
11245	2010-北陸-M015	志賀1号	原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替に伴う原子炉手動停止について	2011/2/28	① ②		11214	2010-東京-S041	柏崎刈羽3号	柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における水漏れについて	2011/1/27	①	11214	2010-東京-S041	柏崎刈羽3号	柏崎刈羽原子力発電所3号機 原子炉建屋(非管理区域)における水漏れについて	2011/1/27	①			
11436	2010-原電-M015	東海第二	【東日本大震災】東海第二発電所 使用済燃料プール水飛散	2011/3/11	③		11225	2010-東京-S043	福島第一4号	福島第一原子力発電所4号機 原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて	2011/2/10	①	11225	2010-東京-S043	福島第一4号	福島第一原子力発電所4号機 原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて	2011/2/10	①			
11457	2010-原電-S014	東海第二	【東日本大震災】東海第二発電所 固体廃棄物貯蔵用サイトバンカプール水飛散	2011/3/11	③		11245	2010-北陸-M015	志賀1号	原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替に伴う原子炉手動停止について	2011/2/28	① ②	11245	2010-北陸-M015	志賀1号	原子炉冷却材再循環ポンプ(B号機)軸封部取替に伴う原子炉手動停止について	2011/2/28	① ②			
11284	2010-東北-T010	女川2号	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水	2011/3/11	⑤		11436	2010-原電-M015	東海第二	【東日本大震災】東海第二発電所 使用済燃料プール水飛散	2011/3/11	③	11436	2010-原電-M015	東海第二	【東日本大震災】東海第二発電所 使用済燃料プール水飛散	2011/3/11	③			
11408	2010-東京-T035	福島第二1,2,3,4号	【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について	2011/3/11	⑤		11457	2010-原電-S014	東海第二	【東日本大震災】東海第二発電所 固体廃棄物貯蔵用サイトバンカプール水飛散	2011/3/11	③	11457	2010-原電-S014	東海第二	【東日本大震災】東海第二発電所 固体廃棄物貯蔵用サイトバンカプール水飛散	2011/3/11	③			
11296	2010-東京-T032	福島第一1,2,3,4,5,6号	【東日本大震災関連】福島第一原子力発電所 東北地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響について	2011/3/11	-		11284	2010-東北-T010	女川2号	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水	2011/3/11	⑤	11284	2010-東北-T010	女川2号	【東日本大震災関連】原子炉補機冷却水系熱交換器(B)室、高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器室および海水ポンプ室への浸水	2011/3/11	⑤			

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11625	2010-東京-T043	福島第一 1, 2, 3, 4, 5, 6号	【東日本大震災関連】福島第一原子力発電所 東北 地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響につ いて (追補)	2011/3/11	-
11596	2010-東京-M041	福島第二 1, 2, 3, 4号	東北地方太平洋沖地震による福島第二原子力発電 所で発生した不適合事象について	2011/3/11	⑤
11282	2010-原電-T013	東海第二	【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプの自動停止について	2011/3/18	⑤
11283	2010-原電-T012	東海第二	【東日本大震災関連】125V蓄電池 2B室における溢 水について	2011/3/28	⑤
11298	2011-東京-S001	柏崎刈羽	柏崎刈羽原子力発電所 共用設備 重油移送ポンプ 室 (非管理区域) における油漏れについて	2011/4/15	②
11291	2011-東京-S004	柏崎刈羽	補助ボイラ建屋 (非管理区域) における油漏れにつ いて	2011/4/30	②
11308	2011-東京-M003	柏崎刈羽 7号	柏崎刈羽原子力発電所 7号機 タービン建屋にお ける制御油の漏れについて	2011/5/15	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11408	2010-東京-T035	福島第二 1, 2, 3, 4号	【東日本大震災関連】福島第二原子力発電所 東北 地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響につ いて	2011/3/11	⑤
11296	2010-東京-T032	福島第一 1, 2, 3, 4, 5, 6号	【東日本大震災関連】福島第一原子力発電所 東北 地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響につ いて	2011/3/11	-
11625	2010-東京-T043	福島第一 1, 2, 3, 4, 5, 6号	【東日本大震災関連】福島第一原子力発電所 東北 地方太平洋沖地震に伴う原子炉施設への影響につ いて (追補)	2011/3/11	-
11596	2010-東京-M041	福島第二 1, 2, 3, 4号	東北地方太平洋沖地震による福島第二原子力発電 所で発生した不適合事象について	2011/3/11	⑤
11282	2010-原電-T013	東海第二	【東日本大震災関連】非常用ディーゼル発電機 2C 用海水ポンプの自動停止について	2011/3/18	⑤
11283	2010-原電-T012	東海第二	【東日本大震災関連】125V蓄電池 2B室における 溢水について	2011/3/28	⑤
11298	2011-東京-S001	柏崎刈羽	柏崎刈羽原子力発電所 共用設備 重油移送ポンプ 室 (非管理区域) における油漏れについて	2011/4/15	②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)								東海第二発電所 (2018.9.18版)								島根原子力発電所 2号炉								備考
ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類							
11594	2011-東京-M014	福島第二1号	1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプレ イ系電源室照明用分電盤からの発火について	2011/5/27	⑤	11291	2011-東京-S004	柏崎刈羽	補助ボイラ建屋 (非管理区域) における油漏れにつ いて	2011/4/30	②	11594	2011-東京-M014	福島第二1号	1号機 原子炉建屋付属棟地下1階の高圧炉心スプ レイ系電源室照明用分電盤からの発火について	2011/5/27	⑤							
11352	2011-東京-S008	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉建屋 (非管理 区域) における水溜まりの発見について	2011/6/23	②	11308	2011-東京-M003	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機 タービン建屋におけ る制御油の漏れについて	2011/5/15	②	11352	2011-東京-S008	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉建屋 (非管理 区域) における水溜まりの発見について	2011/6/23	②							
11359	2011-東京-S009	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉建屋 (非管理 区域) における水漏れについて	2011/7/3	②	11359	2011-東京-S009	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉建屋 (非管理 区域) における水漏れについて	2011/7/3	②	11359	2011-東京-S009	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 原子炉建屋 (非管理 区域) における水漏れについて	2011/7/3	②							
11362	2011-東京-S010	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉建屋 (非管理 区域) における水漏れについて	2011/7/12	②	11362	2011-東京-S010	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉建屋 (非管理 区域) における水漏れについて	2011/7/12	②	11362	2011-東京-S010	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉建屋 (非管理 区域) における水漏れについて	2011/7/12	②							
11405	2011-東京-S016	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 海水熱交換器建屋 (非管理区域) における水漏れについて	2011/9/2	②	11405	2011-東京-S016	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 海水熱交換器建屋 (非管理区域) における水漏れについて	2011/9/2	②	11405	2011-東京-S016	柏崎刈羽1号	柏崎刈羽原子力発電所1号機 海水熱交換器建屋 (非管理区域) における水漏れについて	2011/9/2	②							
プレス リリース	—	女川1号	女川原子力発電所1号機 台風15号によるタービン 建屋への雨水の流入について	2011/9/21	⑤																			
11438	2011-東京-M012	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機 定期検査中における 非常用ディーゼル発電機の弁の不具合について	2011/11/4	②																			

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11489	2011-中部-M004	浜岡3号	タービン機器冷却水系冷却水補給タンクレベルの水位低下について	2011/11/8	②
11722	2011-東京-M016	柏崎刈羽7号	残留熱除去系ポンプ室空調機冷却コイルからの補機冷却水の漏えいについて	2012/1/3	②
11469	2011-東京-S023	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて	2012/2/1	①
11478	2011-東京-S028	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機熱交換器建屋内(非管理区域)における発煙の発生について	2012/2/25	①
11565	2011-原電-M016	東海第二	残留熱除去系(C)低圧注水系注入弁差圧検出配管溶接部近傍での水の滴下について	2012/3/3	②
11516	2012-東京-S003	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて	2012/4/13	①
11569	2012-原電-S004	東海第二	非管理区域における重油の漏えいについて	2012/7/4	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
—	—	女川1号	女川原子力発電所1号機 台風 15号によるタービン建屋への雨水の流入について	2011/9/21	⑤
11438	2011-東京-M012	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機 定期検査中における非常用ディーゼルの発電機の弁の不具合について	2011/11/4	②
11489	2011-中部-M004	浜岡3号	タービン機器冷却水系冷却水補給タンクレベルの水位低下について	2011/11/8	②
11722	2011-東京-M016	柏崎刈羽7号	残留熱除去系ポンプ室空調機冷却コイルからの補機冷却水の漏えいについて	2012/1/3	②
11469	2011-東京-S023	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて	2012/2/1	①
11478	2011-東京-S028	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機熱交換器建屋内(非管理区域)における発煙の発生について	2012/2/25	①
11565	2011-原電-M016	東海第二	残留熱除去系(C)低圧注水系注入弁差圧検出配管溶接部近傍での水の滴下について	2012/3/3	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
—	—	女川1号	女川原子力発電所1号機 台風 15号によるタービン建屋への雨水の流入について	2011/9/21	⑤
11438	2011-東京-M012	柏崎刈羽7号	柏崎刈羽原子力発電所7号機 定期検査中における非常用ディーゼルの発電機の弁の不具合について	2011/11/4	②
11489	2011-中部-M004	浜岡3号	タービン機器冷却水系冷却水補給タンクレベルの水位低下について	2011/11/8	②
11722	2011-東京-M016	柏崎刈羽7号	残留熱除去系ポンプ室空調機冷却コイルからの補機冷却水の漏えいについて	2012/1/3	②
11469	2011-東京-S023	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて	2012/2/1	①
11478	2011-東京-S028	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機熱交換器建屋内(非管理区域)における発煙の発生について	2012/2/25	①
11565	2011-原電-M016	東海第二	残留熱除去系(C)低圧注水系注入弁差圧検出配管溶接部近傍での水の滴下について	2012/3/3	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7 号炉 (2017. 12. 20 版) 東海第二発電所 (2018. 9. 18 版) 島根原子力発電所 2 号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11558	2012-中部-M001	浜岡 5 号	浜岡原子力発電所 5 号機 タービン建屋内 (放射線管理区域内) での復水回収ポンプ出口配管からの水の漏えいについて	2012/7/30	②
11573	2012-中部-S003	浜岡 3 号	浜岡原子力発電所 3 号機 補助建屋内 (放射線管理区域内) での水の漏えいについて	2012/8/31	① ②
11585	2012-東京-M032	柏崎刈羽 4 号	柏崎刈羽原子力発電所 4 号機 タービン建屋 (管理区域) における油漏れについて	2012/9/16	②
プレス リリース	—	浜岡 5 号	タービン建屋内 (放射線管理区域内) での回収ポンプ出口配管からの水の漏えいについて	2012/11/1	②
11645	2012-東京-M030	柏崎刈羽 2 号	柏崎刈羽原子力発電所 2 号機 原子炉建屋 (非管理区域) における油漏れについて	2012/12/14	① ②
11701	2012-東北-S034	東通 1 号	浄化系沈降分離槽スラッジポンプ室ファンネルからの溢水	2013/3/8	① ②
11736	2012-東京-M031	柏崎刈羽 5 号	所内蒸気系 (非放射性) 凝縮水受けタンク内における放射性物質の検出について	2013/3/11	②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11516	2012-東京-S003	柏崎刈羽 5 号	柏崎刈羽原子力発電所 5 号機 タービン建屋 (管理区域) における油漏れについて	2012/4/13	①
11569	2012-原電-S004	東海第二	非管理区域における重油の漏えいについて	2012/7/4	②
11558	2012-中部-M001	浜岡 5 号	浜岡原子力発電所 5 号機 タービン建屋内 (放射線管理区域内) での復水回収ポンプ出口配管からの水の漏えいについて	2012/7/30	②
11573	2012-中部-S003	浜岡 3 号	浜岡原子力発電所 3 号機 補助建屋内 (放射線管理区域内) での水の漏えいについて	2012/8/31	① ②
11585	2012-東京-M032	柏崎刈羽 4 号	柏崎刈羽原子力発電所 4 号機 タービン建屋 (管理区域) における油漏れについて	2012/9/16	②
プレス リリース	—	浜岡 5 号	タービン建屋内 (放射線管理区域内) での回収ポンプ出口配管からの水の漏えいについて	2012/11/1	②
11645	2012-東京-M030	柏崎刈羽 2 号	柏崎刈羽原子力発電所 2 号機 原子炉建屋 (非管理区域) における油漏れについて	2012/12/14	① ②

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11516	2012-東京-S003	柏崎刈羽 5 号	柏崎刈羽原子力発電所 5 号機 タービン建屋 (管理区域) における油漏れについて	2012/4/13	①
11569	2012-原電-S004	東海第二	非管理区域における重油の漏えいについて	2012/7/4	②
11558	2012-中部-M001	浜岡 5 号	浜岡原子力発電所 5 号機 タービン建屋内 (放射線管理区域内) での復水回収ポンプ出口配管からの水の漏えいについて	2012/7/30	②
11573	2012-中部-S003	浜岡 3 号	浜岡原子力発電所 3 号機 補助建屋内 (放射線管理区域内) での水の漏えいについて	2012/8/31	① ②
11585	2012-東京-M032	柏崎刈羽 4 号	柏崎刈羽原子力発電所 4 号機 タービン建屋 (管理区域) における油漏れについて	2012/9/16	②
プレス リリース	—	浜岡 5 号	タービン建屋内 (放射線管理区域内) での回収ポンプ出口配管からの水の漏えいについて	2012/11/1	②
11645	2012-東京-M030	柏崎刈羽 2 号	柏崎刈羽原子力発電所 2 号機 原子炉建屋 (非管理区域) における油漏れについて	2012/12/14	① ②

備考



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)				東海第二発電所 (2018.9.18版)				島根原子力発電所 2号炉				備考					
ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	ニューシニア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11730	2013-東北-S002	東通1号	原子炉建屋原子炉棟1階RHR(B)バルブ室床ファンネルからの漏えい	2013/4/23	-	11701	2012-東北-S034	東通1号	浄化系沈降分離槽スラッジポンプ室ファンネルからの溢水	2013/3/8	① ②	11730	2013-東北-S002	東通1号	原子炉建屋原子炉棟1階RHR(B)バルブ室床ファンネルからの漏えい	2013/4/23	-
11740	2013-東京-M039	柏崎刈羽6,7号	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について	2013/6/19	⑤	11736	2012-東京-M031	柏崎刈羽5号	所内蒸気系(非放射性)凝縮水受けタンク内における放射性物質の検出について	2013/3/11	②	11740	2013-東京-M039	柏崎刈羽6,7号	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(管理区域)における水溜まり(雨水)の発見について	2013/6/19	⑤
11761	2013-東京-S024	柏崎刈羽6号	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(非管理区域)における水漏れについて	2013/7/23	②	11761	2013-東京-S024	柏崎刈羽6号	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋(非管理区域)における水漏れについて	2013/7/23	②	11793	2013-中部-M003	浜岡3号	浜岡原子力発電所3号機起動変圧器(B)冷却ファン羽の一部脱落および絶縁油の漏えいについて	2013/8/9	②
11793	2013-中部-M003	浜岡3号	浜岡原子力発電所3号機起動変圧器(B)冷却ファン羽の一部脱落および絶縁油の漏えいについて	2013/8/9	②	11849	2013-東京-M038	柏崎刈羽3号	柏崎刈羽原子力発電所ガスタービン発電機車(屋外)燃料タンク接続部からの油漏れについて	2013/11/17	②	11838	2013-東京-S058	柏崎刈羽3号	柏崎刈羽原子力発電所3号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて	2013/10/15	①
11838	2013-東京-S058	柏崎刈羽3号	柏崎刈羽原子力発電所3号機タービン建屋(管理区域)における油漏れについて	2013/10/15	①												
11839	2013-中部-S005	浜岡	廃棄物減容処理装置建屋(第2建屋)(放射線管理区域内)における活性炭を含んだ水の漏えいについて	2013/10/28	②												
11849	2013-東京-M038	柏崎刈羽	柏崎刈羽原子力発電所ガスタービン発電機車(屋外)燃料タンク接続部からの油漏れについて	2013/11/17	②												

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版) 東海第二発電所 (2018.9.18版) 島根原子力発電所 2号炉 備考

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11941	2013-東京-S088	柏崎刈羽	建設中の補助ボイラー設備における水の漏えいおよび給水タンクの損傷について	2014/3/10	①
12031	2014-北陸-S001	志賀2号	原子炉建屋内における水の漏えいについて	2014/4/15	①
東北 提供情報	—	女川1号	サンプポンプ試運転時におけるサンプからの水の漏えいについて	2014/7/4	①
12076	2014-東京-S039	柏崎刈羽1号	原子炉複合建屋（非管理区域）における油漏れについて	2014/7/18	②
12108	2014-東京-S049	福島第二3,4号	福島第二原子力発電所3,4号機サービスマンビルにおける放射線管理区域内トイレの洗浄水の漏えいについて	2014/9/12	②
12105	2014-中部-S004	浜岡	浜岡原子力発電所 災害対策用の軽油ドラム缶からの油の漏えいについて	2014/9/16	②
東北 提供情報	—	女川1号	C/B 2F 非常用D/G発電機 燃料デイトンク(B)室軽油漏れについて	2014/9/19	⑤

東海第二発電所 (2018.9.18版)

ニューシア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
11839	2013-中部-S005	浜岡	廃棄物減容処理装置建屋（第2建屋）（放射線管理区域内）における活性炭を含んだ水の漏えいについて	2013/10/28	②
11849	2013-東京-M038	柏崎刈羽	柏崎刈羽原子力発電所 ガスタービン発電機車（屋外）燃料タンク接続部からの油漏れについて	2013/11/17	②
11941	2013-東京-S088	柏崎刈羽	建設中の補助ボイラー設備における水の漏えいおよび給水タンクの損傷について	2014/3/10	①
12031	2014-北陸-S001	志賀2号	原子炉建屋内における水の漏えいについて	2014/4/15	①
東北 提供情報	—	女川1号	サンプポンプ試運転時におけるサンプからの水の漏えいについて	2014/7/4	①
12076	2014-東京-S039	柏崎刈羽1号	原子炉複合建屋（非管理区域）における油漏れについて	2014/7/18	②
12108	2014-東京-S049	福島第二3,4号	福島第二原子力発電所3,4号機サービスマンビルにおける放射線管理区域内トイレの洗浄水の漏えいについて	2014/9/12	②

備考

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

ニュースア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
12122	2014-中部-M005	浜岡3号	浜岡原子力発電所3号機 タービン建屋への雨水の浸入について	2014/10/6	⑤
12191	2014-四国-S010	伊方3号	伊方発電所3号機 非常用ディーゼル発電機補機室内における溢水について	2015/3/20	②

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

備考

ニュースア 通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類
12105	2014-中部-S004	浜岡	浜岡原子力発電所 災害対策用の軽油ドラム缶からの油の漏えいについて	2014/9/16	②
東北 提供情報	—	女川1号	C/B 2F 非常用D/G発電機 燃料デイトンク(B) 室軽油漏れについて	2014/9/19	⑤
12122	2014-中部-M005	浜岡3号	浜岡原子力発電所3号機 タービン建屋への雨水の浸入について	2014/10/6	⑤
12191	2014-四国-S010	伊方3号	伊方発電所3号機 非常用ディーゼル発電機補機室内における溢水について	2015/3/20	②
12210	2015-東北-S006	東通1号	原子炉冷却材浄化系設備のポンプ(B) 試運転準備時における原子炉冷却材浄化系設備ポンプ(B) ベージライン逃がし弁の動作	2015/04/23	①
12211	2015-東北-S005	東通1号	原子炉冷却材浄化系設備(B) 吐出逆止弁後第一ドレン弁グラウンド部からの漏えい	2015/04/23	①
12213	2015-東京-T001	福島第一	1000トン鋼製角形タンク群から3号機タービン建屋への貯留水移送ホースからの漏えい(構内排水路から港湾内への放射性物質の漏えい)	2015/05/29	②

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1736 1417 1816 1537">ニュース ア通番</th> <th data-bbox="1736 1243 1816 1417">報告書番号</th> <th data-bbox="1736 1068 1816 1243">ユニット</th> <th data-bbox="1736 583 1816 1068">件名</th> <th data-bbox="1736 388 1816 583">事象発生日</th> <th data-bbox="1736 340 1816 388">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1816 1417 1911 1537">12215</td> <td data-bbox="1816 1243 1911 1417">2015-東京-S006</td> <td data-bbox="1816 1068 1911 1243">柏崎刈羽5号</td> <td data-bbox="1816 583 1911 1068">柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン軸受箱付近からの油漏れについて</td> <td data-bbox="1816 388 1911 583">2015/06/04</td> <td data-bbox="1816 340 1911 388">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1911 1417 2006 1537">12244</td> <td data-bbox="1911 1243 2006 1417">2015-東京-S016</td> <td data-bbox="1911 1068 2006 1243">福島第一</td> <td data-bbox="1911 583 2006 1068">福島第一原子力発電所構内における汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置-3)からの堰内漏えいについて</td> <td data-bbox="1911 388 2006 583">2015/07/17</td> <td data-bbox="1911 340 2006 388">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2006 1417 2101 1537">12256</td> <td data-bbox="2006 1243 2101 1417">2015-東京-S019</td> <td data-bbox="2006 1068 2101 1243">福島第一</td> <td data-bbox="2006 583 2101 1068">福島第一原子力発電所における汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置3-3)の堰内漏えいについて</td> <td data-bbox="2006 388 2101 583">2015/08/12</td> <td data-bbox="2006 340 2101 388">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2101 1417 2196 1537">12301</td> <td data-bbox="2101 1243 2196 1417">2015-中部-M004</td> <td data-bbox="2101 1068 2196 1243">浜岡3号</td> <td data-bbox="2101 583 2196 1068">浜岡原子力発電所3号機 非常用ディーゼル発電機からの油の漏えいについて</td> <td data-bbox="2101 388 2196 583">2015/09/22</td> <td data-bbox="2101 340 2196 388">①</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2196 1417 2291 1537">12322</td> <td data-bbox="2196 1243 2291 1417">2015-東京-S027</td> <td data-bbox="2196 1068 2291 1243">福島第一</td> <td data-bbox="2196 583 2291 1068">福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋サンプリングラックからの漏えいについて</td> <td data-bbox="2196 388 2291 583">2015/09/29</td> <td data-bbox="2196 340 2291 388">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2291 1417 2386 1537">12312</td> <td data-bbox="2291 1243 2386 1417">2015-中部-M007</td> <td data-bbox="2291 1068 2386 1243">浜岡3号</td> <td data-bbox="2291 583 2386 1068">浜岡原子力発電所3号機 軽油配管の流量計からの油の漏えいについて</td> <td data-bbox="2291 388 2386 583">2015/10/08</td> <td data-bbox="2291 340 2386 388">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2386 1417 2481 1537">12313</td> <td data-bbox="2386 1243 2481 1417">2015-中部-M008</td> <td data-bbox="2386 1068 2481 1243">浜岡4号</td> <td data-bbox="2386 583 2481 1068">浜岡原子力発電所4号機 海水熱交換器建屋における水の漏えいについて</td> <td data-bbox="2386 388 2481 583">2015/10/10</td> <td data-bbox="2386 340 2481 388">②</td> </tr> </tbody> </table>	ニュース ア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	12215	2015-東京-S006	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン軸受箱付近からの油漏れについて	2015/06/04	②	12244	2015-東京-S016	福島第一	福島第一原子力発電所構内における汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置-3)からの堰内漏えいについて	2015/07/17	②	12256	2015-東京-S019	福島第一	福島第一原子力発電所における汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置3-3)の堰内漏えいについて	2015/08/12	②	12301	2015-中部-M004	浜岡3号	浜岡原子力発電所3号機 非常用ディーゼル発電機からの油の漏えいについて	2015/09/22	①	12322	2015-東京-S027	福島第一	福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋サンプリングラックからの漏えいについて	2015/09/29	②	12312	2015-中部-M007	浜岡3号	浜岡原子力発電所3号機 軽油配管の流量計からの油の漏えいについて	2015/10/08	②	12313	2015-中部-M008	浜岡4号	浜岡原子力発電所4号機 海水熱交換器建屋における水の漏えいについて	2015/10/10	②	
ニュース ア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類																																														
12215	2015-東京-S006	柏崎刈羽5号	柏崎刈羽原子力発電所5号機 原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン軸受箱付近からの油漏れについて	2015/06/04	②																																														
12244	2015-東京-S016	福島第一	福島第一原子力発電所構内における汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置-3)からの堰内漏えいについて	2015/07/17	②																																														
12256	2015-東京-S019	福島第一	福島第一原子力発電所における汚染水処理設備(淡水化処理RO膜装置3-3)の堰内漏えいについて	2015/08/12	②																																														
12301	2015-中部-M004	浜岡3号	浜岡原子力発電所3号機 非常用ディーゼル発電機からの油の漏えいについて	2015/09/22	①																																														
12322	2015-東京-S027	福島第一	福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋サンプリングラックからの漏えいについて	2015/09/29	②																																														
12312	2015-中部-M007	浜岡3号	浜岡原子力発電所3号機 軽油配管の流量計からの油の漏えいについて	2015/10/08	②																																														
12313	2015-中部-M008	浜岡4号	浜岡原子力発電所4号機 海水熱交換器建屋における水の漏えいについて	2015/10/10	②																																														

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1739 1419 1813 1535">ニュース ア通番</th> <th data-bbox="1739 1241 1813 1419">報告書番号</th> <th data-bbox="1739 1062 1813 1241">ユニット</th> <th data-bbox="1739 579 1813 1062">件名</th> <th data-bbox="1739 390 1813 579">事象発生日</th> <th data-bbox="1739 348 1813 390">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1813 1419 1908 1535">12340</td> <td data-bbox="1813 1241 1908 1419">2016-中部-M004</td> <td data-bbox="1813 1062 1908 1241">浜岡3号</td> <td data-bbox="1813 579 1908 1062">福島第一原子力発電所構内における高性能多核種除去設備の堰内漏えいについて</td> <td data-bbox="1813 390 1908 579">2016/04/11</td> <td data-bbox="1813 348 1908 390">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1908 1419 2003 1535">12358</td> <td data-bbox="1908 1241 2003 1419">2016-東北-M001</td> <td data-bbox="1908 1062 2003 1241">東通1号</td> <td data-bbox="1908 579 2003 1062">福島第一原子力発電所構内における高性能多核種除去設備ベント配管からの堰内漏えいについて</td> <td data-bbox="1908 390 2003 579">2016/04/14</td> <td data-bbox="1908 348 2003 390">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2003 1419 2098 1535">12372</td> <td data-bbox="2003 1241 2098 1419">2015-東京-S046</td> <td data-bbox="2003 1062 2098 1241">福島第一</td> <td data-bbox="2003 579 2098 1062">敦賀発電所1号機タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管からの水漏れについて</td> <td data-bbox="2003 390 2098 579">2016/03/23</td> <td data-bbox="2003 348 2098 390">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2098 1419 2193 1535">12377</td> <td data-bbox="2098 1241 2193 1419">2016-東京-S004</td> <td data-bbox="2098 1062 2193 1241">福島第一</td> <td data-bbox="2098 579 2193 1062">福島第一原子力発電所5号機残留熱除去海水系Aポンプからの潤滑油漏えいについて</td> <td data-bbox="2098 390 2193 579">2016/04/21</td> <td data-bbox="2098 348 2193 390">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2193 1419 2288 1535">12409</td> <td data-bbox="2193 1241 2288 1419">2016-東北-S002</td> <td data-bbox="2193 1062 2288 1241">東通1号</td> <td data-bbox="2193 579 2288 1062">補助ボイラ(A)重油圧力自動減圧弁からの重油の漏えい</td> <td data-bbox="2193 390 2288 579">2016/04/08</td> <td data-bbox="2193 348 2288 390">①</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2288 1419 2383 1535">12411</td> <td data-bbox="2288 1241 2383 1419">2016-原電-T001</td> <td data-bbox="2288 1062 2383 1241">東海第二</td> <td data-bbox="2288 579 2383 1062">補助ボイラ(A)重油流量計入口ストレーナからの重油の漏えい</td> <td data-bbox="2288 390 2383 579">2016/06/02</td> <td data-bbox="2288 348 2383 390">⑤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2383 1419 2478 1535">12413</td> <td data-bbox="2383 1241 2478 1419">2016-東北-M002</td> <td data-bbox="2383 1062 2478 1241">女川2号</td> <td data-bbox="2383 579 2478 1062">福島第一原子力発電所多核種除去設備における堰内漏えいについて</td> <td data-bbox="2383 390 2478 579">2016/06/16</td> <td data-bbox="2383 348 2478 390">②</td> </tr> </tbody> </table>	ニュース ア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	12340	2016-中部-M004	浜岡3号	福島第一原子力発電所構内における高性能多核種除去設備の堰内漏えいについて	2016/04/11	②	12358	2016-東北-M001	東通1号	福島第一原子力発電所構内における高性能多核種除去設備ベント配管からの堰内漏えいについて	2016/04/14	②	12372	2015-東京-S046	福島第一	敦賀発電所1号機タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管からの水漏れについて	2016/03/23	②	12377	2016-東京-S004	福島第一	福島第一原子力発電所5号機残留熱除去海水系Aポンプからの潤滑油漏えいについて	2016/04/21	②	12409	2016-東北-S002	東通1号	補助ボイラ(A)重油圧力自動減圧弁からの重油の漏えい	2016/04/08	①	12411	2016-原電-T001	東海第二	補助ボイラ(A)重油流量計入口ストレーナからの重油の漏えい	2016/06/02	⑤	12413	2016-東北-M002	女川2号	福島第一原子力発電所多核種除去設備における堰内漏えいについて	2016/06/16	②	
ニュース ア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類																																														
12340	2016-中部-M004	浜岡3号	福島第一原子力発電所構内における高性能多核種除去設備の堰内漏えいについて	2016/04/11	②																																														
12358	2016-東北-M001	東通1号	福島第一原子力発電所構内における高性能多核種除去設備ベント配管からの堰内漏えいについて	2016/04/14	②																																														
12372	2015-東京-S046	福島第一	敦賀発電所1号機タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管からの水漏れについて	2016/03/23	②																																														
12377	2016-東京-S004	福島第一	福島第一原子力発電所5号機残留熱除去海水系Aポンプからの潤滑油漏えいについて	2016/04/21	②																																														
12409	2016-東北-S002	東通1号	補助ボイラ(A)重油圧力自動減圧弁からの重油の漏えい	2016/04/08	①																																														
12411	2016-原電-T001	東海第二	補助ボイラ(A)重油流量計入口ストレーナからの重油の漏えい	2016/06/02	⑤																																														
12413	2016-東北-M002	女川2号	福島第一原子力発電所多核種除去設備における堰内漏えいについて	2016/06/16	②																																														

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1736 352 1813 394">ニュース ア通番</th> <th data-bbox="1736 394 1813 436">報告書番号</th> <th data-bbox="1736 436 1813 478">ユニット</th> <th data-bbox="1736 478 1813 583">件名</th> <th data-bbox="1736 583 1813 646">事象発生日</th> <th data-bbox="1736 646 1813 688">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1813 352 1905 394">12414</td> <td data-bbox="1813 394 1905 436">2016-中部-M004</td> <td data-bbox="1813 436 1905 478">浜岡3号</td> <td data-bbox="1813 478 1905 583">非常用ディーゼル発電機(B)バルブレバー注油ポンプ出口ストレーナからの潤滑油の漏えい</td> <td data-bbox="1813 583 1905 646">2016/04/11</td> <td data-bbox="1813 646 1905 688">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1905 352 1997 394">12420</td> <td data-bbox="1905 394 1997 436">2016-東北-M001</td> <td data-bbox="1905 436 1997 478">東通1号</td> <td data-bbox="1905 478 1997 583">東通原子力発電所1号機における非常用ディーゼル発電機(A)からの軽油漏えいについて</td> <td data-bbox="1905 583 1997 646">2016/04/14</td> <td data-bbox="1905 646 1997 688">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1997 352 2089 394">12428</td> <td data-bbox="1997 394 2089 436">2015-東京-S046</td> <td data-bbox="1997 436 2089 478">福島第一</td> <td data-bbox="1997 478 2089 583">福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋内における堰内漏えいについて</td> <td data-bbox="1997 583 2089 646">2016/03/23</td> <td data-bbox="1997 646 2089 688">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2089 352 2181 394">12433</td> <td data-bbox="2089 394 2181 436">2016-東京-S004</td> <td data-bbox="2089 436 2181 478">福島第一</td> <td data-bbox="2089 478 2181 583">福島第一原子力発電所 サブドレン No. 4 中継タンク堰内における配管フランジ部からの地下水滴下について</td> <td data-bbox="2089 583 2181 646">2016/04/21</td> <td data-bbox="2089 646 2181 688">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2181 352 2273 394">12441</td> <td data-bbox="2181 394 2273 436">2016-東北-S002</td> <td data-bbox="2181 436 2273 478">東通1号</td> <td data-bbox="2181 478 2273 583">R C I C タービンポンプ室における漏えい</td> <td data-bbox="2181 583 2273 646">2016/04/08</td> <td data-bbox="2181 646 2273 688">①</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2273 352 2365 394">12445</td> <td data-bbox="2273 394 2365 436">2016-原電-T001</td> <td data-bbox="2273 436 2365 478">東海第二</td> <td data-bbox="2273 478 2365 583">廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う 立入制限区域の設定について</td> <td data-bbox="2273 583 2365 646">2016/06/02</td> <td data-bbox="2273 646 2365 688">⑤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="2365 352 2457 394">12449</td> <td data-bbox="2365 394 2457 436">2016-東北-M002</td> <td data-bbox="2365 436 2457 478">女川2号</td> <td data-bbox="2365 478 2457 583">女川原子力発電所2号機における非常用ディーゼル発電機からの潤滑油の漏えいについて</td> <td data-bbox="2365 583 2457 646">2016/06/16</td> <td data-bbox="2365 646 2457 688">②</td> </tr> </tbody> </table>	ニュース ア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	12414	2016-中部-M004	浜岡3号	非常用ディーゼル発電機(B)バルブレバー注油ポンプ出口ストレーナからの潤滑油の漏えい	2016/04/11	②	12420	2016-東北-M001	東通1号	東通原子力発電所1号機における非常用ディーゼル発電機(A)からの軽油漏えいについて	2016/04/14	②	12428	2015-東京-S046	福島第一	福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋内における堰内漏えいについて	2016/03/23	②	12433	2016-東京-S004	福島第一	福島第一原子力発電所 サブドレン No. 4 中継タンク堰内における配管フランジ部からの地下水滴下について	2016/04/21	②	12441	2016-東北-S002	東通1号	R C I C タービンポンプ室における漏えい	2016/04/08	①	12445	2016-原電-T001	東海第二	廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う 立入制限区域の設定について	2016/06/02	⑤	12449	2016-東北-M002	女川2号	女川原子力発電所2号機における非常用ディーゼル発電機からの潤滑油の漏えいについて	2016/06/16	②	
ニュース ア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類																																														
12414	2016-中部-M004	浜岡3号	非常用ディーゼル発電機(B)バルブレバー注油ポンプ出口ストレーナからの潤滑油の漏えい	2016/04/11	②																																														
12420	2016-東北-M001	東通1号	東通原子力発電所1号機における非常用ディーゼル発電機(A)からの軽油漏えいについて	2016/04/14	②																																														
12428	2015-東京-S046	福島第一	福島第一原子力発電所 高温焼却炉建屋内における堰内漏えいについて	2016/03/23	②																																														
12433	2016-東京-S004	福島第一	福島第一原子力発電所 サブドレン No. 4 中継タンク堰内における配管フランジ部からの地下水滴下について	2016/04/21	②																																														
12441	2016-東北-S002	東通1号	R C I C タービンポンプ室における漏えい	2016/04/08	①																																														
12445	2016-原電-T001	東海第二	廃棄物処理棟中地下1階タンクベント処理装置室内における液体の漏えいに伴う 立入制限区域の設定について	2016/06/02	⑤																																														
12449	2016-東北-M002	女川2号	女川原子力発電所2号機における非常用ディーゼル発電機からの潤滑油の漏えいについて	2016/06/16	②																																														

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1733 352 1816 1575">ニューシ ア通番</th> <th data-bbox="1816 352 1911 1575">報告書番号</th> <th data-bbox="1911 352 2006 1575">ユニット</th> <th data-bbox="2006 352 2101 1575">件名</th> <th data-bbox="2101 352 2196 1575">事象発生日</th> <th data-bbox="2196 352 2291 1575">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1733 352 1816 1575">12482</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-中部-S005</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">浜岡 4号</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">スクリーン洗浄ポンプモーター油面計からの油漏えい</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/08/24</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 352 1816 1575">12483</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-中部-S004</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">浜岡 3号</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">タービン建屋内における循環水系の海水配管からの放射性物質を含まない水の漏えい</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/08/29</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 352 1816 1575">12504</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-北陸-M002</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">志賀 2号</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">志賀原子力発電所 2号機 原子炉建屋内への雨水流入について</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/09/28</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">⑤</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 352 1816 1575">12545</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-東北-S036</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">女川 1号</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">女川原子力発電所 1号機における海水の漏えいに関する原因と対策について</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/11/28</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">①</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 352 1816 1575">12550</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-東北-S039</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">東通 1号</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">CRD水圧制御ユニット スクラム入口弁グラインド部からの漏えい</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/10/21</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 352 1816 1575">12561</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-中部-S008</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">浜岡 1号</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">原子炉建屋 2階 排水枳からの水の漏えい</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/12/20</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1733 352 1816 1575">12576</td> <td data-bbox="1816 352 1911 1575">2016-東京-S030</td> <td data-bbox="1911 352 2006 1575">福島第一</td> <td data-bbox="2006 352 2101 1575">福島第一原子力発電所B系サブトレント処理 吸着塔スキッドB漏えいについて</td> <td data-bbox="2101 352 2196 1575">2016/12/06</td> <td data-bbox="2196 352 2291 1575">②</td> </tr> </tbody> </table>	ニューシ ア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	12482	2016-中部-S005	浜岡 4号	スクリーン洗浄ポンプモーター油面計からの油漏えい	2016/08/24	②	12483	2016-中部-S004	浜岡 3号	タービン建屋内における循環水系の海水配管からの放射性物質を含まない水の漏えい	2016/08/29	②	12504	2016-北陸-M002	志賀 2号	志賀原子力発電所 2号機 原子炉建屋内への雨水流入について	2016/09/28	⑤	12545	2016-東北-S036	女川 1号	女川原子力発電所 1号機における海水の漏えいに関する原因と対策について	2016/11/28	①	12550	2016-東北-S039	東通 1号	CRD水圧制御ユニット スクラム入口弁グラインド部からの漏えい	2016/10/21	②	12561	2016-中部-S008	浜岡 1号	原子炉建屋 2階 排水枳からの水の漏えい	2016/12/20	②	12576	2016-東京-S030	福島第一	福島第一原子力発電所B系サブトレント処理 吸着塔スキッドB漏えいについて	2016/12/06	②	
ニューシ ア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類																																														
12482	2016-中部-S005	浜岡 4号	スクリーン洗浄ポンプモーター油面計からの油漏えい	2016/08/24	②																																														
12483	2016-中部-S004	浜岡 3号	タービン建屋内における循環水系の海水配管からの放射性物質を含まない水の漏えい	2016/08/29	②																																														
12504	2016-北陸-M002	志賀 2号	志賀原子力発電所 2号機 原子炉建屋内への雨水流入について	2016/09/28	⑤																																														
12545	2016-東北-S036	女川 1号	女川原子力発電所 1号機における海水の漏えいに関する原因と対策について	2016/11/28	①																																														
12550	2016-東北-S039	東通 1号	CRD水圧制御ユニット スクラム入口弁グラインド部からの漏えい	2016/10/21	②																																														
12561	2016-中部-S008	浜岡 1号	原子炉建屋 2階 排水枳からの水の漏えい	2016/12/20	②																																														
12576	2016-東京-S030	福島第一	福島第一原子力発電所B系サブトレント処理 吸着塔スキッドB漏えいについて	2016/12/06	②																																														

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1733 346 1816 1579">ニュース ア通番</th> <th data-bbox="1816 346 1899 1579">報告書番号</th> <th data-bbox="1899 346 2000 1579">ユニット</th> <th data-bbox="2000 346 2101 1579">件名</th> <th data-bbox="2101 346 2184 1579">事象発生日</th> <th data-bbox="2184 346 2267 1579">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">12579</td> <td data-bbox="1899 346 2000 1579">2016-東京-S031</td> <td data-bbox="2000 346 2101 1579">福島第一</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋内の 淡水化装置からの漏えいについて</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">2016/12/14</td> <td data-bbox="2267 346 2350 1579">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">12580</td> <td data-bbox="1899 346 2000 1579">2016-東京-S032</td> <td data-bbox="2000 346 2101 1579">福島第一</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">福島第一原子力発電所 窒素ガス分離装置(A)か らの洩漏えいについて</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">2016/12/15</td> <td data-bbox="2267 346 2350 1579">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">12582</td> <td data-bbox="1899 346 2000 1579">2016-東京-S033</td> <td data-bbox="2000 346 2101 1579">福島第一</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">福島第一原子力発電所 高性能多核種除去設備建 屋における水溜まりの発見について</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">2016/12/17</td> <td data-bbox="2267 346 2350 1579">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">12585</td> <td data-bbox="1899 346 2000 1579">2016-東京-S036</td> <td data-bbox="2000 346 2101 1579">福島第一</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋内の 淡水化装置からの漏えいについて</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">2017/01/09</td> <td data-bbox="2267 346 2350 1579">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">12587</td> <td data-bbox="1899 346 2000 1579">2016-東京-S038</td> <td data-bbox="2000 346 2101 1579">福島第一</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">福島第一原子力発電所 既設多核種除去設備A系 吸着塔出口弁からの漏えいについて</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">2017/01/11</td> <td data-bbox="2267 346 2350 1579">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">12589</td> <td data-bbox="1899 346 2000 1579">2016-東京-S039</td> <td data-bbox="2000 346 2101 1579">福島第一</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">福島第一原子力発電所 4号機使用済燃料プール ホースのドレン弁付近からの漏えいについて</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">2017/01/12</td> <td data-bbox="2267 346 2350 1579">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1816 346 1899 1579">12590</td> <td data-bbox="1899 346 2000 1579">2016-中部-M008</td> <td data-bbox="2000 346 2101 1579">浜岡5号</td> <td data-bbox="2101 346 2184 1579">タービン建屋内の連絡配管溶接部における微小な 孔</td> <td data-bbox="2184 346 2267 1579">2017/02/01</td> <td data-bbox="2267 346 2350 1579">②</td> </tr> </tbody> </table>	ニュース ア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	12579	2016-東京-S031	福島第一	福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋内の 淡水化装置からの漏えいについて	2016/12/14	②	12580	2016-東京-S032	福島第一	福島第一原子力発電所 窒素ガス分離装置(A)か らの洩漏えいについて	2016/12/15	②	12582	2016-東京-S033	福島第一	福島第一原子力発電所 高性能多核種除去設備建 屋における水溜まりの発見について	2016/12/17	②	12585	2016-東京-S036	福島第一	福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋内の 淡水化装置からの漏えいについて	2017/01/09	②	12587	2016-東京-S038	福島第一	福島第一原子力発電所 既設多核種除去設備A系 吸着塔出口弁からの漏えいについて	2017/01/11	②	12589	2016-東京-S039	福島第一	福島第一原子力発電所 4号機使用済燃料プール ホースのドレン弁付近からの漏えいについて	2017/01/12	②	12590	2016-中部-M008	浜岡5号	タービン建屋内の連絡配管溶接部における微小な 孔	2017/02/01	②	
ニュース ア通番	報告書番号	ユニット	件名	事象発生日	分類																																														
12579	2016-東京-S031	福島第一	福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋内の 淡水化装置からの漏えいについて	2016/12/14	②																																														
12580	2016-東京-S032	福島第一	福島第一原子力発電所 窒素ガス分離装置(A)か らの洩漏えいについて	2016/12/15	②																																														
12582	2016-東京-S033	福島第一	福島第一原子力発電所 高性能多核種除去設備建 屋における水溜まりの発見について	2016/12/17	②																																														
12585	2016-東京-S036	福島第一	福島第一原子力発電所 4号機タービン建屋内の 淡水化装置からの漏えいについて	2017/01/09	②																																														
12587	2016-東京-S038	福島第一	福島第一原子力発電所 既設多核種除去設備A系 吸着塔出口弁からの漏えいについて	2017/01/11	②																																														
12589	2016-東京-S039	福島第一	福島第一原子力発電所 4号機使用済燃料プール ホースのドレン弁付近からの漏えいについて	2017/01/12	②																																														
12590	2016-中部-M008	浜岡5号	タービン建屋内の連絡配管溶接部における微小な 孔	2017/02/01	②																																														



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1736 1423 1816 1541">ニュース ア通番</th> <th data-bbox="1816 1247 1908 1423">報告番号</th> <th data-bbox="1908 1066 2000 1247">ユニット</th> <th data-bbox="2000 583 2092 1066">件名</th> <th data-bbox="2092 386 2184 583">事象発生日</th> <th data-bbox="2184 340 2276 386">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1816 1423 1908 1541">12608</td> <td data-bbox="1816 1247 1908 1423">2016-中部-S009</td> <td data-bbox="1908 1066 2000 1247">浜岡1号</td> <td data-bbox="2000 583 2092 1066">復水ろ過脱塩装置建屋地下2階における水の漏えい</td> <td data-bbox="2092 386 2184 583">2017/02/19</td> <td data-bbox="2184 340 2276 386">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1816 1423 1908 1541">12610</td> <td data-bbox="1816 1247 1908 1423">2016-東京-S040</td> <td data-bbox="1908 1066 2000 1247">柏崎刈羽6,7号</td> <td data-bbox="2000 583 2092 1066">柏崎刈羽原子力発電所6,7号機 サービス建屋ロツカー室(非管理区域)における火災の発生について</td> <td data-bbox="2092 386 2184 583">2017/02/23</td> <td data-bbox="2184 340 2276 386">④</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1816 1423 1908 1541">12620</td> <td data-bbox="1816 1247 1908 1423">2016-東京-S044</td> <td data-bbox="1908 1066 2000 1247">福島第一</td> <td data-bbox="2000 583 2092 1066">福島第一原子力発電所 増設多核種除去装置A系のプーンスターポンプ付近からの水漏れについて</td> <td data-bbox="2092 386 2184 583">2017/02/17</td> <td data-bbox="2184 340 2276 386">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1816 1423 1908 1541">12621</td> <td data-bbox="1816 1247 1908 1423">2016-東京-S045</td> <td data-bbox="1908 1066 2000 1247">福島第一</td> <td data-bbox="2000 583 2092 1066">福島第一原子力発電所 集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋内での水溜まりの発見について</td> <td data-bbox="2092 386 2184 583">2017/03/02</td> <td data-bbox="2184 340 2276 386">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1816 1423 1908 1541">12630</td> <td data-bbox="1816 1247 1908 1423">2016-東北-M005</td> <td data-bbox="1908 1066 2000 1247">女川2号</td> <td data-bbox="2000 583 2092 1066">女川原子力発電所2号機管理区域内における放射性物質を含む水の漏えいならびに作業員への被水について</td> <td data-bbox="2092 386 2184 583">2017/03/27</td> <td data-bbox="2184 340 2276 386">①</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1816 1423 1908 1541">12644</td> <td data-bbox="1816 1247 1908 1423">2017-東京-S003</td> <td data-bbox="1908 1066 2000 1247">福島第一</td> <td data-bbox="2000 583 2092 1066">福島第一原子力発電所 サブドレン浄化設備吸着塔(B)入口付近からの水漏れ発生について</td> <td data-bbox="2092 386 2184 583">2017/04/10</td> <td data-bbox="2184 340 2276 386">②</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1816 1423 1908 1541">12662</td> <td data-bbox="1816 1247 1908 1423">2017-中部-S001</td> <td data-bbox="1908 1066 2000 1247">浜岡3号</td> <td data-bbox="2000 583 2092 1066">サービス建屋内の洗濯室における放射性物質を含まない水の漏えい</td> <td data-bbox="2092 386 2184 583">2017/05/08</td> <td data-bbox="2184 340 2276 386">②</td> </tr> </tbody> </table>	ニュース ア通番	報告番号	ユニット	件名	事象発生日	分類	12608	2016-中部-S009	浜岡1号	復水ろ過脱塩装置建屋地下2階における水の漏えい	2017/02/19	②	12610	2016-東京-S040	柏崎刈羽6,7号	柏崎刈羽原子力発電所6,7号機 サービス建屋ロツカー室(非管理区域)における火災の発生について	2017/02/23	④	12620	2016-東京-S044	福島第一	福島第一原子力発電所 増設多核種除去装置A系のプーンスターポンプ付近からの水漏れについて	2017/02/17	②	12621	2016-東京-S045	福島第一	福島第一原子力発電所 集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋内での水溜まりの発見について	2017/03/02	②	12630	2016-東北-M005	女川2号	女川原子力発電所2号機管理区域内における放射性物質を含む水の漏えいならびに作業員への被水について	2017/03/27	①	12644	2017-東京-S003	福島第一	福島第一原子力発電所 サブドレン浄化設備吸着塔(B)入口付近からの水漏れ発生について	2017/04/10	②	12662	2017-中部-S001	浜岡3号	サービス建屋内の洗濯室における放射性物質を含まない水の漏えい	2017/05/08	②	
ニュース ア通番	報告番号	ユニット	件名	事象発生日	分類																																														
12608	2016-中部-S009	浜岡1号	復水ろ過脱塩装置建屋地下2階における水の漏えい	2017/02/19	②																																														
12610	2016-東京-S040	柏崎刈羽6,7号	柏崎刈羽原子力発電所6,7号機 サービス建屋ロツカー室(非管理区域)における火災の発生について	2017/02/23	④																																														
12620	2016-東京-S044	福島第一	福島第一原子力発電所 増設多核種除去装置A系のプーンスターポンプ付近からの水漏れについて	2017/02/17	②																																														
12621	2016-東京-S045	福島第一	福島第一原子力発電所 集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋内での水溜まりの発見について	2017/03/02	②																																														
12630	2016-東北-M005	女川2号	女川原子力発電所2号機管理区域内における放射性物質を含む水の漏えいならびに作業員への被水について	2017/03/27	①																																														
12644	2017-東京-S003	福島第一	福島第一原子力発電所 サブドレン浄化設備吸着塔(B)入口付近からの水漏れ発生について	2017/04/10	②																																														
12662	2017-中部-S001	浜岡3号	サービス建屋内の洗濯室における放射性物質を含まない水の漏えい	2017/05/08	②																																														

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考												
		<table border="1" data-bbox="2021 359 2190 1619"> <tr> <td data-bbox="2021 1493 2101 1619">ニューシ ア通番</td> <td data-bbox="2101 1493 2190 1619">12668</td> <td data-bbox="2021 1304 2101 1493">報告書番号</td> <td data-bbox="2101 1304 2190 1493">2017-東京-S007</td> <td data-bbox="2021 1115 2101 1304">ユニット</td> <td data-bbox="2101 1115 2190 1304">福島第一</td> <td data-bbox="2021 611 2101 1115">件名</td> <td data-bbox="2101 611 2190 1115">福島第一原子力発電所の増設多核種除去装置(B)ブラスターポンプ下部からの水漏れ発生について</td> <td data-bbox="2021 401 2101 611">事象発生日</td> <td data-bbox="2101 401 2190 611">2017/05/12</td> <td data-bbox="2021 359 2101 401">分類</td> <td data-bbox="2101 359 2190 401">②</td> </tr> </table>	ニューシ ア通番	12668	報告書番号	2017-東京-S007	ユニット	福島第一	件名	福島第一原子力発電所の増設多核種除去装置(B)ブラスターポンプ下部からの水漏れ発生について	事象発生日	2017/05/12	分類	②	
ニューシ ア通番	12668	報告書番号	2017-東京-S007	ユニット	福島第一	件名	福島第一原子力発電所の増設多核種除去装置(B)ブラスターポンプ下部からの水漏れ発生について	事象発生日	2017/05/12	分類	②				

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																															
<p style="text-align: right;">補足説明資料9</p> <p>「防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価」に関する補足</p> <p><u>9.1 配管の想定破損による溢水量と消火水の放水による溢水量が地震に起因する溢水量に包含されることについて</u></p> <p>9.1.1 配管の想定破損による溢水</p> <p>(1) タービン建屋（循環水ポンプエリア及び海水熱交換器エリアを除く。）</p> <p>＜評価条件＞</p> <table border="1" data-bbox="160 741 905 1092"> <tr><td>破損箇所</td><td>復水器入口弁部伸縮継手1箇所</td></tr> <tr><td>選定根拠</td><td>伸縮継手の破損高さが最も低いため</td></tr> <tr><td>破損面積</td><td>(配管内径の1/2) × (伸縮継手凸部厚さの1/2)</td></tr> <tr><td>水頭圧</td><td>破損箇所の最高使用圧力</td></tr> <tr><td>溢水量</td><td>①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間80分間の溢水量 (循環水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②循環水系隔離後に伸縮継手破損箇所上部に位置する復水器1基分の保有水量を1.1倍した量 (溢水範囲は補足第9.1.1-1図参照)</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">補足第9.1.1-1表 破損箇所の諸元</p> <table border="1" data-bbox="178 1192 896 1310"> <thead> <tr> <th></th> <th>内径D[m]</th> <th>伸縮継手凸部厚さt[m]</th> <th>溢水流量[m<sup>3</sup>/分]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>2.6</td> <td>0.025</td> <td>約21.6</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>2.6</td> <td>0.030</td> <td>約25.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>①の溢水量は以下の計算式を用いて算出する。①, ②それぞれの溢水量を補足第9.1.1-2表に示す。</p> <p style="text-align: center;">(溢水流量) × (溢水停止までの所要時間80分)</p> <p>= (溢水量)</p> <p style="text-align: center;">補足第9.1.1-2表 配管の想定破損による溢水量</p> <table border="1" data-bbox="216 1656 860 1793"> <thead> <tr> <th></th> <th>①溢水量[m<sup>3</sup>]</th> <th>②復水器保有水量[m<sup>3</sup>]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>約1,723</td> <td>約580</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>約2,039</td> <td>約548</td> </tr> </tbody> </table>	破損箇所	復水器入口弁部伸縮継手1箇所	選定根拠	伸縮継手の破損高さが最も低いため	破損面積	(配管内径の1/2) × (伸縮継手凸部厚さの1/2)	水頭圧	破損箇所の最高使用圧力	溢水量	①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間80分間の溢水量 (循環水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②循環水系隔離後に伸縮継手破損箇所上部に位置する復水器1基分の保有水量を1.1倍した量 (溢水範囲は補足第9.1.1-1図参照)		内径D[m]	伸縮継手凸部厚さt[m]	溢水流量[m <sup>3</sup> /分]	【6号炉】	2.6	0.025	約21.6	【7号炉】	2.6	0.030	約25.5		①溢水量[m <sup>3</sup> ]	②復水器保有水量[m <sup>3</sup> ]	【6号炉】	約1,723	約580	【7号炉】	約2,039	約548		<p style="text-align: right;">補足説明資料9</p> <p>「溢水防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価」に関する補足</p>	<p>(東海第二は本文12.に記載)</p> <p>・島根2号炉の各事象の溢水量の比較については、「別添1本文9.溢水防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価」に記載</p> <p>【柏崎6/7】</p>
破損箇所	復水器入口弁部伸縮継手1箇所																																	
選定根拠	伸縮継手の破損高さが最も低いため																																	
破損面積	(配管内径の1/2) × (伸縮継手凸部厚さの1/2)																																	
水頭圧	破損箇所の最高使用圧力																																	
溢水量	①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間80分間の溢水量 (循環水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②循環水系隔離後に伸縮継手破損箇所上部に位置する復水器1基分の保有水量を1.1倍した量 (溢水範囲は補足第9.1.1-1図参照)																																	
	内径D[m]	伸縮継手凸部厚さt[m]	溢水流量[m <sup>3</sup> /分]																															
【6号炉】	2.6	0.025	約21.6																															
【7号炉】	2.6	0.030	約25.5																															
	①溢水量[m <sup>3</sup> ]	②復水器保有水量[m <sup>3</sup> ]																																
【6号炉】	約1,723	約580																																
【7号炉】	約2,039	約548																																

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																			
<p>配管の想定破損による溢水量と地震に起因する溢水量の比較を補足第9.1.1-3表に示す。配管の想定破損による溢水量は地震による溢水量より少ないことから、地震による溢水量に包含される。</p> <p>補足第9.1.1-3表 溢水量の比較</p> <table border="1" data-bbox="261 533 813 678"> <thead> <tr> <th></th> <th>配管の想定破損による溢水量 (①+②) [m³]</th> <th>地震に起因する溢水量[m³]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>約2,303</td> <td>約17,580</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>約2,586</td> <td>約23,730</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="166 751 908 1087" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: right; font-size: small;">黒枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません</p> </div> <p>補足第9.1.1-1 図 復水器出入口弁閉後の溢水範囲【7号炉の例】</p> <p>(2) タービン建屋循環水ポンプエリア          &lt;評価条件&gt;</p> <table border="1" data-bbox="166 1304 914 1656"> <tbody> <tr> <td>破損箇所</td> <td>循環水ポンプ吐出弁部伸縮継手1箇所</td> </tr> <tr> <td>選定根拠</td> <td>配管内径が循環水ポンプ吐出連絡弁部より大きいため</td> </tr> <tr> <td>破損面積</td> <td>(配管内径の1/2) × (伸縮継手凸部厚さの1/2)</td> </tr> <tr> <td>水頭圧</td> <td>破損箇所の最高使用圧力</td> </tr> <tr> <td>溢水量</td> <td>①, ②の合計水量                  ①溢水発生から溢水停止までの所要時間80分間の溢水量                  (循環水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定)                  ②循環水系隔離後に伸縮継手破損箇所から溢水する循環水ポンプ吐出配管立ち上がり部3ライン分の保有水量を1.1倍した量 (範囲は補足第9.1.1-2図参照)</td> </tr> </tbody> </table>		配管の想定破損による溢水量 (①+②) [m³]	地震に起因する溢水量[m³]	【6号炉】	約2,303	約17,580	【7号炉】	約2,586	約23,730	破損箇所	循環水ポンプ吐出弁部伸縮継手1箇所	選定根拠	配管内径が循環水ポンプ吐出連絡弁部より大きいため	破損面積	(配管内径の1/2) × (伸縮継手凸部厚さの1/2)	水頭圧	破損箇所の最高使用圧力	溢水量	①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間80分間の溢水量 (循環水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②循環水系隔離後に伸縮継手破損箇所から溢水する循環水ポンプ吐出配管立ち上がり部3ライン分の保有水量を1.1倍した量 (範囲は補足第9.1.1-2図参照)			
	配管の想定破損による溢水量 (①+②) [m³]	地震に起因する溢水量[m³]																				
【6号炉】	約2,303	約17,580																				
【7号炉】	約2,586	約23,730																				
破損箇所	循環水ポンプ吐出弁部伸縮継手1箇所																					
選定根拠	配管内径が循環水ポンプ吐出連絡弁部より大きいため																					
破損面積	(配管内径の1/2) × (伸縮継手凸部厚さの1/2)																					
水頭圧	破損箇所の最高使用圧力																					
溢水量	①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間80分間の溢水量 (循環水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②循環水系隔離後に伸縮継手破損箇所から溢水する循環水ポンプ吐出配管立ち上がり部3ライン分の保有水量を1.1倍した量 (範囲は補足第9.1.1-2図参照)																					

補足第 9. 1. 1-4 表 破損箇所の諸元

	内径 D[m]	伸縮継手凸部厚さ t[m]	溢水流量[m <sup>3</sup> /分]
【6号炉】	3.6	0.030	約 34.8
【7号炉】	3.4	0.038	約 40.5

①の溢水量は以下の計算式を用いて算出する。①, ②それぞれの溢水量を補足第 9. 1. 1-5 表に示す。

$$\text{(溢水流量)} \times \text{(溢水停止までの所要時間 80 分)} = \text{(溢水量)}$$

補足第 9. 1. 1-5 表 配管の想定破損による溢水量

	①溢水量[m <sup>3</sup> ]	②循環水配管保有水量[m <sup>3</sup> ]
【6号炉】	約 2,784	約 358
【7号炉】	約 3,234	約 337



補足第 9. 1. 1-2 図 循環水ポンプ停止後の溢水範囲【7号炉の例】

配管の想定破損による溢水量と地震に起因する溢水量の比較を補足第 9. 1. 1-6 表に示す。配管の想定破損による溢水量は地震による溢水量より少ないことから、地震による溢水量に包含される。

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																															
<p style="text-align: center;">補足第 9. 1. 1-6 表 溢水量の比較</p> <table border="1" data-bbox="201 359 875 537"> <thead> <tr> <th></th> <th>配管の想定破損による 溢水量 (①+②) [m<sup>3</sup>]</th> <th>地震に起因する 溢水量[m<sup>3</sup>]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>約 3, 141</td> <td>約 9, 910</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>約 3, 570</td> <td>約 9, 740</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) タービン建屋海水熱交換器エリア &lt;評価条件&gt;</p> <table border="1" data-bbox="163 716 914 1031"> <tbody> <tr> <td>破損箇所</td> <td>タービン補機冷却水系熱交換器入口部海水配管 1 箇所</td> </tr> <tr> <td>選定根拠</td> <td>破損高さが最も低いため</td> </tr> <tr> <td>破損面積</td> <td>(配管内径の 1/2) × (配管厚さの 1/2)</td> </tr> <tr> <td>水頭圧</td> <td>破損箇所の最高使用圧力</td> </tr> <tr> <td>溢水量</td> <td>①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間 80 分間の溢水量 (タービン補機冷却海水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②タービン補機冷却海水系の系統保有水量を 1.1 倍した量</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">補足第 9. 1. 1-7 表 破損箇所の諸元</p> <table border="1" data-bbox="163 1163 905 1304"> <thead> <tr> <th></th> <th>内径 D[m]</th> <th>配管厚さ t[m]</th> <th>溢水流量[m<sup>3</sup>/分]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>0. 85</td> <td>0. 0095</td> <td>約 3. 6</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>0. 85</td> <td>0. 0127</td> <td>約 4. 6</td> </tr> </tbody> </table> <p>①の溢水量は以下の計算式を用いて算出する。①, ②それぞれの溢水量を補足第 9. 1. 1-8 表に示す。</p> <p>(溢水流量) × (溢水停止までの所要時間 80 分) = (溢水量)</p>		配管の想定破損による 溢水量 (①+②) [m <sup>3</sup> ]	地震に起因する 溢水量[m <sup>3</sup> ]	【6号炉】	約 3, 141	約 9, 910	【7号炉】	約 3, 570	約 9, 740	破損箇所	タービン補機冷却水系熱交換器入口部海水配管 1 箇所	選定根拠	破損高さが最も低いため	破損面積	(配管内径の 1/2) × (配管厚さの 1/2)	水頭圧	破損箇所の最高使用圧力	溢水量	①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間 80 分間の溢水量 (タービン補機冷却海水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②タービン補機冷却海水系の系統保有水量を 1.1 倍した量		内径 D[m]	配管厚さ t[m]	溢水流量[m <sup>3</sup> /分]	【6号炉】	0. 85	0. 0095	約 3. 6	【7号炉】	0. 85	0. 0127	約 4. 6			
	配管の想定破損による 溢水量 (①+②) [m <sup>3</sup> ]	地震に起因する 溢水量[m <sup>3</sup> ]																																
【6号炉】	約 3, 141	約 9, 910																																
【7号炉】	約 3, 570	約 9, 740																																
破損箇所	タービン補機冷却水系熱交換器入口部海水配管 1 箇所																																	
選定根拠	破損高さが最も低いため																																	
破損面積	(配管内径の 1/2) × (配管厚さの 1/2)																																	
水頭圧	破損箇所の最高使用圧力																																	
溢水量	①, ②の合計水量 ①溢水発生から溢水停止までの所要時間 80 分間の溢水量 (タービン補機冷却海水ポンプは溢水停止まで運転し続けるものと想定) ②タービン補機冷却海水系の系統保有水量を 1.1 倍した量																																	
	内径 D[m]	配管厚さ t[m]	溢水流量[m <sup>3</sup> /分]																															
【6号炉】	0. 85	0. 0095	約 3. 6																															
【7号炉】	0. 85	0. 0127	約 4. 6																															

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																							
<p>補足第 9. 1. 1-8 表 配管の想定破損による溢水量</p> <table border="1" data-bbox="207 315 875 493"> <thead> <tr> <th></th> <th>①溢水量[m<sup>3</sup>]</th> <th>②タービン補機冷却海水系 保有水量[m<sup>3</sup>]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>約 284</td> <td>約 177</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>約 365</td> <td>約 182</td> </tr> </tbody> </table> <p>配管の想定破損による溢水の浸水水位と地震に起因する溢水の浸水水位の比較を補足第 9. 1. 1-9 表に示す。配管の想定破損による溢水の浸水水位は地震による溢水の浸水水位より低いことから、配管の想定破損による溢水量は地震による溢水量より少なく、地震による溢水量に包含される。</p> <p>補足第 9. 1. 1-9 表 浸水水位の比較</p> <table border="1" data-bbox="207 850 875 1039"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">配管の想定破損による 溢水量 (①+②) [m<sup>3</sup>]</th> <th colspan="2">浸水水位 T. M. S. L. [m]</th> </tr> <tr> <th>想定破損 による溢水</th> <th>地震 による溢水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【6号炉】</td> <td>約 461</td> <td>約-4.0</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>【7号炉】</td> <td>約 547</td> <td>約-3.8</td> <td>8.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>9. 1. 2 消火水の放水による溢水</p> <p>消火水の放水による溢水量は、「6. 消火水評価に用いる各項目の算出及び影響評価」より 54m<sup>3</sup> であり、6 号及び 7 号炉のいずれのエリアにおいても、9. 1. 1 にて算出した配管の想定破損による溢水量より少ないことから、地震による溢水に包含される。</p> <p>9. 2 循環水ポンプ停止後の揚程低下を考慮した時間設定</p> <p>過去に実施した循環水系の過渡現象解析結果を踏まえ、保守的に揚程低下までの時間を 1 分と設定する。</p>		①溢水量[m <sup>3</sup> ]	②タービン補機冷却海水系 保有水量[m <sup>3</sup> ]	【6号炉】	約 284	約 177	【7号炉】	約 365	約 182		配管の想定破損による 溢水量 (①+②) [m <sup>3</sup> ]	浸水水位 T. M. S. L. [m]		想定破損 による溢水	地震 による溢水	【6号炉】	約 461	約-4.0	8.4	【7号炉】	約 547	約-3.8	8.3			<p>・島根 2 号炉は「別添 1 本文 9. 1 復水器エリアにおける溢水 (9. 1. 2(2))」に記載【柏崎 6/7】</p>
	①溢水量[m <sup>3</sup> ]	②タービン補機冷却海水系 保有水量[m <sup>3</sup> ]																								
【6号炉】	約 284	約 177																								
【7号炉】	約 365	約 182																								
	配管の想定破損による 溢水量 (①+②) [m <sup>3</sup> ]	浸水水位 T. M. S. L. [m]																								
		想定破損 による溢水	地震 による溢水																							
【6号炉】	約 461	約-4.0	8.4																							
【7号炉】	約 547	約-3.8	8.3																							

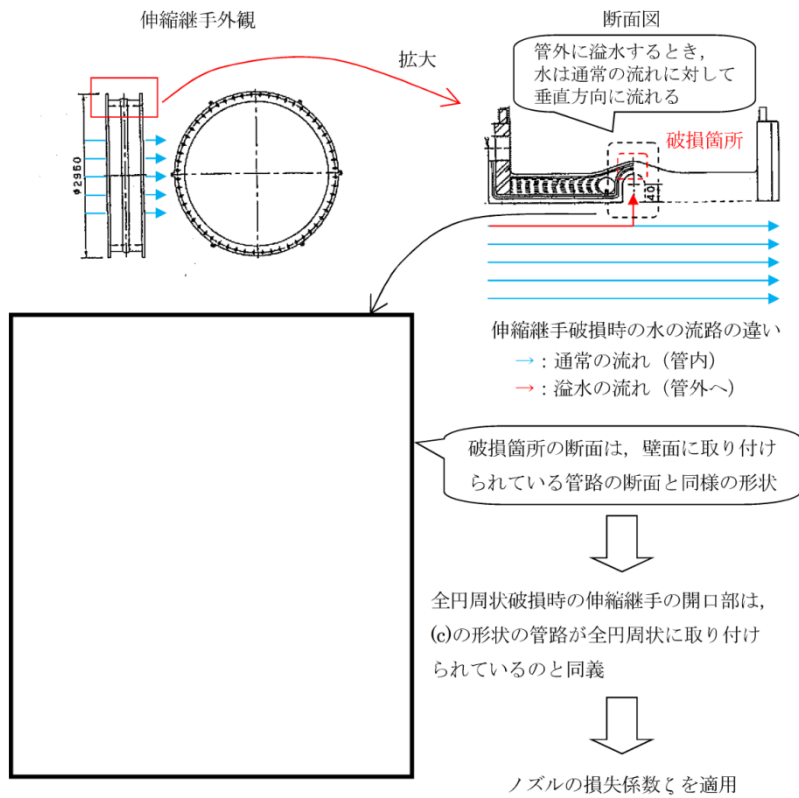
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7 号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2 号炉	備考																
<p>放水庭初期潮位等のパラメータを変えて複数の条件下で実施した解析結果において、循環水ポンプは停止後約 20 秒程度で揚程がゼロまで低下している (補足第 9.2-1 図)。</p> <div data-bbox="160 403 908 716" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="font-size: small; text-align: center;">黒枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません</p> </div> <p>補足第 9.2-1 図 循環水ポンプ停止後の揚程 H 及び流量 Q の変動曲線</p> <p>柏崎刈羽原子力発電所 6 号及び 7 号炉の循環水ポンプの仕様と、解析に用いた循環水ポンプの仕様の比較を補足第 9.2-1 表に示す。表より、柏崎刈羽原子力発電所 6 号及び 7 号炉の循環水ポンプと解析に用いた循環水ポンプの仕様はほぼ同じであるため、揚程変動も同程度となるが、本評価においては循環水ポンプが停止してから揚程が低下するまでの時間を保守的に 1 分と設定する (補足第 9.2-1 図赤線)。</p> <p>補足第 9.2-1 表 循環水ポンプ仕様の比較</p> <table border="1" data-bbox="160 1291 908 1438"> <thead> <tr> <th></th> <th>柏崎刈羽 6 号炉</th> <th>柏崎刈羽 7 号炉</th> <th>解析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全揚程 [m]</td> <td>12.5</td> <td>12.5</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>吐出流量 [m<sup>3</sup>/h]</td> <td>106,200</td> <td>106,200</td> <td>106,200</td> </tr> <tr> <td>回転数 [rpm]</td> <td>176.5</td> <td>176.5</td> <td>187.5</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>9.3 溢水流量算出式における損失係数 0.82 の妥当性について</u></p> <p>溢水流量算出式における損失係数 0.82 は、ベルヌーイの式から得られる損失係数</p> $\sqrt{\frac{l}{l+\zeta}}$ <p>に、伸縮継手の断面形状を考慮してノズルの損失係数 0.5 を適用することにより得たものである。</p>		柏崎刈羽 6 号炉	柏崎刈羽 7 号炉	解析	全揚程 [m]	12.5	12.5	14.0	吐出流量 [m <sup>3</sup> /h]	106,200	106,200	106,200	回転数 [rpm]	176.5	176.5	187.5			<p>・島根 2 号炉も同じ損失係数を使用しているが詳細説明は記載していない</p> <p>【柏崎 6/7】</p>
	柏崎刈羽 6 号炉	柏崎刈羽 7 号炉	解析																
全揚程 [m]	12.5	12.5	14.0																
吐出流量 [m <sup>3</sup> /h]	106,200	106,200	106,200																
回転数 [rpm]	176.5	176.5	187.5																



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>9.3.1 損失係数の導出</p> <p>ベルヌーイの実用式 (①) を補足第9.3.1-1 図に示す配管損傷モデルに当てはめる。</p> $\frac{p_1}{\rho g} + \alpha_1 \frac{v_1^2}{2g} + z_1 = \frac{p_2}{\rho g} + \alpha_2 \frac{v_2^2}{2g} + z_2 + h \quad \text{①}$  <p>補足第9.3.1-1 図 配管損傷モデル</p> <p>この配管損傷モデルに対し、①の左辺を配管内、右辺を配管外の状態とすると、各パラメータの条件は以下のとおりとなる。</p> <p>圧力 <math>p</math>      <math>p_1 =</math> 配管内圧、<math>p_2 =</math> 大気圧、<math>p_1 \neq p_2</math>  流速 <math>v</math>      <math>v_1 =</math> 流体の流速、<math>v_2 =</math> 溢水の流速、<math>v_1 \neq v_2</math>  位置ヘッド <math>z</math>      <math>z_1 = z_2</math>  損失ヘッド <math>h</math>      <math>h = \zeta \frac{v_2^2}{2g}</math>      (<math>v_1 &lt; v_2</math>)      <math>\zeta</math> は損失係数  速度ヘッド <math>\alpha</math>      普通の管路では乱流状態であり <math>\alpha_1 = \alpha_2 \doteq 1</math></p> <p>以上を整理すると、</p> $\frac{p_1}{\rho g} + \frac{v_1^2}{2g} = \frac{p_2}{\rho g} + \frac{v_2^2}{2g} + h$ $\frac{p_1}{\rho g} + \frac{v_1^2}{2g} - \frac{p_2}{\rho g} = \frac{v_2^2}{2g} + h \quad \text{②}$ <p>②の左辺は、配管内外の水が持つエネルギーの差分であり、ガイドにおける評価式の <math>H</math> に等しいことから、②式は以下のように表せる。</p>			

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p style="text-align: center;"><math display="block">H = \frac{v_2^2}{2g} + h \quad \textcircled{3}</math></p> <p>上記条件の損失ヘッド <math>h</math> を③に代入して</p> $H = \frac{v_2^2}{2g} + \zeta \frac{v_2^2}{2g}$ $= \frac{v_2^2}{2g}(1 + \zeta)$ <p>これを <math>v_2</math> で解くと</p> $v_2 = \sqrt{\frac{2gH}{1 + \zeta}} = \sqrt{\frac{1}{1 + \zeta}} \times \sqrt{2gH} \quad \textcircled{4}$ <p>溢水流量 <math>Q[\text{m}^3 / \text{h}]</math> は、④に断面積 <math>A[\text{m}^2]</math> および時間単位補正を考慮して</p> $Q = A \times \sqrt{\frac{1}{1 + \zeta}} \times \sqrt{2gH} \times 3600 \quad \textcircled{5}$ <p>ガイドにおける評価式は⑥のとおりであるから、</p> $Q = A \times C \times \sqrt{2gH} \times 3600 \quad \textcircled{6}$ <p>⑤, ⑥より <math>C = \sqrt{\frac{1}{1 + \zeta}}</math> を得る。</p>			

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>9.3.2 ζの選定</p> <p>伸縮継手からの溢水モードと損失係数の考え方を補足第9.3.2-1 図に示す。伸縮継手が破損して水が循環水配管外に向かって流れる際、本来の流路に対して垂直方向に流れることになり、これは壁面に対して垂直に取り付けられている管路を流れるのと同義と見なすことができる。伸縮継手の破断形状は、破断幅と同じ管径を持った配管が断面積A となるように並んでいるのと等しい。よって、壁面に対して垂直に取り付けられている管路（ノズル）の損失係数0.5 をζの値として採用する。</p>			



補足第 9.3.2-1 図 伸縮継手からの溢水モードと損失係数の考え方

**9.4 漏えい検知インターロックの必要性について**

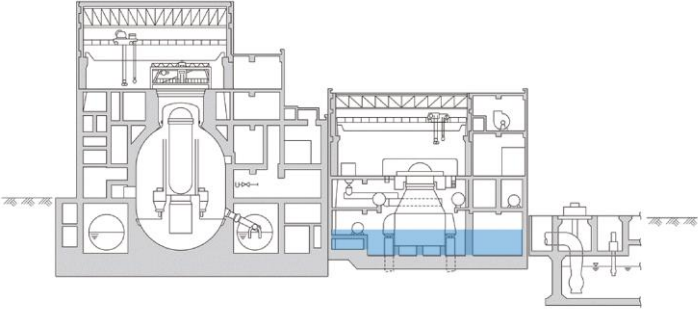
インターロックを設置しない状態において循環水系からの大規模溢水が発生した場合、復水器の冷却水流量が減少するため、復水器真空度の悪化や主タービン排気室温度上昇等が起り、プラント出力低下や停止操作が必要になる。また、循環水ポンプは手動停止や常用電源が喪失しない限り運転し続けるため、対応が遅れるとタービン建屋（循環水ポンプエリア及び海水熱交換器エリアを除く。）への溢水量が急速に増加する。

この状態が継続すると、タービン建屋（循環水ポンプエリア及び海水熱交換器エリアを除く。）の浸水水位は、循環水ポンプの全揚程 12.5m まで上昇する。

タービン建屋（循環水ポンプエリア及び海水熱交換器エリアを除く。）と原子炉建屋の境界は止水処置を施すこととしているが、タービン建屋から原子炉建屋へ溢水が移行して安全上重要な機器に影響を及ぼすリスクが高まる。

・島根 2 号炉「別添 1 本文 9.1.1(2)循環水ポンプ停止及び循環水系弁閉止インターロックについて」にてインターロックについては記載しているが必要性については記載していない  
**【柏崎 6/7】**

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>一方、運転員による循環水系の停止操作も可能であるが、スクラム対応との重畳を考慮すると、運転員の停止操作に担保を取ることはできない。したがって、循環水系の隔離対応については、循環水系からの大規模溢水を早期に検知し、運転員への負担をかけずに自動で隔離動作させるインターロックを設置することは、原子炉安全上必要と判断する。</p> <p>なお、小規模漏えいの場合は、既設の漏えい検知器にて漏えいを検知した後、中央操作室からカメラで漏えい状況を速やかに確認して、循環水ポンプ停止及び復水器出入口弁閉操作を実施する等の対応が可能である。</p> <p><u>9.5 漏えい検知インターロック誤動作時の影響について</u></p> <p>インターロックは原子炉スクラム信号と漏えい検知の and 条件のため、漏えい検知器が誤動作しただけでは中央操作室に警報を発するのみであり、インターロックのロジックは成立しない。ここでは、万一、何らかの原因でロジックが成立したと仮定した場合のプラント挙動について説明する。</p> <p>プラント運転中にインターロック誤動作により循環水ポンプが全台停止した場合は、ヒートシンク喪失により復水器真空度の急速悪化、タービン排気室温度上昇等が起こるため、運転員が原子炉冷却材再循環ポンプの手動ランバック及び原子炉手動スクラム手順を実施することにより原子炉は停止する。</p> <p>なお、仮に手動操作がなくても、復水器真空度低で主タービンがトリップ、原子炉スクラムし、運転員によるスクラム対応により原子炉は停止する。この時の挙動はプラント設計時において考慮されている発電機負荷遮断等の「プラント運転時の異常な過渡変化」に包含されており、原子炉に与える影響は小さい。</p> <p><u>9.6 溢水検知時間について (不確かさを考慮した保守性)</u></p> <p>溢水量評価においては、溢水がタービン建屋最地下階下部のトレンチに優先的に滞留するものとする等、溢水検知を遅らせることにより、インターロック成立までの時間に保守性をもたせるような考え方にに基づき評価を実施している。なお、実際に大規模溢水が発生した場合の検知までの時間については、2out of</p>			<p>(島根2号炉「別添1 本文 9.1.1(2)循環水ポンプ停止及び循環水系弁閉止インターロックについて」及び「添付資料4 2.3.3 既設回路への影響について」にてインターロックと安全解析への影響について記載している)</p> <p>(島根2号炉「別添1 本文 9.1 復水器エリアにおける溢水 (9.1.1 及び9.1.2)」に記載)</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>3 論理でインターロックを成立させる漏えい検知器を破損箇所近傍に2系統設置していることから、数秒程度で確実にインターロックが成立するものとする。</p> <p>なお、この検知器はインターロックを成立させるほか、溢水を検知した段階で各検知器が中央操作室に警報を発する仕組みとなっている。</p>		<p>1. <u>タービン建物から溢水防護対象設備が設置される建物への溢水影響について</u></p> <p>タービン建物における溢水影響評価としては、溢水量が一番大きくなる循環水系配管の想定破損による溢水水位 EL5.9m に対して、保守的に EL8.8m までの隣接する溢水防護区画への溢水影響について確認を行った。</p> <p>タービン建物から溢水防護区画のある原子炉建物及び廃棄物処理建物への溢水伝播経路 (EL8.8m 以下) には、境界貫通部に対して止水対策を実施するため、溢水防護区画へ流入する可能性はないと評価している。</p> <p>なお、タービン建物周辺の地下水は、<u>基準地震動 Ss による地震力に対して機能維持する地下水位低下設備を設置することから、タービン建物まで地下水位が上昇することはなく</u>、地下水が溢水防護区画に影響を与えることはない。</p> <p>タービン建物及び原子炉建物断面図を図1に示す。</p>  <p>図1 タービン建物及び原子炉建物断面図</p>	<p>・島根2号炉は「別添1 9. 溢水防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価」の補足説明資料として記載</p> <p>【柏崎6/7, 東海第二】</p> <p>・評価条件の相違</p> <p>【柏崎6/7, 東海第二】</p> <p>島根2号炉は基準地震動 Ss による地震力に対して機能維持する地下水位低下設備を考慮</p>

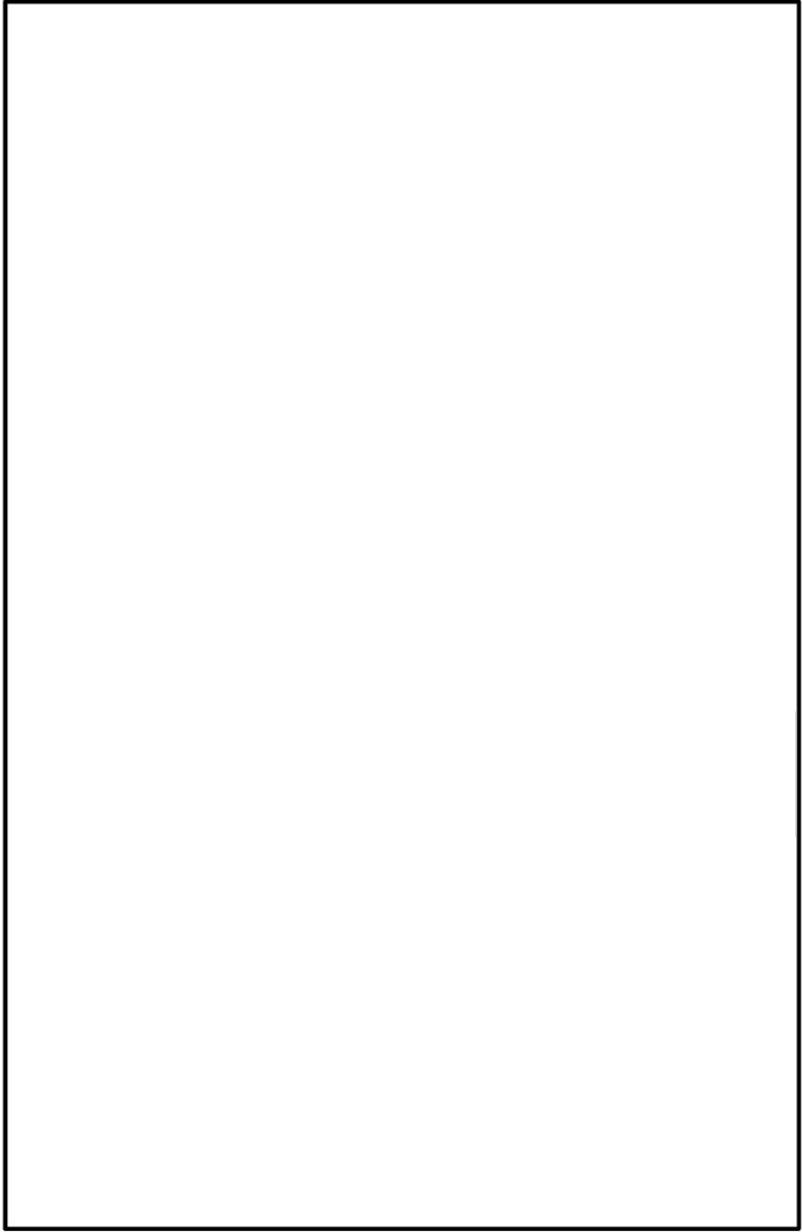
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																								
		<p><u>2. 屋外タンクの溢水による建物への流入経路について</u></p> <p>屋外タンクの溢水影響評価において考慮する必要がある島根原子力発電所2号炉の外周扉及び外周扉以外の流入経路を抽出し、屋外タンクの溢水が溢水防護対象設備を設置された建物へ流入しないことを示す。</p> <p>2.1 建物外周扉以外の流入経路について</p> <p>島根原子力発電所2号炉と屋外の境界のうち、建物外周扉以外の流入経路として、地上部の貫通部及び地下ダクト等の貫通部がある。このうち地上1m以下の地上部の貫通部については、貫通部止水処置が実施されていることから流入経路とはならない。地下ダクト等はEL8.5mの敷地の地下部に7箇所、EL15.0mの敷地の地下部に4箇所あり、それぞれ表1に示す位置に止水処置を実施するため、流入経路とはならない。図2に地下ダクト等の位置を示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 ダクトの止水処理位置</p> <table border="1" data-bbox="1745 1207 2478 1717"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>止水処置位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 屋外配管ダクト (B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)</td> <td>屋外ダクト境界部</td> </tr> <tr> <td>② タービン建物～取水槽境界壁</td> <td>タービン建物境界部</td> </tr> <tr> <td>③ 取水コントロールセンタ ケーブルダクト</td> <td>ダクトタービン建物境界部 取水槽海水ポンプエリア境界部</td> </tr> <tr> <td>④ 薬品系ダクト</td> <td>ダクトタービン建物境界部</td> </tr> <tr> <td>⑤ 1・2号機連絡配管ケーブルダクト</td> <td>ダクトタービン建物境界部</td> </tr> <tr> <td>⑥ 屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)</td> <td>屋外ダクト境界部</td> </tr> <tr> <td>⑦ OFケーブルダクト</td> <td>ダクトタービン建物境界部</td> </tr> <tr> <td>⑧ 屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)</td> <td>屋外ダクト境界部</td> </tr> <tr> <td>⑨ 窒素ガス蒸発系配管ダクト</td> <td>屋外ダクト境界部</td> </tr> <tr> <td>⑩ 第1ベントフィルタ格納槽</td> <td>屋外格納槽境界部</td> </tr> <tr> <td>⑪ 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽</td> <td>屋外格納槽境界部</td> </tr> </tbody> </table>	名称	止水処置位置	① 屋外配管ダクト (B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)	屋外ダクト境界部	② タービン建物～取水槽境界壁	タービン建物境界部	③ 取水コントロールセンタ ケーブルダクト	ダクトタービン建物境界部 取水槽海水ポンプエリア境界部	④ 薬品系ダクト	ダクトタービン建物境界部	⑤ 1・2号機連絡配管ケーブルダクト	ダクトタービン建物境界部	⑥ 屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)	屋外ダクト境界部	⑦ OFケーブルダクト	ダクトタービン建物境界部	⑧ 屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)	屋外ダクト境界部	⑨ 窒素ガス蒸発系配管ダクト	屋外ダクト境界部	⑩ 第1ベントフィルタ格納槽	屋外格納槽境界部	⑪ 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽	屋外格納槽境界部	<p>・島根2号炉は「別添1 10.1 屋外タンク等の溢水による影響」の補足説明資料として記載 【柏崎6/7, 東海第二】</p>
名称	止水処置位置																										
① 屋外配管ダクト (B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)	屋外ダクト境界部																										
② タービン建物～取水槽境界壁	タービン建物境界部																										
③ 取水コントロールセンタ ケーブルダクト	ダクトタービン建物境界部 取水槽海水ポンプエリア境界部																										
④ 薬品系ダクト	ダクトタービン建物境界部																										
⑤ 1・2号機連絡配管ケーブルダクト	ダクトタービン建物境界部																										
⑥ 屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)	屋外ダクト境界部																										
⑦ OFケーブルダクト	ダクトタービン建物境界部																										
⑧ 屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)	屋外ダクト境界部																										
⑨ 窒素ガス蒸発系配管ダクト	屋外ダクト境界部																										
⑩ 第1ベントフィルタ格納槽	屋外格納槽境界部																										
⑪ 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽	屋外格納槽境界部																										

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
		<p>⑧：屋外配管ダクト (タービン建物～放水槽)</p> <p>⑦：OFケーブルダクト</p> <p>②：タービン建物～取水槽境界壁</p> <p>③：取水C/Cケーブルダクト</p> <p>⑤：1・2号機連絡配管ケーブルダクト</p> <p>④：薬品系ダクト</p> <p>タービン建物</p> <p>原子炉建物</p> <p>制御室建物</p> <p>廃棄物処理建物</p> <p>⑥：屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)</p> <p>↑ EL8.5m ↓ EL15.0m</p> <p>①：屋外配管ダクト (B-ディーゼル燃料貯蔵タンク～原子炉建物)</p> <p>⑨：窒素ガス蒸発系配管ダクト</p> <p>⑩：第1ベントフィルタ格納槽</p> <p>⑪：低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽</p> <p>図2 地下ダクト等の位置</p>	



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
		<p>3. 接続する建物からの溢水影響評価</p> <p>3.1 はじめに</p> <p>島根原子力発電所2号炉に隣接して設置される1号炉の原子炉建物、タービン建物及び廃棄物処理建物内には、2号炉の溢水防護対象設備はないが、これらの建物内に設置されている機器等の破損により生じる溢水が連絡通路等の接続箇所から伝播し、溢水防護対象設備の設置されている2号炉の原子炉建物及び廃棄物処理建物並びに共用建物の制御室建物の溢水影響評価に影響を及ぼさないことを確認する。島根原子力発電所1号炉と2号炉の位置関係を図3に示す。</p> <p>なお、島根原子力発電所3号炉と2号炉との接続箇所はない。</p> <p>図3 島根原子力発電所1号炉と2号炉の位置関係</p>	<p>・島根2号炉は「別添1 9. 溢水防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価」の補足説明資料として記載</p> <p>【柏崎6/7, 東海第二】</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考					
		<p>3.2 接続する建物の抽出</p> <p>島根原子力発電所の敷地内の建物のうち、2号炉の建物に隣接し、かつ、連絡通路等により2号炉の建物と接続している建物の抽出結果を表2に、接続箇所を図4に示す。</p> <p style="text-align: center;">表2 接続する建物の抽出結果</p> <table border="1" data-bbox="1736 514 2499 1096"> <thead> <tr> <th data-bbox="1736 514 1905 556">建物</th> <th data-bbox="1905 514 2499 556">接続箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1736 556 1905 829">1号炉 タービン建物</td> <td data-bbox="1905 556 2499 1096" rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1736 829 1905 1096">1号炉 廃棄物処理建物</td> </tr> </tbody> </table>	建物	接続箇所	1号炉 タービン建物		1号炉 廃棄物処理建物	
建物	接続箇所							
1号炉 タービン建物								
1号炉 廃棄物処理建物								

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
		 <p data-bbox="1923 1465 2320 1495">図4 2号炉の建物との接続箇所</p>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考										
		<p>3.3 溢水防護対象設備の設置されている建物への影響評価</p> <p>3.3.1 影響評価の前提条件</p> <p>a. 1号炉は低温停止状態にあり、循環水系は停止状態にあるものとする。</p> <p>b. 1号炉の原子炉建物は2号炉建物との接続箇所はなく、建物内で発生した溢水は原子炉建物の最下層に流入するため、他の建物への影響は生じない。</p> <p>c. 1号炉のタービン建物及び廃棄物処理建物は、2号炉建物との接続箇所があるため、建物内の機器（容器及び配管）の全保有水量が溢水すると想定して、他の建物への影響を評価する。なお、発生した溢水は、各建物の最下階へ流入する。</p> <p>3.3.2 1号炉タービン建物の影響評価結果</p> <p>1号炉タービン建物と制御室建物が接続している EL8.8m までの範囲の貯留可能容積は、機器等の設置面積や床スラブ厚を考慮して、表3のとおり算出した。</p> <p>1号炉タービン建物内の保有水量に復水貯蔵タンクの水量を加えた想定溢水量とタービン建物内の貯留可能容積を比較した結果、制御室建物へ溢水の流出はなく、溢水防護対象設備の設置されている建物への影響がないことを確認した。</p> $\left( \begin{array}{l} 2700\text{m}^3 \\ \text{1号炉タービン建物内の} \\ \text{想定溢水量} \end{array} \right) < \left( \begin{array}{l} 11170\text{m}^3 \\ \text{1号炉タービン建物の} \\ \text{貯留可能容積} \end{array} \right)$ <p>表3 1号炉タービン建物の溢水を貯留できる空間容積</p> <table border="1" data-bbox="1736 1411 2499 1642"> <thead> <tr> <th>建物範囲</th> <th>空間容積 [m<sup>3</sup>]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EL-1.5~EL1.8m</td> <td>約 1290</td> </tr> <tr> <td>EL1.8~EL3.5m</td> <td>約 1050</td> </tr> <tr> <td>EL3.5~EL8.8m</td> <td>約 8830</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>約 11170</td> </tr> </tbody> </table>	建物範囲	空間容積 [m <sup>3</sup> ]	EL-1.5~EL1.8m	約 1290	EL1.8~EL3.5m	約 1050	EL3.5~EL8.8m	約 8830	合 計	約 11170	
建物範囲	空間容積 [m <sup>3</sup> ]												
EL-1.5~EL1.8m	約 1290												
EL1.8~EL3.5m	約 1050												
EL3.5~EL8.8m	約 8830												
合 計	約 11170												

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考						
		<p>3.3.3 1号炉廃棄物処理建物の影響評価結果</p> <p>1号炉廃棄物処理建物と制御室建物が接続している EL8.8m に設置する水密扉の許容水深である EL15.3m までの範囲の貯留可能容積は、機器等の設置面積や床スラブ厚を考慮して、表4のとおり算出した。</p> <p>1号炉廃棄物処理建物内の保有水量に復水貯蔵タンクの水量を加えた想定溢水量と建物内の貯留可能容積を比較した結果、制御室建物へ溢水の流出がなく、溢水防護対象設備の設置されている建物への影響がないことを確認した。</p> $4400\text{m}^3 < 4920\text{m}^3$ $\left( \begin{array}{l} \text{1号炉廃棄物処理建物内の} \\ \text{想定溢水量} \end{array} \right) < \left( \begin{array}{l} \text{1号炉廃棄物処理建物} \\ \text{の貯留可能容積} \end{array} \right)$ <p>表4 1号炉廃棄物処理建物の溢水を貯留できる空間容積</p> <table border="1" data-bbox="1745 919 2502 1058"> <thead> <tr> <th>建物範囲</th> <th>空間容積 [m<sup>3</sup>]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EL6.5~EL15.3m</td> <td>約 4920</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>約 4920</td> </tr> </tbody> </table> <p>3.3.4 評価結果のまとめ</p> <p>以上より、1号炉の原子炉建物、タービン建物及び廃棄物処理建物の建物内に設置されている機器等の破損により生じる溢水が、2号炉の原子炉建物及び廃棄物処理建物並びに共用建物の制御室建物へ影響を及ぼすことはない。</p>	建物範囲	空間容積 [m <sup>3</sup> ]	EL6.5~EL15.3m	約 4920	合 計	約 4920	
建物範囲	空間容積 [m <sup>3</sup> ]								
EL6.5~EL15.3m	約 4920								
合 計	約 4920								

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p style="text-align: right;">補足説明資料 10</p> <p>蒸気影響評価において原子炉格納容器内の溢水防護対象設備を対象外とする考え方について</p> <p>本資料は原子炉格納容器内における防護対象設備の耐環境仕様と耐環境性能試験、及び保全の実施状況について説明するものである。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料-7</p> <p>原子炉格納容器内設備（耐環境仕様）を溢水影響評価において対象外とする考え方について</p> <p>原子炉格納容器（以下「PCV」という。）内の一部の設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故（以下「LOCA」という。）時のPCV内の状態を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件：圧力0.31MPa〔gage〕（最高使用圧力）、温度：171℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>1. 被水による影響評価</p> <p>設計基準事故時にドライウェル内が蒸気で満たされた場合、PCVスプレイの蒸気凝縮効果によってPCVを効果的に減圧することができる。PCVスプレイ水はドライウェル内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備についてはPCVスプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため、PCV内に設置されており事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>2. 没水影響評価</p> <p>LOCA時にPCV内に発生する破断口からの溢水及びPCVスプレイ水は、PCV内のドライウェル下部に溜まった後、ドライウェル下部にあるベント管を通り、サプレッション・プールに流れ込む設計となっている。</p> <p>高圧炉心スプレイ系は復水貯蔵タンクを水源とした場合、サプレッション・プール水位高又は、復水貯蔵タンク水位低により、水源はサプレッション・プールに切り替わることから、LOCA時にサプレッション・プール水位高よりも高水位までPCVが溢水することは無い。</p> <p>PCV内の防護対象設備は上述したサプレッション・プール水位高以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料 10</p> <p>溢水影響評価において原子炉格納容器内の防護対象設備を対象外とする考え方について</p> <p>原子炉格納容器内における防護対象設備の溢水影響評価、耐環境性能試験及び保全の実施状況について以下に示す。</p> <p>1. 原子炉格納容器内の溢水影響評価</p> <p>(1) 被水影響評価</p> <p>LOCA時にドライウェル内が蒸気で満たされた場合、PCVスプレイの蒸気凝縮効果によってPCVを効果的に減圧することができる。PCVスプレイ水はドライウェル内に一様に噴霧されるため、LOCA時に動作が必要となる機器については、LOCA時の雰囲気下で機能を達成するように設計及び試験を行っている。</p> <p>(2) 没水影響評価</p> <p>LOCA時にPCV内に破断口から流出する冷却水及びPCVスプレイ水は、PCV内のドライウェル下部に溜まった後、ドライウェル下部にあるベント管を通り、サプレッションチェンバ（以下、S/Cという）へ流れ込む設計となっている。また、LOCA時の注水源は、S/Cであることから、LOCA時にPCVのベント管設置位置よりも高水位までPCVが溢水することは無く、PCV内の防護対象設備の没水影響評価は不要である。</p>	<p>備考</p> <p>・島根2号炉は原子炉格納容器内の被水影響評価及び没水影響評価を記載</p> <p>【柏崎6/7】</p>

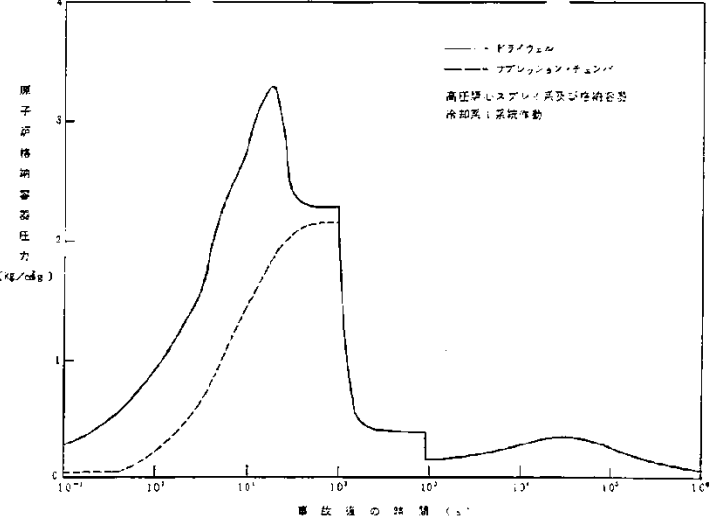
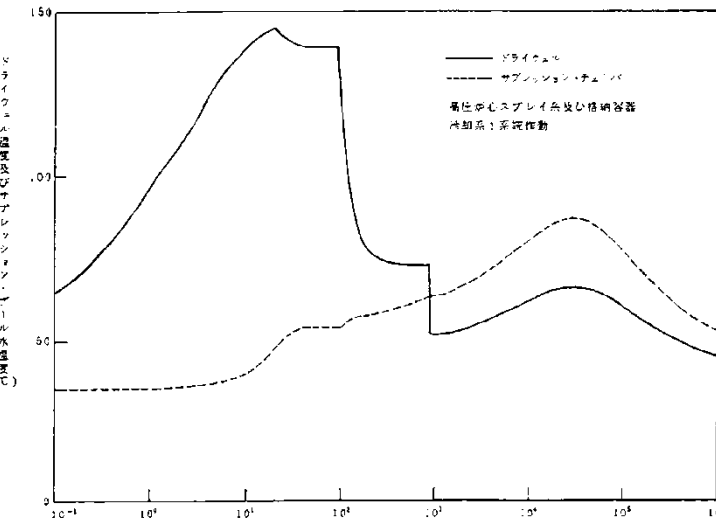
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>10.1 耐環境仕様について</p> <p>原子炉格納容器内の防護対象設備は、原子炉冷却材喪失事故時の高温・高圧環境に対して機能維持が図られるよう機器の設計条件を定め、設計及び試験を実施している。</p> <p>圧力については、原子炉格納容器内における各種配管破断を想定した場合の解析結果のうち最も厳しくなる、原子炉格納容器内の給水配管破断時の環境を包絡した条件を設定している（補足第 10.1-1 図参照）。</p> <p>また、温度については、蒸気小漏えい事故を仮定した際に過熱蒸気が発生すると考えられるため、その断熱膨張により得られる理論上の最高温度である 171℃を考慮して条件を設定している。補足第 10.1-2 図に事故後時間と原子炉格納容器内の温度条件の関係を示す。</p>	<p>3. 蒸気影響評価</p> <p>LOCAに伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、PCV内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>LOCA時に機能要求があるPCV内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確証試験は、PCV内での再循環配管破断及び主蒸気配管破断時の環境を包絡した条件で行っている。</p>	<p>(3) 蒸気影響評価結果</p> <p>LOCAに伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気（設計条件 最高圧力：0.427MPa, 最高温度：171℃）となる。</p> <p>LOCA時に機能要求のある原子炉格納容器内の防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう必要な試験を実施し、設備を設計している。蒸気影響を確認した試験は、原子炉格納容器内での再循環配管破断条件（主蒸気配管破断時の環境を包含）で実施している。再循環配管破断による格納容器内の圧力変化及び温度変化を図 1-1, 1-2 に示す。</p>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="166 331 902 1075" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="151 1150 923 1270">補足第 10. 1-1 図 原子炉格納容器内の給水配管破断時の圧力変化 と機器の設計条件 (圧力条件)</p>			

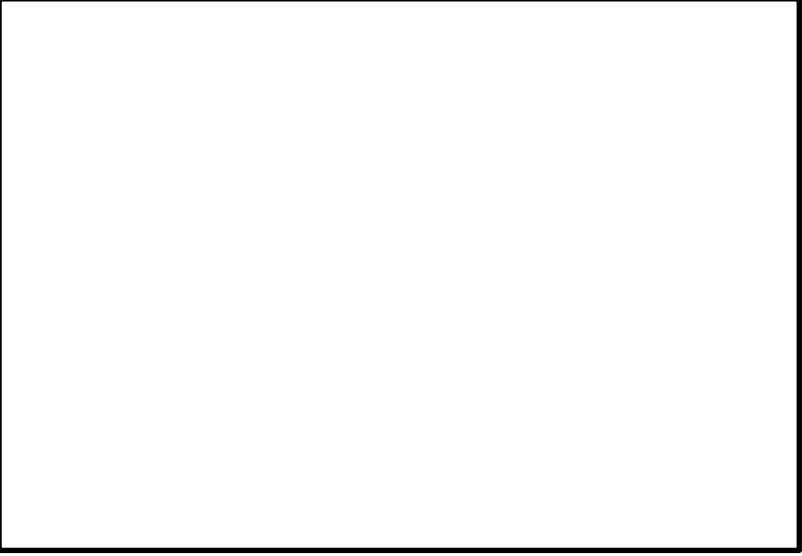


柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="181 289 887 1096" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="142 1150 931 1228" data-label="Caption"> <p>補足第 10.1-2 図 原子炉格納容器内における機器の設計条件 (温度条件)</p> </div>			

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>10.2 原子炉格納容器内に設置される防護対象設備の耐環境性能試験</p> <p>10.1 で設定した仕様が要求される設備については、その仕様を満たすよう、導入時に耐環境性能試験を実施し、所定の機能を発揮できることを確認している。実施例を補足第 10.2-1 図に示す。なお、原子炉格納容器内に設置される弁については原子炉格納容器スプレイ系統からの放水を考慮し、純水を 6.1×10<sup>3</sup>cm<sup>3</sup>/min・m<sup>2</sup> の割合で放水した試験を実施している。</p> <div data-bbox="154 699 914 1075" style="border: 1px solid black; height: 179px; width: 256px; margin: 10px 0;"></div> <p>補足第 10.2-1 図 原子炉格納容器内に設置される防護対象設備の耐環境性能試験例 (残留熱除去系停止時冷却隔離弁 (E11-M0-F010A))</p> <p>10.3 原子炉格納容器内に設置される防護対象設備の保全状況について</p> <p>原子炉格納容器内の防護対象設備については、前述したとおり導入時に耐環境性能試験を実施しており、導入後も定期点検や定期取替を実施し、プラントの安全機能に影響のないようにしている。</p> <p>定期点検については、運転実績や設置環境による劣化の影響を考慮して定めた周期にて外観点検・特性試験や分解点検を実施している。</p> <p>また、定期取替については、設備の寿命を考慮して取替の周期を定め、この周期内での取替を実施している。</p> <p>6号及び7号炉においては、補足第 10.3-1 表のとおり保全を行っており耐環境性能の維持を図っている。</p>	<p>4. PCV内防護対象設備の保全状況</p> <p>LOCA時に機能要求があるPCV内防護対象設備については、以下のとおり保全を行っており耐環境性能の維持が図られている。</p> <p>(1) 弁駆動部及び計器</p> <p>長期使用に伴いOリング等の熱劣化によるシール性能の低下や放射線の影響による計測値誤差の増加等が懸念されることから、点検周期を設定し定期的に点検を実施している。</p> <p>(2) ケーブル及びケーブル接続部</p> <p>長期使用に伴い絶縁体等に経年劣化による絶縁性能の低下が懸念されるが、電力用ケーブル及びケーブル接続部は定期的な絶縁抵抗測定により、許容値以上であることを確認して</p>	<p>2. 耐環境性能試験について</p> <p>原子炉格納容器内耐環境仕様を確認した耐環境性能試験の例を以下に示す。</p> <p>(1) 電動弁の耐環境性能試験</p> <p>電動弁は、図 2-1 に示す環境条件 (温度: 最大 174℃) において耐環境性能試験を行い、機能を維持することを確認している。</p> <p>(2) 温度測定素子 (熱電対) の耐環境性能試験</p> <p>温度測定素子は、環境解析結果を満足する LOCA 環境下で実施している。具体的には、図 2-2 に示す環境条件において耐環境性能試験を行い、熱電対がどのような出力特性を示すか連続的に測定し、試験前後、及び試験中に断線、短絡の有無、絶縁抵抗の変化を確認することで機能を維持することを確認している。</p> <p>(3) MSIV の耐環境性能試験</p> <p>MSIV の電磁弁を内蔵するコントロールパネルは、図 2-3 に示す環境条件において LOCA 環境試験を行い、機能を維持することを確認している。</p> <p>3. 原子炉格納容器内の防護対象設備の保全状況について</p> <p>原子炉格納容器内の防護対象設備は導入時に耐環境性能試験を実施しており、導入後も定期点検や定期取替を実施し、プラントの安全機能に影響のないようにしている。</p> <p>定期点検については、運転実績や設置環境による劣化の影響を考慮して定めた周期にて外観点検・特性試験や分解点検を実施している。</p> <p>また、定期取り替えについては、設備の寿命を考慮して取替の周期を定め、この周期内での取替を実施している。表 3-1 に保全状況を示す。</p>	<p>・島根 2 号炉は蒸気環境適合性の確認例を記載【東海第二】</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<p>いる。</p> <p>制御・計装用ケーブルについては、系統機器の動作、又は計器の指示値等に異常がないことを確認し、絶縁低下による機能低下がないことを確認している。</p>	 <p>図 1-1 再循環配管瞬時完全破断事故時におけるドライウエル及びサプレッション・チェンバの圧力変化</p>  <p>図 1-2 再循環配管瞬時完全破断事故時におけるドライウエル温度及びサプレッション・プール水温度変化</p>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
		<div data-bbox="1745 306 2487 800" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1902 831 2320 873" data-label="Caption"> <p>図 2-1 電動弁の耐環境性能試験</p> </div> <div data-bbox="1745 900 2472 1461" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1878 1505 2347 1545" data-label="Caption"> <p>図 2-2 温度検出器の耐環境性能試験</p> </div>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
		 <p data-bbox="1929 840 2300 871">図 2-3 MSIV の耐環境性能試験</p>	

補足第10.3-1表 6号及び7号炉 原子炉格納容器内に設置される  
防護対象設備の保全状況

設備		保全周期(※1)		
種別	部位	点検(※2)	分解点検	取替
電動弁	電動機	1C	—	—
	駆動装置	—	~5C	—
	弁	—	~7C	—
空気作動弁	駆動装置	1C	~5C	—
	弁	1C	~4C	—
	電磁弁	1C	—	~4C
	リミットスイッチ	1C	—	~4C
中性子束検出器	本体	1C	—	~6C
温度計	本体	1C	—	—
制御棒駆動機構	本体	—	~10C	—
ケーブル	本体	(※3)	—	—

※1 保全周期はサイクル(C)で表し、1サイクル(1C)は13か月である。

※2 外観点検、特性試験、作動確認等を実施。

※3 ケーブル点検は負荷点検に合わせて実施。

表3-1 原子炉格納容器内耐環境仕様設備及び保全状況

設備番号	設備名称	保全状況		
		点検部位	点検周期	保全内容
AV201-1	炉水ポンプリング内側隔離弁	本体	1C	機能・性能試験
		駆動部	78M	分解点検
		リミットスイッチ	1C	機能・性能試験
			78M	定期取替
			1C	機能・性能試験
AV202-1A~D	A~D-主蒸気内側隔離弁	本体	1C	機能・性能試験
		駆動部	52M	分解点検
		コントロールパネル	13M	分解点検
		リミットスイッチ	1C	機能・性能試験
			26M	定期取替
MV202-2	主蒸気ドレン内側隔離弁	駆動部	1C	機能・性能試験
			52M	定期取替
		65M	分解点検	
RV202-1A~M	A~M-主蒸気逃がし安全弁	本体	13M	機能・性能試験
		駆動部	52M	分解点検
		リミットスイッチ	1C	機能・性能試験
			65M	定期取替
			1C	機能・性能試験
MV213-1A, B	A, B-CUW 入口元弁	駆動部	52M	定期取替
			65M	分解点検
MV213-2	RPVドレン側流量調節弁パイパス弁	駆動部	5C	機能・性能試験
			65M	分解点検
MV213-3	CUW 入口内側隔離弁	駆動部	5C	機能・性能試験
			65M	分解点検
MV214-41	PCV 内冷却水出口外側隔離弁	駆動部	5C	機能・性能試験
			65M	分解点検
MV221-20	蒸気内側隔離弁	駆動部	5C	機能・性能試験
			65M	分解点検
MV222-14	RHR 炉頂部冷却内側隔離弁	駆動部	5C	機能・性能試験
			65M	分解点検
MV222-6	RHR 炉水入口内側隔離弁	駆動部	5C	機能・性能試験
			65M	分解点検
TE222-5A-1 ~ 6, 5B-1~6	トラス水温度	本体	1C	特性試験
			65M	分解点検
MV252-1	ドライウェル機器ドレン内側隔離弁	駆動部	5C	機能・性能試験
			65M	分解点検
MV252-3	ドライウェル床ドレン内側隔離弁	駆動部	5C	機能・性能試験
			65M	分解点検
MV265-2	HVD 冷却機出口弁	駆動部	5C	機能・性能試験
			65M	分解点検
MV278-400	原子炉水ポンプリング内側隔離弁(PASS)	駆動部	5C	機能・性能試験
			65M	分解点検
LPRM04-21, 29, 37A~D	LPRM 検出器	検出器及びケーブル	1C	特性試験(絶縁抵抗測定)
			1C	機能・性能試験
		コネクタ	1C	外観点検

・設備の相違  
【柏崎6/7】  
・島根2号炉は原子炉格納容器内の防護対象設備の保全状況を記載  
【東海第二】

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備</th> <th colspan="3">保全状況</th> </tr> <tr> <th>設備番号</th> <th>設備名称</th> <th>点検部位</th> <th>点検周期</th> <th>保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">LPRM12-13, 21, 29, 37, 45A~D</td> <td rowspan="2">LPRM 検出器</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">LPRM20-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D</td> <td rowspan="2">LPRM 検出器</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">LPRM28-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D</td> <td rowspan="2">LPRM 検出器</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">LPRM36-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D</td> <td rowspan="2">LPRM 検出器</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">LPRM44-13, 21, 29, 37, 45A~D</td> <td rowspan="2">LPRM 検出器</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">NE294-11~18</td> <td rowspan="2">IRM 検出器 (ch. 11~18)</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">NE294-21~24</td> <td rowspan="2">SRM 検出器 (ch. 21~24)</td> <td>検出器及びケーブル</td> <td>1C</td> <td>特性試験 (絶縁抵抗測定)</td> </tr> <tr> <td>コネクタ</td> <td>1C</td> <td>機能・性能試験 外観点検</td> </tr> </tbody> </table>	設備		保全状況			設備番号	設備名称	点検部位	点検周期	保全内容	LPRM12-13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)	コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検	LPRM20-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)	コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検	LPRM28-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)	コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検	LPRM36-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)	コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検	LPRM44-13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)	コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検	NE294-11~18	IRM 検出器 (ch. 11~18)	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)	コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検	NE294-21~24	SRM 検出器 (ch. 21~24)	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)	コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検	
設備		保全状況																																																																			
設備番号	設備名称	点検部位	点検周期	保全内容																																																																	
LPRM12-13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)																																																																	
		コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検																																																																	
LPRM20-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)																																																																	
		コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検																																																																	
LPRM28-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)																																																																	
		コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検																																																																	
LPRM36-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)																																																																	
		コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検																																																																	
LPRM44-13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)																																																																	
		コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検																																																																	
NE294-11~18	IRM 検出器 (ch. 11~18)	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)																																																																	
		コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検																																																																	
NE294-21~24	SRM 検出器 (ch. 21~24)	検出器及びケーブル	1C	特性試験 (絶縁抵抗測定)																																																																	
		コネクタ	1C	機能・性能試験 外観点検																																																																	


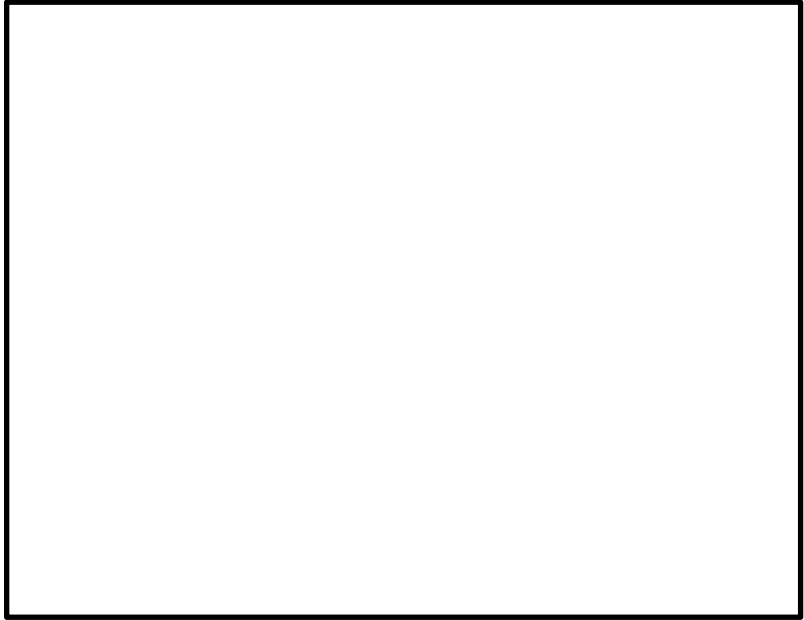
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p style="text-align: right;">補足説明資料 11</p> <p style="text-align: center;">原子炉建屋二次格納施設内（原子炉格納容器外） 防護対象設備の蒸気影響について</p> <p>原子炉建屋二次格納施設内のうち、原子炉格納容器の外側の区域（以下本資料では「二次格納施設」という。）内に設置される防護対象設備については、二次格納施設内に存在する高エネルギー配管の破断により発生する蒸気影響を考慮した設計（耐環境設計）としているため、蒸気影響評価において、蒸気による影響を受けないものとしている。</p> <p>耐環境設計の具体的な内容を以下に示す。また、供用開始以降に機能維持を図るにあたり実施している保守管理の内容についても合わせて示す。</p> <p>11.1 二次格納施設内に設置される防護対象設備の耐環境設計について</p> <p>二次格納施設内に設置される防護対象設備の耐環境設計では、二次格納施設内における高エネルギー配管破断の際に生じ得る環境を考慮して機器設計環境仕様を定め、同仕様に基づき設定した環境条件による事故模擬試験を行い、環境に対する適合性を確認している。</p> <p>機器設計環境仕様内容及び事故模擬試験における環境条件の例を以下に示す。</p> <p>11.1.1 機器設計環境仕様</p> <p>機器設計環境仕様は、高エネルギー配管破断として一次冷却材を内包する主蒸気配管、給水配管、原子炉隔離時冷却系の蒸気配管、原子炉冷却材浄化系の配管等の破断を考慮し、破断形態としては漏えいを含め瞬時両端破断までを想定し、圧力及び温度についてそれぞれ次のとおりとしている。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料-11</p> <p style="text-align: center;">原子炉建屋原子炉棟内防護対象設備の蒸気影響について</p> <p>原子炉建屋原子炉棟内の設備に対しては、高エネルギー配管破断による影響を考慮し、以下のとおり設計しており、蒸気影響がないことを確認している。</p> <p>1. 原子炉建屋原子炉棟の環境条件の考え方</p> <p>原子炉棟における環境条件の設定については、高エネルギー配管破断として主蒸気配管破断、給水配管破断、原子炉隔離時冷却系蒸気配管破断及び原子炉冷却材浄化系配管破断を考慮しており、各配管の破断形態として、漏えいを含め瞬時両端破断までを想定している。</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料 11</p> <p style="text-align: center;">原子炉建物二次格納施設内（原子炉格納容器外）の 溢水防護対象設備の蒸気影響について</p> <p>原子炉建物二次格納施設内の溢水防護対象設備に対しては、高エネルギー配管破断による影響を考慮して以下のとおり設計しているため、蒸気影響がないことを確認した。</p> <p>1. 二次格納施設内に設置される防護対象設備の耐環境設計について</p> <p>二次格納施設内に設置される防護対象設備の耐環境設計では、二次格納施設内における高エネルギー配管破断の際に生じ得る環境を考慮して機器設計環境仕様を定め、同仕様に基づき設定した環境条件による耐環境性能試験を行い、環境に対する適合性を確認している。</p> <p>原子炉建物二次格納施設の環境条件の考え方内容及び溢水防護対象設備の耐環境性能試験の確認例を以下に示す。</p> <p>2. 原子炉建物二次格納施設の環境条件の考え方</p> <p>原子炉建物二次格納施設における環境条件の設定については、高エネルギー配管破断として主蒸気系配管破断、給水系配管破断、原子炉隔離時冷却系蒸気配管破断、原子炉浄化系配管破断を考慮しており、完全全周破断を想定している。</p>	<p>・島根2号炉は蒸気環境適合性の確認例を記載【東海第二】</p>



柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>(1) 圧力条件</p> <p>高エネルギー配管破断時の昇圧を考慮し、<u>圧力条件として設定している。</u></p> <p><u>ここで、二次格納施設内にはブローアウトパネル*が設置されており、パネルの開放によって二次格納施設内の圧力を大気開放する設計となっているため、二次格納施設内の圧力が著しく上昇することはない。</u></p> <p>※ブローアウトパネル</p> <p><u>プラント運転中に原子炉格納容器外で配管が破断した場合に、高圧の蒸気が建屋内に漏えいすることにより生じる建屋内の圧力上昇によって、建屋内で扉等の損傷を発生させないために、建屋内に損傷箇所(圧力開放箇所)を限定して発生させる目的で設けている設備。</u></p> <p>(2) 温度条件</p> <p>圧力上昇時のブローアウトパネルの開放を考慮し、大気圧下での飽和温度である 100℃を設定している。</p> <p>なお、<u>一次冷却系統配管の近傍に存在し、かつ漏えい発生時に作動することが求められる漏えい検出装置、隔離弁については、漏えい蒸気が大気圧下に開放される際に過熱状態となることを考慮し、断熱膨張により得られる過熱蒸気の理論上の最大温度である 171℃を設定している。また、過熱蒸気の漏えいは、隔離弁の閉止や原子炉減圧によって終了し、その後は大気圧下での飽和温度である 100℃まで温度が低下するとし、過熱蒸気の漏えいは保守的に 1 時間継続するものとしている。</u></p> <p>以上の各条件を補足第 11.1.1-1 図に示す。</p>	<p>(1) 圧力条件</p> <p>高エネルギー配管破断時の昇圧を考慮し、環境条件として設定している。なお、大規模な破断が生じた際には速やかにブローアウトパネルの開放によって建屋外に圧力を排出することになるため、<u>原子炉建屋原子炉棟内の圧力が著しく上昇することはない。</u></p> <p>※ ブローアウトパネルについて</p> <p>原子炉格納容器外の<u>主蒸気配管の破断を想定した場合、破断口より放出される蒸気が建屋内に充満し圧力上昇を引き起こす。この建屋内の圧力上昇により原子炉格納容器に作用する外圧が原子炉格納容器の最高使用外圧を超えないように、建屋外に圧力を逃がすことを目的としてブローアウトパネルを設置している。</u></p> <p>(2) 温度条件</p> <p>原子炉建屋内の一次系蒸気が直接漏えいする区画*1では、<u>漏えい蒸気が大気圧下に開放される際に過熱状態となるため、等エンタルピ変化により得られる過熱蒸気の理論上の最大温度である 171℃(原子炉格納容器内の最高使用温度と同じ)を設定している。なお、冷却材の流出は隔離弁等の閉止、又は原子炉減圧によって放出が終了し、その後は大気圧下での飽和温度である 100℃まで温度が低下する。</u></p> <p><u>また、その他の区画においては、大気圧下での飽和温度である 100℃を設定している。原子炉建屋原子炉棟内温度状態の例を第 1 図に示す。</u></p> <p>※1: 機器環境条件仕様書より、<u>主蒸気トンネル室が該当区画となる</u></p>	<p>(1) 圧力条件</p> <p>高エネルギー配管破断時の昇圧を考慮し、<u>環境条件として設定している。なお、大規模な破断が生じた際には速やかにブローアウト・パネル*の開放によって建物外に圧力を排出することになるため、原子炉建物二次格納施設内の圧力が著しく上昇することはない。</u></p> <p>※ブローアウト・パネル</p> <p>原子炉格納容器外の一次系配管の破断を想定した場合、<u>破断口より放出される蒸気が建物内に充満し圧力上昇を引き起こす。この建物内の圧力上昇により原子炉格納容器に作用する外圧が原子炉格納容器の最高使用外圧を超えないように、建物外に圧力を逃がすことを目的としてブローアウト・パネルを設置している。</u></p> <p>(2) 温度条件</p> <p>原子炉一次系配管が存在する主蒸気管室、原子炉隔離時冷却系タービン室等の区画では、<u>漏えい蒸気が大気圧下に開放される際に過熱状態となるため、等エンタルピ変化により得られる過熱蒸気の理論上の最大温度である 171℃(原子炉格納容器内の最高使用温度と同じ)を設定している。なお、隔離弁の閉止、又は原子炉減圧によって原子炉一次系の蒸気放出が終了し、その後は大気圧下での飽和温度である 100℃まで温度が低下するとし、過熱蒸気の漏えいは保守的に 1 時間継続するものとしている。</u></p> <p><u>また、その他の区画においては、圧力上昇時のブローアウト・パネルの開放を考慮し、大気圧下での飽和温度である 100℃を設定している。図 2-1 に温度変化を、図 2-2 に設定した各区画の温度条件を示す。</u></p>	<p>備考</p> <p>・島根 2 号炉は各区画の温度条件を記載 【柏崎 6/7】 (東海第二は 1. (3) に記載)</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="160 296 908 814" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="160 835 908 913">補足第 11.1.1-1 図 二次格納施設内における機器設計環境仕様 (温度条件)</p>	<div data-bbox="1032 304 1617 856" data-label="Figure"> </div> <p data-bbox="1050 877 1599 913">第 1 図 原子炉建屋原子炉棟内温度状態 (例)</p>	<div data-bbox="1745 331 2487 861" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1872 877 2362 913">図 2-1 二次格納施設内の区画の温度変化</p>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>11.1.2 事故模擬試験における環境条件</p> <p>前項の2 ケースの機器設計環境仕様の各々について、環境適合性確認のための事故模擬試験における環境条件を以下に例示する。</p> <p>①上限温度 100℃のケース：</p> <p>【試験対象】</p> <p>伝送器 (原子炉水位 (B21-LT003))</p>  <p>補足第 11.1.1-2 図 事故模擬試験における環境条件 (上限温度 100℃のケース)</p>		<p>3. 溢水防護対象設備の蒸気環境適合性の確認例</p> <p>溢水防護対象設備の蒸気環境適合性について、確認例を図 3-1, 3-2 に示す。</p> <p>(1) 高エネルギー配管の蒸気が直接漏えいする区画</p>  <p>図 3-1 耐環境性能試験条件 (高エネルギー配管の蒸気が直接漏えいする区画の例)</p>	<p>・島根 2 号炉は蒸気環境適合性の確認例を記載【東海第二】</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>②上限温度 171°Cのケース：</p> <p>【試験対象】</p> <p>隔離弁（残留熱除去系ポンプサプレッションプール水吸込 隔離弁（A）（E11-MO-F001A））</p>  <p>補足第 11. 1. 1-3 図 事故模擬試験における環境条件（上限温度 171°Cのケース）</p>		<p>(2) 高エネルギー配管の蒸気が直接漏えいする区画以外</p>  <p>図 3-2 耐環境性能試験条件（高エネルギーの蒸気が直接漏えい する区画以外の例）</p>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>11.2 二次格納施設内防護対象設備の保守管理</p> <p>二次格納施設内の防護対象設備については、11.1で述べたとおりの耐環境設計を行っているが、供用開始以降についても、定期点検・取替を行うことにより機能維持を図っている。</p> <p>定期点検については、運転実績や設置環境による劣化の影響を考慮して定めた周期により、外観点検・特性試験や分解点検を実施している。また定期取替については、機器の寿命を考慮して取替の周期を定め、この周期内での取替を実施している。</p> <p>6号及び7号炉の保守管理の具体的な内容を補足第11.2-1表に示す。</p>		<p>4. 二次格納施設内溢水防護対象設備の保守管理</p> <p>二次格納施設内の溢水防護対象設備については、1.項で示した通りの耐環境設計を行っているが、供用開始以降についても、定期点検・取替を行うことにより機能維持を図っている。</p> <p>定期点検については、運転実績や設置環境による劣化の影響を考慮して定めた周期により、外観点検・特性試験や分解点検を実施している。また定期取替については、機器の寿命を考慮して取替の周期を定め、この周期内での取替を実施している。保守管理の具体的な内容を表4-1に示す。</p>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<p>(3) <u>原子炉建屋原子炉棟内防護対象設備の保全状況について</u>  <u>機能要求がある原子炉建屋原子炉棟内防護対象設備については、以下のとおり保全を行っており耐環境性能の維持が図られている。</u></p> <p>a. <u>弁駆動部及び計器</u>  <u>長期使用に伴いOリング等の熱劣化によるシール性能の低下や放射線の影響による計測値誤差の増加等が懸念されることから、点検周期を設定し定期的に点検を実施している。</u></p> <p>b. <u>ケーブル及びケーブル接続部</u>  <u>長期使用に伴い絶縁体等に経年劣化による絶縁性能の低下が懸念されるが、電力用ケーブル及びケーブル接続部は定期的な絶縁抵抗測定により、許容値以上であることを確認している。</u>  <u>制御・計装用ケーブル及びケーブル接続部については、系統機器の動作、計器の指示値等に異常がないことを確認し、絶縁低下による機能低下がないことを確認している。</u>  <u>原子炉建屋原子炉棟における蒸気の影響評価検討範囲を第2図に、防護対象設備の蒸気影響評価結果と耐環境性能維持に係る保全状況を第1表に示す。</u></p>		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="952 422 1700 1455" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="982 1507 1670 1587" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (1/8)</p> </div>		<p>・島根2号炉の溢水影響評価では運転時環境最高温度は使用していないため、記載していない 【東海第二】</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="958 436 1694 1486" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="982 1507 1670 1591" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (2/8)</p> </div>		



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="955 436 1691 1486" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="973 1507 1673 1591" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (3/8)</p> </div>		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 430 1703 1541" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="973 1549 1673 1633" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (4/8)</p> </div>		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 430 1697 1537" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="973 1549 1673 1633" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (5/8)</p> </div>		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 426 1697 1499" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="973 1507 1673 1591" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (6/8)</p> </div>		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 436 1697 1440" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="943 1465 1626 1545" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (7/8)</p> </div>		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 443 1697 1438" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="973 1459 1673 1543" data-label="Caption"> <p>第2図 原子炉建屋原子炉棟における運転時環境最高温度 (8/8)</p> </div>		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 331 1703 1367" style="border: 1px solid black; height: 493px; width: 256px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="973 1373 1679 1451" style="text-align: center;"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (1/8)</p> </div>	<div data-bbox="1736 331 2392 1539" style="border: 1px solid black; height: 575px; width: 221px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="2445 646 2481 1241" style="text-align: center;"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (1/7)</p> </div>	<p>・島根2号炉は各区画の温度条件を記載 【柏崎6/7】</p>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 340 1700 1451" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="958 1459 1685 1543" data-label="Caption"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (2/8)</p> </div>	<div data-bbox="1745 298 2407 1507" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="2442 613 2487 1207" data-label="Caption"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (2/7)</p> </div>	



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 342 1697 1451" style="border: 1px solid black; height: 528px; width: 254px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="973 1465 1679 1543" style="text-align: center;"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (3/8)</p> </div>	<div data-bbox="1745 325 2404 1535" style="border: 1px solid black; height: 576px; width: 222px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="2439 695 2475 1283" style="text-align: center;"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (3/7)</p> </div>	

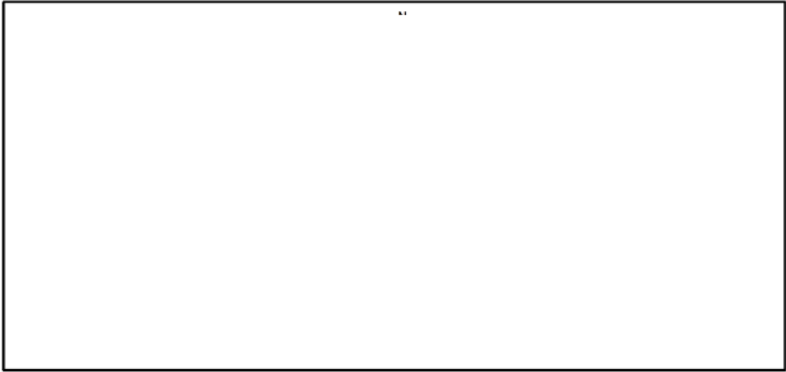
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 352 1703 1482" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="973 1507 1679 1591" data-label="Caption"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (4/8)</p> </div>	<div data-bbox="1745 310 2380 1520" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="2427 613 2469 1201" data-label="Caption"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (4/7)</p> </div>	

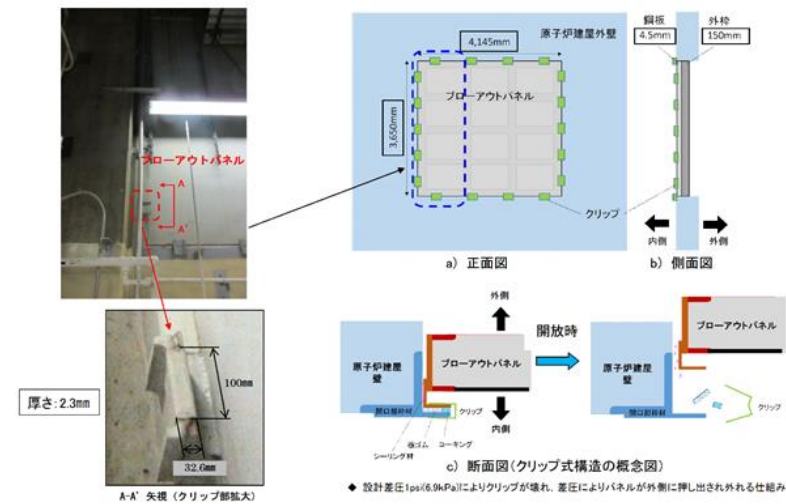
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="934 342 1709 1446" style="border: 1px solid black; height: 526px; width: 261px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="973 1465 1679 1541" style="text-align: center;"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (5/8)</p> </div>	<div data-bbox="1745 327 2415 1535" style="border: 1px solid black; height: 575px; width: 226px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="2445 638 2481 1226" style="text-align: center;"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (5/7)</p> </div>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 346 1703 1486" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="973 1507 1685 1591" data-label="Caption"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (6/8)</p> </div>	<div data-bbox="1745 300 2451 1507" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="2457 636 2499 1224" data-label="Caption"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (6/7)</p> </div>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 340 1703 1451" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="961 1459 1685 1543" data-label="Caption"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲 (7/8)</p> </div>	<div data-bbox="1733 340 2392 1549" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="2439 703 2487 1304" data-label="Caption"> <p>図2-2 二次格納施設内の区画の温度条件 (7/7)</p> </div>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 340 1703 1451" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="955 1459 1685 1499" data-label="Caption"> <p>第3図 原子炉建屋原子炉棟における蒸気影響評価検討範囲</p> </div> <div data-bbox="1276 1505 1371 1545" data-label="Text"> <p>(8/8)</p> </div>		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<p>2. <u>ブローアウトパネルの機能について</u></p> <p>原子炉建屋原子炉棟の外壁に建設時より合計 12 枚のブローアウトパネル (型式:クリップ方式, 大きさ約 4m×4m, 重さ約 1.5t) が設置されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉棟 6 階: 東西南北の壁面に各 2 箇所合計 8 箇所</li> <li>・原子炉棟 5 階: 東西南北の壁面に各 1 箇所合計 4 箇所</li> </ul> <p>ブローアウトパネルは, 主蒸気配管破断等を想定した場合の放出蒸気による圧力から原子炉建屋や原子炉格納容器等を防護するため, 放出蒸気を建屋外に放出することを目的に設置されている。原子炉棟外壁におけるブローアウトパネルの配置を第 4 図に示す。</p> <p>(1) ブローアウトパネルの構造について</p> <p>ブローアウトパネルは, 厚さ 2.3 mm のクリップと呼ばれる装置 18 個で原子炉建屋外壁に設置されており, 原子炉格納容器の設計上の最高使用外圧 2psi に対し, 1psi で開放するように設計されている。詳細を第 5 図に示す。</p>  <p style="text-align: center;">第 4 図 ブローアウトパネル配置図</p>		<p>・環境条件の設定手法の相違</p> <p>【東海第二】</p> <p>島根 2 号炉は, ブローアウト・パネルの詳細仕様を考慮した 3 次元流体解析は実施していない</p>



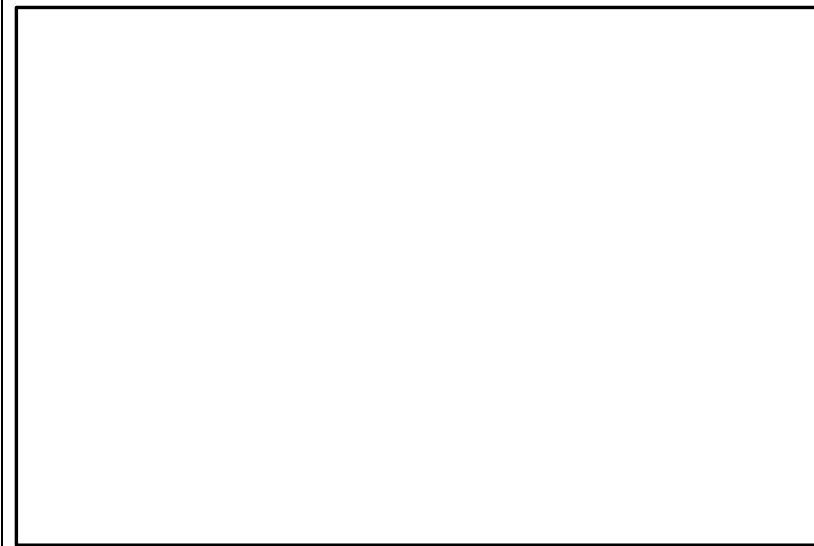
第5図 ブローアウトパネルの構造及び作動原理

(2) ブローアウトパネルの基本設計及び対策

内部溢水における蒸気影響評価，竜巻に対する対応，重大事故等発生時の要求等を考慮し，原子炉棟5階の東側ブローアウトパネルを2枚閉止<sup>※</sup>する対策を行う。このため，3次元流体解析により，主蒸気管破断事故時の建屋内圧力，温度が設計条件内にあることを確認した。対策の概要及び解析結果を第6図から第8図に示す。

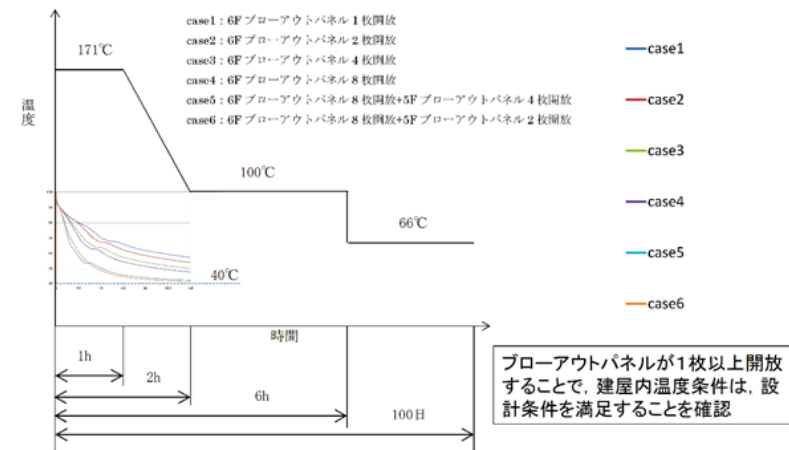
※ 建設時設計の設置数12枚については，建屋内圧力の上限值に対して裕度を持った開口面積として設定しており，圧力に着目した評価により十分とされた開口面積の約2倍(約185m<sup>2</sup>)を有している。また，これにより建屋内温度条件についても裕度を持った設計となっており，このうち2枚を閉とした場合においても，圧力・温度ともに当初の設定値を超えることはなく影響はない。



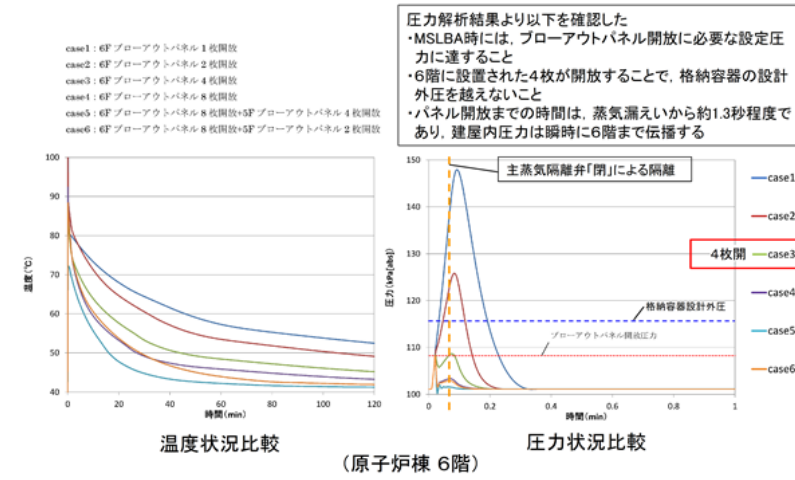


: 西側区画ブローアウトパネルから見通せる範囲  
 : 開口部を繋ぐ風の流れ

第6図 ブローアウトパネルの閉鎖対応箇所について



第7図 主蒸気管破断時の原子炉棟内温度状態と解析結果の比較



第8図 ブローアウトパネル作動枚数による温度及び圧力状況比較

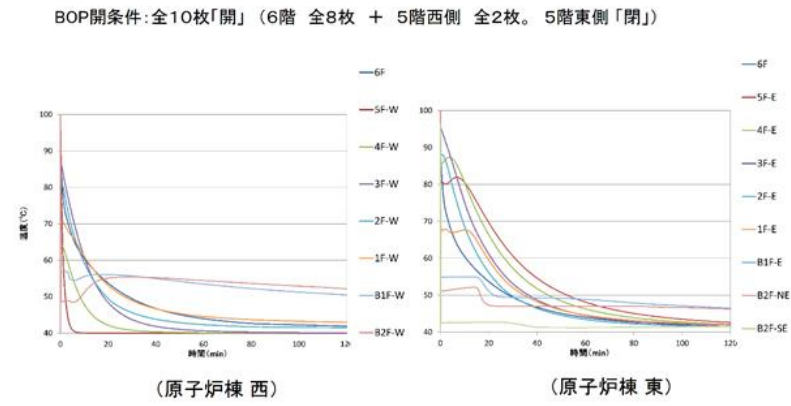
(3) ブローアウトパネル作動のばらつきの考慮について

原子炉格納容器の設計外圧に着目すると、主蒸気管破断事故時の開放必要枚数は3次元流体解析の結果から、4枚以上となることを確認した。5枚以上の開放は、建屋内雰囲気温度と圧力の更なる低下に寄与するものであり、設備防護上は考慮するものであるが必須ではない。

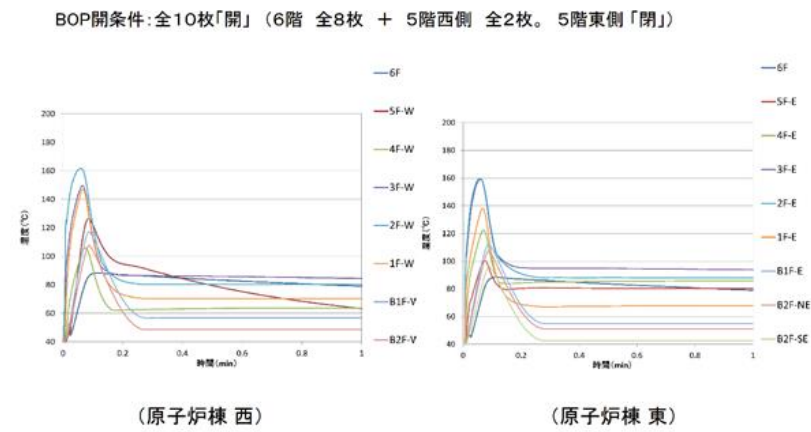
3次元流体解析コードにおいては、ブローアウトパネルの開放時間遅れも解析上考慮し、設定圧力でパネルが開放すると評価している。これに対し、実際に必要とする4枚開放まで、同時に作動しない場合を想定すると、この場合は、開放面積が少ないため、建屋内圧力は再度設定圧力に到達する評価であり、4枚目までは確実に開放すると判断できる。

また、実際の蒸気噴出時の圧力伝播速度は、音速に近い値であり、ブローアウトパネルの設置位置による圧力伝播の時間差はほとんどなく、ほぼ4枚同時に作用すると想定されることから、作動圧力に影響を与えるような、時間差は発生しないと評価している。

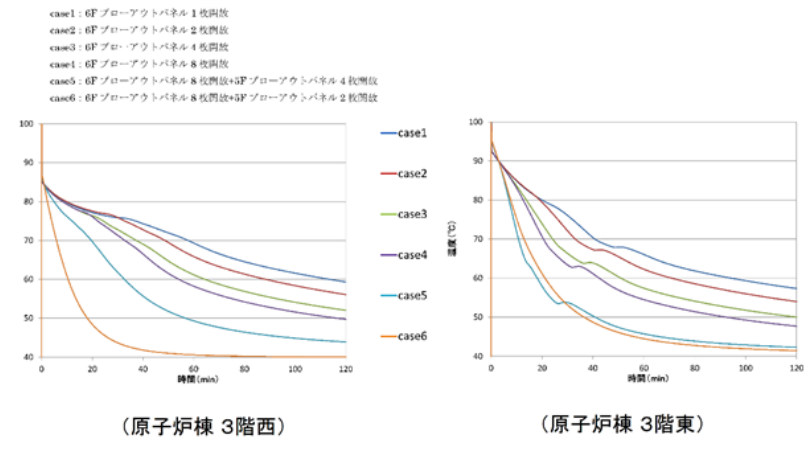
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<p>(4) ブローアウトパネルのクリップの信頼性について</p> <p>ブローアウトパネルは、電源や空気源に頼ることなく、静的、且つ圧力上昇に対して確実に開放できる仕組みとして、クリップを使用したパネルの開放機構を選定している。</p> <p>この開放機構は、既設系統設備でも採用実績のある破壊板(ラプチャーディスク)と同様の考え方(圧力による負荷荷重により、部材を破壊させる)であり、構造が単純であることから、信頼性が高いものである。</p> <p>ブローアウトパネルが差圧により確実に作動することを確認するための管理として、クリップの確認試験を実施し、ブローアウトパネル開放機構の作動性能を担保することとする。</p> <p>(5) ブローアウトパネル対策後の建屋内温度評価の結果について</p> <p>ブローアウトパネルの2枚閉鎖対策後の建屋内温度評価の詳細を以下の第9図及び第10図に示す。また、ブローアウトパネルの作動枚数による建屋内温度状況の代表例として、原子炉棟3階の結果を第11図及び第12図に示す。</p> <p>第6図に示すブローアウトパネル開放後に温度が停滞する箇所は、蒸気が自然対流で上昇する流れと、外気から流入する下降気流がぶつかり、入れ替る際の停滞状況を示している。</p> <p>また、5階東側のブローアウトパネルを閉止することにより、東側は大物搬入口を通じた上昇気流が発生し、6階に高温の蒸気が抜ける流れが主となる。</p> <p>これに対し、西側エリアにおいては、5階から取り入れられた外気の下降気流が主となり、主蒸気管室で西→東の流れができると考えられる。このため、ブローアウトパネル全数が開放する場合と比べて、5階西側(ほう酸ポンプ設置側)の温度が下がる結果となっている。</p>		



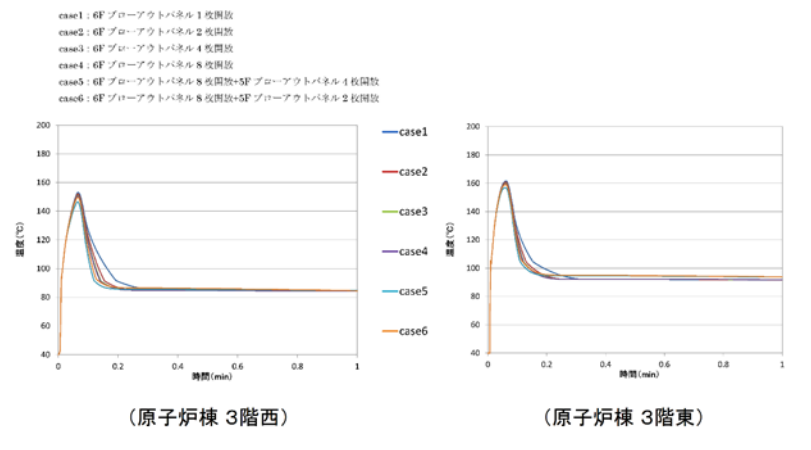
第9図 対策後の温度状況比較



第10図 対策後の温度状況比較 (最高温度)



第11図 ブローアウトパネル作動枚数による温度状況比較



第12図 ブローアウトパネル作動枚数による温度状況比較 (最高温度)

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)

補足第11.2-1表 6号及び7号炉 原子炉二次格納施設内防護対象

設備の保全状況

設備	種別	部位	保全周期(※1)		
			点検(※2)	分解点検	取替
ポンプ	電動機	電動機	~2C	~7C	-
		駆動装置	~10C	-	-
		ポンプ	~10C	~10C	-
空調機	電動機	-	~6C	-	
弁	本体	~5C	-	-	
電動弁	電動機	電動機	~6C	-	-
		駆動装置	~7C	-	-
		弁	~2C	~10C	-
空気作動弁	弁	-	~3C	~10C(※3)	
電磁弁	本体	1C	-	~10C	
伝送器	本体	1C	-	-	
水素・酸素濃度検出器	本体	1C	-	-	
放射線量検出器	本体	1C	-	-	
制御盤	制御盤	~4C	-	-	
	ヒューズ	-	-	~4C	
計装ラック	本体	1C	-	-	
水圧制御ユニット	本体	1C	~10C	-	
コネクタ保護ボックス	本体	1C	-	-	
蒸気タービン	本体	-	~5C	-	
乾燥装置	本体	1C	-	-	
フィルタ装置	電動機	-	~2C	-	
	ヒータ	1C	-	-	
再結合器	本体	1C	-	-	
加熱器/冷却器	本体	1C	-	-	
気水分離器	本体	1C	-	-	
ケーブル	本体	(※4)	-	-	

- ※1 保全周期はサイクル(C)で表し、1サイクル(1C)は13か月である。
- ※2 外観点検, 特性試験, 作動確認等を実施。
- ※3 取替対象はリミットスイッチおよび電磁弁。
- ※4 ケーブル点検は負荷点検に合わせて実施。

東海第二発電所 (2018.9.18版)

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (1/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
制御弁駆動系	水圧制御ユニット(375号含む)(東側)	-	RB-3-3	○	775号	780	分解点検
					775号(京葉容器)	2600	開放点検
					375号弁	780	分解点検
					計装品	1C	機能・性能試験
制御弁駆動系	水圧制御ユニット(375号含む)(西側)	-	RB-3-4	○	水圧制御ユニット	780	分解点検
					775号(京葉容器)	2600	開放点検
					375号弁	780	分解点検
					計装品	1C	機能・性能試験
コシ放射線モニタ系	燃料取扱7号 燃料A-6(検出器)	BE-D21-NS03	RB-6-2	○	本体	1C	特性試験
コシ放射線モニタ系	燃料取扱7号 燃料A-6(現場監視ユニット)	RIA-D21-NS03	RB-6-2	○	本体	1C	特性試験
格納容器系監視系	格納容器系用気体圧力電源盤(A)	LCP-188A	RB-3-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
格納容器系監視系	格納容器系用気体圧力電源盤(B)	LCP-188B	RB-4-2	○	本体	1C	機能・性能試験
格納容器系監視系	CAMS(A)系ヒータ電源用変圧器	-	RB-3-1	○	本体	1C	機能・性能試験
格納容器系監視系	CAMS(B)系ヒータ電源用変圧器	-	RB-4-2	○	本体	1C	機能・性能試験
格納容器系監視系	CAMSヒータ(A)	D23-F001A	RB-3-1	○	水素・酸素濃度検出装置	1C	特性試験
					計装品	1C	特性試験
					電磁弁	1C	特性試験
格納容器系監視系	CAMSヒータ(B)	D23-F001B	RB-4-2	○	水素・酸素濃度検出装置	1C	特性試験
					計装品	1C	特性試験
					電磁弁	1C	特性試験
格納容器系監視系	CAMS校正用計器(A)	D23-F002A	RB-3-1	○	計装品	1C	特性試験
格納容器系監視系	CAMS校正用計器(B)	D23-F002B	RB-4-2	○	計装品	1C	特性試験
格納容器系監視系	CAMS校正用ヒータ(A)	D23-F003A	RB-3-1	○	ヒータ	1C	漏えい試験
格納容器系監視系	CAMS校正用ヒータ(B)	D23-F003B	RB-4-2	○	ヒータ	1C	漏えい試験
格納容器系監視系	CAMS(D)ヒータ計装入口隔離弁	D23-F001A(00)	RB-3-1	○	駆動部	1500	分解点検
					本体	4C	特性試験
格納容器系監視系	CAMS(D)ヒータ計装入口隔離弁	D23-F001B(00)	RB-3-2	○	駆動部	1500	分解点検
					本体	4C	特性試験
格納容器系監視系	CAMS(A)ヒータ計装出口隔離弁	D23-F002A(00)	RB-3-1	○	駆動部	1500	分解点検
					本体	4C	特性試験
格納容器系監視系	CAMS(D)ヒータ計装出口隔離弁	D23-F002B(00)	RB-3-2	○	駆動部	1500	分解点検
					本体	4C	特性試験
格納容器系監視系	CAMS(A)ヒータ計装入口隔離弁	D23-F003A(00)	RB-3-1	○	駆動部	1500	分解点検
					本体	4C	特性試験
格納容器系監視系	CAMS(D)ヒータ計装入口隔離弁	D23-F003B(00)	RB-3-2	○	駆動部	1500	分解点検
					本体	4C	特性試験

島根原子力発電所 2号炉

表4-1 原子炉二次格納施設内溢水防護対象設備の保全状況

設備種別	部位	保全周期 <sup>※1</sup>		
		点検 <sup>※2</sup>	分解点検	取替
ポンプ	電動機	~8C	~8C	-
	ポンプ	~7C	~7C	-
空調機	電動機	~6C	6C	-
電動弁	本体	-	6C	-
	電動機	~10C	~10C	10C <sup>※3</sup>
空気作動弁	弁	~4C	~10C	~12C <sup>※4</sup>
電磁弁	本体	3C	6C	-
伝送器	本体	1C	-	~16Y
圧力・水位スイッチ	本体	~2C	~3C	-
温度検出器	本体	1C	-	-
水素・酸素濃度検出器	本体	10C	-	-
放射線量検出器	本体	1C	-	-
前置増幅器	本体	~10C	-	-
計装ラック	本体	~10C	-	-
水圧制御ユニット	本体	~10C	10C	5C <sup>※5</sup>
蒸気タービン	本体	~6C	~6C	-
フィルタ装置	本体	~4C	~4C	-
再結合器	本体	~5C	5C	-
ケーブル	本体	- <sup>※6</sup>	-	-

- ※1 保全周期は「Y」また「C」で表し、「Y」は年、「C」は定期事業者検査のサイクル(13ヶ月)を示す
- ※2 外観点検, 特性試験及び作動確認等を実施
- ※3 取替対象はリミットスイッチ
- ※4 取替対象は電磁弁及びリミットスイッチ
- ※5 取替対象はスクラムパイロット弁
- ※6 ケーブル点検は負荷点検に合わせて実施

備考

- ・設備の相違
- 【柏崎6/7, 東海第二】
- ・島根2号炉は蒸気影響評価結果について記載していない
- 【東海第二】

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (2/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
格納容器周囲 気監視系	CAMS(A)サプレッションア-4計装1号出口隔離弁	D23-F004A(00)	RB-B1-1	○	駆動部	156M	分解点検
					本体	4C	特性試験
						130M	分解点検
格納容器周囲 気監視系	CAMS(B)サプレッションア-4計装1号出口隔離弁	D23-F004B(00)	RB-3-2	○	駆動部	156M	分解点検
					本体	4C	特性試験
						130M	分解点検
格納容器周囲 気監視系	CAMS(A)冷却水入口弁(BHRS(A)系)	3-12F101A(00)	RB-B1-1	○	駆動部	156M	分解点検
					本体	4C	特性試験
						156M	分解点検
格納容器周囲 気監視系	CAMS(B)冷却水入口弁(BHRS(B)系)	3-12F101B(00)	RB-B1-3	○	駆動部	156M	分解点検
					本体	4C	特性試験
						156M	分解点検
格納容器周囲 気監視系	CAMS(A)冷却水出口弁(BHRS(A)系)	3-12F102A(00)	RB-B1-1	○	駆動部	156M	分解点検
					本体	4C	特性試験
						156M	分解点検
格納容器周囲 気監視系	CAMS(B)冷却水出口弁(BHRS(B)系)	3-12F102B(00)	RB-B1-3	○	駆動部	156M	分解点検
					本体	4C	特性試験
						156M	分解点検
格納容器周囲 気監視系	1号炉A系力(伝送器)	PT-D23-N004A	RB-3-1	○	本体	1C	特性試験
格納容器周囲 気監視系	1号炉A系力(伝送器)	PT-D23-N004B	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
原子炉系	原子炉水位・圧力計装7号	R22-P004	RB-3-2	○	伝送器	1C	特性試験
原子炉系	原子炉水位・圧力計装7号	R22-P005	RB-3-1	○	伝送器	1C	特性試験
原子炉系	原子炉水位・圧力計装7号	R22-P026	RB-3-1	○	伝送器	1C	特性試験
原子炉系	原子炉水位・圧力計装7号	R22-P027	RB-3-2	○	伝送器	1C	特性試験
原子炉系	シフトアップレブ(A)計装7号	R22-P010	RB-2-8	○	伝送器	1C	特性試験
原子炉系	シフトアップレブ(B)計装7号	R22-P009	RB-2-8	○	伝送器	1C	特性試験
原子炉系	COND VAC(A)(伝送器)	PT-R22-N075A	TB-1-1	○	本体	1C	特性試験
原子炉系	COND VAC(B)(伝送器)	PT-R22-N075B	TB-1-1	○	本体	1C	特性試験
原子炉系	COND VAC(C)(伝送器)	PT-R22-N075C	TB-1-1	○	本体	1C	特性試験
原子炉系	COND VAC(D)(伝送器)	PT-R22-N075D	TB-1-1	○	本体	1C	特性試験
原子炉系	MSL PRESS ISO(A)(伝送器)	PT-R22-N076A	TB-1-20	○	本体	1C	特性試験
原子炉系	MSL PRESS ISO(B)(伝送器)	PT-R22-N076B	TB-1-20	○	本体	1C	特性試験
原子炉系	MSL PRESS ISO(C)(伝送器)	PT-R22-N076C	TB-1-2	○	本体	1C	特性試験
原子炉系	MSL PRESS ISO(D)(伝送器)	PT-R22-N076D	TB-1-2	○	本体	1C	特性試験
原子炉補機冷却系	RCWポンプ(A)	RCW-PM-A	TB-1-1	○	電動機	1C	特性試験
					本体	13M	簡易点検
原子炉補機冷却系	RCWポンプ(B)	RCW-PM-B	TB-1-1	○	電動機	1C	特性試験
					本体	13M	簡易点検
原子炉補機冷却系	RCWポンプ(C)	RCW-PM-C	TB-1-1	○	電動機	1C	特性試験
					本体	13M	簡易点検
原子炉補機冷却系	1号炉内機器原子炉補機冷却水隔離弁	2-9V20(00)	RB-2-8	○	駆動部	156M	分解点検
					本体	2C	特性試験
						130M	分解点検
原子炉補機冷却系	1号炉内機器原子炉補機冷却水戻り弁	2-9V33(00)	RB-2-8	○	駆動部	156M	分解点検
					本体	2C	特性試験
						130M	分解点検
					60M	簡易点検	

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (3/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
原子炉補機冷却系	RCW 機器冷却器行き弁	7-931 (M0)	BB-B1-1	○	駆動部	2C	特性試験
原子炉補機冷却系	RCW 熱交換機温度制御弁	TCV-9-92	TB-1-1	○	駆動部	1C	機能・性能試験
原子炉補機冷却系	RCW TEMP CONTROL (指示調節計)	TIC-9-92	TB-1-1	○	本体	1C	特性試験
原子炉補機冷却系	RCW SURGE TANK LEVEL (液位)	LSL-9-192	RB-6-1	○	本体	52M 1C	分解点検 特性試験
原子炉補機冷却系	RCW SURGE TANK LEVEL (伝送器)	LT-9-192	RB-6-1	○	本体	1C	特性試験
原子炉保護系	RPS M-G t+1 (2A) 制御盤	LCP-184A	CS-1-3	○	本体	2C	特性試験
原子炉保護系	RPS M-G t+1 (2B) 制御盤	LCP-184B	CS-1-3	○	本体	2C	特性試験
原子炉保護系	RPS 分電盤 (A)	PNL-C72-P001	CS-1-3	○	本体	2C	特性試験
原子炉保護系	RPS 分電盤 (B)	PNL-C72-P002	CS-1-3	○	本体	2C	特性試験
原子炉保護系	RPS M-G t+1 (2A) (発電機/電動機)	RPS-MG-A-GEN/RPS-MG-A-MTR	CS-1-3	○	電動機	28M	分解点検
					発電機	28M	分解点検
原子炉保護系	RPS M-G t+1 (2B) (発電機/電動機)	RPS-MG-B-GEN/RPS-MG-B-MTR	CS-1-3	○	電動機	28M	分解点検
					発電機	28M	分解点検
原子炉保護系	水平方向地震加速度検出器	C72-N009A	RB-2-9	○	本体	1C	特性試験
原子炉保護系	水平方向地震加速度検出器	C72-N009B	RB-2-9	○	本体	1C	特性試験
原子炉保護系	水平方向地震加速度検出器	C72-N009C	RB-2-8	○	本体	1C	特性試験
原子炉保護系	水平方向地震加速度検出器	C72-N009D	RB-2-8	○	本体	1C	特性試験
原子炉保護系	水平方向地震加速度検出器	C72-N010A	RB-B2-3	○	本体	1C	特性試験
原子炉保護系	水平方向地震加速度検出器	C72-N010B	RB-B2-3	○	本体	1C	特性試験
原子炉保護系	鉛直方向地震加速度検出器	C72-N011A	RB-B2-3	○	本体	1C	特性試験
原子炉保護系	鉛直方向地震加速度検出器	C72-N011B	RB-B2-3	○	本体	1C	特性試験
原子炉保護系	水平方向地震加速度検出器	C72-N010C	RB-B2-8	○	本体	1C	特性試験
原子炉保護系	水平方向地震加速度検出器	C72-N010D	RB-B2-8	○	本体	1C	特性試験
原子炉保護系	鉛直方向地震加速度検出器	C72-N011C	RB-B2-8	○	本体	1C	特性試験
原子炉保護系	鉛直方向地震加速度検出器	C72-N011D	RB-B2-8	○	本体	1C	特性試験
残留熱除去系	RHR DIV-1 計装???	R22-P018	RB-B1-1	○	伝送器	1C	特性試験
残留熱除去系	RHR DIV-II 計装???	R22-P021	RB-B1-2	○	伝送器	1C	特性試験
残留熱除去系	RHR シンク (A)	RHR-PMF-C002A	RB-B2-15	○	電動機	65M 1C	分解点検 特性試験
					本体	130M 65M 1C	分解点検 簡易点検 機能・性能試験
残留熱除去系	RHR シンク (B)	RHR-PMF-C002B	RB-B2-14	○	電動機	65M 1C	分解点検 特性試験
					本体	130M 65M 1C	分解点検 簡易点検 機能・性能試験
残留熱除去系	RHR シンク (C)	RHR-PMF-C002C	RB-B2-5	○	電動機	65M 1C	分解点検 特性試験
					本体	130M 1C	分解点検 機能・性能試験



第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (4/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
残留熱除去系	RHR ダンプ (A) 入口弁	E12-F004A (M)	RB-02-7	○	駆動部	160M	分解点検
						4C	特性試験
						130M	分解点検
残留熱除去系	RHR ダンプ (B) 入口弁	E12-F004B (M)	RB-02-3	○	駆動部	160M	分解点検
						4C	特性試験
						130M	分解点検
残留熱除去系	RHR ダンプ (C) 入口弁	E12-F004C (M)	RB-02-6	○	駆動部	160M	分解点検
						4C	特性試験
						130M	分解点検
残留熱除去系	RHR ダンプ (A) 停止時冷却バypass入口弁	E12-F006A (M)	RB-02-7	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
						78M	換基点検
残留熱除去系	RHR ダンプ (B) 停止時冷却バypass入口弁	E12-F006B (M)	RB-02-3	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
						78M	換基点検
残留熱除去系	RHR シェッドクラック隔離弁 (外側)	E12-F008 (M)	RB-2-3	○	駆動部	150M	分解点検
						2C	特性試験
						52M	換基点検
残留熱除去系	RHR (A)系 格納容器バypass弁	E12-F016A (M)	RB-4-3	○	駆動部	160M	分解点検
						2C	特性試験
						78M	換基点検
残留熱除去系	RHR (B)系 格納容器バypass弁	E12-F016B (M)	RB-2-3	○	駆動部	160M	分解点検
						2C	特性試験
						78M	換基点検
残留熱除去系	RHR (A)系 格納容器バypass弁	E12-F017A (M)	RB-4-3	○	駆動部	160M	分解点検
						2C	特性試験
						60M	換基点検
残留熱除去系	RHR (B)系 格納容器バypass弁	E12-F017B (M)	RB-2-3	○	駆動部	160M	分解点検
						2C	特性試験
						60M	換基点検
残留熱除去系	RHR (A)系 バypass弁	E12-F024A (M)	RB-1-1	○	駆動部	160M	分解点検
						2C	特性試験
						60M	換基点検
残留熱除去系	RHR (B)系 バypass弁	E12-F024B (M)	RB-3-2	○	駆動部	160M	分解点検
						2C	特性試験
						60M	換基点検

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (5/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
残留熱除去系	RHR (A)系#1レギュレーション弁	E12-F027A(00)	RB-1-1	○	駆動部	169M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	65M	磨耗点検
						130M	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系	RHR (B)系#1レギュレーション弁	E12-F027B(00)	RB-1-2	○	駆動部	169M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	65M	磨耗点検
						130M	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系	RHR (A)系 注入弁	E12-F042A(00)	RB-3-1	○	駆動部	169M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	78M	磨耗点検
						156M	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系	RHR (B)系 注入弁	E12-F042B(00)	RB-3-8	○	駆動部	104M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	52M	磨耗点検
						7Y	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系	RHR (C)系 注入弁	E12-F042C(00)	RB-3-8	○	駆動部	104M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	78M	磨耗点検
						156M	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系	RHR 熱交換器(A)弁付弁	E12-F048A(00)	RB-31-4	○	駆動部	169M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	65M	磨耗点検
						130M	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系	RHR 熱交換器(B)弁付弁	E12-F048B(00)	RB-31-3	○	駆動部	169M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	65M	磨耗点検
						130M	分解点検
						156M	分解点検
残留熱除去系	RHR (A)系 シフト弁注入弁	E12-F053A(00)	RB-2-2	○	駆動部	156M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	78M	磨耗点検
						156M	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系	RHR (B)系 シフト弁注入弁	E12-F053B(00)	RB-2-4	○	駆動部	156M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	52M	磨耗点検
						7Y	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系	RHR (A)系#2弁付弁 (内側)	E12-F060A(00)	RB-31-4	○	駆動部	10C	磨耗点検
						39M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験
						39M	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系	RHR (B)系#2弁付弁 (内側)	E12-F060B(00)	RB-31-3	○	駆動部	10C	磨耗点検
						39M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験
						39M	分解点検
						1C	機能・性能試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (6/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
残留熱除去系	RHR (A)系ニ7号弁	E12-F064A(00)	RB-B1-1	○	駆動部	169M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	65M	磨耗点検
						130M	分解点検
残留熱除去系	RHR (B)系ニ7号弁	E12-F064B(00)	RB-B1-2	○	駆動部	169M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	65M	磨耗点検
						130M	分解点検
残留熱除去系	RHR (C)系ニ7号弁	E12-F064C(00)	RB-B1-2	○	駆動部	169M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	65M	磨耗点検
						130M	分解点検
残留熱除去系	RHR (A)系ワアリア弁 (外側)	E12-F075A(A0)	RB-B1-4	○	駆動部	10C	磨耗点検
						39M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験
						39M	分解点検
残留熱除去系	RHR (B)系ワアリア弁 (外側)	E12-F075B(A0)	RB-B1-3	○	駆動部	10C	磨耗点検
						39M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験
						39M	分解点検
残留熱除去系	RHR VALVE DIFF PRESS A(伝送器)	DPT-E12-9058A	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
						残留熱除去系	RHR VALVE DIFF PRESS B(伝送器)
残留熱除去系	RHR VALVE DIFF PRESS C(伝送器)	DPT-E12-9058C	RB-3-2	○	本体	1C	
残留熱除去系 海水系						RHRSポンプ(A)	RHRS-PMP-A
	1C	特性試験					
	本体	20M	分解点検				
		1C	機能・性能試験				
残留熱除去系 海水系	RHRSポンプ(B)	RHRS-PMP-B	(取水口)	○	電動機	52M	分解点検
						1C	特性試験
					本体	20M	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系 海水系	RHRSポンプ(C)	RHRS-PMP-C	(取水口)	○	電動機	52M	分解点検
						1C	特性試験
					本体	20M	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系 海水系	RHRSポンプ(D)	RHRS-PMP-D	(取水口)	○	電動機	52M	分解点検
						1C	特性試験
					本体	20M	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系 海水系	RHRS 熱交換器(A)海水出口弁	E12-F068A(00)	RB-B1-4	○	駆動部	169M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	39M	分解点検
						1C	機能・性能試験
残留熱除去系 海水系	RHRS 熱交換器(B)海水出口弁	E12-F068B(00)	RB-B1-3	○	駆動部	169M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	39M	分解点検
						残留熱除去系 海水系	HX (A) SEA WATER FLOW (伝送器)
残留熱除去系 海水系	HX (B) SEA WATER FLOW (伝送器)	FT-E12-9007B	RW-B1-7	○	本体	1C	

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (7/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
主蒸気系	主蒸気1号弁 (外側隔離弁)	B22-F019(M)	BB-2-1	○	駆動部	104M	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	65M	磨耗点検
						130M	分解点検
						1C	機能・性能試験
主蒸気系	主蒸気1号弁 (外側隔離弁)	B22-F067A(M)	BB-2-1	○	駆動部	104M	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	65M	磨耗点検
						130M	分解点検
						1C	機能・性能試験
主蒸気系	主蒸気1号弁 (外側隔離弁)	B22-F067B(M)	BB-2-1	○	駆動部	104M	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	65M	磨耗点検
						130M	分解点検
						1C	機能・性能試験
主蒸気系	主蒸気1号弁 (外側隔離弁)	B22-F067C(M)	BB-2-1	○	駆動部	104M	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	65M	磨耗点検
						130M	分解点検
						1C	機能・性能試験
主蒸気系	主蒸気1号弁 (外側隔離弁)	B22-F067D(M)	BB-2-1	○	駆動部	104M	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	65M	磨耗点検
						130M	分解点検
						1C	機能・性能試験
主蒸気系	主蒸気隔離弁第2弁(A)	B22-F028A(M)	BB-2-1	○	本体	52M	分解点検
						13M	磨耗点検
						1C	機能・性能試験
					駆動部	52M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						4C	取替
主蒸気系	主蒸気隔離弁第2弁(B)	B22-F028B(M)	BB-2-1	○	本体	52M	分解点検
						13M	磨耗点検
						1C	機能・性能試験
					駆動部	52M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						4C	取替
主蒸気系	主蒸気隔離弁第2弁(C)	B22-F028C(M)	BB-2-1	○	本体	52M	分解点検
						13M	磨耗点検
						1C	機能・性能試験
					駆動部	52M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						4C	取替
主蒸気系	主蒸気隔離弁第2弁(C)	B22-F028C(M)	BB-2-1	○	駆動部	4C	取替
						1C	機能・性能試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (8/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
主蒸気系	主蒸気隔離弁第2弁(D)	B22-F025D(A0)	BB-2-1	○	本体	52M	分解点検
						13M	融着点検
						1C	機能・性能試験
					駆動部	52M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						4C	取替
リフト	1C	機能・性能試験					
主蒸気系	主蒸気流量(A)計装7?7	H22-P015	BB-2-9	○	伝送器	1C	特性試験
主蒸気系	主蒸気流量(B)計装7?7	H22-P025	BB-2-8	○	伝送器	1C	特性試験
所内電源系	MCC 2A2-2	MCC 2A2-2	BB-4-1	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2A3-1	MCC 2A3-1	TB-1-12	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2B2-2	MCC 2B2-2	BB-4-2	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2B3-1	MCC 2B3-1	TB-1-12	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2C-1	MCC 2C-1	TB-1-2	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2D-1	MCC 2D-1	TB-1-2	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2C-2	MCC 2C-2	TB-1-12	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2D-2	MCC 2D-2	TB-1-12	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2C-3	MCC 2C-3	BB-B1-1	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2D-3	MCC 2D-3	BB-B1-2	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2C-4	MCC 2C-4	CS-B1-5	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2D-4	MCC 2D-4	CS-B1-3	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2C-5	MCC 2C-5	BB-B1-1	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2D-5	MCC 2D-5	BB-B1-2	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2C-6	MCC 2C-6	CS-1-3	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2D-6	MCC 2D-6	CS-1-3	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2C-7	MCC 2C-7	BB-3-1	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2D-7	MCC 2D-7	BB-3-2	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2C-8	MCC 2C-8	BB-3-1	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2D-8	MCC 2D-8	BB-3-2	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2C-9	MCC 2C-9	BB-4-1	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC 2D-9	MCC 2D-9	BB-4-2	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	MCC HPCS	MCC HPCS	CS-B1-4	○	本体	3C	特性試験
所内電源系	R/B INST DIST PNL 1	-	BB-1-1	○	-	-	-
所内電源系	R/B INST DIST PNL 2	-	BB-1-1	○	-	-	-
所内電源系	R/B INST DIST PNL 3	-	BB-B1-5	○	-	-	-
所内電源系	中央制御室 120V 交流計装用分電盤 2A-1	PNL-DP-2A-1-AC	CS-2-1	○	本体	9C	特性試験
所内電源系	中央制御室 120V 交流計装用分電盤 2B-1	PNL-DP-2B-1-AC	CS-2-1	○	本体	9C	特性試験
所内電源系	中央制御室 120V 交流計装用分電盤 2A-2	PNL-DP-2A-2-AC	CS-2-1	○	本体	9C	特性試験
所内電源系	中央制御室 120V 交流計装用分電盤 2B-2	PNL-DP-2B-2-AC	CS-2-1	○	本体	9C	特性試験
所内電源系	120/240V AC INST.DIST.CTR	-	CS-1-3	○	本体	9C	特性試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (9/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
所内電源系	120V AC INST HPCS DIST PNL	-	CS-1-4	○	本体	9C	特性試験
所内電源系	120V AC MCR DIST PNL NOR	-	CS-1-3	○	-	-	-
所内電源系	TB 120V AC INST DIST PNL 1	-	TB-1-12	○	-	-	-
所内電源系	480V PWR. CTR. 2C	-	CS-82-1	○	盤本体	3C	特性試験
					継電器, 変流器	3C	特性試験
					遮断器	39M	分解点検
所内電源系	480V PWR. CTR. 2D	-	CS-81-1	○	盤本体	3C	特性試験
					継電器, 変流器	3C	特性試験
					遮断器	39M	分解点検
所内電源系	480V PWR. CTR. 2B-2	-	CS-81-1	○	盤本体	3C	特性試験
					継電器, 変流器	3C	特性試験
					遮断器	39M	分解点検
所内電源系	PC 2A-3	-	TB-1-12	○	遮断器	39M	分解点検
						1C	特性試験
所内電源系	PC 2B-3	-	TB-1-12	○	遮断器	39M	分解点検
						1C	特性試験
所内電源系	6.9kV SGR. 2A-1	-	CS-82-1	○	盤本体	3C	特性試験
					継電器, 変流器	3C	特性試験
					遮断器	39M	分解点検
所内電源系	6.9kV SGR. 2B-1	-	CS-81-1	○	盤本体	3C	特性試験
					継電器, 変流器	3C	特性試験
					遮断器	39M	分解点検
所内電源系	6.9kV SGR. 2A-2	-	CS-82-1	○	盤本体	3C	特性試験
					継電器, 変流器	3C	特性試験
					遮断器	39M	分解点検
所内電源系	6.9kV SGR. 2B-2	-	CS-81-1	○	盤本体	3C	特性試験
					継電器, 変流器	3C	特性試験
					遮断器	39M	分解点検
所内電源系	6.9kV SGR. 2C	-	CS-82-1	○	盤本体	3C	特性試験
					継電器, 変流器	3C	特性試験
					遮断器	39M	分解点検
所内電源系	6.9kV SGR. 2D	-	CS-81-1	○	盤本体	3C	特性試験
					継電器, 変流器	3C	特性試験
					遮断器	39M	分解点検
所内電源系	6.9kV SGR. 2E	-	CS-81-2	○	盤本体	3C	特性試験
					継電器, 変流器	3C	特性試験
					遮断器	39M	分解点検
所内電源系	6.9kV SGR. HPCS	-	CS-82-2	○	盤本体	3C	特性試験
					継電器, 変流器	3C	特性試験
					遮断器	39M	分解点検
制御用圧縮空気系	1'3'0'+N2制御用空気供給元弁	2-16V11(00)	RB-2-8	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
					本体	130M	分解点検
制御用圧縮空気系	1'3'0'+N2供給弁	2-16V12A(00)	RB-3-1	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
					本体	130M	分解点検
制御用圧縮空気系	1'3'0'+N2供給弁	2-16V12B(00)	RB-3-2	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
					本体	130M	分解点検

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (10/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況			
					点検部位	周期	保全内容	
制御用圧縮空気系	1'3'0'4'8'N2 2'14'4'3供給弁	2-16V13A(00)	RB-3-1	○	駆動部	150M	分解点検	
						6C	特性試験	
						130M	分解点検	
制御用圧縮空気系	1'3'0'4'8'N2 2'14'4'3供給弁	2-16V13B(00)	RB-3-2	○	駆動部	150M	分解点検	
						6C	特性試験	
						130M	分解点検	
制御用圧縮空気系	1'3'0'4'8'N2 2'14'4'3供給弁	2-16V13B(00)	RB-3-2	○	本体	65M	簡易点検	
						150M	分解点検	
						6C	特性試験	
制御用圧縮空気系	1'3'0'4'8'N2 2'14'4'3供給弁	2-16V13B(00)	RB-3-2	○	本体	130M	分解点検	
						65M	簡易点検	
						150M	分解点検	
制御用圧縮空気系	1'3'0'4'8'N2 2'14'4'3供給弁	2-16V13B(00)	RB-3-2	○	駆動部	195M	分解点検	
						10C	簡易点検	
						1C	機能・性能試験	
制御用圧縮空気系	1'3'0'4'8'N2 2'14'4'3供給弁	2-16V13B(00)	RB-3-2	○	本体	195M	分解点検	
						1C	機能・性能試験	
						195M	分解点検	
制御用圧縮空気系	1'3'0'4'8'N2 2'14'4'3供給弁	2-16V13B(00)	RB-3-2	○	駆動部	195M	分解点検	
						10C	簡易点検	
						1C	機能・性能試験	
制御用圧縮空気系	1'3'0'4'8'N2 2'14'4'3供給弁	2-16V13B(00)	RB-3-2	○	本体	195M	分解点検	
						1C	機能・性能試験	
						195M	分解点検	
制御用圧縮空気系	N2 GAS BOMBE DISCH PRESS (指示タイプ)	PIS-16-900.1	RB-3-1	○	本体	1C	特性試験	
制御用圧縮空気系	N2 GAS BOMBE DISCH PRESS (指示タイプ)	PIS-16-900.2	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験	
中央制御室換気系	中央制御室換気系計装777	T41-P020	CS-3-1	○	本体	1C	簡易点検	
中央制御室換気系	中央制御室換気系計装777	T41-P021	CS-3-1	○	本体	1C	簡易点検	
中央制御室換気系	中央制御室7-2021(WC2-1)制御盤	T41-P036	(C/S 屋上)	○	本体	10C	簡易点検	
中央制御室換気系	中央制御室7-2022(WC2-2)制御盤	T41-P037	(C/S 屋上)	○	本体	10C	簡易点検	
中央制御室換気系	中央制御室7-2021(WC2-1)	HVAC-WC2-1	(C/S 屋上)	○	本体	39M	分解点検	
						10C	簡易点検	
						圧縮機電動機	20M	分解点検
						送風機電動機	6C	取替
						圧縮機電磁弁	2C	機能・性能試験
						温度式膨張弁	2C	機能・性能試験
中央制御室換気系	中央制御室7-2022(WC2-2)	HVAC-WC2-2	(C/S 屋上)	○	本体	39M	分解点検	
						10C	簡易点検	
						圧縮機電動機	20M	分解点検
						送風機電動機	6C	取替
						圧縮機電磁弁	2C	機能・性能試験
						温度式膨張弁	2C	機能・性能試験
中央制御室換気系	中央制御室7-冷水循環ポンプ(A)	HVAC-PMP-P2-3	CS-3-1	○	電動機	5C	特性試験	
						1C	機能・性能試験	
						130M	分解点検	
中央制御室換気系	中央制御室7-冷水循環ポンプ(B)	HVAC-PMP-P2-4	CS-3-1	○	本体	1C	機能・性能試験	
						1C	機能・性能試験	
						130M	分解点検	
中央制御室換気系	中央制御室換気系7-472021(A)	HVAC-FLT-A	CS-3-1	○	本体	1C	機能・性能試験	
						78M	開放点検	
中央制御室換気系	中央制御室換気系7-472021(B)	HVAC-FLT-B	CS-3-1	○	本体	1C	機能・性能試験	
						78M	開放点検	
中央制御室換気系	中央制御室7-ポンプコントロール777(A)	HVAC-NE2-9A	CS-3-1	○	電動機	5C	特性試験	
						1C	機能・性能試験	
						130M	分解点検	
						1C	簡易点検	
中央制御室換気系	中央制御室7-ポンプコントロール777(A)	HVAC-NE2-9A	CS-3-1	○	本体	20M	開放点検	
						1C	簡易点検	
						1C	機能・性能試験	

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (11/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
中央制御室換気系	中央制御室「ファン」ユニット(Ⅱ)	HVAC-AB2-9B	CS-3-1	○	電動機	6C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	130M	分解点検
						1C	簡易点検
						20M	開放点検
中央制御室換気系	中央制御室「ファン」ユニット(Ⅱ)	HVAC-E2-9B	CS-3-1	○	電動機	39M	分解点検
						1C	特性試験
					本体	52M	分解点検
						13M	簡易点検
						1C	機能・性能試験
中央制御室換気系	中央制御室「ファン」ユニット(Ⅱ)	HVAC-E2-14A	CS-3-1	○	電動機	39M	分解点検
						1C	特性試験
					本体	52M	分解点検
						13M	簡易点検
						1C	機能・性能試験
中央制御室換気系	中央制御室「ファン」ユニット(Ⅱ)	HVAC-E2-14B	CS-3-1	○	電動機	39M	分解点検
						1C	特性試験
					本体	52M	分解点検
						13M	簡易点検
						1C	機能・性能試験
中央制御室換気系	中央制御室排気ファン	HVAC-E2-15	CS-3-1	○	電動機	20M	分解点検
						20M	分解点検
					本体	1C	簡易点検
						150M	分解点検
						6C	特性試験
中央制御室換気系	中央制御室給気扇	SR2-18A(00)	CS-3-1	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
					本体	1C	簡易点検
						52M	分解点検
						150M	分解点検
中央制御室換気系	中央制御室給気扇	SR2-18B(00)	CS-3-1	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
					本体	1C	簡易点検
						52M	分解点検
						150M	分解点検
中央制御室換気系	中央制御室給気扇	SR2-19A(00)	CS-3-1	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
					本体	1C	簡易点検
						52M	分解点検
						150M	分解点検
中央制御室換気系	中央制御室給気扇	SR2-19B(00)	CS-3-1	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
					本体	1C	簡易点検
						52M	分解点検
						150M	分解点検
中央制御室換気系	中央制御室排気扇	SR2-20A(00)	CS-3-1	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
					本体	1C	簡易点検
						52M	分解点検
						150M	分解点検
中央制御室換気系	中央制御室排気扇	SR2-20B(00)	CS-3-1	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
					本体	1C	簡易点検
						52M	分解点検
						150M	分解点検
中央制御室換気系	非常用RCR「ファン」ユニットE2-14A(S)	DMP-A0-T41-F086	CS-3-1	○	本体	15C	簡易点検
						65M	分解点検
					空気元弁(電磁弁) 20-E2-14A-1	1C	機能・性能試験
						15C	簡易点検
						65M	分解点検
中央制御室換気系	非常用RCR「ファン」ユニットE2-14B(S)	DMP-A0-T41-F088	CS-3-1	○	本体	15C	簡易点検
						65M	分解点検
					空気元弁(電磁弁) 20-E2-14B-1	1C	機能・性能試験
						15C	簡易点検
						65M	分解点検
中央制御室換気系	ファン(AB2-9A)入口ファン	DMP-A0-T41-F090	CS-3-1	○	本体	15C	簡易点検
						65M	分解点検
					電磁弁 20-AB2-9A-1	1C	機能・性能試験
						15C	簡易点検
						65M	分解点検



第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (12/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
中央制御室換気系	7F(AH2-9B) 入口ファン	DMP-A0-T41-F091	CS-3-1	○	本体	15C	簡易点検
						60M	分解点検
						1C	機能・性能試験
中央制御室換気系	AH2-9(A) 出口温度制御弁	TCV-T41-F084A	CS-3-1	○	本体	10C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
中央制御室換気系	AH2-9(B) 出口温度制御弁	TCV-T41-F084B	CS-3-1	○	本体	1C	機能・性能試験
5F(5) 室換気系	5F(5) 室空調機(5) (A)	HVAC-AH2-10A	CS-3-1	○	本体	5C	特性試験
						10T	分解点検
						20M	開放点検
5F(5) 室換気系	5F(5) 室空調機(5) (B)	HVAC-AH2-10B	CS-3-1	○	電動機	5C	特性試験
						10T	分解点検
						20M	開放点検
5F(5) 室換気系	AH2-10A 外気取り入れファン	DMP-A0-T41-F056	CS-3-1	○	本体	1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
5F(5) 室換気系	AH2-10B 外気取り入れファン	DMP-A0-T41-F059	CS-3-1	○	本体	1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
5F(5) 室換気系	AH2-10A 入口ファン	DMP-A0-T41-F057	CS-3-1	○	本体	1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
5F(5) 室換気系	AH2-10B 入口ファン	DMP-A0-T41-F058	CS-3-1	○	本体	1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
5F(5) 室換気系	HVAC SWITCHEAR VENTILATING SYS.	PNL-T41-P023	CS-3-1	○	本体	1C	簡易点検
5F(5) 室換気系	SWG室空調機(5) (A)	HVAC-PMP-P2-5	CS-3-1	○	電動機	5C	特性試験
5F(5) 室換気系	SWG室空調機(5) (B)	HVAC-PMP-P2-6	CS-3-1	○	電動機	5C	特性試験
5F(5) 室換気系	AH2-10(A) 出口温度制御弁	TCV-T41-F005A	CS-3-1	○	本体	1C	機能・性能試験
5F(5) 室換気系	AH2-10(B) 出口温度制御弁	TCV-T41-F005B	CS-3-1	○	本体	1C	機能・性能試験
5F(5) 室換気系	SWG室空調機(5) (WC2-3A)	HVAC-WC2-3A	(C/S 屋上)	○	本体	3T	分解点検
5F(5) 室換気系	SWG室空調機(5) (WC2-3B)	HVAC-WC2-3B	(C/S 屋上)	○	本体	3T	分解点検
5F(5) 室換気系	SWG室空調機(5) (WC2-4A)	HVAC-WC2-4A	(C/S 屋上)	○	本体	3T	分解点検
5F(5) 室換気系	SWG室空調機(5) (WC2-4B)	HVAC-WC2-4B	(C/S 屋上)	○	本体	3T	分解点検
6F(6) 室換気系	6F(6) 室空調機(6) (A)	HVAC-AH2-12A	(C/S 屋上)	○	電動機	5C	特性試験
						10T	分解点検
						1Y	簡易点検
6F(6) 室換気系	6F(6) 室空調機(6) (B)	HVAC-AH2-12B	(C/S 屋上)	○	電動機	5C	特性試験
						10T	分解点検
						1Y	簡易点検
6F(6) 室換気系	6F(6) 室排風機(A)	HVAC-E2-11A	CS-2-2	○	電動機	5C	特性試験
						1Y	簡易点検
						1Y	簡易点検
6F(6) 室換気系	6F(6) 室排風機(B)	HVAC-E2-11B	CS-2-2	○	電動機	5C	特性試験
						1Y	簡易点検
						1Y	簡易点検
6F(6) 室換気系	E2-11(A) 出口ファン	DMP-A0-T41-F054	CS-2-2	○	本体	1C	機能・性能試験
6F(6) 室換気系	E2-11(B) 出口ファン	DMP-A0-T41-F055	CS-2-2	○	本体	1C	機能・性能試験
6F(6) 室換気系	HVAC BATTERY ROOM VENTILATING SYS.	PNL-T41-P022	CS-3-1	○	本体	1C	簡易点検
直流電源設備	直流 125V MCC 2A-1	125V DC MCC 2A-1	RB-B1-1	○	本体	3C	特性試験
直流電源設備	直流 125V MCC 2A-2	125V DC MCC 2A-2	RB-4-1	○	本体	3C	特性試験
直流電源設備	直流 250V 蓄電池	250V DC BATTERY	TB-1-13	○	本体	1Y	特性試験
直流電源設備	直流 125V 蓄電池(2A)	125V DC 2A BATTERY	CS-1-1	○	本体	1Y	特性試験
直流電源設備	直流 125V 蓄電池(2B)	125V DC 2B BATTERY	CS-1-7 CS-1-8	○	本体	1Y	特性試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (13/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
直流電源設備	直流 125V 蓄電池(HPCS)	125V DC HPCS BATTERY	CS-1-2	○	本体	1Y	特性試験
直流電源設備	直流 250V 充電器(常用,予備)	250V DC BATT.CHARGER	CS-1-3	○	本体	1Y	特性試験
直流電源設備	直流 125V 充電器(2A)	125V DC 2A BATT.CHARGER	CS-1-3	○	本体	1Y	特性試験
直流電源設備	直流 125V 充電器(2B)	125V DC 2B BATT.CHARGER	CS-1-3	○	本体	1Y	特性試験
直流電源設備	直流 125V 充電器(HPCS)	125V DC HPCS BATT.CHARGER	CS-1-4	○	本体	1Y	特性試験
直流電源設備	直流 250V 3-φ配電盤	250V DC TURB DIST CTR	CS-1-3	○	本体	3C	特性試験
直流電源設備	直流 125V 配電盤(2A)	125V DC DIST CTR 2A	CS-1-3	○	本体	9C	特性試験
直流電源設備	直流 125V 配電盤(2B)	125V DC DIST CTR 2B	CS-1-3	○	本体	9C	特性試験
直流電源設備	直流 125V 配電盤(HPCS)	125V DC DIST CTR HPCS	CS-1-4	○	本体	9C	特性試験
直流電源設備	直流 125V 分電盤(2A-1)	125V DC DIST PNL 2A-1	CS-1-3	○	本体	9C	特性試験
直流電源設備	直流 125V 分電盤(2A-2)	125V DC DIST PNL 2A-2	CS-1-3	○	本体	9C	特性試験
直流電源設備	直流 125V 分電盤(2B-1)	125V DC DIST PNL 2B-1	CS-1-3	○	本体	9C	特性試験
直流電源設備	直流 125V 分電盤(2B-2)	125V DC DIST PNL 2B-2	CS-1-3	○	本体	9C	特性試験
直流電源設備	直流 125V 分電盤(2A-2-1)	125V DC DIST PNL 2A-2-1	CS-02-1	○	本体	9C	特性試験
直流電源設備	直流 125V 分電盤(2B-2-1)	125V DC DIST PNL 2B-2-1	CS-1-5	○	本体	9C	特性試験
直流電源設備	直流 125V 分電盤(HPCS)	125V DC DIST PNL HPCS	CS-1-4	○	本体	9C	特性試験
直流電源設備	直流 ±24V 分電盤(2A)	24V DC DIST PNL 2A	CS-1-3	○	本体	9C	特性試験
直流電源設備	直流 ±24V 分電盤(2B)	24V DC DIST PNL 2B	CS-1-3	○	本体	9C	特性試験
直流電源設備	直流 ±24V 充電器(2A)	24V DC 2A BATT.CHARGER	CS-1-3	○	本体	1Y	特性試験
直流電源設備	直流 ±24V 充電器(2B)	24V DC 2B BATT.CHARGER	CS-1-3	○	本体	1Y	特性試験
直流電源設備	直流 ±24V 蓄電池(2A)	24V DC 2A BATTERY	CS-1-6	○	本体	1Y	特性試験
直流電源設備	直流 ±24V 蓄電池(2B)	24V DC 2B BATTERY	CS-1-8	○	本体	1Y	特性試験
直流電源設備	地絡検出盤(直流分電盤 2A-1)	PNL-LCP-177	CS-1-3	○	本体	10Y	外観点検
直流電源設備	地絡検出盤(直流分電盤 2A-2)	PNL-LCP-178	CS-1-3	○	本体	10Y	外観点検
直流電源設備	地絡検出盤(直流分電盤 2B-1)	PNL-LCP-179	CS-1-3	○	本体	10Y	外観点検
燃料予冷却浄化系	FFP/DEMIN.CONTROL PNL	PNL-641-2010-100	RB-5-1	○	計装品	1Yc	特性試験
					本体	1Yc	機能+性能試験
燃料予冷却浄化系	FPC SYS PUMP AREA PNL	641-P002	RB-4-1	○	計装品	1Yc	特性試験
					本体	1Yc	外観点検
燃料予冷却浄化系	FPC F/D INST. RACK	PNL-LR-R-46A	RB-5-1	○	継電器	15Y	断異常点検
					伝送器	1Yc	特性試験
燃料予冷却浄化系	FPC F/D INST. RACK	PNL-LR-R-46B	RB-5-1	○	伝送器	1Yc	特性試験
					液位指示計	1Yc	特性試験
燃料予冷却浄化系	FPC SKIMMER SURGE TANK LI	PNL-LCP-133	RB-6-2	○	電動機	3Yc	分解点検
					本体	1Yc	特性試験
					本体	4Yc	分解点検

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (14/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
燃料冷却浄化系	FPC 再循環ポンプ(B)	FPC-PMP-C001B	RB-4-19	○	電動機	3Yc	分解点検
						1Yc	特性試験
					本体	4Yc	分解点検
燃料冷却浄化系	FPC F/D(A)出口弁	G41-102A(A0)	RB-4-6	○	駆動部	5Yc	分解点検
						1Yc	機能・性能試験
					本体	5Yc	分解点検
燃料冷却浄化系	FPC F/D(B)出口弁	G41-102B(A0)	RB-4-9	○	駆動部	5Yc	分解点検
						1Yc	機能・性能試験
					本体	5Yc	分解点検
燃料冷却浄化系	FPC F/D(A)出口流量制御弁	G41-FCV-11A	RB-4-6	○	駆動部	5Yc	分解点検
						1Yc	機能・性能試験
					本体	5Yc	分解点検
燃料冷却浄化系	FPC F/D(B)出口流量制御弁	G41-FCV-11B	RB-4-9	○	駆動部	5Yc	分解点検
						1Yc	機能・性能試験
					本体	5Yc	分解点検
燃料冷却浄化系	FPC 送水ポンプ給水弁	7-18V71(00)	RB-5-1	○	駆動部	6Yc	特性試験
燃料冷却浄化系	SKIMMER SURGE TANK HI LEVEL(1号)	LSH-G41-3004	RB-5-6	○	本体	1Yc	特性試験
燃料冷却浄化系	SKIMMER SURGE TANK LO LEVEL(1号)	LSL-G41-3005	RB-5-6	○	本体	1Yc	特性試験
燃料冷却浄化系	SKIMMER SURGE TANK LO LEVEL(2号)	LSLL-G41-3006	RB-5-6	○	本体	1Yc	特性試験
燃料冷却浄化系	SKIMMER SURGE TANK HI LEVEL(伝送器)	LT-G41-N100	RB-5-6	○	本体	1Yc	特性試験
燃料冷却浄化系	PUMP SECTION LO PRESS & ALARM(1号)	PSL-G41-3007A	RB-4-1	○	本体	1Yc	特性試験
燃料冷却浄化系	PUMP SECTION LO PRESS & ALARM(2号)	PSL-G41-3007B	RB-4-1	○	本体	1Yc	特性試験
燃料冷却浄化系	FUEL POOL TEMP(検出器)	TE-G41-3015	SFP内	○	本体	1Yc	特性試験
交流電源設備	交流分電盤	PML-VITAL-AC-1	CS-2-1	○	本体	9C	特性試験
交流電源設備	交流分電盤2	PML-VITAL-AC-2	CS-1-5	○	本体	9C	特性試験
交流電源設備	交流電源装置	PML-SUPS	CS-1-5	○	本体	1C	特性試験
非常用再循環系	FRYS INST. RACK(A)	PML-LR-R-43	RB-5-1	○	伝送器	1C	特性試験
非常用再循環系	FRYS INST. RACK(B)	PML-LR-R-44	RB-5-14	○	伝送器	1C	特性試験
非常用再循環系	FRYS 1号(A)制御盤	PML-LCP-122	RB-5-14	○	本体	10C	簡易点検
非常用再循環系	FRYS 1号(B)制御盤	PML-LCP-125	RB-5-14	○	本体	10C	簡易点検
非常用再循環系	FRYS 排風機(A)	HVAC-E2-13A	RB-5-14	○	電動機	78H	分解点検
						1C	特性試験
					本体	78H	分解点検
非常用再循環系	FRYS 排風機(B)	HVAC-E2-13B	RB-5-14	○	電動機	78H	分解点検
						1C	特性試験
					本体	78H	分解点検
非常用再循環系	FRYS 1号(A)71号	FRYS-FLT-A	RB-5-14	○	本体	13H	開放点検
非常用再循環系	FRYS 1号(B)71号	FRYS-FLT-B	RB-5-14	○	本体	13H	開放点検

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (15/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
非常用1号再循環系	FRYS トリチン(A)ヒータ	FRYS-HEX-EDK2-6A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS トリチン(B)ヒータ	FRYS-HEX-EDK2-6B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS トリチン(A)入口ポンプ	SB2-6A(A0)	RB-5-14	○	駆動部	195M	分解点検
					本体	10C	簡易点検
非常用1号再循環系	FRYS トリチン(B)入口ポンプ	SB2-6B(A0)	RB-5-14	○	駆動部	195M	分解点検
					本体	10C	簡易点検
非常用1号再循環系	FRYS トリチン(A)出口ポンプ	SB2-7A(A0)	RB-5-14	○	駆動部	195M	分解点検
					本体	10C	簡易点検
非常用1号再循環系	FRYS トリチン(B)出口ポンプ	SB2-7B(A0)	RB-5-14	○	駆動部	195M	分解点検
					本体	10C	簡易点検
非常用1号再循環系	FRYS 通常排気系隔離弁(A)	SB2-12A(A0)	RB-5-14	○	駆動部	195M	分解点検
					本体	10C	簡易点検
非常用1号再循環系	FRYS 通常排気系隔離弁(B)	SB2-12B(A0)	RB-5-14	○	駆動部	195M	分解点検
					本体	10C	簡易点検
非常用1号再循環系	FRYS 循環ポンプ (SB2-13A)	SB2-13A(A0)	RB-5-14	○	駆動部	195M	分解点検
					本体	10C	簡易点検
非常用1号再循環系	FRYS 循環ポンプ (SB2-13B)	SB2-13B(A0)	RB-5-14	○	駆動部	195M	分解点検
					本体	10C	簡易点検
非常用1号再循環系	FRYS TRAIN (A) ADSORBER IN TEMP (検出器)	TE-26-909A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS TRAIN (B) ADSORBER IN TEMP (検出器)	TE-26-909B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS TRAIN (A) ADSORBER OUT TEMP (検出器)	TE-26-910A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS TRAIN (B) ADSORBER OUT TEMP (検出器)	TE-26-910B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS (A) AIR HEATER AUTO RESET (検出器)	TE-26-940A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS (B) AIR HEATER AUTO RESET (検出器)	TE-26-940B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS (A) AIR HEATER HAND RESET (検出器)	TE-26-941A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS (B) AIR HEATER HAND RESET (検出器)	TE-26-941B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS TRAIN (A) INLET TEMP (検出器)	TE-26-31.1A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS TRAIN (B) INLET TEMP (検出器)	TE-26-31.1B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS TRAIN (A) OUTLET TEMP (検出器)	TE-26-31.4A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号再循環系	FRYS TRAIN (B) OUTLET TEMP (検出器)	TE-26-31.4B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (16/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
非常用1号炉系	SGTS トリッパ(A)リリ制御盤	PNL-LCP-116	RB-5-14	○	本体	15C	簡易点検
非常用1号炉系	SGTS トリッパ(B)リリ制御盤	PNL-LCP-119	RB-5-14	○	本体	15C	簡易点検
非常用1号炉系	SGTS INST. BACK (A)	PNL-LR-R-47	RB-5-14	○	伝送器	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS INST. BACK (B)	PNL-LR-R-48	RB-5-14	○	伝送器	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS 排風機(A)	HVAC-E2-10A	RB-5-14	○	電動機	78H	分解点検
					本体	78H 1C	分解点検 機能・性能試験
非常用1号炉系	SGTS 排風機(B)	HVAC-E2-10B	RB-5-14	○	電動機	78H	分解点検
					本体	78H 1C	分解点検 機能・性能試験
非常用1号炉系	SGTS トリッパ(A)リリ	SGTS-FLT-A	RB-5-14	○	本体	13M 1C	開放点検 機能・性能試験
非常用1号炉系	SGTS トリッパ(B)リリ	SGTS-FLT-B	RB-5-14	○	本体	13M 1C	開放点検 機能・性能試験
非常用1号炉系	SGTS トリッパ(A)リリ	SGTS-HEX-EXC2-7A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS トリッパ(B)リリ	SGTS-HEX-EXC2-7B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS トリッパ(A)入口リリ	SB2-9A(A0)	RB-5-14	○	駆動部	195M 10C 1C	分解点検 簡易点検 機能・性能試験
					本体	130M 1C	分解点検 機能・性能試験
非常用1号炉系	SGTS トリッパ(B)入口リリ	SB2-9B(A0)	RB-5-14	○	駆動部	195M 10C 1C	分解点検 簡易点検 機能・性能試験
					本体	130M 1C	分解点検 機能・性能試験
非常用1号炉系	SGTS トリッパ(A)出口リリ	SB2-11A(A0)	RB-5-14	○	駆動部	195M 10C 1C	分解点検 簡易点検 機能・性能試験
					本体	130M 1C	分解点検 機能・性能試験
非常用1号炉系	SGTS トリッパ(B)出口リリ	SB2-11B(A0)	RB-5-14	○	駆動部	195M 10C 1C	分解点検 簡易点検 機能・性能試験
					本体	130M 1C	分解点検 機能・性能試験
非常用1号炉系	SGTS TRAIN (A) ADSOWER IN TEMP (検出器)	TE-26-921A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS TRAIN (B) ADSOWER IN TEMP (検出器)	TE-26-921B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS TRAIN (A) ADSOWER OUT TEMP (検出器)	TE-26-922A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS TRAIN (B) ADSOWER OUT TEMP (検出器)	TE-26-922B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS (A) AIR HEATER AUTO RESET (検出器)	TE-26-950A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS (B) AIR HEATER AUTO RESET (検出器)	TE-26-950B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS (A) AIR HEATER HAND RESET (検出器)	TE-26-951A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS (B) AIR HEATER HAND RESET (検出器)	TE-26-951B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS TRAIN (A) INLET TEMP (検出器)	TE-26-30.1A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1号炉系	SGTS TRAIN (B) INLET TEMP (検出器)	TE-26-30.1B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (17/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
非常用1'系処理系	SGTS TRAIN (A) OUTLET TEMP (検出器)	TE-26-30-4A	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1'系処理系	SGTS TRAIN (B) OUTLET TEMP (検出器)	TE-26-30-4B	RB-5-14	○	本体	1C	特性試験
非常用1'系再循環系/非常用1'系処理系	FRYS-SGTS(A)HEATER CONT. PNL	LCP-133	RB-5-14	○	計装品	1C	特性試験
非常用1'系再循環系/非常用1'系処理系	FRYS-SGTS(B)HEATER CONT. PNL	LCP-134	RB-5-14	○	計装品	1C	特性試験
非常用1'系再循環系/非常用1'系処理系	FRYS SGTS 系入口弁 (SB2-4A)	SB2-4A(A0)	RB-5-1	○	駆動部	195M	分解点検
						10C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
						130M	分解点検
非常用1'系再循環系/非常用1'系処理系	FRYS SGTS 系入口弁 (SB2-4B)	SB2-4B(A0)	RB-5-1	○	駆動部	195M	分解点検
						10C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
						130M	分解点検
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 制御盤	DGP/2C	CS-B1-5	○	本体	1C	特性試験
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 中性点接地変圧器盤	PNL-NGT-2C	CS-B1-5	○	本体	1C	特性試験
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 自動電圧調整器盤	PNL-DG-AVR-2C	CS-B1-5	○	本体	1C	特性試験
非常用1'系2号発電設備	DG 2C シリスタ整流器盤	PNL-DG-SR-2C	CS-B1-5	○	本体	1C	特性試験
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 交流177V盤	PNL-ACK-2C	CS-B1-5	○	本体	1C	特性試験
非常用1'系2号発電設備	DG 2C シリスタ整流器用変圧器盤	PNL-SRT-2C	CS-B1-5	○	本体	1C	特性試験
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 可飽和変流器	PNL-SCT-2C	CS-B1-5	○	本体	1C	特性試験
非常用1'系2号発電設備	DG 2C INST. RACK	R-56	CS-B1-5	○	計装品	1C	特性試験
非常用1'系2号発電設備	DG 2C DIESEL ENGINE INST. RACK	R-65	CS-B1-5	○	計装品	1C	特性試験
非常用1'系2号発電設備	2C 177V発電機/機関	GEN-DG-2C/DGL-2C	CS-B1-5	○	発電機	91M	分解点検
						1C	特性試験
					機関	26M	簡易点検
						13M	簡易点検
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 吸気系 (L側)	DG-2C-AE-FLT-INTAKE-L	C/S 屋上	○	本体	39M	開放点検
						39M	開放点検
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 吸気系 (R側)	DG-2C-AE-FLT-INTAKE-R	C/S 屋上	○	本体	39M	開放点検
						39M	開放点検
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 潤滑油ポンプ	DG-VSL-2C-DGLO-1	CS-B2-5	○	本体	1C	外観点検
非常用1'系2号発電設備	DG 2C シリスタ整流器	DG-VSL-2C-DGLO-2	CS-B1-5	○	本体	1Y	漏えい試験
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 機関冷却管	7-8-DGLO-113	C/S 屋上	○	本体	8C	外観点検
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 潤滑油ポンプ冷却管	7-6-DGLO-125	C/S 屋上	○	-	-	-
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 燃料ポンプ (燃料ポンプ)	DG-VSL-2C-DO-1	CS-B1-8	○	本体	1C	漏えい試験
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 燃料ポンプ冷却管	3-11/4-DO-120	C/S 屋上	○	-	-	-
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 始動用電磁弁 (No.1)	3-14E147D-1	CS-B1-5	○	本体	13M	分解点検
						130M	簡易点検
非常用1'系2号発電設備	DG 2C 始動用電磁弁 (No.2)	3-14E147D-2	CS-B1-5	○	本体	13M	分解点検
						130M	簡易点検
非常用1'系2号発電設備	燃料ポンプ冷却管 (燃料ポンプ) (2C)	DG-LITS-105	CS-B1-8	○	本体	1C	特性試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (18/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 制御盤	DGP/2D	CS-B1-3	○	本体	1C	特性試験
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 中性点接地変圧器盤	PNL-NGT-2D	CS-B1-3	○	本体	1C	特性試験
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 自動電圧調整器盤	PNL-DG-AVR-2D	CS-B1-3	○	本体	1C	特性試験
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D シリコン整流器盤	PNL-DG-SR-2D	CS-B1-3	○	本体	1C	特性試験
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 交流リレー盤	PNL-ACX-2D	CS-B1-3	○	本体	1C	特性試験
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D シリコン整流器用変圧器盤	PNL-SRT-2D	CS-B1-3	○	本体	1C	特性試験
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 可飽和変流器	PNL-SCT-2D	CS-B1-3	○	本体	1C	特性試験
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D INST. RACK	R-52	CS-B1-3	○	計装品	1C	特性試験
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D DIESEL ENGINE INST. RACK	R-64	CS-B1-3	○	計装品	1C	特性試験
非常用ディーゼル発電設備	2D ディーゼル発電機/機関	GEN-DG-2D/DG-2D	CS-B1-3	○	発電機	91M	分解点検
						1C	特性試験
非常用ディーゼル発電設備	2D ディーゼル発電機/機関	GEN-DG-2D/DG-2D	CS-B1-3	○	機関	26M	簡易点検
						13M	簡易点検
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 吸気系リレー (L側)	DG-2D-AE-FLT-INTAKE-L	(C/S 屋上)	○	本体	39M	開放点検
						1C	特性試験
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 吸気系リレー (R側)	DG-2D-AE-FLT-INTAKE-R	(C/S 屋上)	○	本体	39M	開放点検
						1C	特性試験
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 潤滑油ポンプ	DG-YSL-2D-DGLO-1	CS-B2-3	○	本体	1C	外観点検
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D シラップ油ポンプ	DG-YSL-2D-DGLO-2	CS-B1-3	○	本体	1Y	漏えい試験
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 機関冷却管	7-8-DGLO-13	(C/S 屋上)	○	本体	8C	外観点検
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 潤滑油ポンプ冷却管	7-6-DGLO-25	(C/S 屋上)	○	-	-	-
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 燃料油ポンプ (燃料ポンプ)	DG-YSL-2D-DO-1	CS-B1-6	○	本体	1C	漏えい試験
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 燃料油ポンプ冷却管	3-11/4-DO-20	(C/S 屋上)	○	-	-	-
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 始動用電磁弁 (No.1)	3-14-E4TD-1	CS-B1-3	○	本体	13M	分解点検
						130M	簡易点検
非常用ディーゼル発電設備	DG 2D 始動用電磁弁 (No.2)	3-14-E4TD-2	CS-B1-3	○	本体	13M	分解点検
						130M	簡易点検
非常用ディーゼル発電設備	燃料ポンプ冷却管リレー (2D)	DG-LITS-5	CS-B1-6	○	本体	1C	特性試験
非常用ディーゼル発電機海水系	DGSWポンプ (2C)	DGSW-PMP-2C	(取水口)	○	電動機	78M	分解点検
						1C	特性試験
非常用ディーゼル発電機海水系	DGSWポンプ (2D)	DGSW-PMP-2D	(取水口)	○	本体	26M	分解点検
						1C	機能・性能試験
非常用ディーゼル発電機海水系	DGSWポンプ (2D)	DGSW-PMP-2D	(取水口)	○	電動機	78M	分解点検
						1C	特性試験
非常用ディーゼル発電機海水系	DGSWポンプ (2D)	DGSW-PMP-2D	(取水口)	○	本体	26M	分解点検
						1C	機能・性能試験
高圧炉心クォーレイション系ディーゼル発電設備	DG HPCS 制御盤	DGP/2H	CS-B1-4	○	本体	1C	特性試験
高圧炉心クォーレイション系ディーゼル発電設備	HPCS DG 中性点接地変圧器盤	PNL-NGT-HPCS	CS-B1-4	○	本体	1C	特性試験
高圧炉心クォーレイション系ディーゼル発電設備	HPCS DG 自動電圧調整器盤	PNL-DG-AVR-HPCS	CS-B1-4	○	本体	1C	特性試験
高圧炉心クォーレイション系ディーゼル発電設備	HPCS DG シリコン整流器盤	PNL-DG-SR-HPCS	CS-B1-4	○	本体	1C	特性試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (19/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
高圧炉心冷却系A/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z	HPCS DG 交流機	PNL-ACK-HPCS	CS-B1-4	○	本体	1C	特性試験
	HPCS DG ショック整流器用変圧器	PNL-SRT-HPCS	CS-B1-4	○	本体	1C	特性試験
	HPCS DG 可飽和変流器	PNL-SCT-HPCS	CS-B1-4	○	本体	1C	特性試験
	HPCS INST. RACK	R-60	CS-B1-4	○	圧力スイッチ	1C	特性試験
	HPCS DIESEL ENGINE INST. RACK	R-66	CS-B1-4	○	伝送器, 圧力スイッチ	1C	特性試験
	HPCS A/B/C/D/E/F/G/H/I/J/K/L/M/N/O/P/Q/R/S/T/U/V/W/X/Y/Z	GEN-DG-HPCS/DGE-HPCS	CS-B1-4	○	発電機	91M	分解点検
1C						特性試験	
					機間	2M	簡易点検
						13M	簡易点検
						1C	機能・性能試験
	HPCS DG 吸気系A/B (L側)	DG-HPCS-AE-FLT-INTAKE-L	(C/S 屋上)	○	本体	39M	開放点検
	HPCS DG 吸気系A/B (R側)	DG-HPCS-AE-FLT-INTAKE-R	(C/S 屋上)	○	本体	39M	開放点検
	HPCS DG 潤滑油ポンプ	DG-VSL-HPCS-DGL0-1	CS-B2-4	○	本体	1C	外観点検
	HPCS DG シリンド-油切	DG-VSL-HPCS-DGL0-2	CS-B1-4	○	本体	1Y	漏えい試験
	HPCS DG 機関ベント管	7-8-DGL0-213	(C/S 屋上)	○	本体	8C	外観点検
	HPCS DG 潤滑油ポンプベント管	7-6-DGL0-225	(C/S 屋上)	○	-	-	-
	HPCS DG 燃料油ポンプ (燃料ポンプ)	DG-VSL-HPCS-DO-1	CS-B1-7	○	本体	1C	漏えい試験
	HPCS DG 燃料油ポンプベント管	3-11/4-DO-220	(C/S 屋上)	○	-	-	-
	HPCS DG 起動用電磁弁 (No. 1)	3-14E24TD-1	CS-B1-4	○	本体	13M	分解点検
	HPCS DG 起動用電磁弁 (No. 2)	3-14E24TD-2	CS-B1-4	○	本体	13M	分解点検
						130M	簡易点検
	燃料ポンプ液面センサー (HPCS)	DG-LITS-205	CS-B1-7	○	本体	1C	特性試験
	HPCS-DGSHポンプ機海水系	DGSB-PMP-HPCS	(取水口)	○	電動機	78M	分解点検
1C					特性試験		
					本体	20M	分解点検
						1C	機能・性能試験
	DG 2Cポンプ	PV2-10	(C/S 屋上)	○	電動機	65M	分解点検
	DG 2Cポンプ	PV2-11	(C/S 屋上)	○	電動機	65M	分解点検
	DG 2Dポンプ	PV2-6	(C/S 屋上)	○	電動機	65M	分解点検
	DG 2Dポンプ	PV2-7	(C/S 屋上)	○	電動機	65M	分解点検
	DG HPCSポンプ	PV2-8	(C/S 屋上)	○	電動機	65M	分解点検
	DG HPCSポンプ	PV2-9	(C/S 屋上)	○	電動機	65M	分解点検
	2D DG 室外気取入ポンプ (A)	A0-T41-F060A	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検
						1C	機能・性能試験
	2D DG 室外気取入ポンプ (B)	A0-T41-F060B	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検
						1C	機能・性能試験
	2D DG 室外気取入ポンプ (C)	A0-T41-F060C	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検
						1C	機能・性能試験



第 1 表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (20 / 38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
2号炉 2D DG 室外気取入システム (D)	MO-T41-F060D	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2D DG 室外気取入システム (E)	MO-T41-F060E	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2D DG 室外気取入システム (F)	MO-T41-F060F	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2D DG 室外気取入システム (A)	MO-T41-F061A	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2D DG 室外気取入システム (B)	MO-T41-F061B	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2D DG 室外気取入システム (C)	MO-T41-F061C	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2D DG 室外気取入システム (D)	MO-T41-F061D	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
HVAC D/G 2D EQUIP ROOM VENTILATING SYS.	PNL-T41-P008	CS-B1-3	○	本体	1C	簡易点検	
					52M	分解点検	
HPCS DG 室外気取入システム (A)	MO-T41-F062A	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
HPCS DG 室外気取入システム (B)	MO-T41-F062B	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
HPCS DG 室外気取入システム (C)	MO-T41-F062C	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
HPCS DG 室外気取入システム (D)	MO-T41-F062D	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
HPCS DG 室外気取入システム (A)	MO-T41-F063A	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
HPCS DG 室外気取入システム (B)	MO-T41-F063B	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
HPCS DG 室外気取入システム (C)	MO-T41-F063C	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
HPCS DG 室外気取入システム (D)	MO-T41-F063D	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
HVAC D/G HPCS EQUIP ROOM VENTILATING SYS.	PNL-T41-P009	CS-B1-4	○	本体	1C	簡易点検	
					52M	分解点検	
2号炉 2C DG 室外気取入システム (A)	MO-T41-F064A	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2C DG 室外気取入システム (B)	MO-T41-F064B	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2C DG 室外気取入システム (C)	MO-T41-F064C	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2C DG 室外気取入システム (D)	MO-T41-F064D	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2C DG 室外気取入システム (A)	MO-T41-F065A	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2C DG 室外気取入システム (B)	MO-T41-F065B	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2C DG 室外気取入システム (C)	MO-T41-F065C	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
2号炉 2C DG 室外気取入システム (D)	MO-T41-F065D	(C/S 屋上)	○	本体	52M	分解点検	
					1C	機能・性能試験	
HVAC D/G 2C EQUIP ROOM VENTILATING SYS.	PNL-T41-P010	CS-B1-5	○	本体	1C	簡易点検	
					78M	分解点検	
2号炉 2号炉 燃料移送システム (A)	DO-PM-A	(屋外)	○	本体	39M	分解点検	
					1C	簡易点検	

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (21/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
D17-B1発電機燃料油系	燃料移送ポンプ(B)	D0-PMP-B	(屋外)	○	電動機	788	分解点検
					本体	394	分解点検
						1C	磨耗点検
D17-B2発電機燃料油系	燃料移送ポンプ(C)	D0-PMP-C	(屋外)	○	電動機	788	分解点検
					本体	394	分解点検
						1C	磨耗点検
D17-B3発電機燃料油系	軽油貯蔵タンク	-	(屋外)	○	本体	10T	磨耗点検
						1T	漏えい試験
プロセ放射線モニタ	MAIN STEAM LINE (A) RADIATION MONITOR (検出器)	D17-N003A	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	MAIN STEAM LINE (B) RADIATION MONITOR (検出器)	D17-N003B	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	MAIN STEAM LINE (C) RADIATION MONITOR (検出器)	D17-N003C	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	MAIN STEAM LINE (D) RADIATION MONITOR (検出器)	D17-N003D	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	原子炉建屋排気筒A (検出器)	D17-N009A	CS-3-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	原子炉建屋排気筒B (検出器)	D17-N009B	CS-3-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	原子炉建屋排気筒C (検出器)	D17-N009C	CS-3-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	原子炉建屋排気筒D (検出器)	D17-N009D	CS-3-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	R/B REFUELING EXHAUST RADIATION MONITOR (A) (検出器)	D17-N300A	RB-6-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	R/B REFUELING EXHAUST RADIATION MONITOR (B) (検出器)	D17-N300B	RB-6-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	R/B REFUELING EXHAUST RADIATION MONITOR (C) (検出器)	D17-N300C	RB-6-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	R/B REFUELING EXHAUST RADIATION MONITOR (D) (検出器)	D17-N300D	RB-6-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	OFF GAS PRE HOLD UP(A)アリアフ	RAM-D17-R020A	TB-1-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	OFF GAS PRE HOLD UP(B)アリアフ	RAM-D17-R020B	TB-1-2	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	OFF GAS PRE HOLD UP(A) (検出器)	D17-N002A	TB-B1-1	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	OFF GAS PRE HOLD UP(B) (検出器)	D17-N002B	TB-B1-1	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	OFF GAS PRE TREATMENT(A)アリアフ	RAM-D17-R030A	RW-2-11	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	OFF GAS PRE TREATMENT(B)アリアフ	RAM-D17-R030B	RW-2-11	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	OFF GAS PRE TREATMENT(A) (検出器)	D17-N002A	RW-2-11	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	OFF GAS PRE TREATMENT(B) (検出器)	D17-N002B	RW-2-11	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	OFF GAS POST TREATMENT(A)アリアフ	RAM-D17-R500A	RW-2-3	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	OFF GAS POST TREATMENT(B)アリアフ	RAM-D17-R500B	RW-2-3	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	OFF GAS POST TREATMENT SAMPLE RACK	D17-J011	RW-2-3	○	本体	1C	機能・性能試験
プロセ放射線モニタ	OFF GAS POST TREATMENT SAMPLE RACK	D17-J011-1	RW-2-3	○	-	-	-
プロセ放射線モニタ	OFF GAS PRE HOLD UP LINEAR (検出器)	D17-N0021	TB-B1-1	○	本体	1C	特性試験
プロセ放射線モニタ	光変換器型収納盤	D17-P112	CS-B1-1	○	-	-	-
プロセ放射線モニタ	光変換器型収納盤	-	スリッド建屋	○	-	-	-
プロセ放射線モニタ	排気筒A型盤	D17-P012	スリッド建屋	○	本体	1C	特性試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (22/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
プルトニウム照射系	主排気筒へのダクト(A)	D17-P101A	3号炉建屋	○	検出器	1C	特性試験
プルトニウム照射系	主排気筒へのダクト(B)	D17-P101B	3号炉建屋	○	検出器	1C	特性試験
ほう酸水注入系	SLC 計装ポンプ	H22-P011	RB-5-3	○	計装品	1C	特性試験
ほう酸水注入系	ほう酸水注入ポンプ(A)	SLC-PMP-C001A	RB-5-3	○	電動機	1C	特性試験
					本体	130M	機能・性能試験
ほう酸水注入系	ほう酸水注入ポンプ(B)	SLC-PMP-C001B	RB-5-3	○	電動機	1C	特性試験
					本体	130M	機能・性能試験
ほう酸水注入系	ほう酸水貯蔵タンク	SLC-VSL-A001	RB-5-3	○	本体	130M	開放点検
ほう酸水注入系	SLC 貯蔵タンク出口弁(A)	C41-F001A(000)	RB-5-3	○	駆動部	150M	分解点検
					本体	4C	特性試験
ほう酸水注入系	SLC 貯蔵タンク出口弁(B)	C41-F001B(000)	RB-5-3	○	駆動部	150M	分解点検
					本体	4C	特性試験
ほう酸水注入系	SLC 爆破弁(A)	C41-F004A	RB-5-3	○	本体	20M	分解点検
ほう酸水注入系	SLC 爆破弁(B)	C41-F004B	RB-5-3	○	本体	20M	分解点検
ほう酸水注入系	SLC 逆止弁出口弁	C41-FF004(A00)	RB-3-2	○	駆動部	10C	簡易点検
					本体	52M	分解点検
ほう酸水注入系	SLC PUMP DISCH PRESS (伝送器)	PT-C41-N004	RB-5-3	○	本体	1C	機能・性能試験
補機冷却海水系	ASWポンプ(A)	ASW-PMP-A	(取水口)	○	電動機	52M	分解点検
					本体	1C	特性試験
補機冷却海水系	ASWポンプ(B)	ASW-PMP-B	(取水口)	○	電動機	39M	分解点検
					本体	13M	簡易点検
補機冷却海水系	ASWポンプ(C)	ASW-PMP-C	(取水口)	○	電動機	52M	分解点検
					本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA DIFF TEMP (A) (検出器)	TE-E31-N029A	RB-3-1	○	本体	39M	分解点検
漏えい検出系	MSL AREA DIFF TEMP (B) (検出器)	TE-E31-N029B	RB-3-1	○	本体	13M	簡易点検
漏えい検出系	MSL AREA DIFF TEMP (C) (検出器)	TE-E31-N029C	RB-3-1	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA DIFF TEMP (D) (検出器)	TE-E31-N029D	RB-3-1	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA DIFF TEMP (A) (検出器)	TE-E31-N030A	RB-2-9	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA DIFF TEMP (B) (検出器)	TE-E31-N030B	RB-2-9	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA DIFF TEMP (C) (検出器)	TE-E31-N030C	RB-2-9	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA DIFF TEMP (D) (検出器)	TE-E31-N030D	RB-2-9	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (A) (検出器)	TE-E31-N031A	RB-2-1	○	本体	1C	特性試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (23/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (B) (検出器)	TE-E31-N031B	RB-2-1	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (C) (検出器)	TE-E31-N031C	RB-2-1	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (D) (検出器)	TE-E31-N031D	RB-2-1	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (A) (検出器)	TE-E31-N039A	TB-1-15	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (B) (検出器)	TE-E31-N039B	TB-1-15	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (C) (検出器)	TE-E31-N039C	TB-1-15	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (D) (検出器)	TE-E31-N039D	TB-1-15	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (A) (検出器)	TE-E31-N040A	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (B) (検出器)	TE-E31-N040B	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (C) (検出器)	TE-E31-N040C	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (D) (検出器)	TE-E31-N040D	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (A) (検出器)	TE-E31-N041A	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (B) (検出器)	TE-E31-N041B	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (C) (検出器)	TE-E31-N041C	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (D) (検出器)	TE-E31-N041D	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (A) (検出器)	TE-E31-N042A	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (B) (検出器)	TE-E31-N042B	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (C) (検出器)	TE-E31-N042C	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (D) (検出器)	TE-E31-N042D	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (A) (検出器)	TE-E31-N043A	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (B) (検出器)	TE-E31-N043B	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (C) (検出器)	TE-E31-N043C	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (D) (検出器)	TE-E31-N043D	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (A) (検出器)	TE-E31-N044A	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (B) (検出器)	TE-E31-N044B	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (C) (検出器)	TE-E31-N044C	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (D) (検出器)	TE-E31-N044D	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (A) (検出器)	TE-E31-N045A	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (B) (検出器)	TE-E31-N045B	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (C) (検出器)	TE-E31-N045C	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (D) (検出器)	TE-E31-N045D	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (A) (検出器)	TE-E31-N046A	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい検出系	MSL AREA TEMP (B) (検出器)	TE-E31-N046B	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験

第 1 表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (24/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
漏えい・検出系	MSL AREA TEMP (C) (検出器)	TE-E31-N046C	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい・検出系	MSL AREA TEMP (D) (検出器)	TE-E31-N046D	TB-1-16	○	本体	1C	特性試験
漏えい・検出系	MSL AREA TEMP (A) (検出器)	TE-E31-N047A	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい・検出系	MSL AREA TEMP (B) (検出器)	TE-E31-N047B	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい・検出系	MSL AREA TEMP (C) (検出器)	TE-E31-N047C	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい・検出系	MSL AREA TEMP (D) (検出器)	TE-E31-N047D	TB-1-14	○	本体	1C	特性試験
漏えい・検出系	核分裂生成物 $\rightarrow$ 系 $\rightarrow$ ラジ $\rightarrow$ 弁	E31-F010A(M)	RB-3-2	○	駆動部	52M	分解点検
						10C	簡易点検
						1C	機能・性能試験
漏えい・検出系	核分裂生成物 $\rightarrow$ 系 $\rightarrow$ ラジ $\rightarrow$ 弁	E31-F010B(M)	RB-01-1	○	本体	52M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
漏えい・検出系	核分裂生成物 $\rightarrow$ 系 $\rightarrow$ ラジ $\rightarrow$ 弁	E31-F010B(M)	RB-01-1	○	駆動部	52M	分解点検
						10C	簡易点検
						1C	機能・性能試験
漏えい・検出系	核分裂生成物 $\rightarrow$ 系 $\rightarrow$ ラジ $\rightarrow$ 弁	E31-F011A(M)	RB-3-2	○	本体	52M	分解点検
						10C	簡易点検
						1C	機能・性能試験
漏えい・検出系	核分裂生成物 $\rightarrow$ 系 $\rightarrow$ ラジ $\rightarrow$ 弁	E31-F011B(M)	RB-01-1	○	駆動部	52M	分解点検
						10C	簡易点検
						1C	機能・性能試験
可燃性 $\rightarrow$ 濃度制御系	FCS $\rightarrow$ 制御盤(A)	FNL-FCS-HEATER-A	RB-3-1	○	本体	1C	特性試験
						1C	特性試験
						1C	特性試験
可燃性 $\rightarrow$ 濃度制御系	FCS $\rightarrow$ 制御盤(B)	FNL-FCS-HEATER-B	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
						1C	特性試験
						1C	特性試験
可燃性 $\rightarrow$ 濃度制御系	FCS (A) 系統流量計装	-	RB-3-1	○	伝送器	1C	特性試験
						1C	特性試験
						1C	特性試験
可燃性 $\rightarrow$ 濃度制御系	FCS (B) 系統流量計装	-	RB-3-2	○	伝送器	1C	特性試験
						1C	特性試験
						1C	特性試験
可燃性 $\rightarrow$ 濃度制御系	FCS $\rightarrow$ 9(A)	FCS-BVA-T49-BLOWER-A	RB-3-1	○	電動機	104M	分解点検
						1C	特性試験
						65M	分解点検
可燃性 $\rightarrow$ 濃度制御系	FCS $\rightarrow$ 9(B)	FCS-BVA-T49-BLOWER-B	RB-3-2	○	電動機	104M	分解点検
						1C	特性試験
						65M	分解点検
可燃性 $\rightarrow$ 濃度制御系	FCS 再結合器(A)	FCS-HEX-1A	RB-3-1	○	本体	130M	開放点検
						1C	漏えい・試験
						130M	開放点検
可燃性 $\rightarrow$ 濃度制御系	FCS 再結合器(B)	FCS-HEX-1B	RB-3-2	○	本体	130M	開放点検
						1C	漏えい・試験
						130M	開放点検
可燃性 $\rightarrow$ 濃度制御系	FCS 加熱器(A)	FCS-HEX-HTR-A	RB-3-1	○	本体	130M	開放点検
						1C	漏えい・試験
						130M	開放点検
可燃性 $\rightarrow$ 濃度制御系	FCS 加熱器(B)	FCS-HEX-HTR-B	RB-3-2	○	本体	130M	開放点検
						1C	漏えい・試験
						130M	開放点検
可燃性 $\rightarrow$ 濃度制御系	FCS (A) 冷却器冷却水元弁	E12-FF104A(O0)	RB-3-1	○	駆動部	156M	分解点検
						4C	特性試験
						1C	機能・性能試験
可燃性 $\rightarrow$ 濃度制御系	FCS (A) 冷却器冷却水元弁	E12-FF104A(O0)	RB-3-1	○	本体	65M	簡易点検
						130M	分解点検
						2C	機能・性能試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (25/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS (B) 冷却器冷却水弁	E12-FF10(B) (00)	RB-3-2	○	駆動部	160H	分解点検
						4C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	69H	漏洩点検
						130H	分解点検
						2C	機能・性能試験
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS 冷却器冷却水入口弁	WV-10A (00)	RB-3-1	○	駆動部	160H	分解点検
						4C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	143H	分解点検
						2C	機能・性能試験
						160H	分解点検
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS 冷却器冷却水入口弁	WV-10B (00)	RB-3-2	○	駆動部	160H	分解点検
						4C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	143H	分解点検
						2C	機能・性能試験
						160H	分解点検
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS 入口制御弁	FV-1A (00)	RB-3-1	○	駆動部	169H	分解点検
						4C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	143H	分解点検
						169H	分解点検
						4C	特性試験
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS 入口制御弁	FV-1B (00)	RB-3-2	○	駆動部	169H	分解点検
						4C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	143H	分解点検
						169H	分解点検
						4C	特性試験
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS 再循環制御弁	FV-2A (00)	RB-3-1	○	駆動部	169H	分解点検
						4C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	130H	分解点検
						169H	分解点検
						4C	特性試験
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS 再循環制御弁	FV-2B (00)	RB-3-2	○	駆動部	169H	分解点検
						4C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	130H	分解点検
						169H	分解点検
						4C	特性試験
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS (A)系入口管隔離弁	2-43V-1A (00)	RB-2-8	○	駆動部	169H	分解点検
						4C	特性試験
						143H	分解点検
					本体	143H	分解点検
						1C	機能・性能試験
						160H	分解点検
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS (B)系入口管隔離弁	2-43V-1B (00)	RB-2-3	○	駆動部	169H	分解点検
						4C	特性試験
						143H	分解点検
					本体	143H	分解点検
						1C	機能・性能試験
						169H	分解点検
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS (A)系出口弁	2-43V-2A (00)	RB-1-1	○	駆動部	169H	分解点検
						4C	特性試験
						143H	分解点検
					本体	143H	分解点検
						1C	機能・性能試験
						169H	分解点検
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS (B)系出口弁	2-43V-2B (00)	RB-1-2	○	駆動部	169H	分解点検
						4C	特性試験
						143H	分解点検
					本体	143H	分解点検
						1C	機能・性能試験
						169H	分解点検
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS (A)系出口管隔離弁	2-43V-3A (00)	RB-1-1	○	駆動部	169H	分解点検
						4C	特性試験
						143H	分解点検
					本体	143H	分解点検
						1C	機能・性能試験
						169H	分解点検
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	PCS (B)系出口管隔離弁	2-43V-3B (00)	RB-1-2	○	駆動部	169H	分解点検
						4C	特性試験
						143H	分解点検
					本体	143H	分解点検
						1C	機能・性能試験
						169H	分解点検
可燃性 <sup>3</sup> 濃度制御系	7#7(A)入口3#濃度(検出器)	TE-T49-2A	RB-3-1	○	本体	1C	特性試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (26/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
可燃性ガス濃度制御系	炉入口温度(検出器)	TE-T49-2B	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
可燃性ガス濃度制御系	加熱管2/3位置(A)温度(検出器)	TE-T49-4A	RB-3-1	○	本体	1C	特性試験
可燃性ガス濃度制御系	加熱管2/3位置(B)温度(検出器)	TE-T49-4B	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
可燃性ガス濃度制御系	加熱管(A)出口温度(検出器)	TE-T49-5A	RB-3-1	○	本体	1C	特性試験
可燃性ガス濃度制御系	加熱管(B)出口温度(検出器)	TE-T49-5B	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
可燃性ガス濃度制御系	加熱管(A)出口壁温度(検出器)	TE-T49-6A	RB-3-1	○	本体	1C	特性試験
可燃性ガス濃度制御系	加熱管(B)出口壁温度(検出器)	TE-T49-6B	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
可燃性ガス濃度制御系	再結合(A)温度(検出器)	TE-T49-7A	RB-3-1	○	本体	1C	特性試験
可燃性ガス濃度制御系	再結合(B)温度(検出器)	TE-T49-7B	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
可燃性ガス濃度制御系	再結合器(A)壁温度(検出器)	TE-T49-8A	RB-3-1	○	本体	1C	特性試験
可燃性ガス濃度制御系	再結合器(B)壁温度(検出器)	TE-T49-8B	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
可燃性ガス濃度制御系	再循環(A)温度(検出器)	TE-T49-9A	RB-3-1	○	本体	1C	特性試験
可燃性ガス濃度制御系	再循環(B)温度(検出器)	TE-T49-9B	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC DIV-1計装	H22-P017	RB-B1-1	○	伝送器	1C	特性試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC DIV-2計装	H22-P029	RB-B1-2	○	伝送器	1C	特性試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC TURBINE CONTROL BOX	LCP-105	CS-3-1	○	本体	1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	FI-E51-3002計器収納箱	-	RB-B2-10	○	指示計	1C	特性試験
原子炉隔離時冷却系	RCICポンプ/モーター	RCIC-PMP-C001/TB8-RCIC-C002	RB-B2-10	○	ポンプ	65M	分解点検
					モーター	65M	分解点検
原子炉隔離時冷却系	RCIC真空ポンプ	RCIC-PMP-VAC	RB-B2-17	○	電動機	65M	分解点検
					本体	65M	分解点検
原子炉隔離時冷却系	RCIC復水ポンプ	RCIC-PMP-C00D	RB-B2-17	○	電動機	65M	分解点検
					本体	65M	分解点検
原子炉隔離時冷却系	油圧作動弁	GOVERNING VALVE	RB-B2-10	○	駆動部、弁	65M	分解点検
原子炉隔離時冷却系	ポンプ	-	RB-B2-10	○	本体	65M	分解点検
						150M	分解点検
原子炉隔離時冷却系	RCICポンプ/モーター	E51-C002(00)	RB-B2-10	○	駆動部	2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC注入弁	E51-P013(00)	RB-4-1	○	本体	65M	分解点検
						130M	簡易点検
原子炉隔離時冷却系	RCIC注入弁	E51-P013(00)	RB-4-1	○	駆動部	169M	分解点検
						2C	特性試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC注入弁	E51-P013(00)	RB-4-1	○	本体	1C	機能・性能試験
						7T	分解点検
原子炉隔離時冷却系	RCIC注入弁	E51-P013(00)	RB-4-1	○	駆動部	65M	簡易点検
						1C	機能・性能試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (27/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
原子炉隔離時冷却系	RCIC コフォー弁	E51-F019(00)	RB-02-10	○	駆動部	169H	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	130H	分解点検
						65M	簡易点検
						1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC マンダプレッシャープ水供給弁	E51-F031(00)	RB-02-10	○	駆動部	169H	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	130H	分解点検
						1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC 蒸気供給弁	E51-F045(00)	RB-02-10	○	駆動部	169H	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	150H	分解点検
						78H	簡易点検
						1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC 潤滑油ポンプ冷却水供給弁	E51-F046(00)	RB-02-10	○	駆動部	169H	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	130H	分解点検
						65M	簡易点検
						1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC 外側隔離弁	E51-F064(00)	RB-3-6	○	駆動部	169H	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	7T	分解点検
						65M	簡易点検
						1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC ナベシ排気弁	E51-F068(00)	RB-B1-1	○	駆動部	169H	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	130H	分解点検
						65M	簡易点検
						1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC 真空ポンプ 出口弁	E51-F069(00)	RB-B1-1	○	駆動部	169H	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	130H	分解点検
						65M	簡易点検
						1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC 弁(E51-F045)ベローズ弁	E51-F095(00)	RB-02-10	○	駆動部	169H	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
					本体	130H	分解点検
						65M	簡易点検
						1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC 弁(E51-F065)均圧弁	E51-F098(00)	RB-4-1	○	駆動部	10C	簡易点検
						65M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	65M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	PUMP DISCHARGE PRESS (スィッチ)	PSH-E51-3020	RB-02-10	○	本体	1C	特性試験
原子炉隔離時冷却系	PUMP DISCHARGE H/L FLOW (伝送器)	FT-E51-3002	RB-02-10	○	本体	1C	特性試験



第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (28/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
原子炉隔離時冷却系	RCIC PUMP DISCHARGE FLOW (伝送器)	FT-E51-N003	RB-B2-10	○	本体	1C	特性試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC 蒸気入口11"の排水弁	E51-F025 (A0)	RB-B2-10	○	本体	52M	分解点検
原子炉隔離時冷却系	RCIC 蒸気入口11"の排水弁	E51-F025 (A0)	RB-B2-10	○	本体	1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC 6"の排水弁復水排水弁	E51-F004 (A0)	RB-B2-17	○	本体	52M	分解点検
原子炉隔離時冷却系	RCIC 6"の排水弁復水排水弁	E51-F004 (A0)	RB-B2-17	○	本体	1C	機能・性能試験
原子炉隔離時冷却系	RCIC 6"の排水弁復水排水弁	E51-F005 (A0)	RB-B2-17	○	本体	52M	分解点検
原子炉隔離時冷却系	RCIC 6"の排水弁復水排水弁	E51-F005 (A0)	RB-B2-17	○	本体	1C	機能・性能試験
原子炉建屋換気系	HPCS エンジン室空調機	HVAC-AR2-1 (換気口)	RB-B2-19	○	電動機	5C	特性試験
					本体	1C	機能・性能試験
						39M	開放点検
						130M	分解点検
原子炉建屋換気系	HPCS エンジン室空調機	HVAC-AR2-2 (換気口)	RB-B2-1	○	電動機	5C	特性試験
					本体	1C	機能・性能試験
						39M	開放点検
						130M	分解点検
原子炉建屋換気系	LPCS エンジン室空調機	HVAC-AR2-3 (換気口)	RB-B2-13	○	電動機	5C	特性試験
					本体	1C	機能・性能試験
						39M	開放点検
						130M	分解点検
原子炉建屋換気系	RCIC エンジン・ポンプ室空調機	HVAC-AR2-4 (換気口)	RB-B2-17	○	電動機	5C	特性試験
					本体	1C	機能・性能試験
						39M	開放点検
						130M	分解点検
原子炉建屋換気系	RBR (D) エンジン室空調機	HVAC-AR2-5 (換気口)	RB-B2-3	○	電動機	5C	特性試験
					本体	1C	機能・性能試験
						39M	開放点検
						130M	分解点検
原子炉建屋換気系	RBR (C) エンジン室空調機	HVAC-AR2-6 (換気口)	RB-B2-6	○	電動機	5C	特性試験
					本体	1C	機能・性能試験
						39M	開放点検
						130M	分解点検
原子炉建屋換気系	RBR (A) エンジン室空調機	HVAC-AR2-7 (換気口)	RB-B2-7	○	電動機	5C	特性試験
					本体	1C	機能・性能試験
						39M	開放点検
						65M	分解点検
原子炉建屋換気系	C/S給気隔離ポンプ (通常系)	SB2-1A (A0)	CS-3-1	○	本体	52M	分解点検
					73.44-7	39M	開放点検
					電動弁	104M	機能点検
					本体	52M	分解点検
原子炉建屋換気系	C/S給気隔離ポンプ (通常系)	SB2-1B (A0)	CS-3-1	○	本体	117M	機能点検
					73.44-7	39M	開放点検
					電動弁	104M	機能点検
					本体	117M	機能点検

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (29/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
原子炉建屋換気系	C/S給気隔離ダンパ	SB2-1C(A0)	CS-3-1	○	本体	52M	分解点検
						117M	簡易点検
					71.5L→7	39M	開放点検
					電磁弁	104M	簡易点検
原子炉建屋換気系	C/S給気隔離ダンパ	SB2-1D(A0)	CS-3-1	○	本体	52M	分解点検
						117M	簡易点検
					71.5L→7	39M	開放点検
					電磁弁	104M	簡易点検
原子炉建屋換気系	C/S排気隔離ダンパ (通常系)	SB2-2A(A0)	CS-3-2	○	本体	52M	分解点検
						117M	簡易点検
					71.5L→7	39M	開放点検
					電磁弁	104M	簡易点検
原子炉建屋換気系	C/S排気隔離ダンパ (通常系)	SB2-2B(A0)	CS-3-2	○	本体	52M	分解点検
						117M	簡易点検
					71.5L→7	39M	開放点検
					電磁弁	104M	簡易点検
原子炉建屋換気系	C/S排気隔離ダンパ	SB2-2C(A0)	CS-3-3	○	本体	52M	分解点検
						117M	簡易点検
					71.5L→7	39M	開放点検
					電磁弁	104M	簡易点検
原子炉建屋換気系	C/S排気隔離ダンパ	SB2-2D(A0)	CS-3-3	○	本体	52M	分解点検
						117M	簡易点検
					71.5L→7	39M	開放点検
					電磁弁	104M	簡易点検
原子炉再循環系	原子炉再循環系(A)計装777	H22-P022	RB-2-9	○	伝送器	1C	特性試験
原子炉再循環系	原子炉再循環系(B)計装777	H22-P006	RB-2-8	○	伝送器	1C	特性試験
原子炉再循環系	原子炉再循環ポンプ(A)流量制御弁	B35-F060A-Y1(A0)	RB-3-6	○	駆動部	65M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験
原子炉再循環系	原子炉再循環ポンプ(B)流量制御弁	B35-F060B-Y2(A0)	RB-3-5	○	駆動部	65M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験
原子炉再循環系	原子炉再循環ポンプ(A)流量制御弁	B35-F060A-Y3(A0)	RB-3-6	○	駆動部	65M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験
原子炉再循環系	原子炉再循環ポンプ(B)流量制御弁	B35-F060B-Y4(A0)	RB-3-5	○	駆動部	65M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験
原子炉再循環系	原子炉再循環ポンプ(A)流量制御弁	B35-F060A-Y5(A0)	RB-3-6	○	駆動部	65M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験
原子炉再循環系	原子炉再循環ポンプ(B)流量制御弁	B35-F060B-Y6(A0)	RB-3-5	○	駆動部	65M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験
原子炉再循環系	原子炉再循環ポンプ(A)流量制御弁	B35-F060A-Y7(A0)	RB-3-6	○	駆動部	65M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (30/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
原子炉再循環系	原子炉再循環ポンプ(D)流量制御弁	B35-F000B-Y8(A0)	RB-3-5	○	駆動部	65M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	65M	分解点検
						1C	機能・性能試験
原子炉冷却材浄化系	CUR 外側隔離弁	G33-F004(00)	RB-2-10	○	駆動部	150M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	7Y	分解点検
						65M	簡易点検
高圧炉心スプレイ系	HPCS DIV-計装ポンプ	H22-F024	RB-B1-2	○	伝送器	1C	特性試験
						高圧炉心スプレイ系	HPCS ポンプ
1C	特性試験						
高圧炉心スプレイ系	HPCS ポンプ入口弁(CST側)	E22-F001(00)	RB-B1-2	○	駆動部	130M	分解点検
						1C	機能・性能試験
高圧炉心スプレイ系	HPCS ポンプ入口弁(CST側)	E22-F001(00)	RB-B1-2	○	本体	160M	分解点検
						2C	特性試験
高圧炉心スプレイ系	HPCS 注入弁	E22-F004(00)	RB-3-2	○	駆動部	1C	機能・性能試験
						7Y	分解点検
高圧炉心スプレイ系	HPCS 注入弁	E22-F004(00)	RB-3-2	○	本体	65M	簡易点検
						1C	機能・性能試験
高圧炉心スプレイ系	HPCS ミスター弁	E22-F012(00)	RB-B2-19	○	駆動部	160M	分解点検
						2C	特性試験
高圧炉心スプレイ系	HPCS ミスター弁	E22-F012(00)	RB-B2-19	○	本体	1C	機能・性能試験
						130M	分解点検
高圧炉心スプレイ系	HPCS ポンプ入口弁(S/P側)	E22-F015(00)	RB-B2-1	○	駆動部	65M	簡易点検
						1C	機能・性能試験
高圧炉心スプレイ系	HPCS ポンプ入口弁(S/P側)	E22-F015(00)	RB-B2-1	○	本体	130M	分解点検
						1C	機能・性能試験
高圧炉心スプレイ系	CST WATER LEVEL(伝送器)	LT-E22-3054A	CST-B1-1	○	本体	1C	特性試験
高圧炉心スプレイ系	CST WATER LEVEL(伝送器)	LT-E22-3054B	CST-B1-1	○	本体	1C	特性試験
高圧炉心スプレイ系	CST WATER LEVEL(伝送器)	LT-E22-3054C	CST-B1-1	○	本体	1C	特性試験
高圧炉心スプレイ系	CST WATER LEVEL(伝送器)	LT-E22-3054D	CST-B1-1	○	本体	1C	特性試験
低圧炉心スプレイ系	LPCS 計装ポンプ	H22-F001	RB-B1-1	○	伝送器	1C	特性試験
低圧炉心スプレイ系	LPCS ポンプ	LPCS-PM-C001	RB-B2-12	○	電動機	65M	分解点検
						1C	特性試験
					本体	130M	分解点検
						1C	機能・性能試験
低圧炉心スプレイ系	LPCS ポンプ入口弁	E21-F001(00)	RB-B2-12	○	駆動部	150M	分解点検
						2C	特性試験
					本体	1C	機能・性能試験
						130M	分解点検

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (31/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
低圧炉心スプレイ系	LPCS 注入弁	E21-F005(00)	RB-3-1	○	駆動部	169H	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
						7Y	分解点検
低圧炉心スプレイ系	LPCS 注入弁	E21-F011(00)	RB-42-12	○	本体	1C	機能・性能試験
						169H	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
低圧炉心スプレイ系	LPCS 注入弁	E21-F011(00)	RB-42-12	○	駆動部	169H	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
						150M	分解点検
低圧炉心スプレイ系	LPCS 注入弁	E21-F011(00)	RB-42-12	○	本体	78H	簡易点検
						169H	分解点検
						2C	特性試験
						1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	プルトニウム放射線計装盤	H13-P600	CS-2-1	○	本体	1C	外観点検
中央制御室制御盤	非常用炉心冷却系制御盤	H13-P601	CS-2-1	○	継電器、操作スイッチ	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	原子炉補機制御盤	H13-P602	CS-2-1	○	継電器、操作スイッチ	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	原子炉補機制御盤	H13-P603	CS-2-1	○	継電器、操作スイッチ	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	プルトニウム放射線計装盤	H13-P604	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	TIP 制御盤	H13-P607	CS-2-1	○	継電器、操作スイッチ	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	TIP 制御盤	H13-P607	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	出力領域計装盤	H13-P608	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	出力領域計装盤	H13-P608	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	原子炉保護系(A)継電器盤	H13-P609	CS-2-1	○	電磁接触器	10C	簡易点検
中央制御室制御盤	原子炉保護系(A)継電器盤	H13-P609	CS-2-1	○	継電器	5C	簡易点検
中央制御室制御盤	原子炉保護系(A)継電器盤	H13-P609	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	原子炉保護系(B)継電器盤	H13-P611	CS-2-1	○	電磁接触器	10C	簡易点検
中央制御室制御盤	原子炉保護系(B)継電器盤	H13-P611	CS-2-1	○	継電器	5C	簡易点検
中央制御室制御盤	原子炉保護系(B)継電器盤	H13-P611	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	プルトニウム計装盤	H13-P613	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	プルトニウム計装盤	H13-P613	CS-2-1	○	本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	プルトニウム計装盤	H13-P617	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	プルトニウム計装盤	H13-P617	CS-2-1	○	本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	残留熱除去系(B)、(C)補助継電器盤	H13-P618	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	残留熱除去系(B)、(C)補助継電器盤	H13-P618	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	シフトアップ計装盤	H13-P619	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	シフトアップ計装盤	H13-P619	CS-2-1	○	本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	原子炉隔離時冷却系継電器盤	H13-P621	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	原子炉隔離時冷却系継電器盤	H13-P621	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	原子炉格納容器内側隔離系継電器盤	H13-P622	CS-2-1	○	継電器	5C	簡易点検
中央制御室制御盤	原子炉格納容器内側隔離系継電器盤	H13-P622	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	原子炉格納容器外側隔離系継電器盤	H13-P623	CS-2-1	○	継電器	5C	簡易点検
中央制御室制御盤	原子炉格納容器外側隔離系継電器盤	H13-P623	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	高圧炉心スプレイ系継電器盤	H13-P625	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	高圧炉心スプレイ系継電器盤	H13-P625	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	自動減圧系(A)継電器盤	H13-P628	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	自動減圧系(A)継電器盤	H13-P628	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	低圧炉心スプレイ系、残留熱除去系(A)補助継電器盤	H13-P629	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	低圧炉心スプレイ系、残留熱除去系(A)補助継電器盤	H13-P629	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	自動減圧系(B)継電器盤	H13-P631	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	自動減圧系(B)継電器盤	H13-P631	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	漏えい検出系操作盤	H13-P632	CS-2-1	○	継電器、操作スイッチ	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	漏えい検出系操作盤	H13-P632	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	プルトニウム放射線計装、起動時間域計装(A)操作盤	H13-P635	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	プルトニウム放射線計装、起動時間域計装(A)操作盤	H13-P635	CS-2-1	○	本体	1C	機能・性能試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (32/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
中央制御室制御盤	プルトニウム放射線計, 起動時領域用(3)操作盤	H13-P636	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	格納容器雰囲気監視系(A)操作盤	H13-P638	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	格納容器雰囲気監視系(B)操作盤	H13-P639	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	備えい検出系操作盤	H13-P642	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	γ線レベル-4温度記録計盤(A)	H13-P689	CS-2-1	○	操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	外観点検
中央制御室制御盤	γ線レベル-4温度記録計盤(B)	H13-P690	CS-2-1	○	操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	外観点検
中央制御室制御盤	原子炉保護系(1A)トリップユニット盤	H13-P921	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	原子炉保護系(1B)トリップユニット盤	H13-P922	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	原子炉保護系(2A)トリップユニット盤	H13-P923	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	原子炉保護系(2B)トリップユニット盤	H13-P924	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	緊急時炉心冷却系(DIV-1-1)トリップユニット盤	H13-P925	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	緊急時炉心冷却系(DIV-1-1)トリップユニット盤	H13-P926	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	緊急時炉心冷却系(DIV-1-2)トリップユニット盤	H13-P927	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	高圧炉心スプレイシステムユニット盤	H13-P929	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	所内電気操作盤	CP-1	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	3-10V電機機操作盤	CP-2	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	3-10V補機操作盤	CP-3	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	3-10V補機盤	CP-4	CS-2-1	○	本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	空素置換-空調機気制御盤	CP-5	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	非常用1号処理系, 非常用2号処理系(A)操作盤	CP-6A	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	非常用1号処理系, 非常用2号処理系(B)操作盤	CP-6B	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	TURB. GEN TEST&CHECKOUT V, B	CP-7	CS-2-1	○	計測品	1C	特性試験
中央制御室制御盤	TURBINE GENERATOR V, B	CP-8	CS-2-1	○	計測品	1C	特性試験
中央制御室制御盤	3-10V補機補助継電器盤	CP-9	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	発電機・主変圧器保護リレー盤	CP-10A	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	発電機・主変圧器保護リレー盤	CP-10B	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	予備変圧器保護リレー盤	CP-10C	CS-2-1	○	継電器	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	3-10V補機盤	CP-11	CS-2-1	○	本体	1C	特性試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (33/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
中央制御室制御盤	MSIV-LCS(A)制御盤	CP-13	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	MSIV-LCS(B)制御盤	CP-14	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	可燃性ガス濃度制御盤(A)	CP-15	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	可燃性ガス濃度制御盤(B)	CP-16	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
					本体	1C	機能・性能試験
中央制御室制御盤	送・受電系統制御盤	CP-30	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ	15C	簡易点検
中央制御室制御盤	送・受電系統制御盤	CP-30	CS-2-1	○	本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	OFF GAS CHACOAL SYS. V. B	CP-31	CS-2-1	○	記録計	1C	特性試験
中央制御室制御盤	開閉所保護リレー盤	CP-32	CS-2-1	○	継電器, 操作スイッチ, 電源装置等	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中央制御室制御盤	原子炉廻り温度記録計盤	H13-P614	CS-2-1	○	本体	1C	特性試験
中性子計装系	IR&SRM PREAMP. CABINET	H22-P030	RB-3-1	○	前置増幅器	1C	特性試験
中性子計装系	IR&SRM PREAMP. CABINET	H22-P031	RB-3-2	○	前置増幅器	1C	特性試験
中性子計装系	IR&SRM PREAMP. CABINET	H22-P032	RB-3-1	○	前置増幅器	1C	特性試験
中性子計装系	IR&SRM PREAMP. CABINET	H22-P033	RB-3-2	○	前置増幅器	1C	特性試験
中性子計装系	TIP 駆動装置電気盤	LCP-200	RB-2-8	○	継電器, 電磁接触器	15C	簡易点検
					本体	1C	特性試験
中性子計装系	TIP N2 隔離弁	C51-S0-F010 (電磁弁)	RB-2-6	○	本体	130M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験
主蒸気隔離弁開え抑制系	MSIV 33A1-71'1'弁(A)	E32-FF009A(00)	RB-1-1	○	駆動部	4C	特性試験
					本体	130M	分解点検
主蒸気隔離弁開え抑制系	MSIV 33A1-71'1'弁(B)	E32-FF009B(00)	RB-1-2	○	駆動部	4C	特性試験
					本体	130M	分解点検
1'3'冷却系	1'3'冷却水入口隔離弁	7-90V13(00)	RB-2-8	○	駆動部	150M	分解点検
					駆動部	6C	特性試験
					本体	130M	分解点検
1'3'冷却系	1'3'冷却水出口隔離弁	7-90V17(00)	RB-2-8	○	駆動部	150M	分解点検
					駆動部	6C	特性試験
					本体	130M	分解点検
不活性ガス系	PCV PRESS (A) (伝送器)	PT-26-79.51A	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
					駆動部	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	27'6'-27'供給入口弁	2-20B-1(00)	RB-2-8	○	駆動部	1C	機能・性能試験
					本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	格納容器ベローズ弁	2-20B-2(00)	RB-2-9	○	駆動部	10C	簡易点検
					駆動部	30M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	47'レソソ・フソソ'-真空破壊止め弁	2-20B-3(00)	RB-1-1	○	駆動部	10C	簡易点検
					駆動部	30M	分解点検
					本体	1C	機能・性能試験

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (34/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
不活性ガス系	チンクリンポンプ-真空破損止め弁	2-20B-4(A0)	RB-1-1	○	駆動部	10C	簡易点検
						30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						10C	簡易点検
不活性ガス系	チンクリンポンプ-バック弁	2-20B-5(A0)	RB-1-1	○	駆動部	10C	簡易点検
						30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						10C	簡易点検
不活性ガス系	チンクリンポンプ-N2供給弁	2-20B-6(A0)	RB-1-1	○	駆動部	10C	簡易点検
						30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						10C	簡易点検
不活性ガス系	格納容器/チンクリンポンプ-N2供給弁	2-20B-7(A0)	RB-2-8	○	駆動部	10C	簡易点検
						30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						10C	簡易点検
不活性ガス系	N2バックアップ供給弁	2-20B-8(A0)	RB-2-8	○	駆動部	10C	簡易点検
						30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						10C	簡易点検
不活性ガス系	格納容器N2供給弁	2-20B-9(A0)	RB-2-9	○	駆動部	10C	簡易点検
						30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						10C	簡易点検
不活性ガス系	チンクリンポンプ-バック弁	2-20B-10(A0)	RB-1-2	○	駆動部	10C	簡易点検
						30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						10C	簡易点検
不活性ガス系	チンクリンポンプ-バック弁	2-20B-11(A0)	RB-1-2	○	駆動部	10C	簡易点検
						13M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	13M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						10C	簡易点検
不活性ガス系	ドラフトポンプ	2-20B-12(A0)	RB-4-3	○	駆動部	10C	簡易点検
						30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						10C	簡易点検
不活性ガス系	原子炉建屋換気系バック弁(SB2-14)	2-20B-13(A0)	RB-5-14	○	駆動部	10C	簡易点検
						30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						10C	簡易点検
不活性ガス系	FRSバック弁(SB2-3)	2-20B-14(A0)	RB-5-14	○	駆動部	10C	簡易点検
						30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
					本体	30M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						10C	簡易点検

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (35/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V9(A0)	RB-4-3	○	駆動部	10C	簡易点検
						130M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V9(A0)	RB-4-3	○	本体	1C	機能・性能試験
						130M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V81(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	195M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V81(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V82(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	195M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V82(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V83(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	195M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V83(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V84(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	195M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V84(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V85(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	195M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V85(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V86(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	195M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V86(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V87(電磁弁)	RB-B1-2	○	本体	195M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V87(電磁弁)	RB-B1-2	○	本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V88(電磁弁)	RB-B1-2	○	本体	195M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V88(電磁弁)	RB-B1-2	○	本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V89(電磁弁)	RB-B1-2	○	本体	195M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V89(電磁弁)	RB-B1-2	○	本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V90(電磁弁)	RB-B1-2	○	本体	195M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V90(電磁弁)	RB-B1-2	○	本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V91(電磁弁)	RB-B1-2	○	本体	195M	分解点検
不活性ガス系	1'9'9'9'真空破壊弁?3)弁	2-26V91(電磁弁)	RB-B1-2	○	本体	1C	機能・性能試験
不活性ガス系	PCV PRESS (B) (伝送器)	PT-26-79.51B	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
不活性ガス系	PCV PRESS	PT-26-79.53	RB-3-1	○	伝送器	1C	特性試験
不活性ガス系	PCV PRESS (伝送器)	PT-26-79.5R	RB-3-2	○	本体	1C	特性試験
不活性ガス系	SUPP CHAMBER PRESS	PT-26-79.52A	RB-1-1	○	本体	1C	特性試験
不活性ガス系	SUPP CHAMBER PRESS	PT-26-79.52B	RB-1-2	○	本体	1C	特性試験
不活性ガス系	SUPP CHAMBER LEVEL (伝送器)	LT-26-79.5R	RB-B2-6	○	本体	1C	特性試験
不活性ガス系	SUPP CHAMBER LEVEL (A) (伝送器)	LT-26-79.5A	RB-B2-13	○	本体	1C	特性試験
不活性ガス系	SUPP CHAMBER LEVEL (B) (伝送器)	LT-26-79.5B	RB-B2-6	○	本体	1C	特性試験
事故時クランプ系	D/9'9'9'クランプ弁	V25-1008(電磁弁)	RB-3-1	○	-	-	-
試料採取系	格納容器酸素分析系クランプ弁	25-51A1(電磁弁)	RB-4-2	○	本体	195M	取替
						1C	機能・性能試験
試料採取系	格納容器酸素分析系クランプ弁	25-51A2(電磁弁)	RB-4-2	○	本体	195M	取替
						1C	機能・性能試験
試料採取系	格納容器酸素分析系クランプ弁	25-51B1(電磁弁)	RB-3-2	○	本体	195M	取替
						1C	機能・性能試験
試料採取系	格納容器酸素分析系クランプ弁	25-51B2(電磁弁)	RB-3-2	○	本体	195M	取替
						1C	機能・性能試験
試料採取系	格納容器酸素分析系クランプ弁	25-51C1(電磁弁)	RB-2-3	○	本体	195M	取替
						1C	機能・性能試験
試料採取系	格納容器酸素分析系クランプ弁	25-51C2(電磁弁)	RB-2-3	○	本体	195M	取替
						1C	機能・性能試験
試料採取系	格納容器酸素分析系クランプ弁	25-51D1(電磁弁)	RB-1-2	○	本体	195M	取替
						1C	機能・性能試験



第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (36/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
試料採取系	格納容器酸素分析系ポンプ弁	25-51D2(電磁弁)	RB-1-2	○	本体	1950	取替
						1C	機能+性能試験
試料採取系	格納容器酸素分析系排気弁	25-51E1(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	1950	取替
						1C	機能+性能試験
試料採取系	格納容器酸素分析系排気弁	25-51E2(電磁弁)	RB-B1-1	○	本体	1950	取替
						1C	機能+性能試験
試料採取系	PLR 炉水ポンプポンプ弁 (外側隔離弁)	B35-F020(A0)	RB-3-2	○	駆動部	300	分解点検
						1C	機能+性能試験
						300	分解点検
					本体	1C	機能+性能試験
						10C	簡易点検
						10C	簡易点検
放射性廃棄物処理系	原子炉格納容器1号系統1号隔離弁 (外側)	G13-F129(A0)	RB-B1-8	○	駆動部	1430	分解点検
						1C	機能+性能試験
						1430	分解点検
					本体	1C	機能+性能試験
						10C	簡易点検
						10C	簡易点検
放射性廃棄物処理系	原子炉格納容器1号系統2号隔離弁 (内側)	G13-F130(A0)	RB-B1-8	○	駆動部	1430	分解点検
						1C	機能+性能試験
						1430	分解点検
					本体	1C	機能+性能試験
						10C	簡易点検
						10C	簡易点検
放射性廃棄物処理系	原子炉格納容器1号系統3号隔離弁 (外側)	G13-F132(A0)	RB-B1-8	○	駆動部	1430	分解点検
						1C	機能+性能試験
						1430	分解点検
					本体	1C	機能+性能試験
						10C	簡易点検
						10C	簡易点検
放射性廃棄物処理系	原子炉格納容器1号系統4号隔離弁 (内側)	G13-F133(A0)	RB-B1-8	○	駆動部	1430	分解点検
						1C	機能+性能試験
						1430	分解点検
					本体	1C	機能+性能試験
						10C	簡易点検
						10C	簡易点検
復水移送系	復水移送ポンプ(A)	MUW-PMP-CST-A	TB-B1-6	○	電動機	2C	特性試験
						200	簡易点検
復水移送系	復水移送ポンプ(B)	MUW-PMP-CST-B	TB-B1-6	○	電動機	2C	特性試験
						200	簡易点検
復水移送系	COND TRANS PMP DISCH PRESS	PT-18-190.5	TB-B1-6	○	本体	1C	特性試験
復水移送系	CST (A) LEVEL (伝送器)	LT-18-190A	CST-B1-2	○	本体	1C	特性試験
復水移送系	CST (B) LEVEL (伝送器)	LT-18-190B	CST-B1-2	○	本体	1C	特性試験
気体廃棄物処理系	OFF GAS SYSTEM INST. BACK	PNL-LR-R-4	TB-1-4	○	本体	1C	外観点検
気体廃棄物処理系	OFF GAS PREHEATERS TEMP	TE-23-164	TB-1-8	○	-	-	-
気体廃棄物処理系	主蒸気式空気抽出器(A) 出口弁	6-23V1(000)	TB-1-8	○	駆動部	1500	分解点検
						6C	特性試験
						1300	分解点検
気体廃棄物処理系	主蒸気式空気抽出器(B) 出口弁	6-23V2(000)	TB-1-8	○	駆動部	1500	分解点検
						6C	特性試験
						1300	分解点検

第1表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (37/38)

系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
気体廃棄物処理系	排ガス処理機(A)入口弁	6-23V5(A0)	TB-1-19	○	駆動部	39M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						39M	分解点検
気体廃棄物処理系	排ガス処理機(B)入口弁	6-23V4(A0)	TB-1-17	○	駆動部	39M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						39M	分解点検
気体廃棄物処理系	排ガス予熱器(A)蒸気温度制御弁	TCV-23-164, 1A(A0)	TB-1-2	○	本体	65M	分解点検
						1C	機能・性能試験
気体廃棄物処理系	排ガス予熱器(B)蒸気温度制御弁	TCV-23-164, 1B(A0)	TB-1-6	○	本体	65M	分解点検
						1C	機能・性能試験
気体廃棄物処理系	排ガス空気抽出器(A)入口弁	OGC-F019A(A0)	RF-1-4	○	駆動部	1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
気体廃棄物処理系	排ガス空気抽出器(B)入口弁	OGC-F019B(A0)	RF-1-4	○	駆動部	1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
気体廃棄物処理系	排ガス空気抽出器(A)再循環圧力制御弁	PCV-F051A	RF-1-4	○	本体	1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
気体廃棄物処理系	排ガス空気抽出器(B)再循環圧力制御弁	PCV-F051B	RF-1-4	○	本体	1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
気体廃棄物処理系	排ガス空気抽出器(A)入口弁	OGC-F103A(A0)	RF-1-4	○	駆動部	1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
気体廃棄物処理系	排ガス空気抽出器(B)入口弁	OGC-F103B(A0)	RF-1-4	○	駆動部	1C	機能・性能試験
						1C	機能・性能試験
気体廃棄物処理系	OFF GAS RECOMBINER HEATER(A)	-	TB-1-19	○	本体	6C	特性試験
						6C	特性試験
気体廃棄物処理系	OFF GAS RECOMBINER HEATER(B)	-	TB-1-17	○	本体	6C	特性試験
						6C	特性試験
空気抽出系	第1段SJA(A)空気入口弁	6-22V2(00)	TB-1-8	○	駆動部	150M	分解点検
						2C	特性試験
						130M	分解点検
空気抽出系	第1段SJA(B)空気入口弁	6-22V3(00)	TB-1-8	○	駆動部	150M	分解点検
						2C	特性試験
						130M	分解点検
空気抽出系	SJA 蒸気 BLOCK	AO-7-119A	TB-1-8	○	駆動部	65M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						65M	分解点検
空気抽出系	SJA 蒸気 BLOCK	AO-7-119B	TB-1-8	○	駆動部	65M	分解点検
						1C	機能・性能試験
						65M	分解点検
排ガス補助蒸気系	主蒸気式空気抽出器(A)第1段蒸気入口弁	6-7V31A(00)	TB-1-8	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
						130M	分解点検
排ガス補助蒸気系	主蒸気式空気抽出器(A)第2段蒸気入口弁	6-7V31B(00)	TB-1-8	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
						130M	分解点検
排ガス補助蒸気系					本体	65M	簡易点検
						65M	簡易点検

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7 号炉 (2017.12.20 版)

東海第二発電所 (2018.9.18 版)

島根原子力発電所 2 号炉

備考

第 1 表 想定破損による蒸気影響評価結果及び保全状況 (38/38)

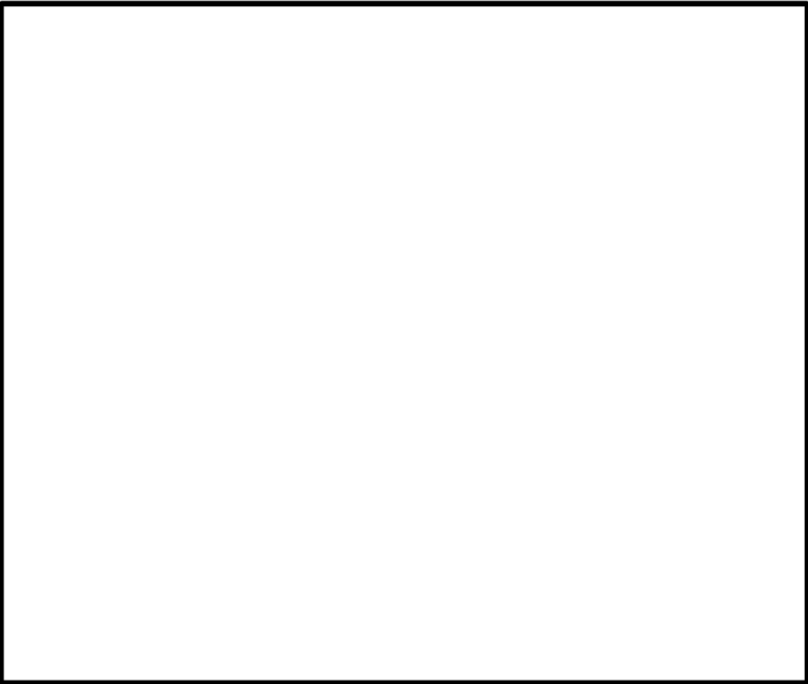
系統名称	機器名称	機器番号	区画番号	判定	保全状況		
					点検部位	周期	保全内容
F-17 補助蒸気系	主蒸気式空気抽出器 (B) 第 1 段蒸気入口弁	6-7Y32A (00)	TB-1-S	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
					本体	130M	分解点検
						65M	簡易点検
F-17 補助蒸気系	主蒸気式空気抽出器 (B) 第 2 段蒸気入口弁	6-7Y32B (00)	TB-1-S	○	駆動部	150M	分解点検
						6C	特性試験
					本体	130M	分解点検
						65M	簡易点検

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																																										
<p style="text-align: right;">補足説明資料 12</p> <p style="text-align: center;">貫通クラック等微小漏えい時の影響について</p> <p>12.1. 高エネルギー配管からの微小漏えいについて            想定破損による溢水影響評価（没水）において、高エネルギー配管の破断を想定した溢水影響を評価しており、溢水量は流出流量と検知・隔離時間を元に評価している。このとき、破断形状としてはガイドに則り完全全周破断を想定しているが、破断面積が小さい場合は検知・隔離に要する時間が長くなる可能性があるため、その影響について確認した。</p> <p>● <u>溢水量の算出式</u>  <math display="block">\text{溢水量}[\text{m}^3] = \text{流出流量}[\text{m}^3/\text{分}] \times \text{隔離時間}[\text{分}] + \text{系統保有水量}[\text{m}^3] ※ 1</math></p> <p>● <u>完全全周破断を想定する系統とその場合の溢水量【6号炉例】</u></p> <table border="1" data-bbox="160 1104 923 1346"> <thead> <tr> <th>系統名称</th> <th>流出流量 [m<sup>3</sup>/h]</th> <th>隔離時間 [min]</th> <th>隔離までの溢水量 [m<sup>3</sup>]</th> <th>系統保有水量 [m<sup>3</sup>]</th> <th>溢水量 [m<sup>3</sup>]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御棒駆動水圧系</td> <td>47</td> <td>80</td> <td>62</td> <td>13</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材浄化系</td> <td>154</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">復水給水系</td> <td>9360 ※<sup>2</sup></td> <td>1.2</td> <td rowspan="2">332</td> <td rowspan="2">285</td> <td rowspan="2">617</td> </tr> <tr> <td>5400 ※<sup>3</sup></td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 1：溢水検知による隔離後に系統内の残水の漏えいが継続する可能性を考慮し、保守的に系統の全保有水を加算。ただし、配管の敷設状況から明らかに全量が漏えいしない場合は、配管の敷設状況を考慮した漏えい量を加算。            ※ 2：溢水開始～主蒸気隔離弁閉～高圧及び低圧ドレンポンプ停止までの流量（原子炉給水ポンプの定格流量）            ※ 3：高圧及び低圧ドレンポンプ停止後～復水及び給水ポンプ全停までの流出流量</p>	系統名称	流出流量 [m <sup>3</sup> /h]	隔離時間 [min]	隔離までの溢水量 [m <sup>3</sup> ]	系統保有水量 [m <sup>3</sup> ]	溢水量 [m <sup>3</sup> ]	制御棒駆動水圧系	47	80	62	13	75	原子炉冷却材浄化系	154	0	0	60	60	復水給水系	9360 ※ <sup>2</sup>	1.2	332	285	617	5400 ※ <sup>3</sup>	1.7		<p style="text-align: right;">補足説明資料 12</p> <p style="text-align: center;">貫通クラック等微小漏えい時の影響について</p> <p>1. 高エネルギー配管からの微小漏えいについて            想定破損による溢水影響評価（没水）において、高エネルギー配管の破断を想定した溢水影響評価を実施しており、溢水量は溢水流量と検知・隔離時間を元に算出している。このとき、破断形状としては評価ガイドに則り完全全周破断を想定しているが、破断面積が小さい場合は検知・隔離時間に要する時間が長くなる可能性があるため、その影響について確認した。</p> <p>想定破損による溢水影響評価において、完全全周破断を想定する系統と隔離完了までの溢水量を表 1-1 に示す。</p> <p>隔離完了までの溢水量の算出式：  <math display="block">\text{隔離完了までの溢水量}[\text{m}^3] = \text{溢水流量}[\text{m}^3/\text{分}] \times \text{隔離時間}[\text{分}]</math></p> <p>表 1-1 完全全周破断を想定する系統と隔離完了までの溢水量</p> <table border="1" data-bbox="1733 1098 2502 1417"> <thead> <tr> <th>系統名称</th> <th>溢水流量 [m<sup>3</sup>/h]</th> <th>隔離時間 [min]</th> <th>隔離完了までの溢水量 [m<sup>3</sup>]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御棒駆動系</td> <td>54</td> <td>70</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>原子炉浄化系</td> <td>6868</td> <td>1.36</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td>復水給水系</td> <td>5720</td> <td>1.59</td> <td>152</td> </tr> </tbody> </table>	系統名称	溢水流量 [m <sup>3</sup> /h]	隔離時間 [min]	隔離完了までの溢水量 [m <sup>3</sup> ]	制御棒駆動系	54	70	63	原子炉浄化系	6868	1.36	156	復水給水系	5720	1.59	152	<p>・島根 2 号炉は溢水量が評価ガイドで想定する値よりも小さい場合の影響確認を記載  <b>【東海第二】</b></p> <p>・設備の相違  <b>【柏崎 6/7】</b></p>
系統名称	流出流量 [m <sup>3</sup> /h]	隔離時間 [min]	隔離までの溢水量 [m <sup>3</sup> ]	系統保有水量 [m <sup>3</sup> ]	溢水量 [m <sup>3</sup> ]																																								
制御棒駆動水圧系	47	80	62	13	75																																								
原子炉冷却材浄化系	154	0	0	60	60																																								
復水給水系	9360 ※ <sup>2</sup>	1.2	332	285	617																																								
	5400 ※ <sup>3</sup>	1.7																																											
系統名称	溢水流量 [m <sup>3</sup> /h]	隔離時間 [min]	隔離完了までの溢水量 [m <sup>3</sup> ]																																										
制御棒駆動系	54	70	63																																										
原子炉浄化系	6868	1.36	156																																										
復水給水系	5720	1.59	152																																										

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>上記系統は管理区域に敷設されており、漏えいを検知する手段としては、サンプタンク水位、サンプポンプの異常運転、床漏えい検知器、漏えい検知器(温度)、エリアモニタ、運転員による巡視点検及び各種パラメータの監視等が考えられる。</p> <p>破断面積が小さく、サンプタンク水位やサンプポンプの異常運転による漏えいの検知ができない可能性がある範囲の場合、流出流量が十分に小さいため、床ドレンにより排水されて溢水水位は高くない。床ドレンから排水された溢水はサンプに流入し、サンプポンプで排出され、溢水事象としてそれ以上進展することはない。</p> <p>またサンプポンプの定格流量(10m<sup>3</sup>/h)以下の流出流量の場合も、サンプの水位制御が可能であり、溢水事象として留意すべき事態とはならない。</p> <p>これより、少なくともサンプポンプ定格流量以上の流出流量での漏えいを想定する。</p> <p>➤ <u>制御棒駆動水圧系</u>  <u>サンプポンプ定格流量以上で、かつ、サンプタンク水位又はサンプポンプの異常運転による警報の発生までに要する時間が、標準的な評価上の想定である10分を超過する可能性のある流出流量は10~18m<sup>3</sup>/h程度である。このとき隔離までに流出する溢水量は、最大でも25m<sup>3</sup>程度であり、これは標準的な評価上想定している隔離までの溢水量62m<sup>3</sup>よりも少ないため、標準評価で包含できる。</u></p> <p>➤ <u>原子炉冷却材浄化系</u>  <u>破断形状として完全全周破断を想定すると、系統の差流量大インターロック(設定値30.5t/h)により、ほぼ瞬時に系統は隔離されると考えられる。これより標準評価においては、隔離までの溢水量としてはほぼ無く、その後、隔離バウンダリ内の全系統保有水量60m<sup>3</sup>が流出すると想定している。</u>  <u>一方で流出流量が30.5t/h以下である場合は、差流量大による系統の隔離は達成されない可能性がある。しかしこの場合は、漏えい検出器(温度)やサンプタンクの水位高等、他の警報による溢水の検知が可能である。隔離までに流出する溢水量と、その後流出する系統保有水量を加えると、完全全周破断想定時</u></p>		<p>上記系統は管理区域内に敷設されており、漏えいを検知する手段としては、サンプタンク水位、サンプポンプの異常運転、床漏えい検知器、漏えい検知器(温度)、エリアモニタ、運転員による巡視点検及び各種パラメータの監視等が考えられる。</p> <p>破断面積が小さく、サンプタンク水位やサンプポンプの異常運転による漏えいの検知ができない可能性がある範囲の場合、溢水流量が十分に小さいため、床ドレンにより排出されて溢水水位は高くない。床ドレンから排出された溢水はサンプに流入し、サンプポンプで排出され、溢水事象としてそれ以上進展することはない。</p> <p>したがって、サンプポンプの定格流量(11m<sup>3</sup>/h)以下の溢水流量の場合は、サンプの水位制御が可能であり、溢水事象として留意すべき事態とはならない。</p> <p>これより、少なくともサンプポンプ定格流量以上の流量での漏えいを想定する。</p> <p>(1) <u>制御棒駆動水圧系</u>  <u>サンプポンプ定格流量以上で、かつ、サンプタンク水位による警報の発生までに要する時間が、標準的な評価上の想定である10分を超過する可能性のある溢水流量は11~25m<sup>3</sup>/h程度である。このとき隔離までに流出する溢水量は、最大でも26m<sup>3</sup>程度であり、評価上想定している隔離までの溢水量63m<sup>3</sup>よりも小さいため、影響はない。</u></p> <p>(2) <u>原子炉冷却材浄化系</u>  <u>破断形状として完全全周破断を想定すると、系統の差流量大インターロック(設定値40m<sup>3</sup>/h)により、短時間で系統は隔離されると考えられ、標準評価においては、隔離までの溢水量として156m<sup>3</sup>が流出すると想定している。</u>  <u>一方で、溢水流量が40m<sup>3</sup>/h未満である場合は、差流量大による系統の隔離は達成されない可能性がある。しかし、この場合は漏えい検知器やサンプタンクの水位高等、他の警報による溢水の検知が可能である。隔離までに流出する溢水量が、標準的な評価で想定する溢水量を超過する可能性がある溢水</u></p>	<p>・設備の相違 【柏崎6/7】</p> <p>・設備の相違 【柏崎6/7】</p>

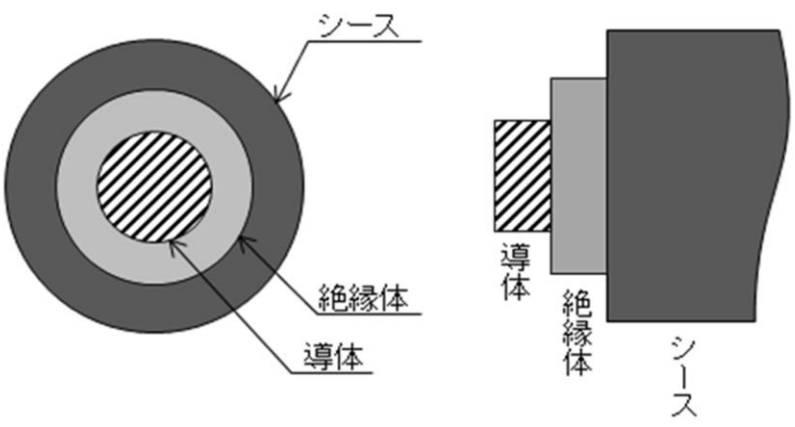
柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p><u>の溢水量を超過する場合も考えられるが、原子炉冷却材浄化系からの溢水が発生する可能性のある区画において、この溢水量が代表値となる区画は、R-B3-9のみである。当該区画において、この溢水量(110m<sup>3</sup>程度)にて再評価を実施し、問題ないことを確認した。</u></p> <p>➤ <u>復水給水系</u>  <u>原子炉建屋内で復水給水系統が敷設されている区画はMSトンネル室のみである。当該区画には漏えい検出器(温度)や放射線モニタが設置されており、復水給水系統からの漏えいが微少であっても、これらの設備によって漏えいを検知することは可能である。また流出流量が微少であることから、隔離までの溢水量が、完全全周破断想定時の溢水量(332m<sup>3</sup>)以上になるまでにはかなりの時間余裕があることから、現状の評価で十分包含できている。</u></p>		<p><u>流量は11~40m<sup>3</sup>/hである。このとき隔離までに流出する溢水量は最大でも44m<sup>3</sup>程度であり、評価上想定している隔離までの溢水量156m<sup>3</sup>よりも小さいため、影響はない。</u></p> <p><u>(3)復水給水系</u>  <u>原子炉建物内で復水給水系統が敷設されている区画は主蒸気管トンネル室のみである。当該区画には漏えい検知器(温度)や放射線モニタが設置されており、復水給水系統からの漏えいが微少であっても、これらの設備によって漏えいを検知することが可能である。また溢水流量が微少であることから、隔離までの溢水量が、完全全周破断想定時の溢水量(152m<sup>3</sup>/h)以上になるまでにはかなりの時間余裕があることから、影響はない。</u></p>	<p>・設備の相違  【柏崎6/7】</p>

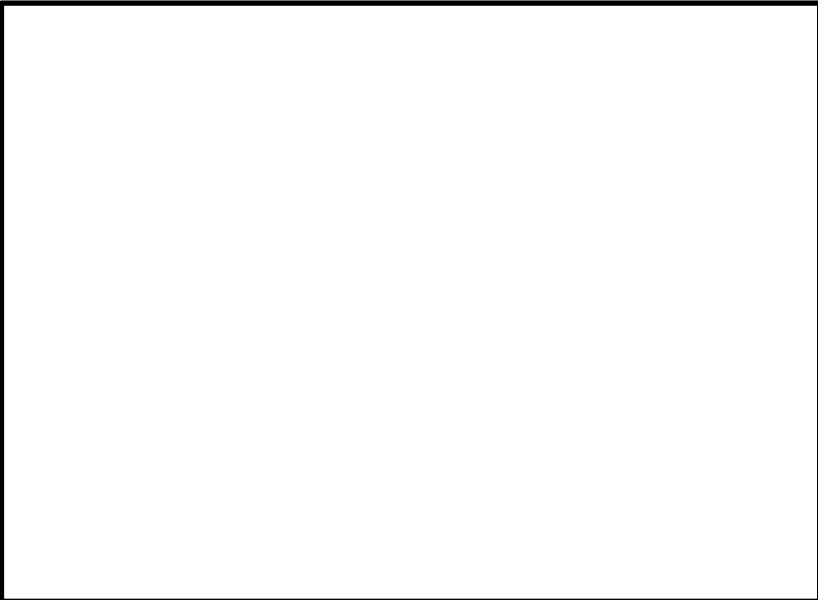
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p style="text-align: center;">補足説明資料 13</p> <p style="text-align: center;">ケーブルの被水影響評価について</p> <p>本資料は、防護対象設備に用いているケーブルについて被水したとしても、その機能に影響を受けないと判断したことに対する妥当性を説明するものである。</p> <p>13.1 ケーブルの被水影響</p> <p>補足第 13.1-1 図にケーブルの断面図を示す。ケーブルは充電部となる導体の廻りが絶縁体で覆われ、さらに耐水性・絶縁性の高いシースで覆われていることから、被水による機能影響は受けない。ここで、ケーブルが被水により機能影響を受けるケースとしては、絶縁体の割れ等によりケーブルの絶縁性能が低下している状態で被水し、地絡・短絡等が起こる場合が考えられる。</p> <p>以下に、導入時の試験及び導入後の定期点検の状況からケーブルの被水による機能影響の有無について評価した結果を示す。</p> <p>補足第 13.1-1 図 ケーブル断面図 (例 高圧動力ケーブル)</p>	<p style="text-align: center;">補足説明資料-44</p> <p style="text-align: center;">ケーブルの被水影響評価について</p> <p>本資料は、防護対象設備に用いているケーブルについて被水したとしても、その機能に影響を受けないと判断したことに対する妥当性を説明するものである。</p> <p>1. ケーブルの被水影響</p> <p>第1図にケーブルの断面図を示す。ケーブルは充電部となる導体の廻りが絶縁体で覆われ、さらに耐水性・絶縁性の高いシースで覆われていることから、被水による機能影響は受けない。ここで、ケーブルが被水により機能影響を受けるケースとしては、絶縁体の割れ等によりケーブルの絶縁性能が低下している状態で被水し、地絡・短絡等が起こる場合が考えられる。</p> <p>以下に、東海第二発電所 高経年化技術評価時の試験及び評価後の定期点検の状況からケーブルの被水による機能影響の有無について評価した結果を示す。</p> <p>第1図 ケーブル断面図 (例 高圧動力ケーブル)</p>	<p style="text-align: center;">補足説明資料 13</p> <p style="text-align: center;">ケーブルの被水影響評価について</p> <p>1. ケーブルの被水影響評価</p> <p>ケーブルの断面図を図 1-1 に示す。ケーブルは通電する導体の廻りが絶縁体で覆われ、さらに外的保護は、耐水性があり、絶縁材料であるシースにより覆われているため、ケーブルは被水による影響を受けない。ケーブルが被水による影響を受ける可能性としては、ケーブルの絶縁体の割れ等によりケーブルの絶縁機能が低下し、導体が直接被水する場合が考えられる。以下に耐環境試験によりケーブルの被水影響について評価した結果を示す。運転期間相当(40年)を模擬した劣化に加え、LOCA時を模擬した劣化を与えたケーブルに対しマンドレル耐電圧試験を実施し、浸水時における機械的・電氣的裕度を確保していることから、ケーブルの被水影響はない。</p>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>13.2 導入時の試験 (原子炉格納容器内ケーブル)</p> <p>13.2.1 劣化模擬試験</p> <p>下記の条件により、運転期間 (40 年) 相当の劣化および原子炉冷却材喪失事故による劣化を模擬する。(詳細条件は補足第 13.2.1-1 図参照)</p> <p>(1) 運転期間 (40 年) の劣化模擬 : 熱老化 (121℃, 168 時間) / 放射線照射 (<math>7.6 \times 10^5</math> Gy)</p> <p>(2) 原子炉冷却材喪失事故による劣化模擬 : 171℃, 427kPa, 9 時間</p>  <p>補足第 13.2.1-1 図 原子炉冷却材喪失事故による劣化模擬条件</p> <p>13.2.2 マンドレル耐電圧試験 (40 倍)</p> <p>前項の劣化模擬試験を実施したケーブルに対して、下記の条件で試験を実施する。</p> <p>試験条件 : ケーブル外径の約 40 倍の直径をもつ金属円筒 (マンドレル) の周囲に巻き付け、室温にて水道水中に浸漬させた状態で公称絶縁体厚さに対し、50Hz または 60Hz の交流 3.2kV/mm を 5 分間印加。試験装置の例は補足第 13.2.2-1 図を参照。</p> <p>判定基準 : 絶縁破壊を生じないこと。</p>	<p>2. 劣化模擬試験</p> <p>下記の条件により、運転期間 (60年) 相当の劣化および原子炉冷却材喪失事故による劣化を模擬する。</p> <p>運転期間 (60年) の劣化模擬 : 熱老化 (121℃, 168時間) 放射線照射 (<math>5.0 \times 10^5</math> Gy)</p> <p>原子炉冷却材喪失事故による劣化模擬 : 171℃, 427kPa, 25時間</p> <p>3. マンドレル耐電圧試験 (40倍)</p> <p>前項の劣化模擬試験を実施したケーブルに対して、下記の条件で試験を実施する。</p> <p>試験条件 : ケーブル外径の約40倍の直径をもつ金属円筒 (マンドレル) の周囲に巻き付け、室温にて水道水中に浸漬させた状態で公称絶縁体厚さに対し、50Hz または60Hz の交流電圧 3.2kV/mmを5分間印加。試験の概要は第2図を参照。</p> <p>判定基準 : 絶縁破壊しないこと。</p>	<p>(1) 耐環境試験</p> <p>a. 劣化模擬試験</p> <p>以下の条件により、運転期間 (40 年) 相当の劣化及び LOCA 時 (安全系ケーブルのみ) の劣化を模擬する。詳細条件を図 1-2 及び 1-3 に示す。</p> <p>試験条件 : 熱劣化 (121[℃], 168[時間]) 放射線照射 (<math>5.0 \times 10^5</math> [Gy] 又は <math>7.6 \times 10^5</math> [Gy]) LOCA 模擬</p> <p>b. マンドレル耐電圧試験 (40 倍)</p> <p>劣化模擬試験を実施したケーブルに対して、下記の条件で試験を実施する。試験装置の例を図 1-4 に示す。</p> <p>試験条件 : ケーブル外径の約 40 倍の直径を持つ金属円筒の周囲にケーブルを巻き付け、水道水中に浸漬させた状態で絶縁体厚さに対し、50 [Hz] 又は 60 [Hz] の交流電圧 (3.2 [kV/mm]) を印加。</p>	



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="201 264 863 716" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="219 743 845 779">補足第 13.2.2-1 図 マンドレル耐電圧試験 (40 倍)</p> <p data-bbox="151 926 641 957">13.3 ケーブル導入後の定期点検について</p> <p data-bbox="151 970 920 1136">前述のとおり、ケーブルはプラント内で想定される経年劣化により、被水による機能影響を受けるような絶縁性能の低下が起らないことを導入時に確認しているが、導入後も定期点検により異常が生じていないことを確認している。</p> <p data-bbox="151 1148 920 1226">具体的に、電力用ケーブルは定期的な絶縁抵抗測定により、絶縁抵抗に有意な変動が無いことを確認している。</p> <p data-bbox="151 1239 920 1404">また、制御・計装用ケーブルについては、定期検査時の点検・検査、運転中の定例試験時等において、系統機器の動作または計器の指示値等を確認することで、ケーブルの異常が無いことを確認している。</p> <p data-bbox="151 1465 299 1497">13.4 まとめ</p> <p data-bbox="151 1509 920 1766">導入時において運転期間相当 (40 年) を模擬した劣化に加え、原子炉冷却材喪失事故による劣化を模擬したケーブルに対しマンドレル耐電圧試験を実施し、浸水時における機械的・電氣的裕度を確保していること、及び導入後においても定期点検により有意な劣化が無いことを確認していることから、ケーブルの被水影響はないと評価する。</p>	<div data-bbox="1041 279 1596 684" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1083 743 1561 779">第 2 図 マンドレル耐電圧試験 (40 倍)</p> <p data-bbox="937 926 1338 957">4. ケーブルの定期点検について</p> <p data-bbox="973 970 1712 1136">前述のとおり、ケーブルはプラント内で想定される経年劣化により、被水による機能影響を受けるような絶縁性能の低下が起らないことを高経年化技術評価時に確認しており、評価後も定期点検により異常が生じていないことを確認している。</p> <p data-bbox="973 1148 1712 1226">具体的に、電力用ケーブルは定期的な絶縁抵抗測定により、絶縁抵抗に有意な変動が無いことを確認している。</p> <p data-bbox="973 1239 1712 1404">また、制御・計装用ケーブルについては、定期検査時の点検・検査、運転中の定例試験時等において、系統機器の動作または計器の指示値等を確認することで、ケーブルの異常が無いことを確認している。</p> <p data-bbox="937 1465 1080 1497">5. まとめ</p> <p data-bbox="973 1509 1712 1766">運転期間相当 (60年) を模擬した劣化に加え、原子炉冷却材喪失事故による劣化を模擬したケーブルに対しマンドレル耐電圧試験を実施し、浸水時における機械的・電氣的裕度を確保していること、及び高経年化技術評価後においても定期点検により有意な劣化が無いことを確認していることから、ケーブルの被水影響はないと評価する。</p>	<p data-bbox="1733 926 2080 957">(2) 定期事業者検査時の試験</p> <p data-bbox="1757 970 2496 1047">定期事業者検査時のケーブルの作動確認等により、ケーブルの絶縁機能が維持されていることを確認している。</p>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
		 <p>図 1-1 ケーブル断面図 (例 低圧動力ケーブル)</p> <div data-bbox="1736 787 2507 1260" style="border: 1px solid black; height: 225px;"></div> <p>図 1-2 原子炉格納容器内 試験条件例</p> <div data-bbox="1736 1323 2507 1774" style="border: 1px solid black; height: 215px;"></div> <p>図 1-3 原子炉格納容器外 試験条件例</p>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
		 <p data-bbox="1893 835 2341 869">図 1-4 マンドレル耐電圧試験装置例</p>	

柏崎刈羽原子力発電所 6/7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																				
<p style="text-align: right;">補足説明資料 14</p> <p>屋外タンク溢水伝播挙動評価に用いた解析コードについて</p>	<p style="text-align: right;">補足説明資料-20</p> <p>屋外タンク等の溢水による影響評価</p> <p>1. 評価方法</p> <p>大型タンク等が集中して設置されている水処理装置エリアでのタンク等の破損を想定し、防護対象設備の設置される建屋への局所的影響を評価した。</p> <p>破損を想定する防護対象施設の設置されている建屋に影響を及ぼす近隣のタンク等の保有水量を第1表に、タンク等の配置図を第1図に示す。ほとんどのタンク等はT.P.+11.0mに配置されており、このエリアで破損を想定する場合、溢水は敷地全体に広がると想定されるが、評価としては保守的にT.P.+8.0mの建屋側に向かう方向のみに広がるとした。また、破損は瞬時にタンク等の全保有水量が水処理装置エリアの中心で発生するものとして評価を行った。</p> <p style="text-align: center;">第1表 破損を想定するタンク等</p> <table border="1" data-bbox="1003 1056 1656 1423"> <thead> <tr> <th>タンク等名称</th> <th>保有水量 (m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水タンク</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>ろ過水貯蔵タンク</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>純水貯蔵タンク</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>多目的タンク</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>水処理装置</td> <td>1,080</td> </tr> <tr> <td>碍子洗浄タンク</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>66kV 非常用変圧器</td> <td>6.6</td> </tr> <tr> <td>600トン純水タンク</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>保有水量合計</td> <td>約 6,287</td> </tr> </tbody> </table>	タンク等名称	保有水量 (m <sup>3</sup> )	原水タンク	1,000	ろ過水貯蔵タンク	1,500	純水貯蔵タンク	500	多目的タンク	1,500	水処理装置	1,080	碍子洗浄タンク	100	66kV 非常用変圧器	6.6	600トン純水タンク	600	保有水量合計	約 6,287	<p style="text-align: right;">補足説明資料 14</p> <p>屋外タンク等の溢水伝播挙動評価に用いた解析コードについて</p>	<p>(島根2号炉は屋外タンク等の溢水による影響評価を別添1本文に記載)</p>
タンク等名称	保有水量 (m <sup>3</sup> )																						
原水タンク	1,000																						
ろ過水貯蔵タンク	1,500																						
純水貯蔵タンク	500																						
多目的タンク	1,500																						
水処理装置	1,080																						
碍子洗浄タンク	100																						
66kV 非常用変圧器	6.6																						
600トン純水タンク	600																						
保有水量合計	約 6,287																						

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div data-bbox="943 256 1706 1087" style="border: 2px solid black; height: 400px; width: 100%;"></div> <p data-bbox="1012 1102 1638 1136">第1図 水処理装置エリア周辺の屋外タンク等の配置</p> <p data-bbox="943 1192 1142 1226">2. 簡易評価結果</p> <p data-bbox="964 1241 1709 1539">水処理装置エリアでの屋外タンク等の破損により生じる溢水による水位は、第2表及び第2図に示すとおり、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、タービン建屋及び使用済燃料乾式貯蔵建屋において0.11m以下であり、建屋等の開口部の高さ0.2m（原子炉建屋及びタービン建屋）と0.3m（使用済燃料乾式貯蔵建屋）以下であることから防護対象設備に影響を及ぼさないことを確認した。</p>		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考																								
	<p data-bbox="1151 254 1501 285">第2表 距離による浸水水位</p> <table border="1" data-bbox="1095 310 1558 533"> <thead> <tr> <th></th> <th>距離 (m)</th> <th>滞留面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th>水位 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>50</td> <td>3,925</td> <td>1.61</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>100</td> <td>15,700</td> <td>0.41</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>200</td> <td>62,800</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>300</td> <td>141,300</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>400</td> <td>251,200</td> <td>0.03</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="943 611 1709 1537" style="border: 2px solid black; height: 441px; width: 258px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="997 1556 1656 1587">第2図 水処理装置エリアでの破損想定による浸水水位</p>		距離 (m)	滞留面積 (m <sup>2</sup> )	水位 (m)	①	50	3,925	1.61	②	100	15,700	0.41	③	200	62,800	0.11	④	300	141,300	0.05	⑤	400	251,200	0.03		
	距離 (m)	滞留面積 (m <sup>2</sup> )	水位 (m)																								
①	50	3,925	1.61																								
②	100	15,700	0.41																								
③	200	62,800	0.11																								
④	300	141,300	0.05																								
⑤	400	251,200	0.03																								

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<p>3. 溢水伝播挙動評価</p> <p>本文第 11 章及び前項 2. の評価では、屋外タンク等の溢水量による浸水水位が防護対象設備に影響を及ぼすことはないことを確認したが、建屋配置等により発生する建屋間狭隘部等への浸水影響を確認するために、敷地内の伝播挙動評価を実施する。</p> <p>(1) 水源の配置</p> <p>東海第二発電所の溢水影響評価対象となる屋外タンク等のうち伝播挙動評価に影響を及ぼす水源として、E.L. +11.0m 地上面に配置される屋外タンクが挙げられる。前項同様に敷地内の水処理設備エリアに分散配置されていることから、これらの屋外タンクから溢水した場合の影響について確認するため、第 3 図に示す配置に従い、第 3 表に示す水源を設定した。</p> <p>(2) 評価条件</p> <p>タンクの損傷形態及び流出水の伝播に係る条件について以下のとおり設定した。</p> <p>a. 各タンクを代表水位及び合算体積を持った一つの円筒タンクとして表現し、地震による損傷をタンク下端から 1m かつ円弧 180 度分の側板が瞬時に消失するとして模擬する。</p> <p>b. 溢水防護対象設備を内包する建屋に指向性を持って流出するように、消失する側板を建屋側の側板とする。</p> <p>c. 流路抵抗となる道路及び水路等は考慮せず、敷地を平坦面で表現するとともに、その上に流路に影響を与える主要な構造物を配置する。</p> <p>d. 構内排水路による排水機能や、地盤への浸透は考慮しない。</p> <p>(3) 評価結果</p> <p>屋外タンク破損時の局所的な水位上昇について評価した結果、防護対象設備が設置されている原子炉建屋及び使用済燃料乾式貯蔵建屋については、床レベルを一時的に超えることを確認した。</p> <p>水位測定箇所を第 4 図に、評価結果を第 5 図に示す。</p> <p>原子炉建屋（機器搬入口前）では、水密扉により防護対象</p>		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<p>区画への浸水影響は無い。また、使用済燃料乾式貯蔵建屋については、保守的に浸水量評価を実施したところ、浸水量はわずかであり、防護対象設備への溢水影響がないと評価した。</p> <p>なお、止水性が期待できないサービス建屋への浸水については、建屋内の扉部に水密性はないものの、実際に建屋に流入する水の量は浸水時間が短時間であることから僅かと考えられる。また、仮に開口部等から流入を想定した場合でも、建屋に地下区画が無いことから、建屋内部で長期間滞留することはないと考えられ、他区画や建屋への影響はほぼないと評価する。このため、サービス建屋からの溢水経路として想定されるタービン建屋に溢水の一部が流入した場合でも、原子炉建屋等の溢水防護区画に浸水することはないものと考えられる。</p> <p>以上より、屋外タンク破損時の溢水において、サービス建屋扉等を介した浸水経路は、溢水防護対象設備に影響を与える浸水経路とはならない。</p> <p>なお、以上の評価は、防潮堤設置ルートの見直し前に実施したものであるが、水源から原子炉建屋等までの溢水経路に防潮堤はないことから、防潮堤設置ルート変更後においても、結論は変わらない。</p>		

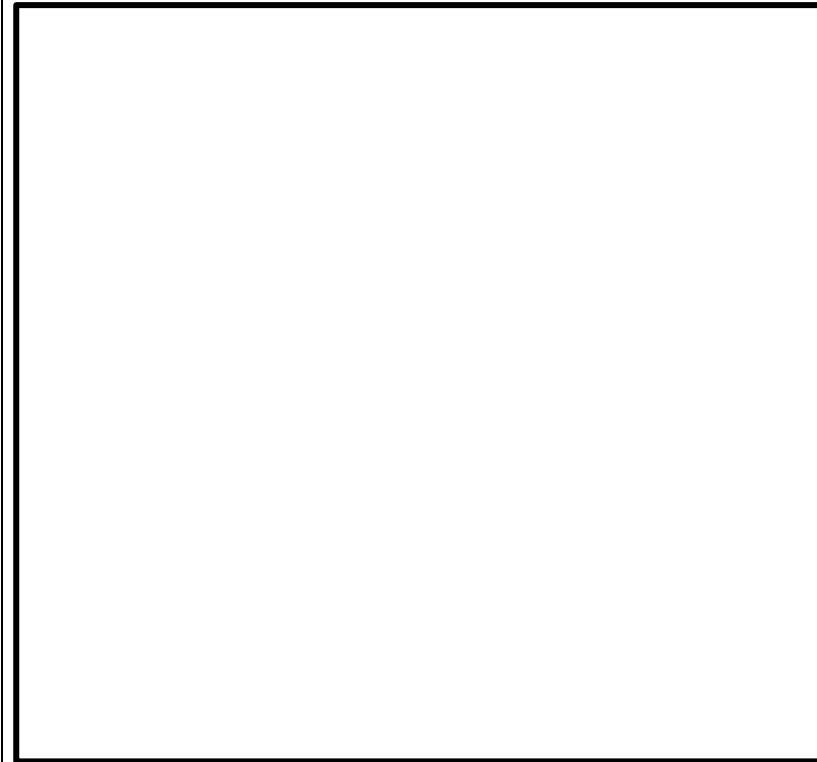


柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)

東海第二発電所 (2018.9.18版)

島根原子力発電所 2号炉

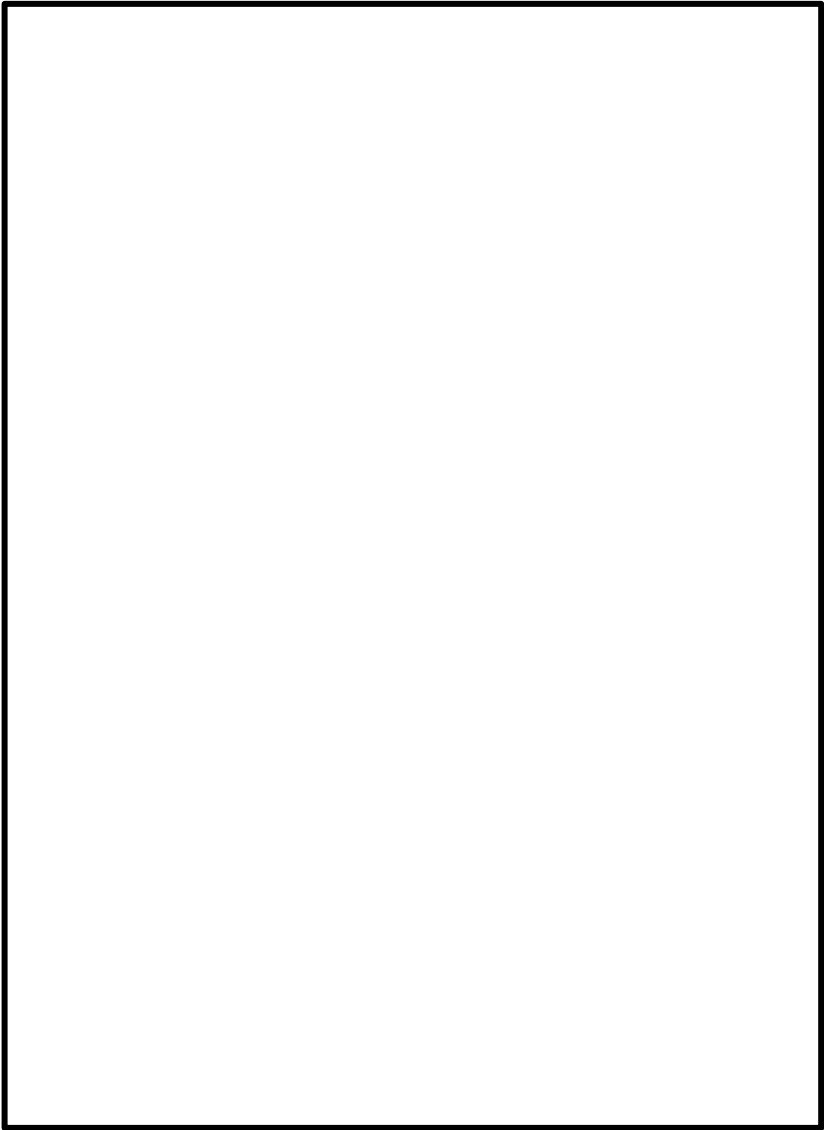
備考

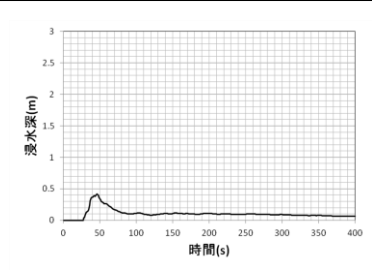
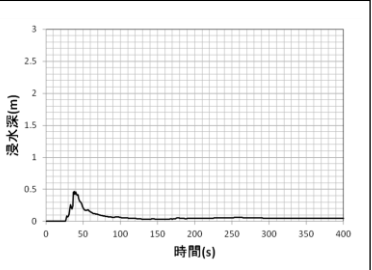
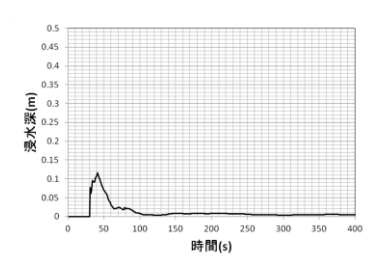


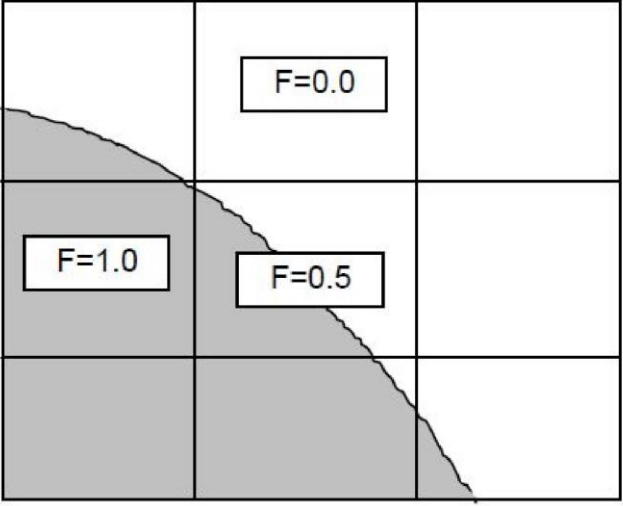
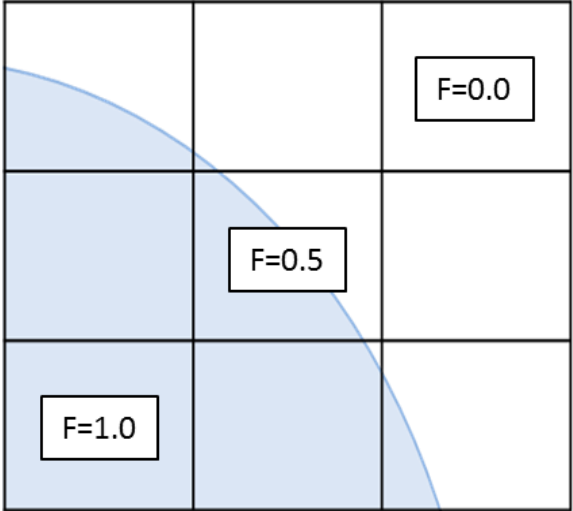
第3図 溢水伝播挙動評価の対象となる屋外タンク及び  
建屋等配置図

第3表 水源の設定

タンク名称	基数	タンク容量 ( $m^3$ )
多目的タンク	1	1,500
原水タンク	1	1,000
ろ過水貯蔵タンク	1	1,500
純水貯蔵タンク	1	500
総量		4,500

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	 <p data-bbox="1190 1329 1463 1360">第4図 水位測定箇所</p>		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017.12.20版)	東海第二発電所 (2018.9.18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 原子炉建屋 (機器搬入口前)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>③ 使用済燃料乾式貯蔵建屋 (機器搬入口前)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>② タービン建屋 (機器搬入口前)</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 40px;">第5図 水位測定箇所における浸水深</p>		

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>14.1 解析コードの概要</p> <p>屋外タンクからの溢水の伝播挙動評価は、解析コード <u>FINAS/CFD</u> を用いて行っている。<u>FINAS /CFD は汎用 FEM 非線形構造解析システム FINAS との流体/構造連成解析を行うことを目的として開発された完全非構造格子の熱流体解析コードである。空気や液体の熱と流れを計算し、その結果を FINAS に渡すことで、流体と構造物変形の相互作用を計算することができる。</u>自由表面を有するような混相流解析の界面捕捉法には VOF (Volume Of Fluid) 法を採用しており、これにより砕波などを含む複雑な自由表面形状を高精度に解析することを可能としている。</p> <p>14.2 VOF (Volume Of Fluid) 法について</p> <p>14.2.1 VOF 法の概要</p> <p>VOF 法は計算要素 (セル) に存在する流体の体積分率を関数として扱う方式で、流体で満たされた液体セルを「F=1」、流体が全く存在しない気体セルを「F=0」とし、流体が部分的に存在しセルが自由表面に接している境界セルをその体積占有率に応じて「0」から「1」の間の値で表現する。</p>  <p>補足第 14.2.1-1 図 VOF 法の概念図</p>		<p>1. 解析コードの概要</p> <p>屋外タンク等からの溢水の伝播挙動評価は、解析コード <u>Fluent</u> を用いて行っている。<u>Fluent は乱流、熱伝導、反応、燃焼、空力音響、回転機械、混相流といった多種多様な物理現象のモデル化が可能な汎用熱流体解析コードである。自由表面を有するような混相流解析の界面捕捉法には VOF (Volume Of Fluid) 法を採用しており、これにより砕波などを含む複雑な自由表面形状を高精度に解析することを可能としている。</u></p> <p>2. VOF (Volume Of Fluid) 法について</p> <p>2.1 VOF 法の概要</p> <p>VOF 法は計算要素 (セル) に存在する流体の体積分率を関数として扱う方式で、流体で満たされた流体セルを「F=1」、流体が全く存在しない気体セルを「F=0」とし、流体が部分的に存在しセルが自由表面に接している境界セルをその体積占有率に応じて「0」から「1」の間の値で表現する。</p>  <p>図 1 VOF 法の概念図</p>	<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>解析コードの相違【柏崎 6/7】</li> <li>島根 2号炉は、柏崎 6/7 とは異なる解析コード Fluent を使用しているが、解析方法 (VOF 法) は同様</li> <li>島根 2号炉は柏崎 6/7 と同様に「1. 解析コードの概要」「2. VOF (Volume Of Fluid) 法について」を説明【東海第二】</li> </ul>

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>14.2.2 計算手順</p> <p>VOF 法では、解析領域の各要素に占める流体の体積分率を F 値 (<math>0 \leq F \leq 1</math>) として定義し、下記の輸送方程式を解くことにより界面を求める。以下にその計算手順を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 各セルの体積分率 (<math>F=0.0 \sim 1.0</math> の間の値をとる) 及び周囲のセルの状況により、前図に示すように気体 (<math>F=0.0</math>)、液体 (<math>F=1.0</math>)、境界 (<math>0.0 &lt; F &lt; 1.0</math>) セルに分類する。</li> <li>② 液体セル、境界セル内の水面の法線の向きを決定する。</li> <li>③ 各計算セルの流体を運動方程式で計算された流速場に従って移流させる。</li> <li>④ 時間を進めて計算を繰り返す。</li> </ol> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>輸送方程式</p> <math display="block">\frac{\partial F}{\partial t} + \frac{\partial F u_i}{\partial x_i} = 0 \quad \dots \textcircled{1}</math> <p style="text-align: right;"><math>u_i</math> : i 方向の流速 <math>i=1,2,3</math></p> <p>ここで①式の流速 <math>u_i</math> は、②質量保存式、③運動量保存式より計算する。</p> <math display="block">\frac{\partial \rho}{\partial t} + \frac{\partial \rho u_i}{\partial x_i} = 0 \quad \dots \textcircled{2}</math> <p style="text-align: right;"><math>\rho</math> : 密度 <math>P</math> : 圧力 <math>\tau_{ij}</math> : 粘性応力テンソル <math>K_i</math> : 外力</p> <math display="block">\frac{\partial \rho u_i}{\partial t} + \frac{\partial \rho u_i u_j}{\partial x_j} = -\frac{\partial P}{\partial x_i} + \frac{\partial}{\partial x_i} \tau_{ij} + \rho K_i \quad \dots \textcircled{3}</math> <p>質量保存式、運動量保存式で用いる密度 <math>\rho</math> は④式により計算する。</p> <math display="block">\rho = F \rho_l + (1-F) \rho_g \quad \dots \textcircled{4}</math> <p style="text-align: right;"><math>\rho_l</math> : 水密度 <math>\rho_g</math> : 空気密度</p> </div>		<p>2.2 計算手順</p> <p>VOF 法では、解析領域の各要素に占める流体の体積分率を F 値 (<math>0 \leq F \leq 1</math>) として定義し、下記の輸送方程式を解くことにより界面を求める。以下にその計算手順を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 各セルの体積分率 (<math>F=0.0 \sim 1.0</math> の間の値をとる) 及び周囲のセルの状況により、図1に示すように気体 (<math>F=0.0</math>)、液体 (<math>F=1.0</math>)、境界 (<math>0.0 &lt; F &lt; 1.0</math>) セルに分類する。</li> <li>② 液体セル、境界セル内の水面の法線の向きを決定する。</li> <li>③ 各計算セルの流体を運動方程式で計算された流速場に従って移流させる。</li> <li>④ 時間を進めて計算を繰り返す。</li> </ol> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>輸送方程式</p> <math display="block">\frac{\partial F}{\partial t} + \frac{\partial F u_i}{\partial x_i} = 0 \quad \dots \textcircled{1}</math> <p style="text-align: right;"><math>u_i</math> : i 方向の流速 <math>i=1, 2, 3</math></p> <p>ここで、①式の流速 <math>u_i</math> は、②質量保存式、③運動量保存式より計算する。</p> <math display="block">\frac{\partial \rho}{\partial t} + \frac{\partial \rho u_i}{\partial x_i} = 0 \quad \dots \textcircled{2}</math> <p style="text-align: right;"><math>\rho</math> : 密度 <math>P</math> : 圧力 <math>\tau_{ij}</math> : 粘性応力テンソル <math>K_i</math> : 外力</p> <math display="block">\frac{\partial \rho u_i}{\partial t} + \frac{\partial \rho u_i u_j}{\partial x_j} = -\frac{\partial P}{\partial x_i} + \frac{\partial}{\partial x_i} \tau_{ij} + \rho K_i \quad \dots \textcircled{3}</math> <p>質量保存式、運動量保存式で用いる密度 <math>\rho</math> は④式により計算する。</p> <math display="block">\rho = F \rho_l + (1-F) \rho_g \quad \dots \textcircled{4}</math> <p style="text-align: right;"><math>\rho_l</math> : 水密度 <math>\rho_g</math> : 空気密度</p> </div>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>14.2.3 解析コードの検証</p> <p>解析コードの妥当性検証のため、類似性の高い水ダム崩壊問題の模擬解析を行い、水面位置の時間変化を実験結果と比較した。詳細を別紙に示す。</p> <p>この結果、解析と実験の水面位置の時間変化はほぼ一致しており、本解析コードにおける屋外タンク溢水伝播挙動評価の妥当性が確認できた。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		<p>2.3 解析コードの検証</p> <p>解析コードの妥当性検証のため、類似性の高い水ダム崩壊問題の模擬解析を行い、水面位置の時間変化を実験結果と比較した。詳細を別紙に示す。</p> <p>この結果、解析と実験の水面位置の時間変化はほぼ一致しており、本解析コードにおける屋外タンク等の溢水伝播挙動評価の妥当性が確認できた。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	